

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成27年度調査）の  
速報案について

○ 後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査

|              |      |
|--------------|------|
| ・調査の概要       | 1頁   |
| ・保険薬局調査      | 9頁   |
| ・診療所・病院・医師調査 | 47頁  |
| ・患者調査        | 105頁 |
| ・調査票         | 155頁 |

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 27 年度調査）

後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査

結果概要（速報）（案）

※数値は暫定値であり、一部、変わる可能性があります。

◇◆目 次◇◆

|  |    |
|--|----|
| I. 調査の概要   | 1  |
| 1. 目的  | 1  |
| 2. 調査対象  | 1  |
| 3. 調査方法  | 1  |
| 4. 調査項目  | 2  |
| II. 調査の結果  | 8  |
| 1. 回収結果  | 8  |
| 2. 保険薬局調査の結果   | 9  |
| (1) 薬局の属性  | 9  |
| ①組織形態  | 9  |
| ②同一法人等による薬局店舗数                                       | 10 |
| ③開設年   | 10 |
| ④チェーン薬局の状況   | 11 |
| ⑤売上高に占める保険調剤売上の割合                                    | 11 |
| ⑥処方せんの応需状況   | 12 |
| ⑦職員数   | 12 |
| (2) 調剤の状況等   | 13 |
| ①調剤基本料   | 13 |
| ②基準調剤加算  | 15 |
| ③後発医薬品調剤体制加算   | 15 |
| ④後発医薬品調剤割合（新指標）                                      | 16 |
| ⑤新指標のカットオフ値  | 18 |
| ⑥新指標で算出する際の問題点の有無                                    | 20 |
| (3) 取り扱い処方せんの状況                                      | 21 |
| ①1週間の取り扱い処方せん枚数の状況                                   | 21 |
| ②1週間の取り扱い処方せん枚数の内訳                                   | 22 |
| ③後発医薬品への変更割合等（品目ベース）                                 | 24 |
| ④変更不可の後発医薬品が処方されることによる、調剤を行う上での問題等                   | 27 |
| ⑤一般名処方処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケース<br>についての最も多い理由 | 29 |
| (4) 後発医薬品の備蓄状況・廃棄額等                                  | 30 |
| ①医薬品の備蓄品目数   | 30 |
| ②医薬品の在庫金額・購入金額・廃棄額                                   | 31 |

|  |    |
|--|----|
| (5) 後発医薬品への対応状況 .....                          | 32 |
| ①後発医薬品の採用基準.....                               | 32 |
| ②後発医薬品の調剤に関する考え.....                           | 34 |
| ③後発医薬品使用に関する患者の意向を把握する手段.....                  | 39 |
| ④後発医薬品への変更・選択において患者の理解を最も得られやすい処方方法.....       | 39 |
| ⑤処方医への情報提供等.....                               | 40 |
| (6) 後発医薬品使用にあたっての問題点・課題・要望等 .....              | 42 |
| ①薬局の開設者・管理者の立場として後発医薬品の調剤を積極的に進める上で必要な対応 ..... | 42 |
| ②後発医薬品の望ましい価格体系.....                           | 44 |
| ③後発医薬品の望ましい薬価水準.....                           | 44 |
| ④後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと .....                   | 45 |
| (7) 後発医薬品に変更して調剤した処方せん等に係る薬剤料の状況 .....         | 46 |
| 3. 診療所・病院・医師調査の結果.....                         | 47 |
| (1) 施設の概要等 .....                               | 47 |
| ①診療所の施設属性.....                                 | 47 |
| ②病院の施設属性.....                                  | 49 |
| ③オーダーリングシステムの導入状況等.....                        | 52 |
| (2) 医師の属性等 .....                               | 53 |
| ①医師の性別.....                                    | 53 |
| ②医師の年齢.....                                    | 54 |
| ③医師の主たる担当診療科.....                              | 54 |
| (3) 診療所・病院の診療体制 .....                          | 55 |
| ①診療所の診療体制.....                                 | 55 |
| ②病院の診療体制.....                                  | 55 |
| (4) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況等 .....                  | 56 |
| ①医薬品の備蓄状況等 .....                               | 56 |
| ②後発医薬品の採用状況.....                               | 62 |
| ③後発医薬品を採用する際に重視すること .....                      | 63 |
| ④病院における後発医薬品使用割合 .....                         | 65 |
| (5) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等 .....                  | 66 |
| ①入院患者に対する後発医薬品の使用状況 .....                      | 66 |
| ②後発医薬品使用体制加算の状況.....                           | 66 |
| ③今後どのような対応が進めば施設として入院患者に後発医薬品の使用を進めてもよいか ..... | 67 |
| (6) 外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（施設ベース） .....           | 69 |
| ①処方せん料・一般名処方加算の算定回数（平成27年6月1か月間） .....         | 69 |
| ②病院における、外来患者に対する後発医薬品使用に係る施設としての方針等.....       | 69 |

|   |     |
|---|-----|
| ③病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況等.....                                   | 74  |
| (7) 外来診療における院外処方せん発行時や後発医薬品の処方に関する医師の考え等<br>(医師ベース) .....           | 76  |
| ①外来診療における後発医薬品の処方に関する考え.....  | 76  |
| ②外来診療における後発医薬品の処方数の変化(1年前と比較して) .....                               | 82  |
| ③後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験等(平成27年4<br>月以降) .....               | 83  |
| ④医師における一般名処方による処方せん発行の状況等 .....                                     | 88  |
| (8) 保険薬局・患者との関係 .....   | 90  |
| ①調剤時の保険薬局からの情報提供に関する意向等.....  | 90  |
| ②患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無と対応 .....                                   | 93  |
| (9) 医療機関・医師における後発医薬品使用に関する意識等 .....                                 | 98  |
| ①医療機関・医師における、後発医薬品が薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得る<br>ために必要なデータの内容に関する認知状況..... | 98  |
| ②医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック<br>医薬品Q&A～』に関する認知状況 .....   | 99  |
| ③医療機関・医師における、『後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ』<br>に関する認知状況.....            | 100 |
| ④今現在の後発医薬品に対する不信感.....  | 101 |
| ⑤後発医薬品の処方を進めるための環境.....   | 103 |
| 4. 患者調査の結果 .....  | 105 |
| (0) 記入者の属性等 .....   | 105 |
| ①記入者と患者の関係 .....  | 105 |
| (1) 患者の属性等 .....  | 105 |
| ①患者の基本属性.....   | 105 |
| ②公的医療保険の種類 .....  | 107 |
| ③自己負担額の有無.....  | 109 |
| ④過去3か月間の薬局訪問回数(処方せん持参に限る) .....                                     | 110 |
| ⑤お薬手帳の利用.....   | 111 |
| (2) 調査日における受診・調剤状況等.....  | 112 |
| ①薬局を選んだ理由 .....   | 112 |
| ②処方の状況等 .....   | 114 |
| (3) ジェネリック使用に関する経験等.....  | 123 |
| ①ジェネリック医薬品に対する関心の有無 .....   | 123 |
| ②ジェネリック医薬品に対する認知度.....  | 124 |
| ③ジェネリック医薬品の使用経験の有無 .....  | 125 |
| ④ジェネリック医薬品について医師から説明を受けた経験の有無.....                                  | 126 |
| ⑤ジェネリック医薬品の処方を医師に頼んだ経験の有無 .....                                     | 127 |

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ⑥ジェネリック医薬品について薬剤師から説明を受けた経験の有無 ..... | 128 |
| ⑦ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験等 .....       | 129 |
| ⑧今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無等..... | 134 |
| (4) ジェネリック使用に関する経験・意向等.....          | 139 |
| ①ジェネリック医薬品に関する使用意向等 .....            | 139 |
| ②ジェネリック医薬品に関する文書等に関する経験・意向等 .....    | 145 |
| ③一般名処方に関する認知度・意向等.....               | 152 |

# I. 調査の概要

## 1. 目的

平成 26 年度診療報酬改定では、後発医薬品の使用促進策として、後発医薬品の数量シェアの定義とともに、調剤基本料の後発医薬品調剤体制加算等について見直しが行われた。

本調査では、こうした診療報酬改定の内容を踏まえ、保険薬局における一般名処方の記載された処方せんの受付状況や、後発医薬品の調剤状況や備蓄状況、保険医療機関における一般名処方の実施状況、後発医薬品の使用状況や医師の処方などがどのように変化したかを調査するとともに、医師、薬剤師及び患者の後発医薬品に対する意識について調査を行い、診療報酬改定の結果検証を行うことを目的とする。

<主なねらい>

- ・ 保険薬局における後発医薬品の調剤状況の変化等の把握
- ・ 医療機関における後発医薬品の使用状況や医師の処方に関する意識等の把握
- ・ 患者における後発医薬品に関する意識等の把握
- ・ 一般名処方に関する医師・薬剤師及び患者の意識等の把握

## 2. 調査対象

本調査では、「保険薬局調査」「病院調査」「診療所調査」「医師調査」「患者調査」の 5 つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

- ・ 保険薬局調査：全国の保険薬局の中から無作為抽出した 1,500 施設
- ・ 診療所調査：全国の一般診療所の中から無作為抽出した 2,000 施設。
- ・ 病院調査：全国の病院の中から無作為抽出した 1,500 施設。
- ・ 医師調査：上記「病院調査」の対象施設に勤務する、診療科の異なる 2 名の外来診療担当医師。
- ・ 患者調査：上記「保険薬局調査」の対象施設に調査日に来局した患者。ただし、1 施設につき最大 2 名の患者とした。

## 3. 調査方法

- ・ 対象施設・医師・患者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・ 保険薬局調査については、施設属性、後発医薬品の調剤状況等を尋ねる「様式 1」と、薬剤料を尋ねる「様式 2」の 2 種類の調査票を配布した。
- ・ 診療所調査については、施設の概況、院外処方せんや一般名処方による処方せんの発行状況、後発医薬品の使用状況や使用に関する意識、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「診療所票」を配布した。
- ・ 病院調査については、施設の概況、院外処方せんの発行状況、入院患者に対する後発医

- 薬品の使用状況、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「病院票」を配布した。
- ・ 医師調査については、後発医薬品の使用状況と使用に関する意識等を尋ねる「医師票」を配布した。配布に際しては、上記の「病院調査」の対象施設を通じて行った。
  - ・ 患者調査については、後発医薬品の使用に対する意識等を尋ねる「患者票」を配布した。配布に際しては、上記の「保険薬局調査」の対象施設を通じて行った。
  - ・ 医師調査及び患者調査の回収は、各医師及び患者から、事務局宛の返信用専用封筒にて直接回収した。
  - ・ 調査実施時期は、平成 27 年 7 月 21 日～平成 27 年 9 月 25 日。

#### 4. 調査項目

| 区分        | 主な調査項目   |
|-----------|--|
| (1)保険薬局調査 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○回答者の属性等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢、開設者・管理者の別</li> </ul> </li> <li>○薬局の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開設者、同一法人等による薬局店舗数、開設年、チェーン薬局、処方せんの応需状況、売上高に占める保険調剤売上の割合、職員数</li> <li>・ 調剤基本料の種類、全処方せんの受付回数、主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数の割合、基準調剤加算の算定状況、後発医薬品調剤体制加算の算定状況、後発医薬品調剤割合、新指標のカットオフ値、新指標算出にあたっての問題点の有無と内容</li> </ul> </li> <li>○処方せんへの対応状況（平成 27 年 7 月 24 日～7 月 30 日 1 週間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り扱い処方せん枚数、このうち先発医薬品名で処方され変更不可となっている医薬品がある処方せん枚数、このうち後発医薬品名で処方され変更不可となっている医薬品がある処方せん枚数</li> <li>・ 一般名で処方された医薬品の品目数、このうち後発医薬品を選択した医薬品の品目数、このうち先発医薬品を選択した医薬品の品目数</li> <li>・ 先発医薬品名で処方された医薬品の品目数、このうち「変更不可」となっていない医薬品の品目数、先発医薬品を後発医薬品に変更した医薬品の品目数、このうち先発医薬品を調剤した医薬品の品目数、薬価収載されておらず後発医薬品に変更できなかった医薬品の品目数、患者が希望しなかったために後発医薬品に変更できなかった医薬品の品目数、外用剤が処方され同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった医薬品の品目数</li> <li>・ 後発医薬品名で処方された医薬品の品目数、このうち「変更不可」となっている医薬品の品目数</li> <li>・ その他の品目名で処方された医薬品の品目数</li> </ul> </li> <li>○後発医薬品への対応等</li> </ul> |

|          |   |
|----------|---|
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変更不可の後発医薬品が処方されることによる調剤上の問題の有無と問題点</li> <li>・ 一般名処方の処方せんを持参した患者のうち後発医薬品を調剤しなかったケースについての最も多い理由</li> </ul> <p>○後発医薬品への対応状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、在庫金額、購入金額、廃棄額の変化、先発医薬品に対する後発医薬品の平均備蓄品目数</li> <li>・ 後発医薬品の採用基準、後発医薬品の調剤に関する考え、後発医薬品の調剤に積極的に取り組んでいない場合の理由、後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の種類とその理由、後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の剤形、後発医薬品を積極的に調剤していない患者の特徴</li> <li>・ 後発医薬品使用に関する患者の意向把握の手段、後発医薬品への変更・選択で患者の理解を得られやすい処方方法</li> <li>・ 医療機関に対する後発医薬品への変更調剤・一般名処方の調剤に関する情報提供のタイミング、医療機関との予め合意した方法による情報提供の有無とその方法</li> </ul> <p>○後発医薬品使用についての考えや今後の課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品使用を進める上で望むこと、同一成分・同一剤形の後発医薬品の価格体系、後発医薬品の薬価水準、医師に望むこと、課題等</li> </ul> <p>○薬剤料の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処方せんの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料及び実際に調剤した薬剤料等</li> </ul> |
| (2)診療所調査 | <p>○医師の属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢、開設者・管理者の別、主たる担当診療科</li> </ul> <p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関名、所在地、開設者、開設年、種別、標榜診療科、医師数・薬剤師数</li> <li>・ オーダリングシステムの導入状況</li> <li>・ 院内処方・院外処方の割合</li> </ul> <p>○後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、購入額、廃棄額</li> <li>・ 後発医薬品の採用状況、採用に際して重視すること</li> </ul> <p>○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品使用体制加算の状況</li> <li>・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況</li> <li>・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応</li> </ul>   |

|         |  |
|---------|--|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行している施設） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処方せん料・一般名処方加算の算定回数</li> <li>・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由、積極的に処方する場合の理由</li> <li>・ 1年前と比較した後発医薬品の処方状況</li> <li>・ 平成27年4月以降、後発医薬品への変更不可欄にチェックした処方せん発行の有無、割合、そのケース、銘柄指定をする理由等</li> <li>・ 平成27年4月以降の一般名処方による処方せん発行の経験、それに対する事務的な負担の変化等</li> <li>・ 調剤した医薬品（変更調剤や一般名処方についての調剤）に関する保険薬局からの情報提供について予め合意した方法の有無とその方法、望ましい方法・タイミング</li> <li>・ 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無、その時の対応等</li> </ul> </li> <li>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行していない施設） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由、積極的に処方する場合の理由</li> <li>・ 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無、その時の対応等</li> </ul> </li> <li>○後発医薬品の使用にあたっての課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の薬事承認に必要なデータ、『ジェネリック医薬品Q&amp;A』、『後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ』の認知度</li> <li>・ 後発医薬品に関する不信感の有無、不信感がある場合の理由</li> <li>・ 後発医薬品の処方を進める上で必要な環境</li> <li>・ 後発医薬品使用にあたっての課題等</li> </ul> </li> </ul> |
| (3)病院調査 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○回答者の属性等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢、開設者・管理者の別</li> </ul> </li> <li>○施設の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開設者、開設年、標榜診療科、DPCの対応状況</li> <li>・ オーダリングシステムの導入状況、院内処方・院外処方の割合、特定入院料の状況、許可病床数、医師数・薬剤師数</li> <li>・ 後発医薬品使用体制加算の状況、処方せん料・一般名処方加算の算定回数</li> </ul> </li> <li>○後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の採用状況、採用に際して重視すること</li> </ul> </li> </ul>  |

|         |   |
|---------|---|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、購入額、廃棄額</li> <li>・ 後発医薬品使用割合</li> </ul> <p>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行している施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の処方に関する施設としての方針、積極的に処方しない場合の理由、積極的に処方する場合の理由</li> <li>・ 平成 27 年 4 月以降の一般名処方による処方せん発行の経験、それに対する事務的な負担の変化等</li> <li>・ 調剤した医薬品（変更調剤や一般名処方についての調剤）に関する保険薬局からの情報提供について予め合意した方法の有無とその方法、望ましい方法・タイミング</li> </ul> <p>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行していない施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由、積極的に処方する場合の理由</li> </ul> <p>○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の使用状況</li> <li>・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応</li> </ul> <p>○後発医薬品の使用にあたっての課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の薬事承認に必要なデータ、『ジェネリック医薬品 Q &amp; A』、『後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ』の認知度</li> <li>・ 後発医薬品に関する不信感の有無、不信感がある場合の理由</li> <li>・ 後発医薬品使用にあたっての課題等</li> </ul> |
| (4)医師調査 | <p>○属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢、主たる担当診療科、1 日あたり平均外来診察患者数</li> </ul> <p>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行している施設の医師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由、積極的に処方する場合の理由</li> <li>・ 平成 27 年 4 月以降、後発医薬品への変更不可欄にチェックした処方せん発行の有無、割合、そのケース、銘柄指定をする理由</li> <li>・ 平成 27 年 4 月以降の一般名処方による処方せん発行の経験、それに対する事務的な負担の変化等</li> <li>・ 調剤した医薬品（変更調剤や一般名処方についての調剤）に関する保険薬局からの情報提供について予め合意した方法の有無とその方法、望ましい方法・タイミング</li> <li>・ 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無、その時の対応</li> </ul>   |

|         |  |
|---------|--|
|         | <p>○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行していない施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由、積極的に処方する場合の理由</li> <li>・ 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無、その時の対応</li> </ul> <p>○後発医薬品の使用にあたっての課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の薬事承認に必要なデータ、『ジェネリック医薬品Q&amp;A』、『後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ』の認知度</li> <li>・ 後発医薬品に関する不信感の有無、不信感がある場合の理由</li> <li>・ 後発医薬品の処方を進める上で必要な環境</li> <li>・ 後発医薬品使用にあたっての課題等</li> </ul>  |
| (5)患者調査 | <p>○記入者の属性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記入者と患者との関係</li> </ul> <p>○属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢、都道府県</li> <li>・ 加入している公的医療保険の種類、自己負担の有無、過去3か月間の薬局訪問回数、お薬手帳の利用状況</li> </ul> <p>○調査日における後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬局を選んだ理由</li> <li>・ 調査日の自己負担額、自己負担額との関係でみた後発医薬品の使用意向、使用してもよいと思える差額、いくら安くなっても後発医薬品を使用したくない理由とそのきっかけ</li> <li>・ 薬局での先発医薬品から後発医薬品への変更の有無、変更した場合の経済的負担感等</li> </ul> <p>○後発医薬品の使用に関する経験等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品に対する関心の有無、認知度、使用経験の有無</li> <li>・ 医師・薬剤師から後発医薬品について説明を受けた経験の有無</li> <li>・ 医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無</li> <li>・ 薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無、頼みやすさ、平成27年4月以降で調剤してもらえなかった経験の有無、その時の薬局から受けた説明</li> <li>・ 先発医薬品から後発医薬品に変更した薬の有無、そのきっかけ、変更時における体調不良の経験の有無等</li> </ul> <p>○後発医薬品の使用促進の取組に関する経験・考え等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発医薬品の使用意向、使用にあたって重要な点</li> <li>・ ジェネリック医薬品希望カード・ジェネリック医薬品軽減額通知・薬剤情報提供文書の受取経験、受取後に医師や薬剤師にジェネリッ</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>ク医薬品の相談・質問をした経験の有無、ジェネリック医薬品を使用した経験の有無、今後の活用意向</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 一般名処方への認知状況等</li><li>• 望ましい処方せん発行形式</li><li>• 後発医薬品を使用する上での要望等</li></ul> |
|--|--|

## Ⅱ. 調査の結果

### 1. 回収結果

図表 1 回収の状況

|                            | 発送数   | 有効回答数  | 有効回答率 |
|----------------------------|-------|--------|-------|
| ①保険薬局調査                    |       |        |       |
| 保険薬局数(様式 1)                | 1,500 | 703    | 46.9% |
| 様式 2 に記載された処方せん枚数(587 薬局分) | —     | 10,309 | —     |
| ②診療所調査                     |       |        |       |
| 一般診療所数                     | 2,000 | 813    | 40.7% |
| ③病院調査                      |       |        |       |
| 病院数                        | 1,500 | 489    | 32.6% |
| ④医師調査                      |       |        |       |
| 医師数                        | —     | 778    | —     |
| ⑤患者調査                      |       |        |       |
| 患者数                        | —     | 950    | —     |

## 2. 保険薬局調査の結果

### 【調査対象等】

#### ○調査票 様式 1

調査対象：全国の保険薬局の中から無作為抽出した保険薬局 1,500 施設

回答数：703 施設

回答者：開設者・管理者

#### ○調査票 様式 2

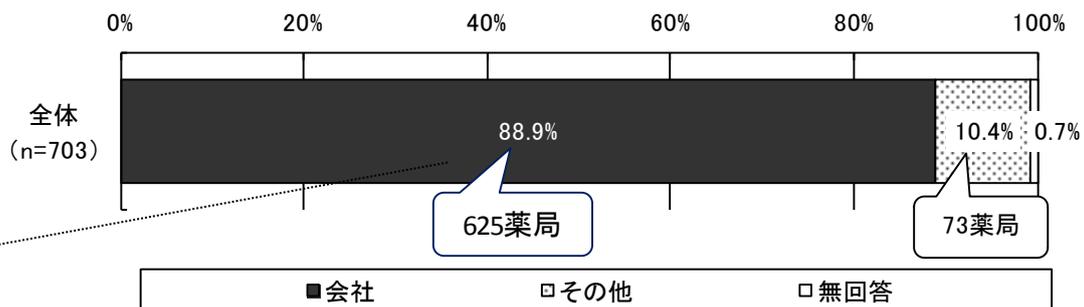
処方せん枚数：10,309 枚（587 薬局分）

回答者：開設者・管理者

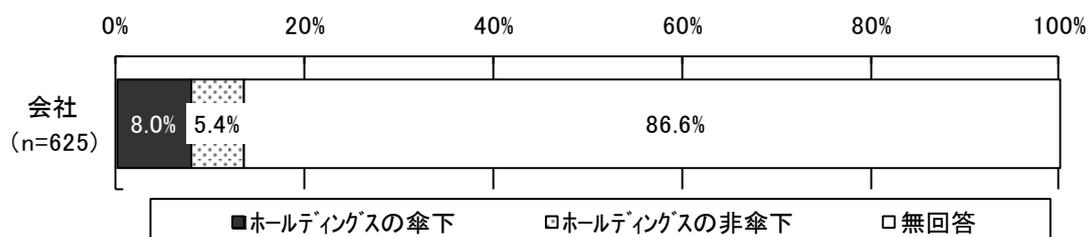
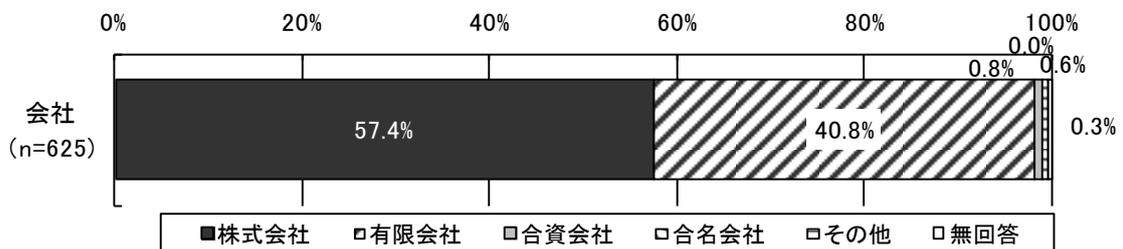
### (1) 薬局の属性

#### ①組織形態

図表 2 組織形態（会社・その他別）

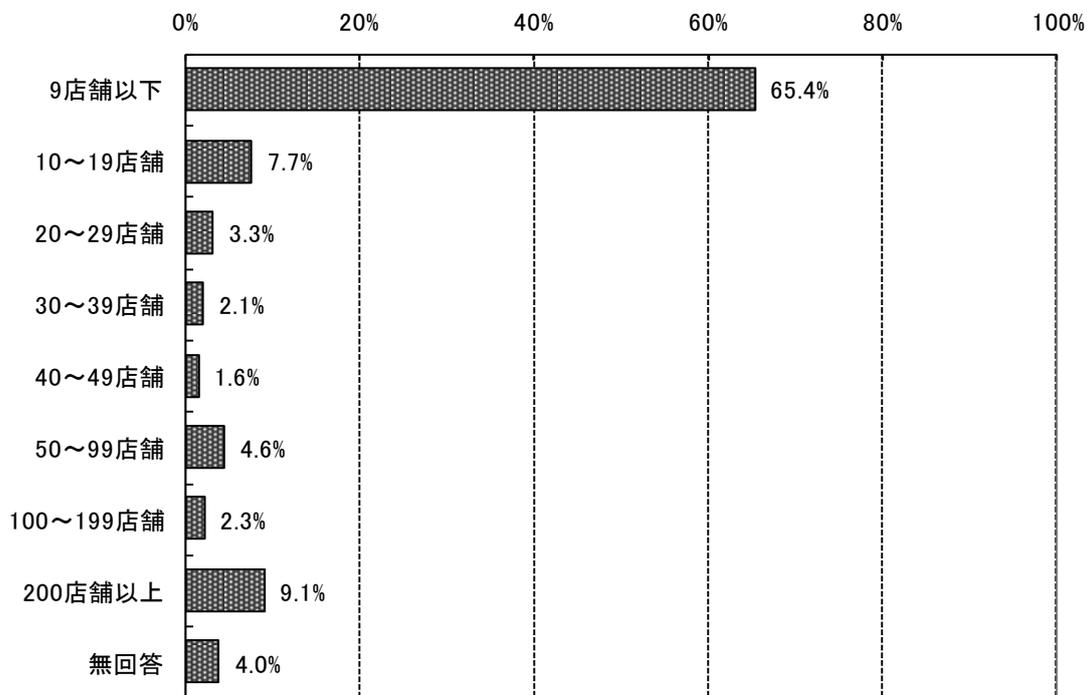


図表 3 会社立薬局の内訳



②同一法人等による薬局店舗数

図表 4 同一法人等による薬局店舗数分布（単数回答、n=703）



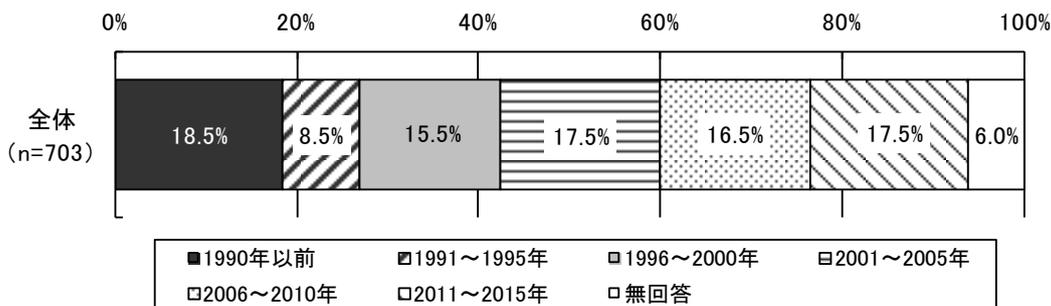
図表 5 同一法人等による薬局店舗数（n=675）

|                   | 平均値  | 標準偏差  | 中央値 |
|-------------------|------|-------|-----|
| 同一法人等による薬局店舗数(店舗) | 65.9 | 173.5 | 3.0 |

(注)・自店舗を含む店舗数。  
 ・無回答を除く 675 施設を集計対象とした。

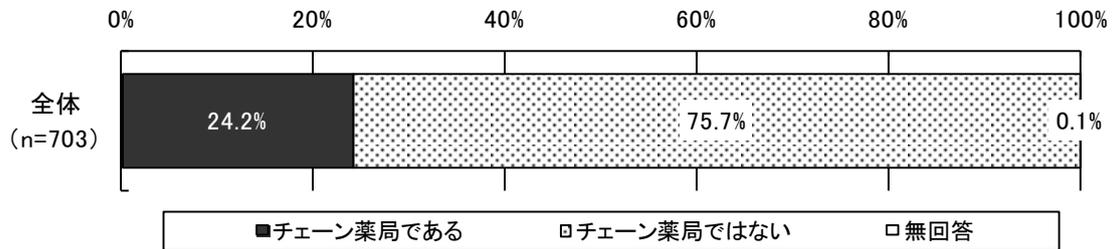
③開設年

図表 6 開設年



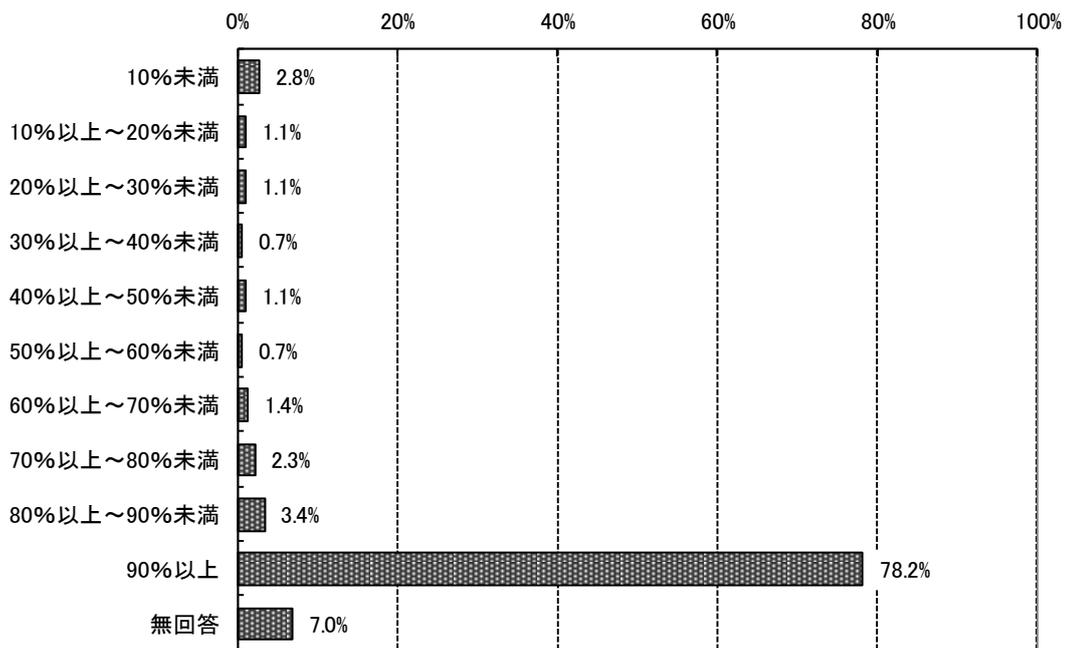
④チェーン薬局の状況

図表 7 チェーン薬局の状況



⑤売上高に占める保険調剤売上の割合

図表 8 売上高に占める保険調剤売上の割合（単数回答、n=703）



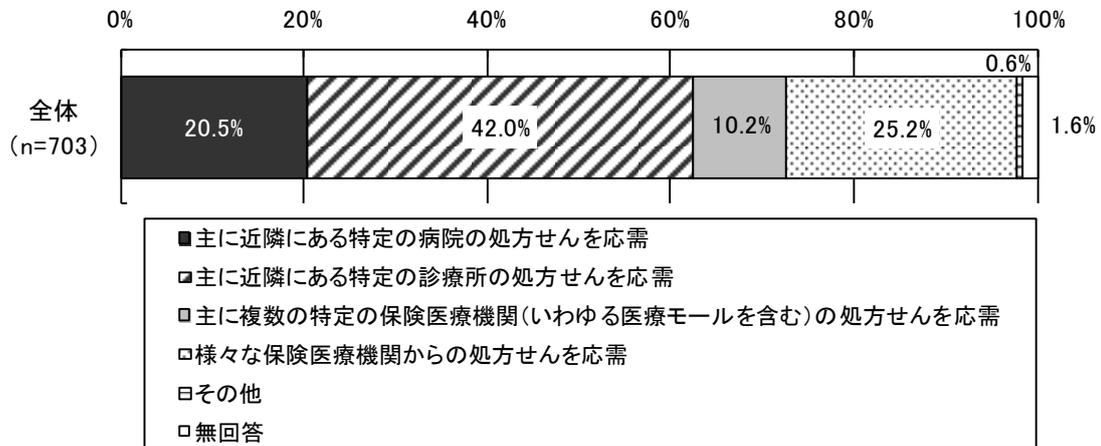
図表 9 売上高に占める保険調剤売上の割合（n=654）

|                     | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|---------------------|------|------|------|
| 売上高に占める保険調剤売上の割合(%) | 89.8 | 22.5 | 99.0 |

(注) 無回答を除く 654 施設を集計対象とした。

⑥処方せんの応需状況

図表 10 処方せんの応需状況



⑦職員数

図表 11 1施設あたりの職員数(実人数、n=690)

(単位:人)

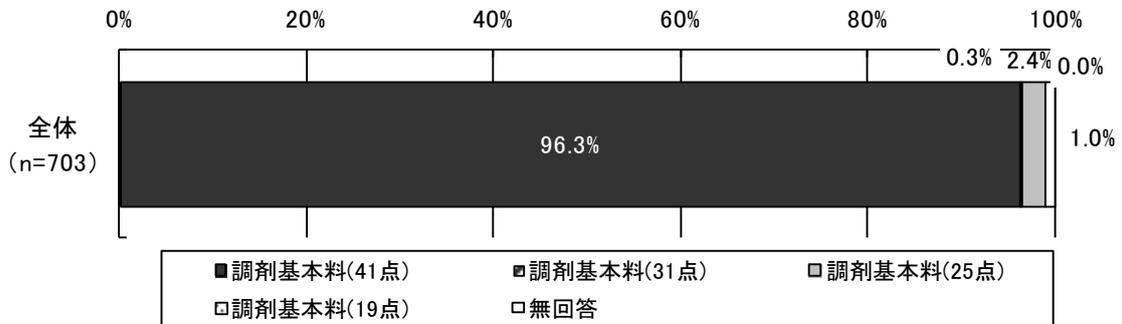
|            | 常勤  |      |     | 非常勤 |      |     |
|------------|-----|------|-----|-----|------|-----|
|            | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 薬剤師        | 2.1 | 1.4  | 2.0 | 1.6 | 2.6  | 1.0 |
| その他(事務職員等) | 1.9 | 1.6  | 2.0 | 0.8 | 1.4  | 0.0 |
| 全職員        | 4.0 | 2.6  | 3.0 | 2.4 | 3.1  | 2.0 |

(注) 無回答を除く 690 施設を集計対象とした。

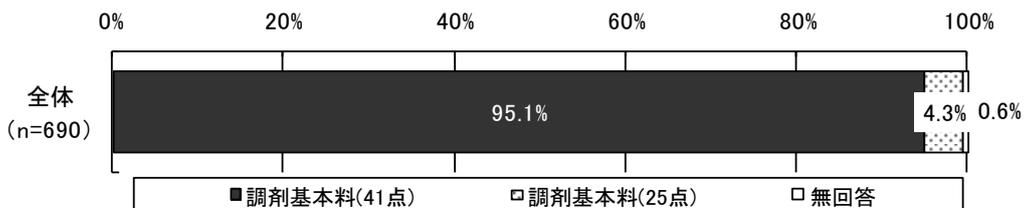
(2) 調剤の状況等

①調剤基本料

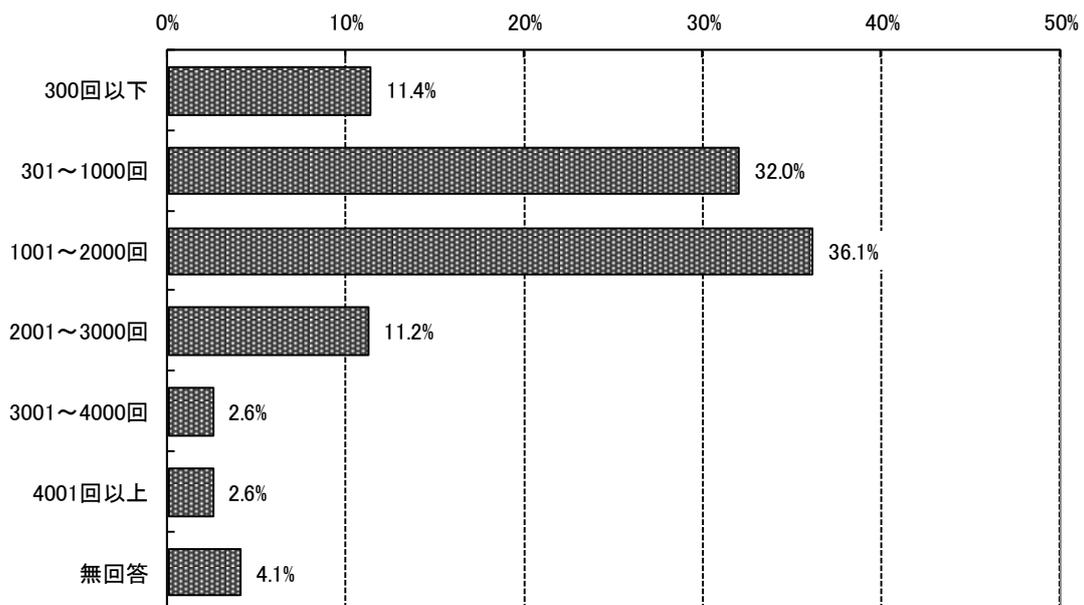
図表 12 調剤基本料



(参考) 平成 26 年度調査



図表 13 全処方せんの受付回数 (1 か月あたり、n=703)



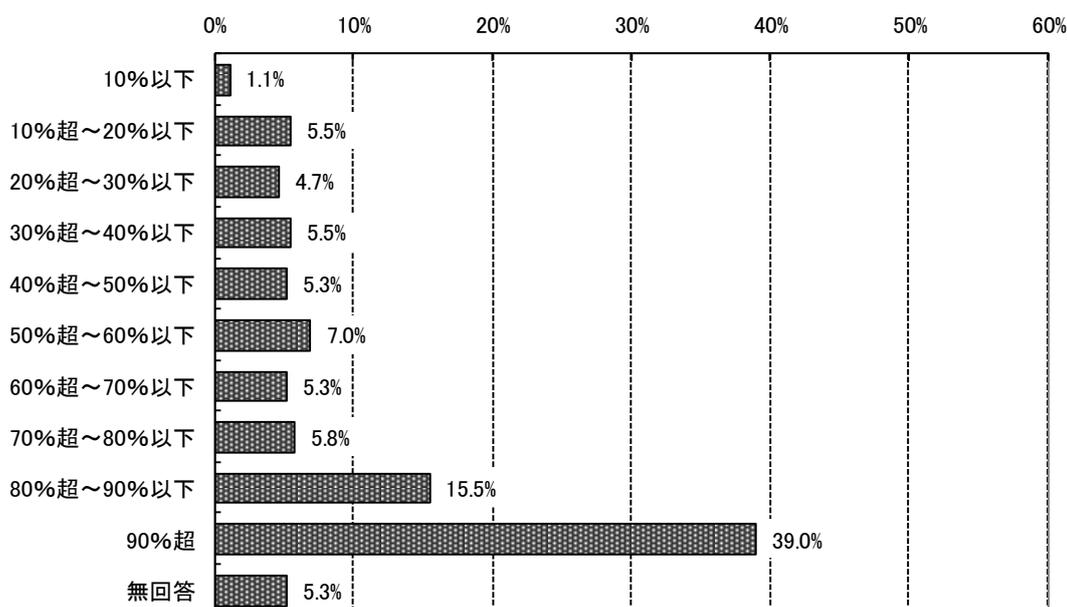
(注) 調剤基本料の根拠となる「全処方せんの受付回数 (回/月)」

図表 14 全処方せんの受付回数（1か月あたり、n=674）

|               | 平均値     | 標準偏差    | 中央値     |
|---------------|---------|---------|---------|
| 全処方せんの受付回数(回) | 1,357.4 | 1,852.0 | 1,110.5 |

(注)・調剤基本料の根拠となる「全処方せんの受付回数（回／月）」  
 ・無回答を除く 674 施設を集計対象とした。

図表 15 主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数の割合（単数回答、n=703）



(注) 調剤基本料の根拠となる「主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数の割合 (%)」

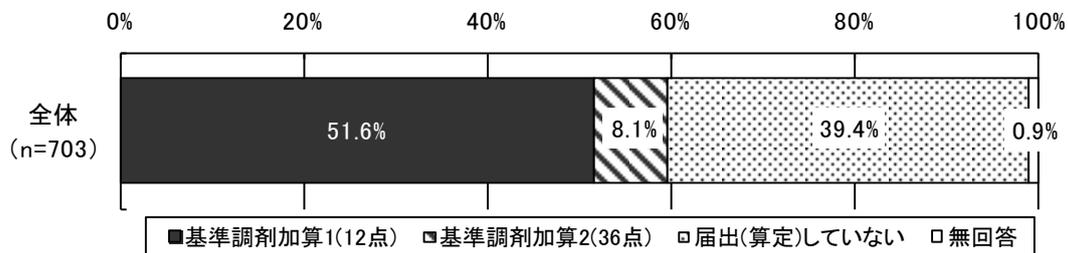
図表 16 主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数の割合（n=666）

|                              | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|------------------------------|------|------|------|
| 主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数の割合 (%) | 72.8 | 27.6 | 85.9 |

(注)・調剤基本料の根拠となる「主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数の割合 (%)」  
 ・無回答を除く 666 施設を集計対象とした。

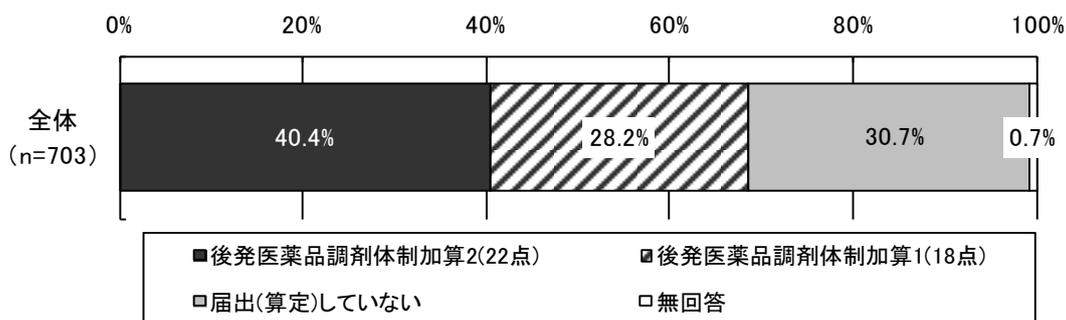
②基準調剤加算

図表 17 基準調剤加算

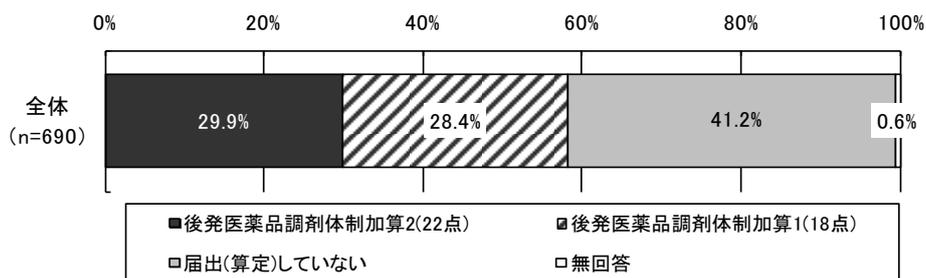


③後発医薬品調剤体制加算

図表 18 後発医薬品調剤体制加算の算定状況

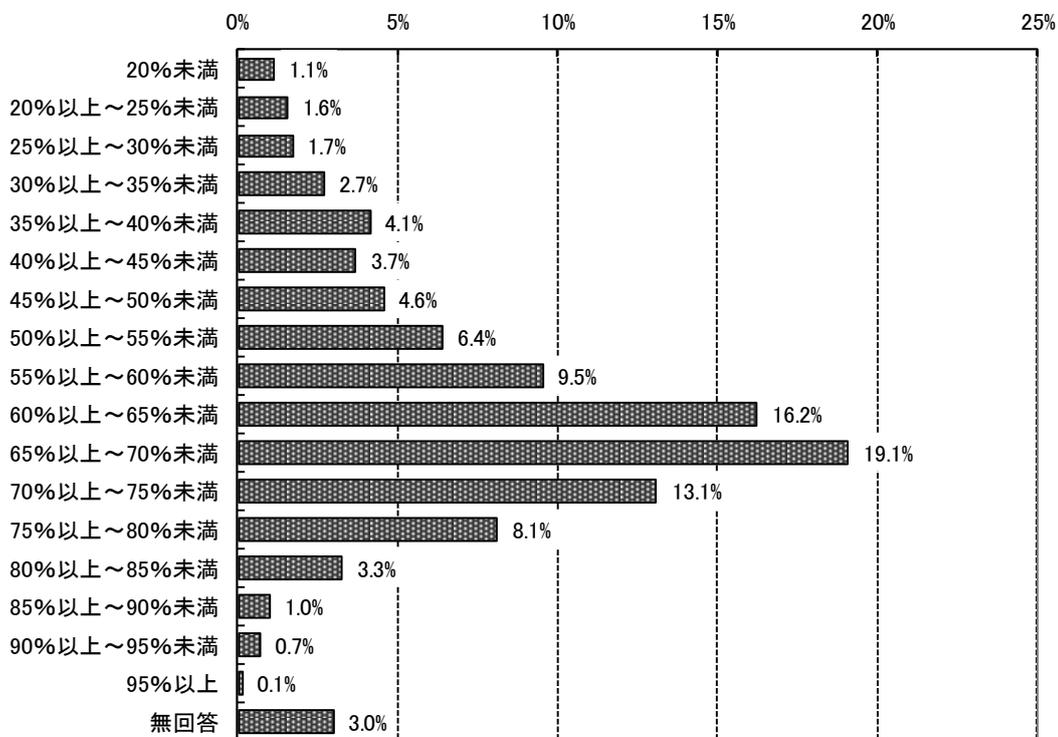


(参考) 平成 26 年度調査



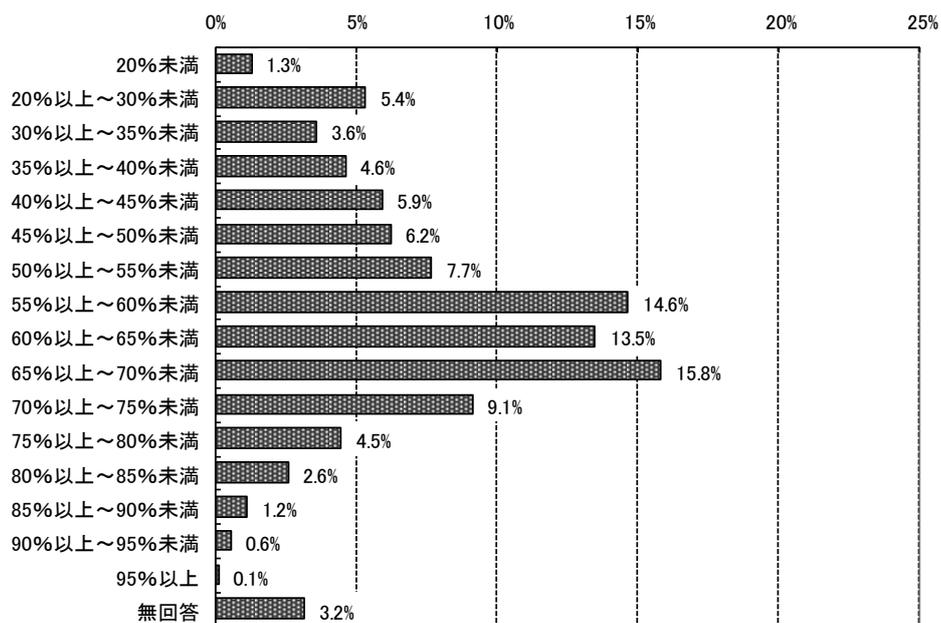
④後発医薬品調剤割合（新指標）

図表 19 後発医薬品調剤割合（新指標）（平成 27 年 6 月 1 か月間、n=703）



(注) 新指標算出式＝後発医薬品／（後発医薬品ありの先発医薬品＋後発医薬品）（％）

(参考) 平成 26 年度調査



(注) n=690、平成 26 年 9 月 1 か月間。

図表 20 後発医薬品調剤割合（新指標）（n=682）

|                   | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|-------------------|------|------|------|
| 後発医薬品調剤割合(新指標)(%) | 60.9 | 15.0 | 64.0 |

- (注)・新指標算出式＝後発医薬品／（後発医薬品ありの先発医薬品＋後発医薬品）（%）  
 ・平成 27 年 6 月 1 か月間について算出。  
 ・無回答を除く 682 施設を集計対象とした。

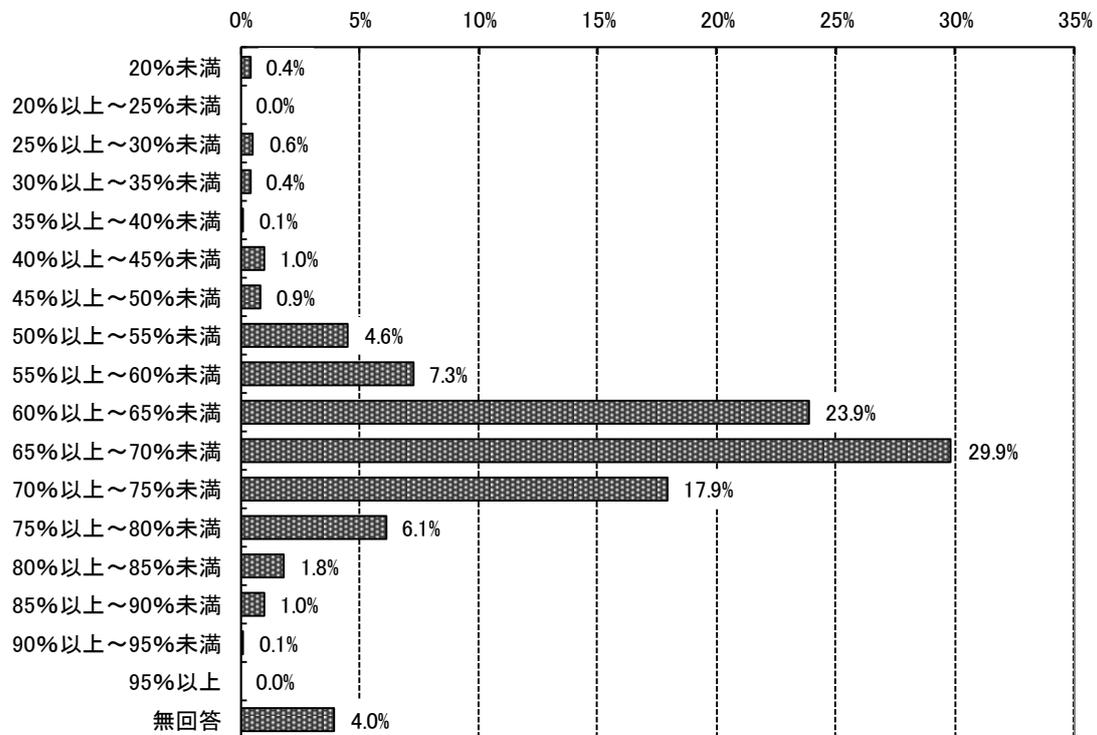
（参考）平成 26 年度調査

|                   | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|-------------------|------|------|------|
| 後発医薬品調剤割合(新指標)(%) | 57.2 | 15.8 | 59.5 |

- (注)・平成 26 年 9 月 1 か月間について算出。  
 ・無回答を除く 668 施設を集計対象とした。

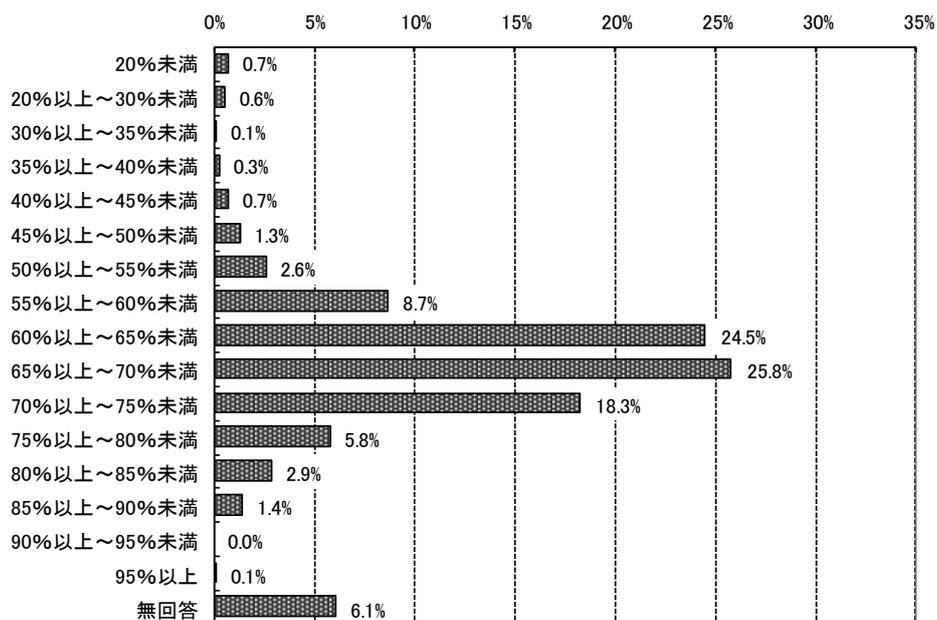
⑤新指標のカットオフ値

図表 21 新指標のカットオフ値（平成 27 年 6 月 1 か月間、n=703）



(注) カットオフ値算出式 = (後発医薬品ありの先発医薬品 + 後発医薬品) / 全医薬品 (%)

(参考) 平成 26 年度調査



(注) n=690、平成 26 年 9 月 1 か月間。

図表 22 新指標のカットオフ値 (n=675)

|               | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|---------------|------|------|------|
| 新指標のカットオフ値(%) | 65.7 | 9.1  | 66.4 |

(注)・カットオフ値算出式=(後発医薬品ありの先発医薬品+後発医薬品)／全医薬品(%)

- ・平成 27 年 6 月 1 か月間について算出。
- ・無回答を除く 675 施設を集計対象とした。

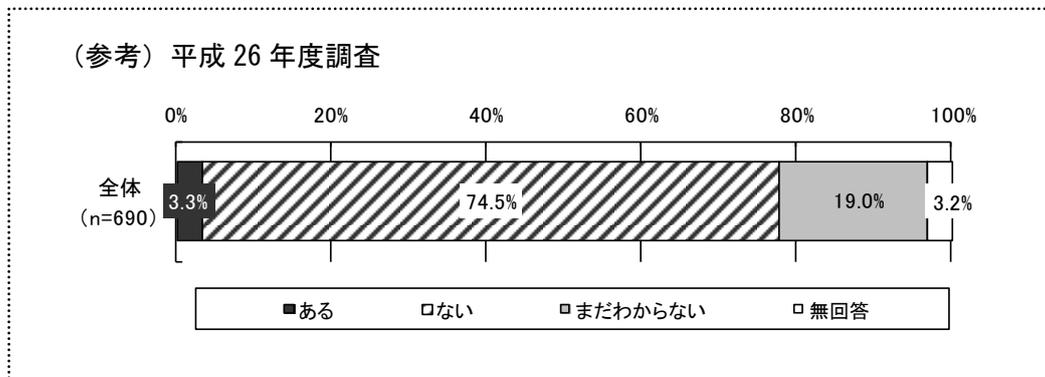
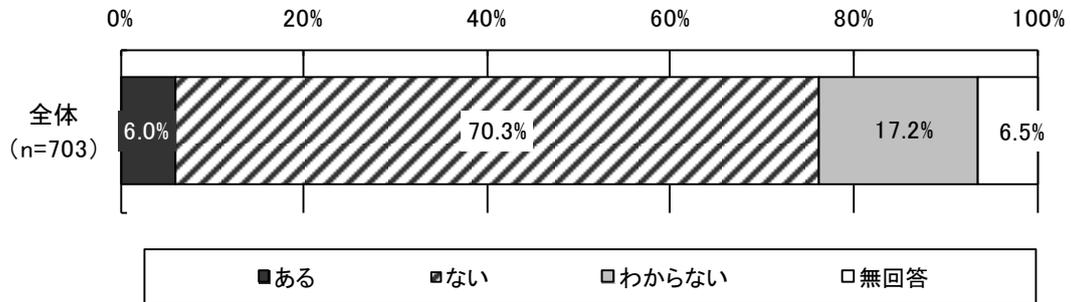
(参考) 平成 26 年度調査

|               | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|---------------|------|------|------|
| 新指標のカットオフ値(%) | 65.8 | 10.1 | 66.3 |

- (注)・平成 26 年 9 月 1 か月間について算出。
- ・無回答を除く 648 施設を集計対象とした。

⑥新指標で算出する際の問題点の有無

図表 23 新指標で算出する際の問題点の有無



(3) 取り扱い処方せん状況

① 1週間の取り扱い処方せん枚数の状況

図表 24 1週間の取り扱い処方せん枚数 (n=671)

|  | 平均値   | 標準偏差  | 中央値   |
|--|-------|-------|-------|
| ①受け付けた処方せん枚数(枚)                                    | 299.9 | 228.5 | 251.0 |
| ②先発医薬品(準先発品)名で処方され、変更不可となっている医薬品が1品目でもある処方せんの枚数(枚) | 51.1  | 110.1 | 6.0   |
| ③後発医薬品名で処方され、変更不可となっている医薬品が1品目でもある処方せんの枚数(枚)       | 19.1  | 65.7  | 1.0   |
| ②/①(%)   | 17.0% |       |       |
| ③/①(%)   | 6.4%  |       |       |

(注) 平成27年7月24日(金)～7月30日(木)の取り扱い処方せん枚数について回答があった671施設を集計対象とした。

(参考) 平成26年度調査

|  | 平均値   | 標準偏差  | 中央値   |
|--|-------|-------|-------|
| ①受け付けた処方せん枚数(枚)                                    | 311.4 | 249.5 | 251.0 |
| ②先発医薬品(準先発品)名で処方され、変更不可となっている医薬品が1品目でもある処方せんの枚数(枚) | 60.2  | 124.3 | 7.0   |
| ③後発医薬品名で処方され、変更不可となっている医薬品が1品目でもある処方せんの枚数(枚)       | 19.8  | 68.3  | 1.0   |
| ②/①(%)   | 19.3% |       |       |
| ③/①(%)   | 6.4%  |       |       |

(注) 平成26年11月6日(木)～11月12日(水)の取り扱い処方せん枚数について回答があった646施設を集計対象とした。

② 1週間の取り扱い処方せん枚数の内訳

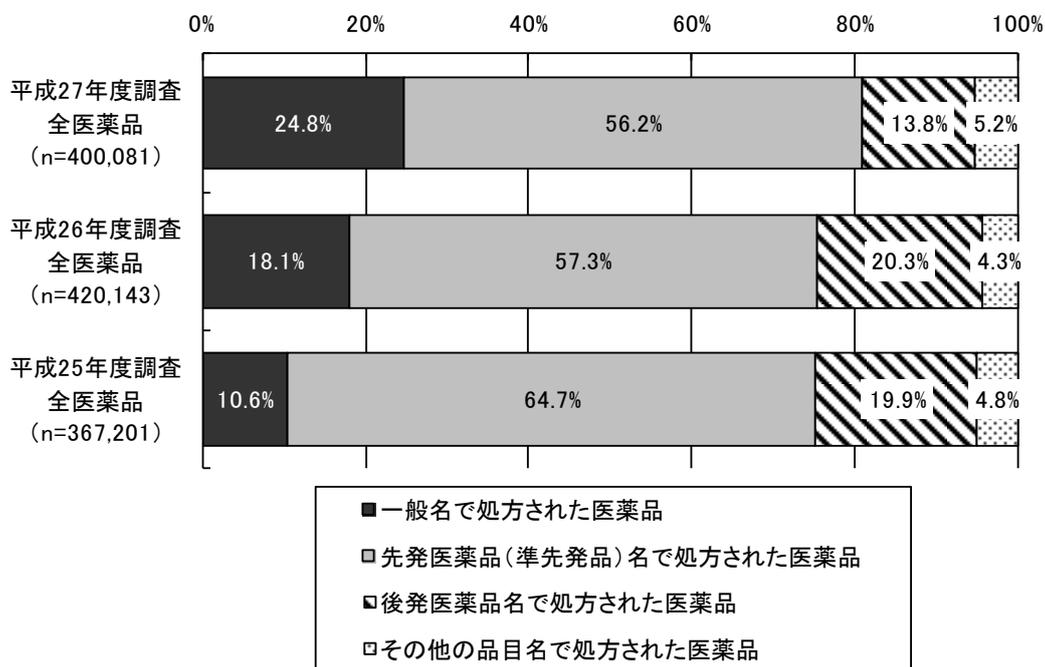
図表 25 1週間の取り扱い処方せんに記載された医薬品の品目数と対応状況別品目数  
(581 薬局、総処方せん 169,699 枚に記載された 400,081 品目数)

|  | (今回調査)  |        | (参考)   |
|--|---------|--------|--------|
|  | 品目数     | 割合     | 前回調査   |
| ①一般名で処方された医薬品の品目数  | 99,297  | 24.8%  | 18.1%  |
| ②後発医薬品を選択した医薬品の品目数   | 72,519  | 18.1%  | 12.8%  |
| ③先発医薬品(準先発品を含む)を選択した医薬品の品目数                                  | 26,778  | 6.7%   | 5.3%   |
| ④先発医薬品(準先発品)名で処方された医薬品の品目数                                   | 224,723 | 56.2%  | 57.3%  |
| ⑤「変更不可」となっていない医薬品の品目数  | 177,516 | 44.4%  | 41.9%  |
| ⑥先発医薬品を後発医薬品に変更した医薬品の品目数                                     | 32,522  | 8.1%   | 7.6%   |
| ⑦先発医薬品を調剤した医薬品の品目数   | 144,994 | 36.2%  | 34.3%  |
| ⑧後発医薬品が薬価収載されていないため、後発医薬品に変更できなかった医薬品の品目数                    | 63,628  | 15.9%  | 14.8%  |
| ⑨外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった医薬品の品目数                   | 3,901   | 1.0%   | 0.9%   |
| ⑩患者が希望しなかったため、後発医薬品に変更できなかった医薬品の品目数(過去に確認済みの場合を含む)           | 49,118  | 12.3%  | 11.6%  |
| ⑪後発医薬品名で処方された医薬品の品目数   | 55,271  | 13.8%  | 20.3%  |
| ⑫「変更不可」となっている医薬品の品目数   | 8,792   | 2.2%   | 9.1%   |
| ⑬その他(漢方製剤など、先発医薬品・準先発品・後発医薬品のいずれにも該当しない医薬品)の品目名で処方された医薬品の品目数 | 20,790  | 5.2%   | 4.3%   |
| ⑭処方せんに記載された医薬品の品目数の合計  | 400,081 | 100.0% | 100.0% |

(注)・平成 27 年 7 月 24 日(金)～7 月 30 日(木)に取り扱った処方せん枚数及び品目数内訳について回答があった 581 施設を集計対象とした。581 薬局のうち、期間中の処方せん枚数が不明であった薬局が 2 施設あったため、総処方せん枚数は 579 薬局分である。

・前回調査分は平成 26 年 11 月 6 日(木)～11 月 12 日(水)を調査期間とし、546 薬局、総処方せん 164,393 枚に記載された 420,143 品目数の内訳。

図表 26 1週間の取り扱い処方せんに記載された医薬品の内訳（品目ベース）



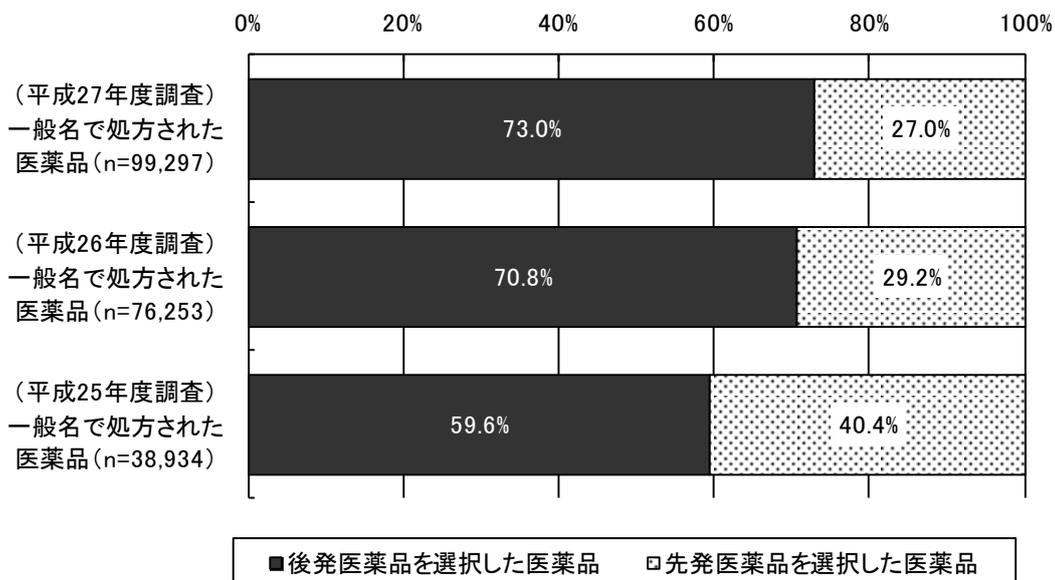
(注)・対象は以下のとおり（以下、同様）。

- 平成 27 年度調査：581 施設、1 週間（平成 27 年 7 月 24 日～7 月 30 日）の取り扱い処方せん枚数の総数は 169,699 枚、処方せん記載の医薬品品目数の総数は 400,081 品目
- 平成 26 年度調査：546 施設、1 週間（平成 26 年 11 月 6 日～11 月 12 日）の取り扱い処方せん枚数の総数は 164,393 枚、処方せん記載の医薬品品目数の総数は 420,143 品目
- 平成 25 年度調査：324 施設、1 週間（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日）の取り扱い処方せん枚数の総数は 101,928 枚、処方せん記載の医薬品品目数の総数は 367,201 品目。
- ・「その他の品目名で処方された医薬品」とは、漢方製剤など、先発医薬品・準先発品・後発医薬品のいずれにも該当しない医薬品。

③後発医薬品への変更割合等（品目ベース）

1) 一般名で処方された医薬品における後発医薬品を選択した割合

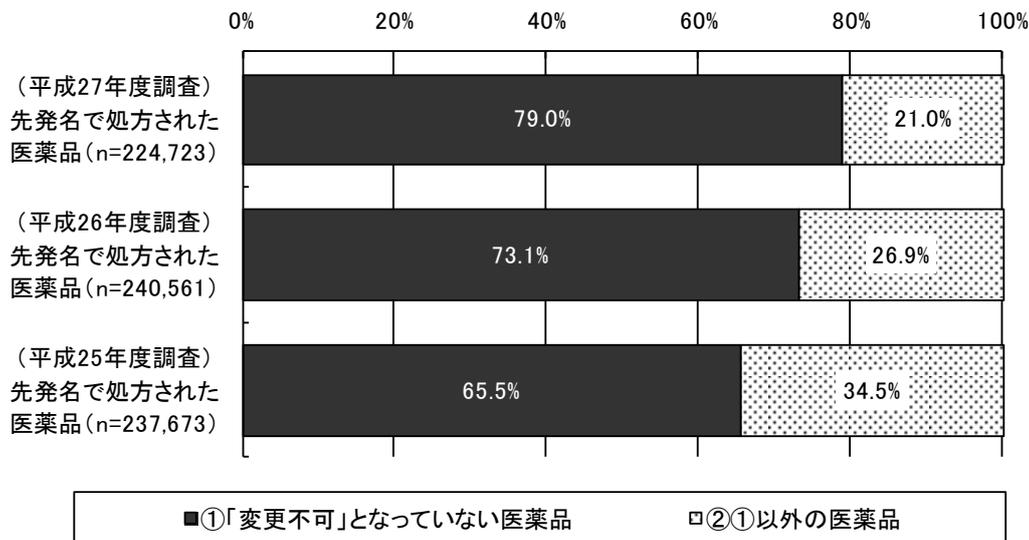
図表 27 一般名で処方された医薬品における、後発医薬品の調剤状況



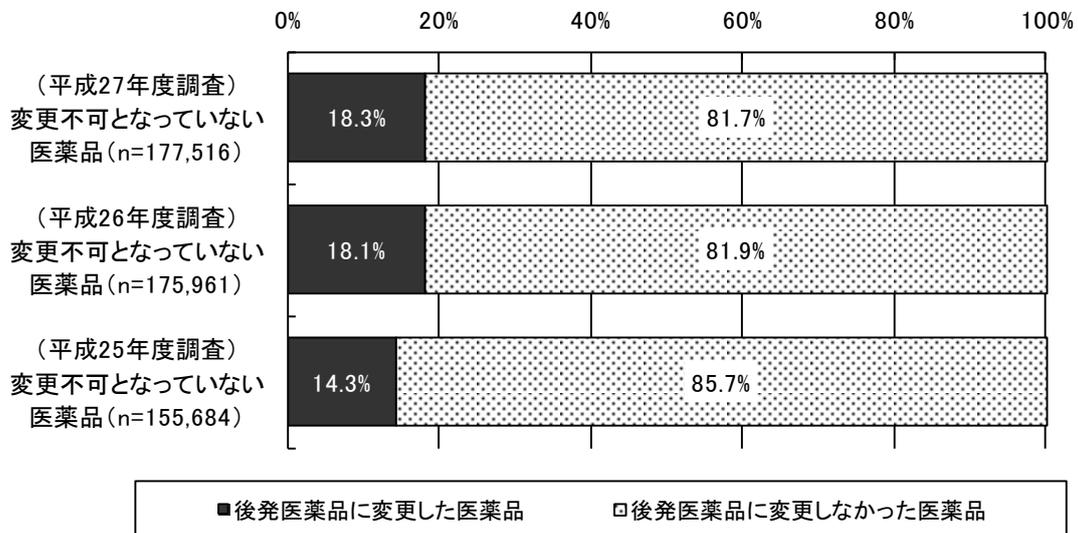
(注) 「先発医薬品」には、準先発品も含まれる。

2) 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品における「変更不可」の状況

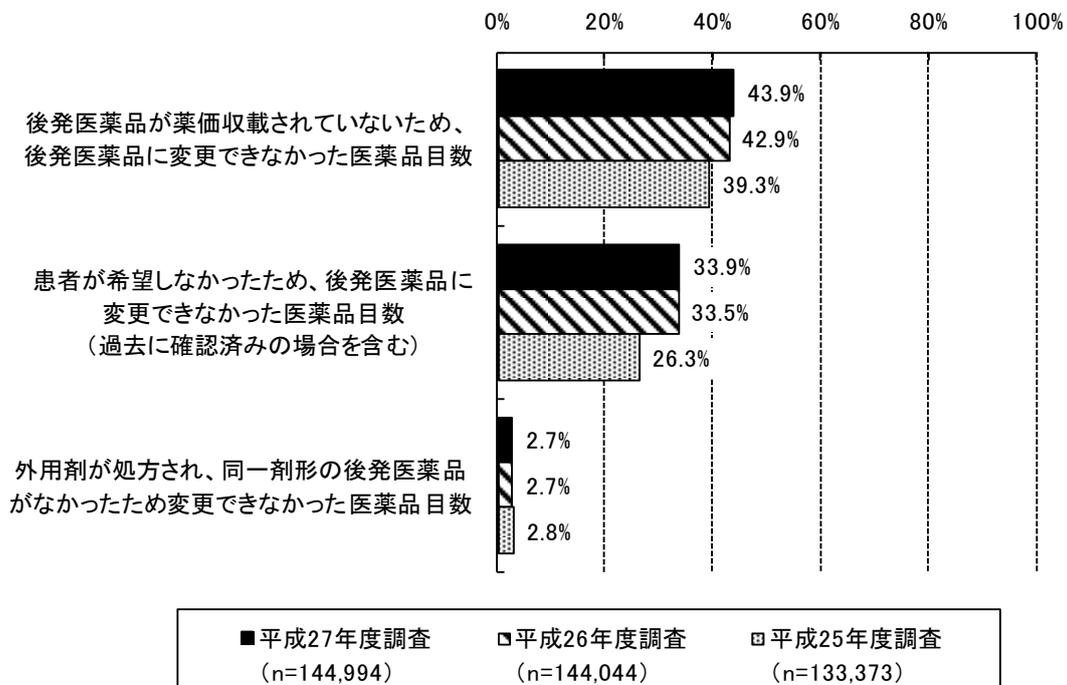
図表 28 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品における「変更不可」の状況



図表 29 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品で「変更不可」となっていない  
 医薬品における、後発医薬品に変更した医薬品の割合



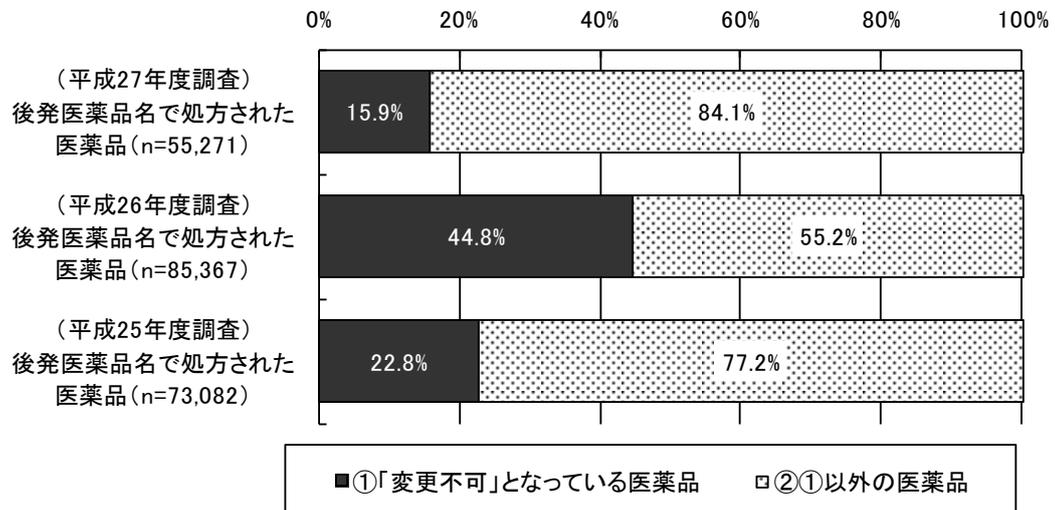
図表 30 先発医薬品名で処方され「変更不可」となっていない医薬品のうち、  
 先発医薬品を調剤した医薬品について、後発医薬品を調剤しなかった理由  
 (複数回答)



(注) n数は、先発医薬品名で処方され「変更不可」となっていない医薬品のうち、先発医薬品を調剤した医薬品の品目数。

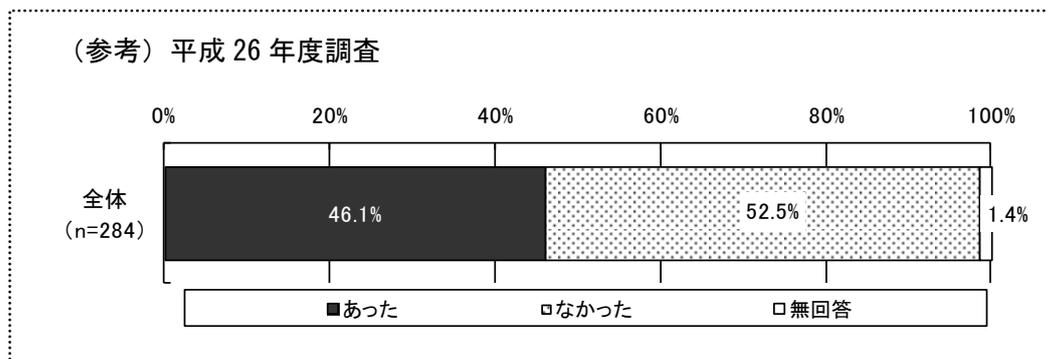
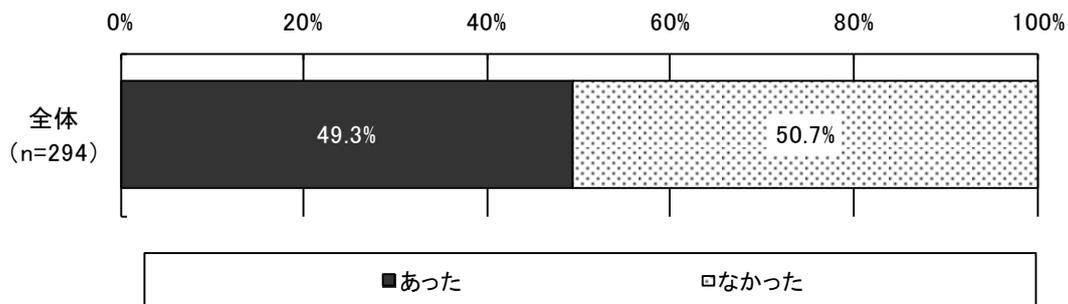
3) 後発医薬品名で処方された医薬品における「変更不可」の状況

図表 31 後発医薬品名で処方された医薬品における「変更不可」の状況



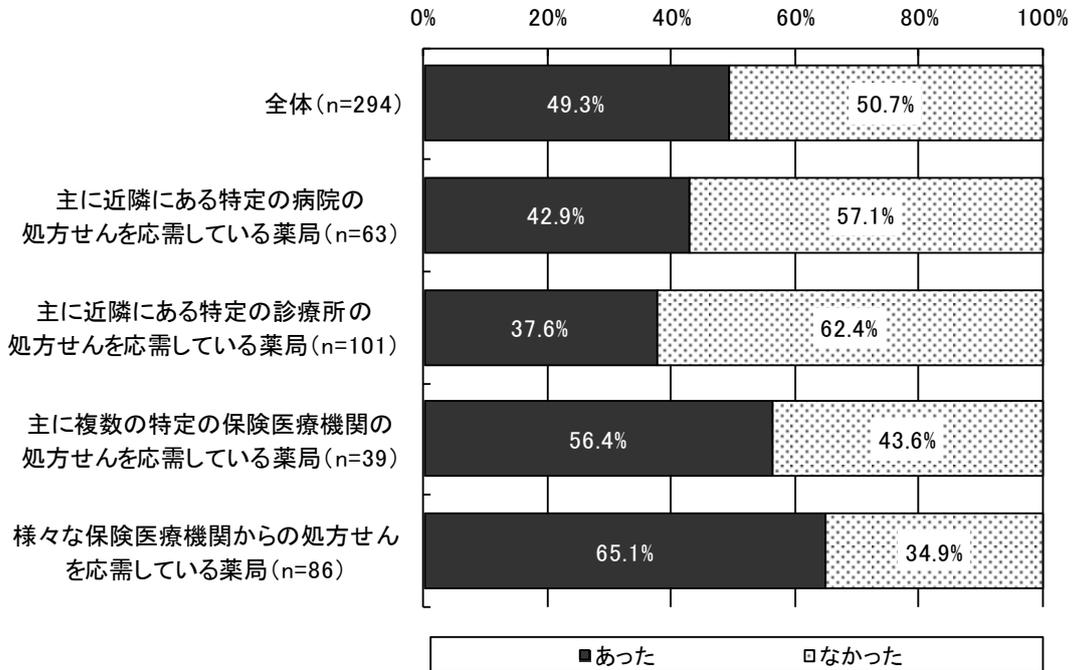
④変更不可の後発医薬品が処方されることによる、調剤を行う上での問題等

図表 32 変更不可の後発医薬品が処方されることによる、調剤を行う上での問題の有無  
 (平成 27 年 7 月 24 日～7 月 30 日 1 週間に取り扱った処方せんに 1 品目でも他の後発医薬品への変更不可となっている医薬品があった薬局、n=294)



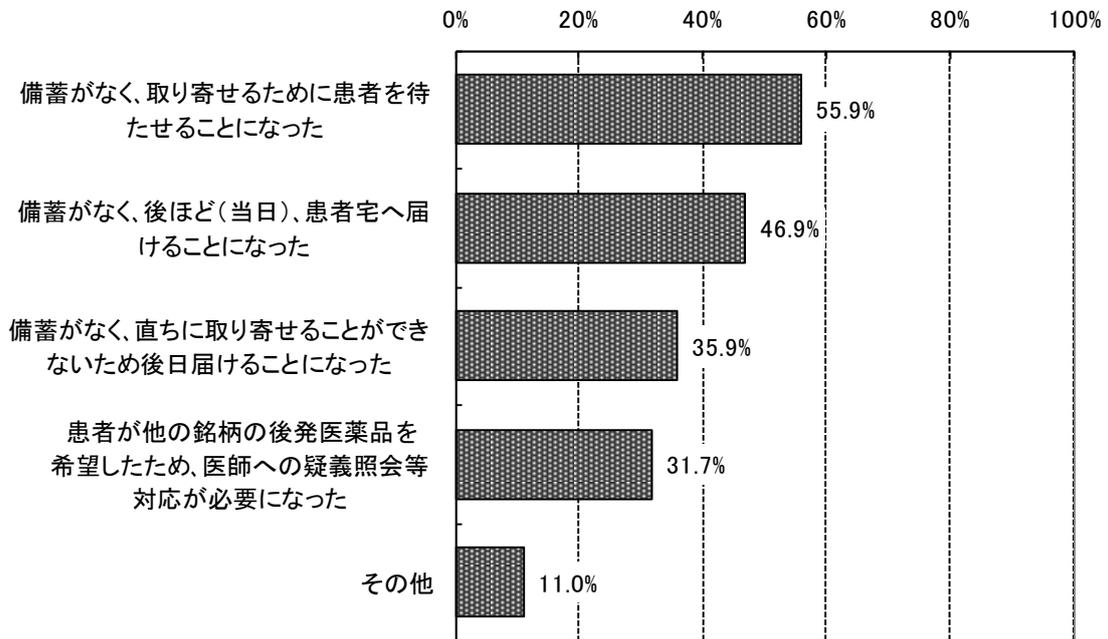
図表 33 変更不可の後発医薬品が処方されることによる、調剤を行う上での問題の有無  
(処方せんの応需状況別)

(平成 27 年 7 月 24 日～7 月 30 日 1 週間に取り扱った処方せんに 1 品目でも他の後発医薬品への変更不可となっている医薬品があった薬局、n=294)



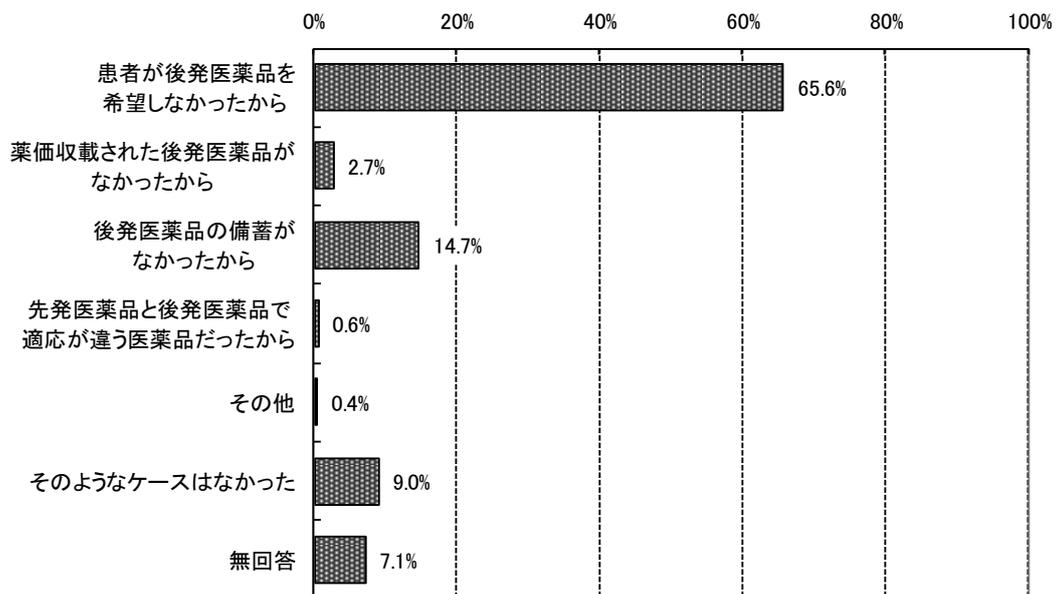
(注) 「全体」には、処方せんの応需状況について無回答であった 1 施設が含まれる。

図表 34 変更不可の後発医薬品が処方されることによる、調剤を行う上での問題  
(問題があったと回答した薬局、複数回答、n=145)



⑤一般名処方の処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケースについての最も多い理由

図表 35 一般名処方の処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケースについての最も多い理由(平成27年7月24日~7月30日の1週間、単数回答、n=703)



(4) 後発医薬品の備蓄状況・廃棄額等

① 医薬品の備蓄品目数

図表 36 医薬品の備蓄品目数 (n=440)

|                 |      | 平成 26 年 6 月<br>または把握可能な<br>26 年度の末日時点 | 平成 27 年 6 月<br>または把握可能な<br>直近の末日時点 | 増加率   |
|-----------------|------|---------------------------------------|------------------------------------|-------|
| 医薬品全品目数(A)      | 平均値  | 961.3                                 | 1,000.7                            | 4.1%  |
|                 | 標準偏差 | 456.5                                 | 474.0                              |       |
|                 | 中央値  | 858.5                                 | 904.5                              |       |
| うち、後発医薬品の品目数(B) | 平均値  | 233.0                                 | 260.4                              | 11.8% |
|                 | 標準偏差 | 152.5                                 | 158.4                              |       |
|                 | 中央値  | 200.0                                 | 227.0                              |       |
| うち、バイオ後続品       | 平均値  | 0.0                                   | 0.1                                | 93.3% |
|                 | 標準偏差 | 0.5                                   | 0.9                                |       |
|                 | 中央値  | 0.0                                   | 0.0                                |       |
| (B) / (A)       | 平均値  | 24.2%                                 | 26.0%                              |       |
|                 | 中央値  | 23.3%                                 | 25.1%                              |       |

(注) 医薬品の備蓄品目数、在庫金額、購入金額、廃棄額の全ての項目について回答のあった 440 施設を集計対象とした。

図表 37 1つの先発医薬品(同一規格)に対する後発医薬品の平均備蓄品目数 (n=540)

|                             | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|-----------------------------|-----|------|-----|
| 1つの先発医薬品に対する後発医薬品の備蓄品目数(品目) | 1.3 | 3.2  | 1.0 |

(注) 1つの先発医薬品に対する後発医薬品の平均備蓄品目数について回答のあった 540 施設を集計対象とした。

②医薬品の在庫金額・購入金額・廃棄額

図表 38 医薬品の在庫金額及び廃棄額（末日時点または1か月分、n=440）

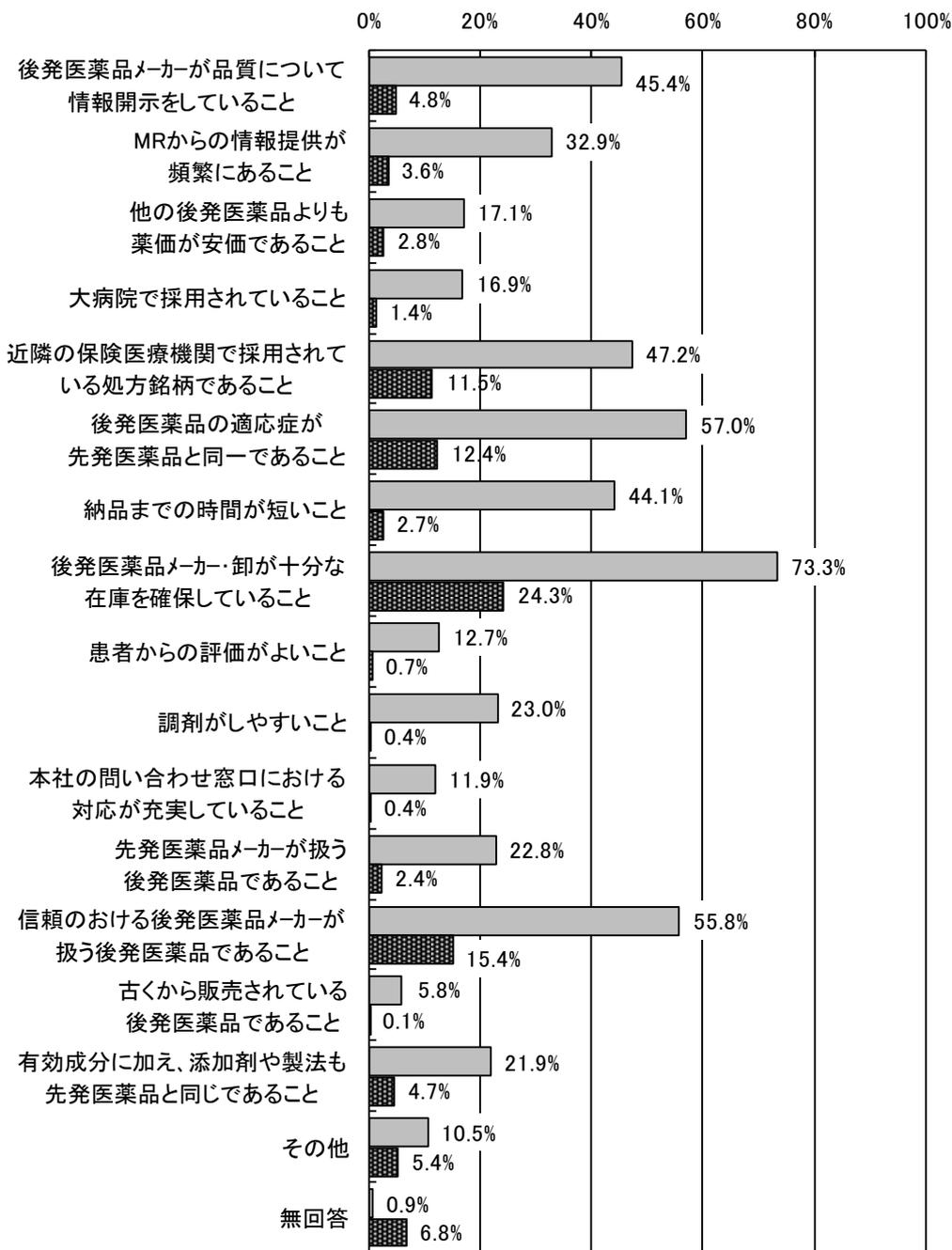
|             |          |      | 平成 26 年 6 月<br>または把握可能な<br>26 年度の末日時点 | 平成 27 年 6 月<br>または把握可能な<br>直近の末日時点 | 増加率   |
|-------------|----------|------|---------------------------------------|------------------------------------|-------|
| 在庫金額<br>(円) | 医薬品全品目   | 平均値  | 8,852,083.0                           | 9,164,726.8                        | 3.5%  |
|             |          | 標準偏差 | 9,545,955.8                           | 10,195,870.9                       |       |
|             |          | 中央値  | 5,945,000.0                           | 6,038,446.5                        |       |
|             | うち、後発医薬品 | 平均値  | 1,109,985.6                           | 1,310,368.3                        | 18.1% |
|             |          | 標準偏差 | 1,036,816.3                           | 1,277,110.8                        |       |
|             |          | 中央値  | 772,639.0                             | 917,592.0                          |       |
| 購入金額<br>(円) | 医薬品全品目   | 平均値  | 8,056,488.2                           | 8,714,021.4                        | 8.2%  |
|             |          | 標準偏差 | 10,436,434.1                          | 11,214,078.1                       |       |
|             |          | 中央値  | 5,200,000.0                           | 5,545,380.0                        |       |
|             | うち、後発医薬品 | 平均値  | 1,098,843.7                           | 1,280,108.9                        | 16.5% |
|             |          | 標準偏差 | 1,189,270.1                           | 1,397,051.2                        |       |
|             |          | 中央値  | 730,062.5                             | 837,180.0                          |       |
| 廃棄額<br>(円)  | 医薬品全品目   | 平均値  | 24,428.0                              | 26,478.0                           | 8.4%  |
|             |          | 標準偏差 | 70,290.6                              | 55,769.8                           |       |
|             |          | 中央値  | 5,535.0                               | 10,000.0                           |       |
|             | うち、後発医薬品 | 平均値  | 4,894.3                               | 5,413.0                            | 10.6% |
|             |          | 標準偏差 | 15,424.8                              | 14,825.3                           |       |
|             |          | 中央値  | 320.5                                 | 600.0                              |       |

(注) 医薬品の備蓄品目数、在庫金額、購入金額、廃棄額の全ての項目について回答のあった 440 施設を集計対象とした。

(5) 後発医薬品への対応状況

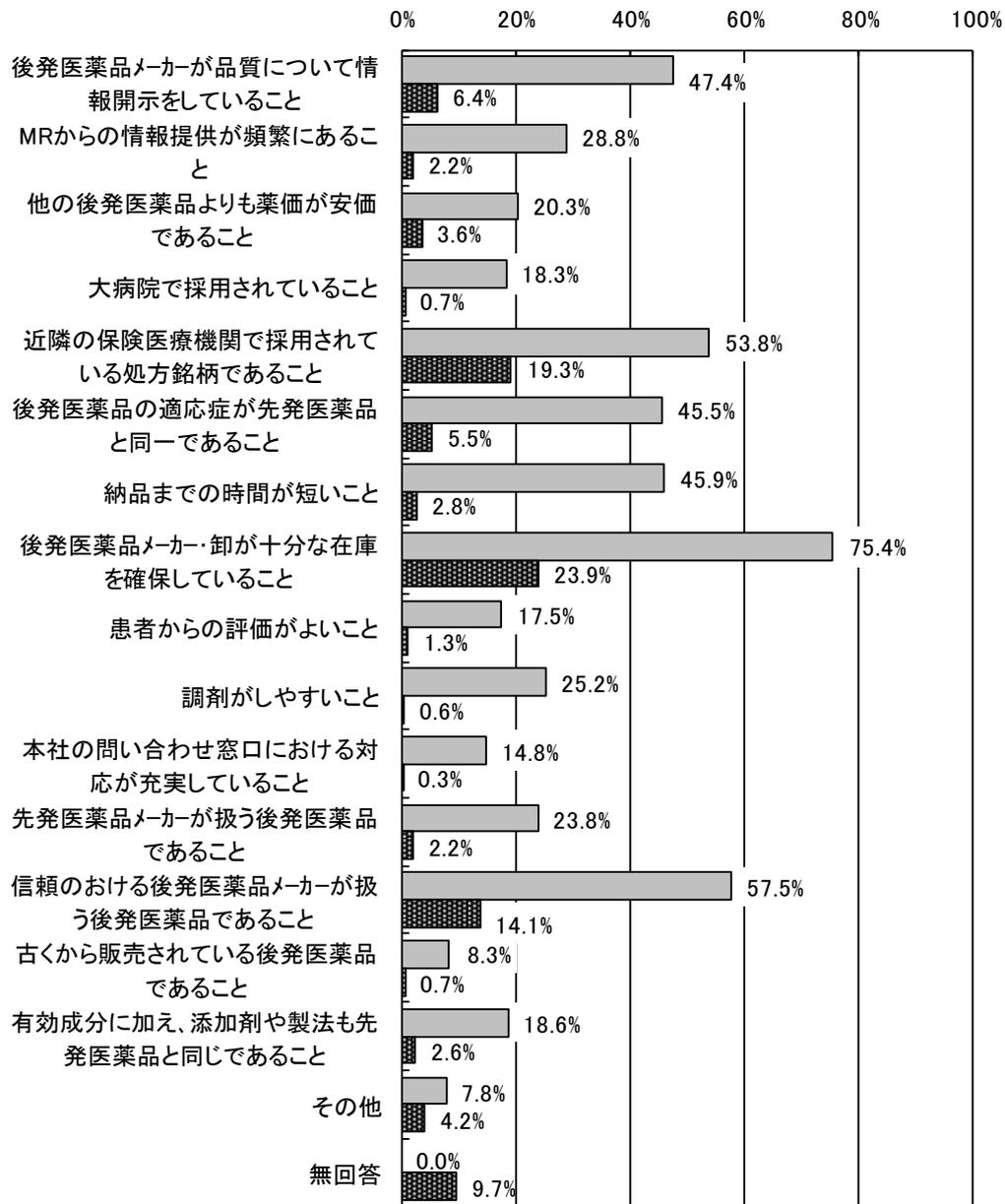
①後発医薬品の採用基準

図表 39 後発医薬品の採用基準



□ 重要なもの(複数回答、n=703)      ■ 最も重要なもの(単数回答、n=703)

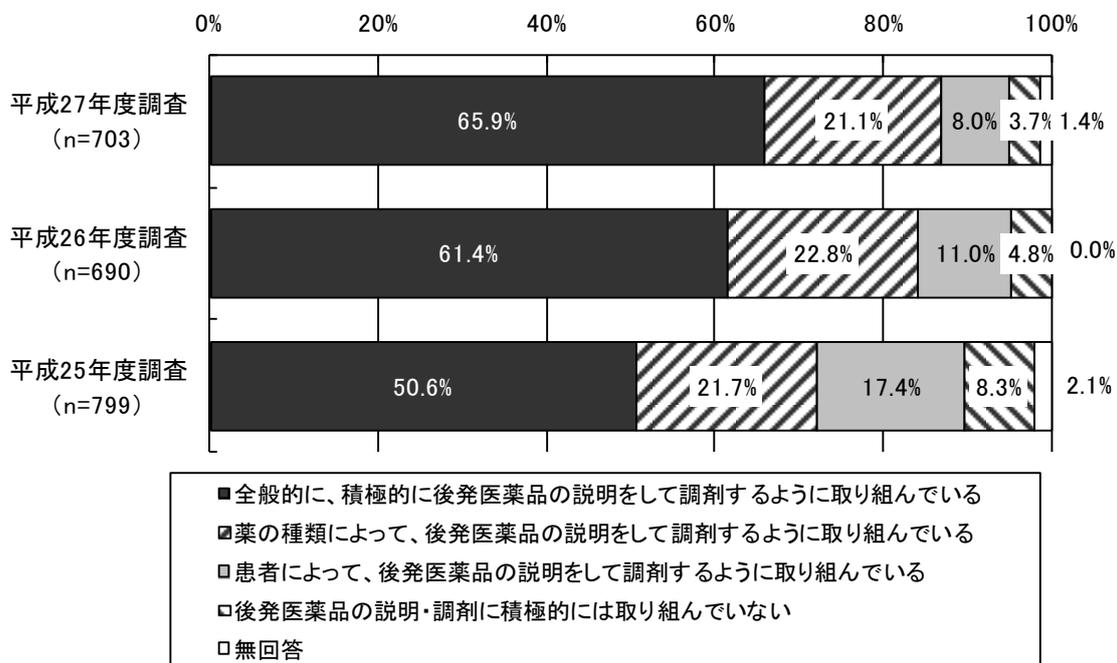
(参考) 平成 26 年度調査



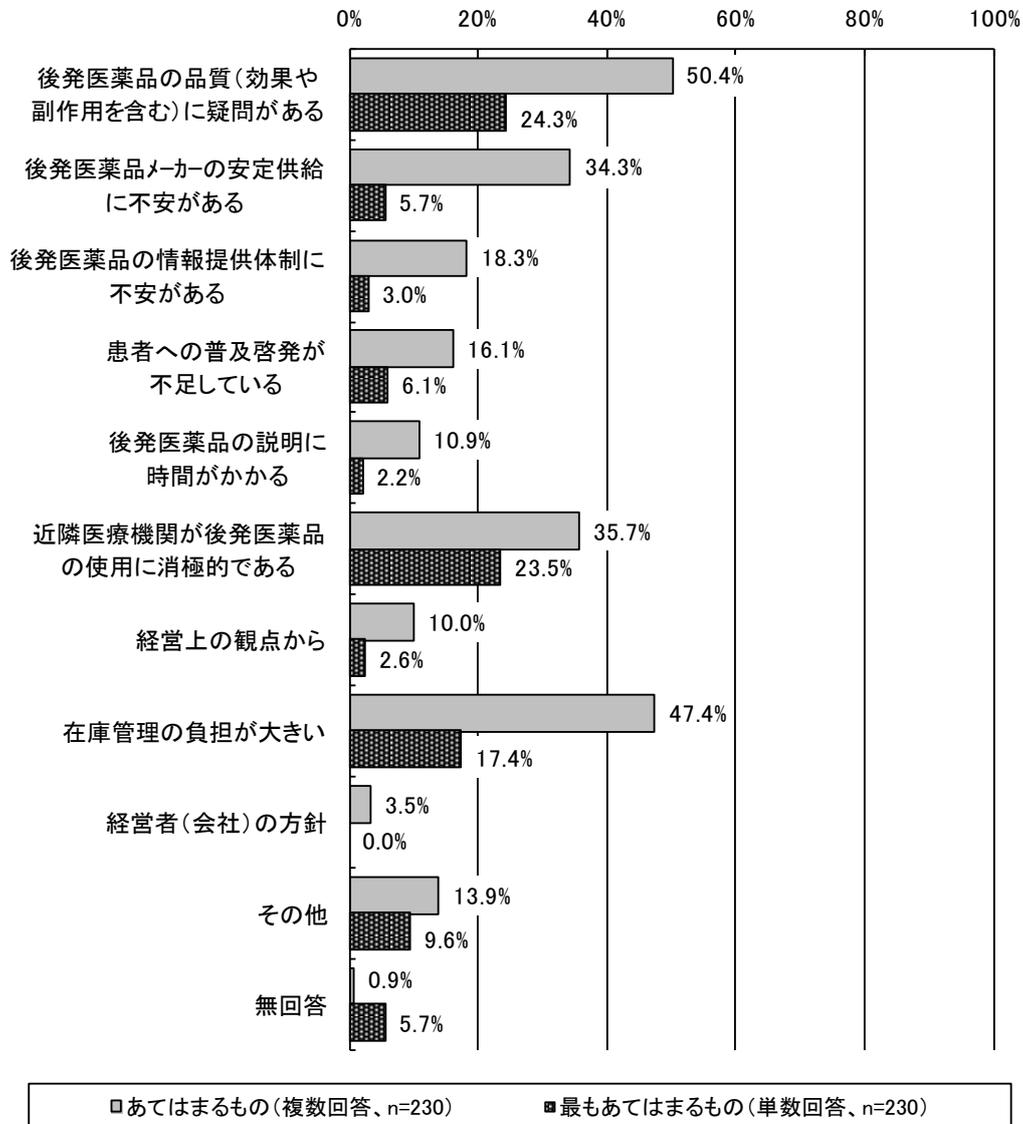
□ 重要なもの(複数回答、n=690)    ■ 最も重要なもの(単数回答、n=690)

②後発医薬品の調剤に関する考え

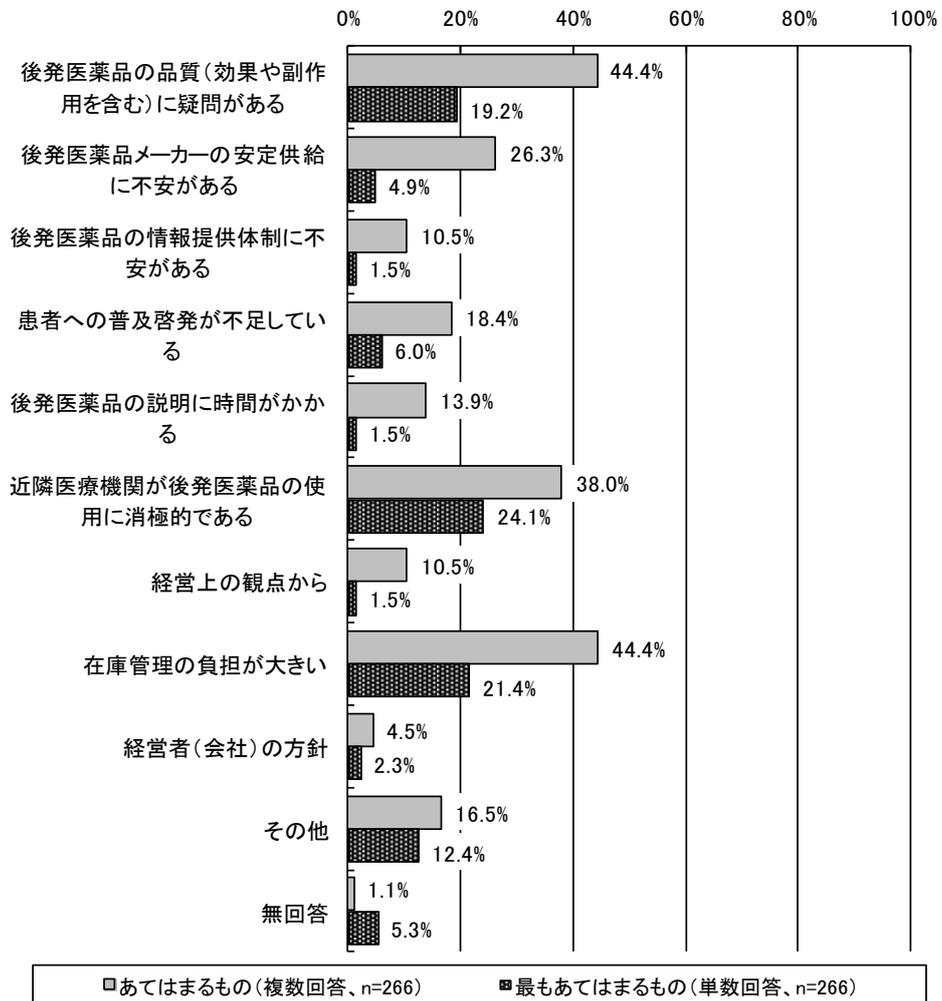
図表 40 後発医薬品の調剤に関する考え



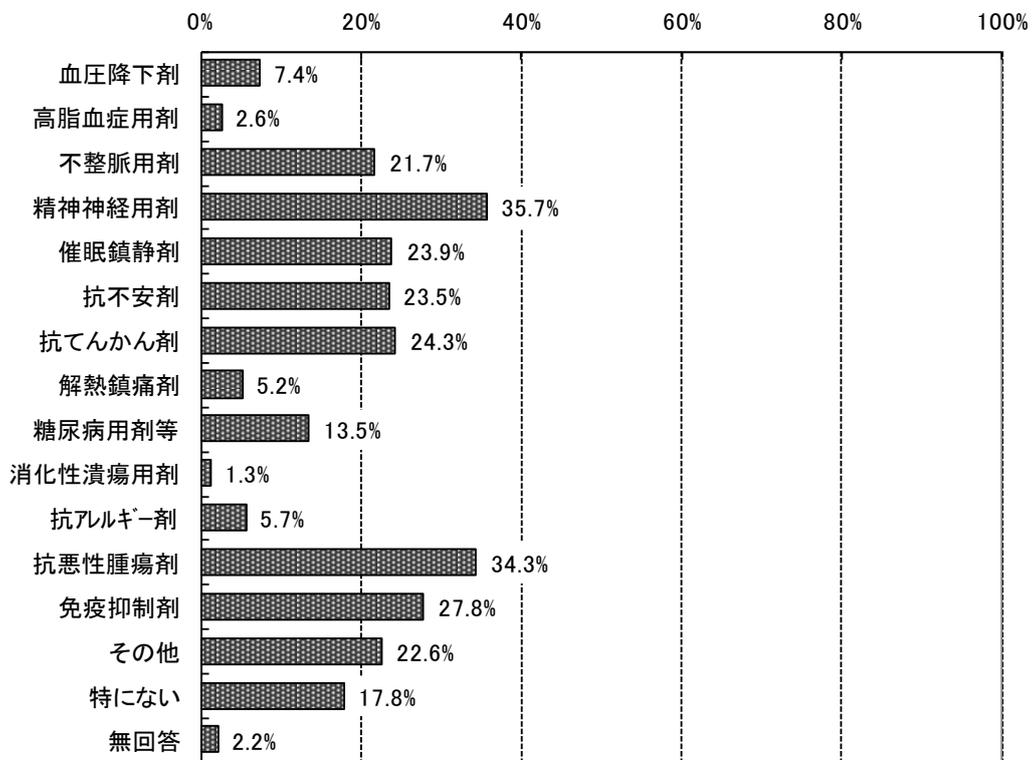
図表 41 あまり積極的には取り組んでいない理由  
 (「全般的に、後発医薬品の説明をして、調剤するように取り組んでいる」と回答した薬局以外の薬局、n=230)



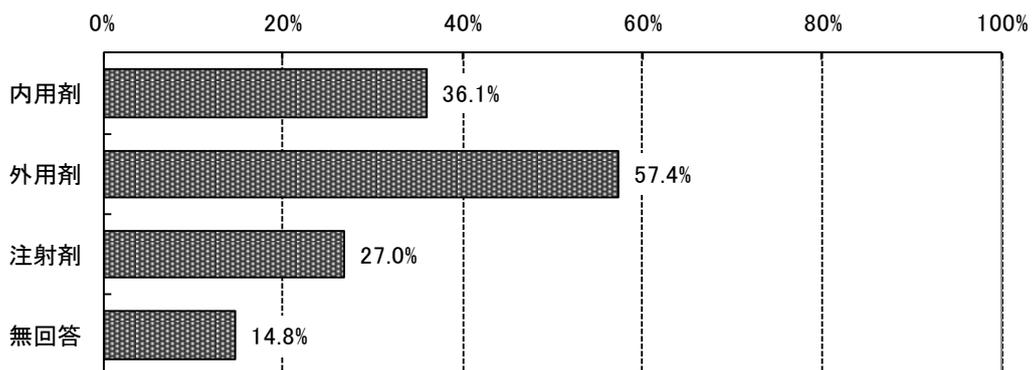
(参考) 平成 26 年度調査



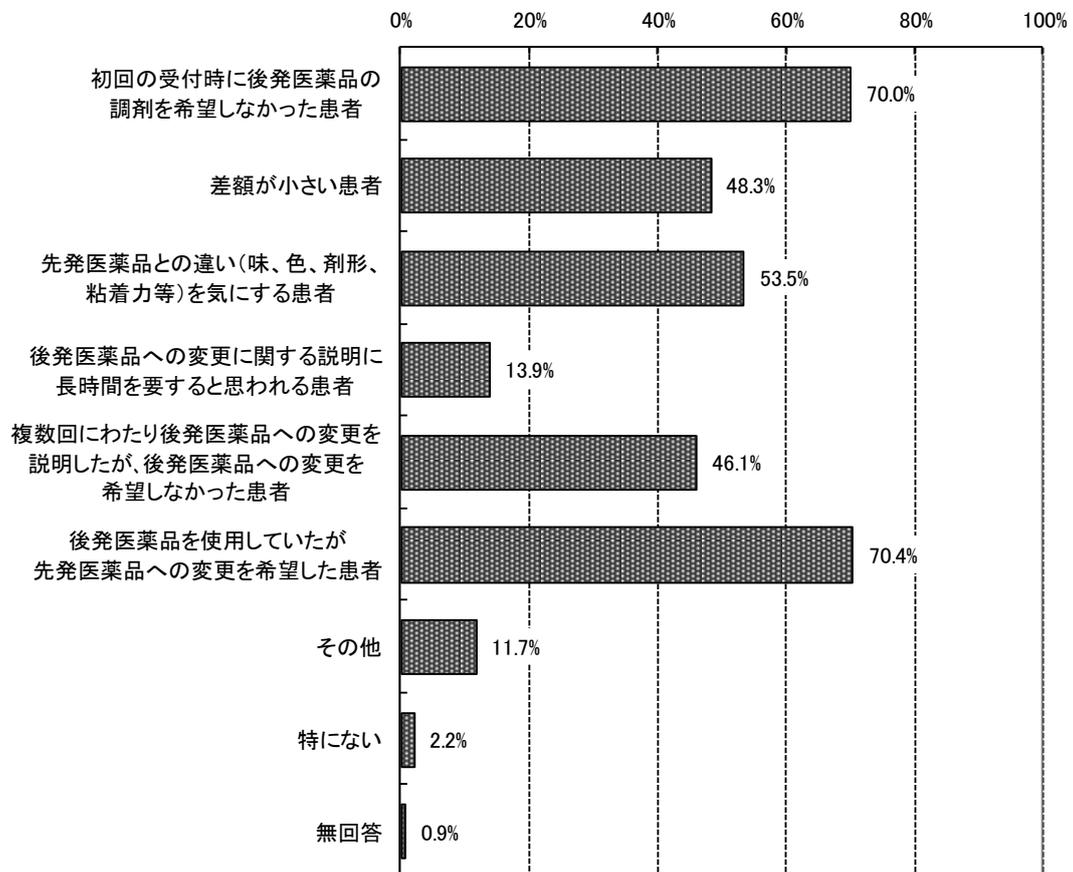
図表 42 後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の種類  
 (「全般的に、後発医薬品の説明をして調剤するように取り組んでいる」と回答した薬局以外の薬局、複数回答、n=230)



図表 43 後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の剤形  
 (「全般的に、後発医薬品の説明をして調剤するように取り組んでいる」と回答した薬局以外の薬局、複数回答、n=230)

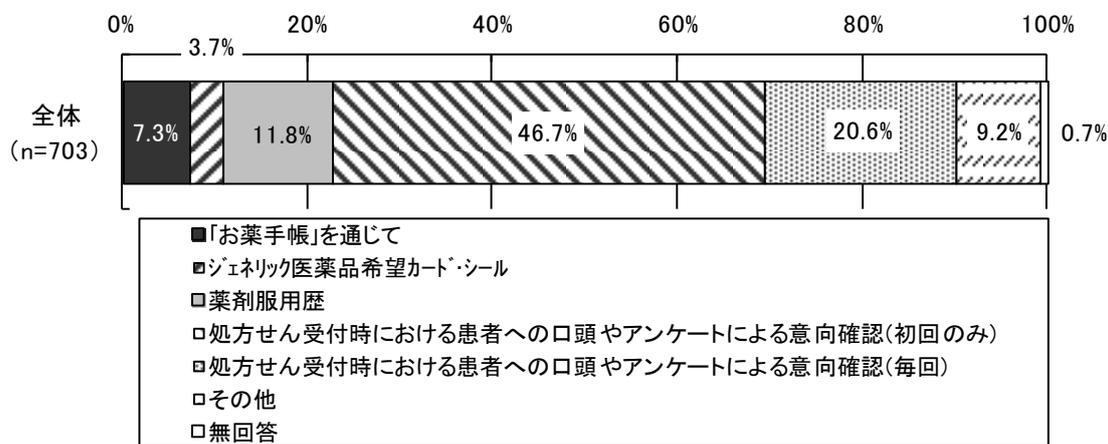


図表 44 後発医薬品を積極的に調剤していない患者の特徴  
 (「全般的に、後発医薬品の説明をして調剤するように取り組んでいる」と回答した薬局以外の薬局、複数回答、n=230)



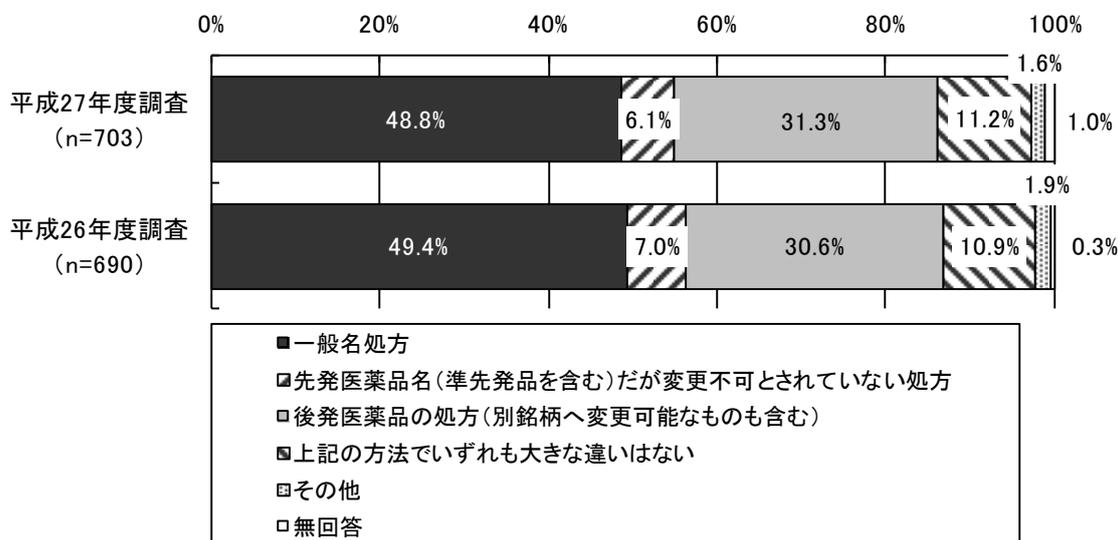
③後発医薬品使用に関する患者の意向を把握する手段

図表 45 後発医薬品使用に関する患者の意向を把握する手段として最も多く利用しているもの



④後発医薬品への変更・選択において患者の理解を最も得られやすい処方方法

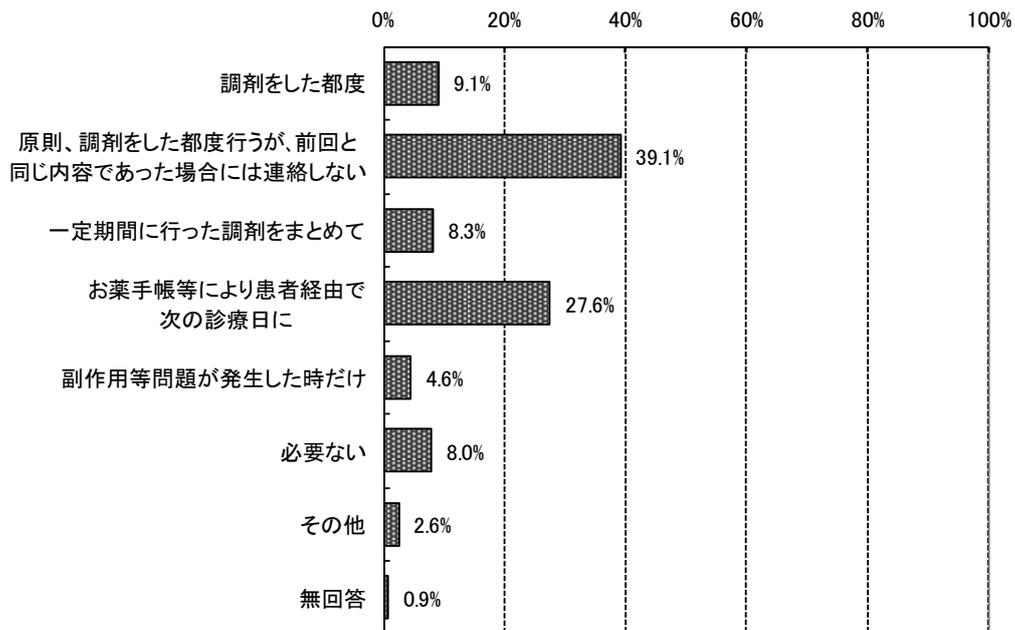
図表 46 後発医薬品への変更・選択において患者の理解を最も得られやすい処方方法



⑤処方医への情報提供等

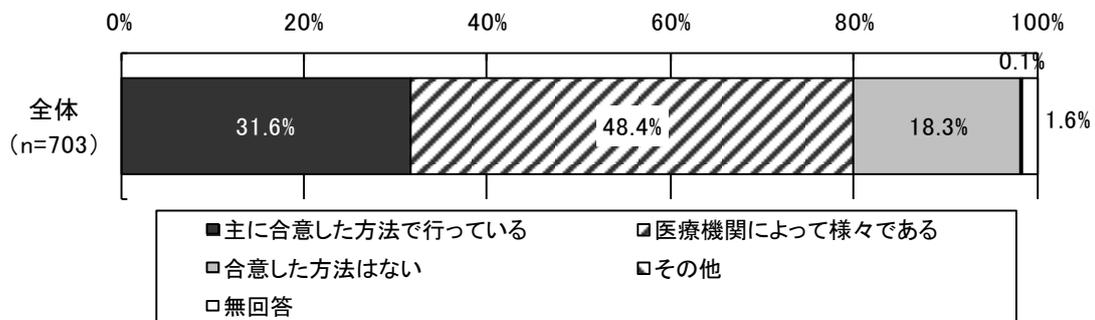
1) 一般名処方の調剤・後発医薬品への変更調剤に関する、処方医への情報提供のタイミング

図表 47 一般名処方の調剤・後発医薬品への変更調剤に関する、処方医への情報提供のタイミング（単数回答、n=703）



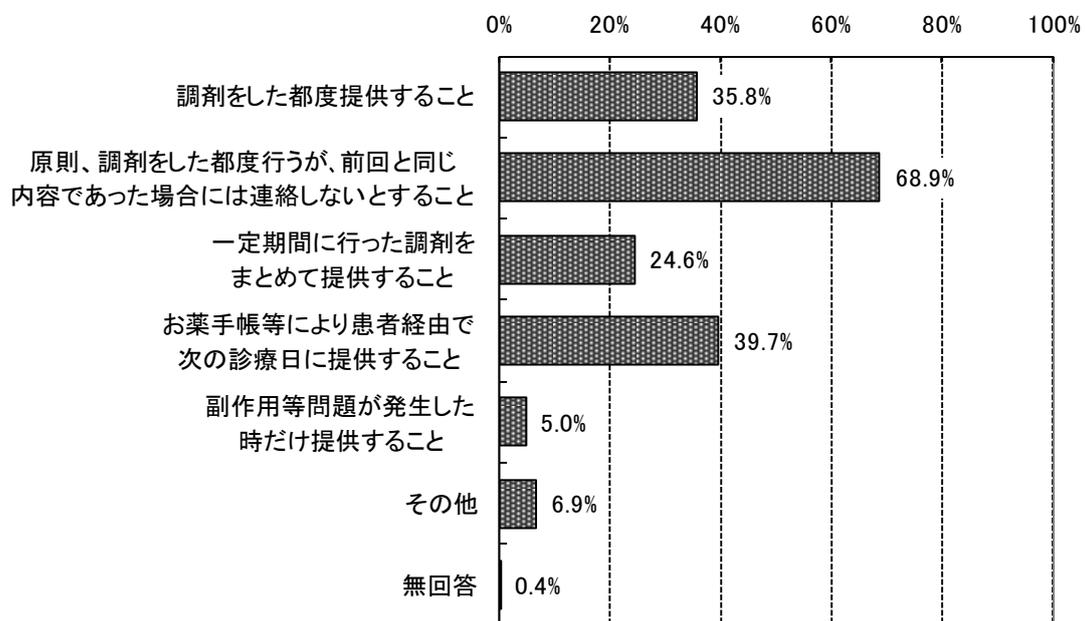
2) 一般名処方調剤・後発医薬品への変更調剤に関する情報提供の頻度等について、医療機関と予め合意した方法で行っているか

図表 48 一般名処方調剤・後発医薬品への変更調剤に関する情報提供の頻度等について、医療機関と予め合意した方法で行っているか



図表 49 医療機関と合意した方法

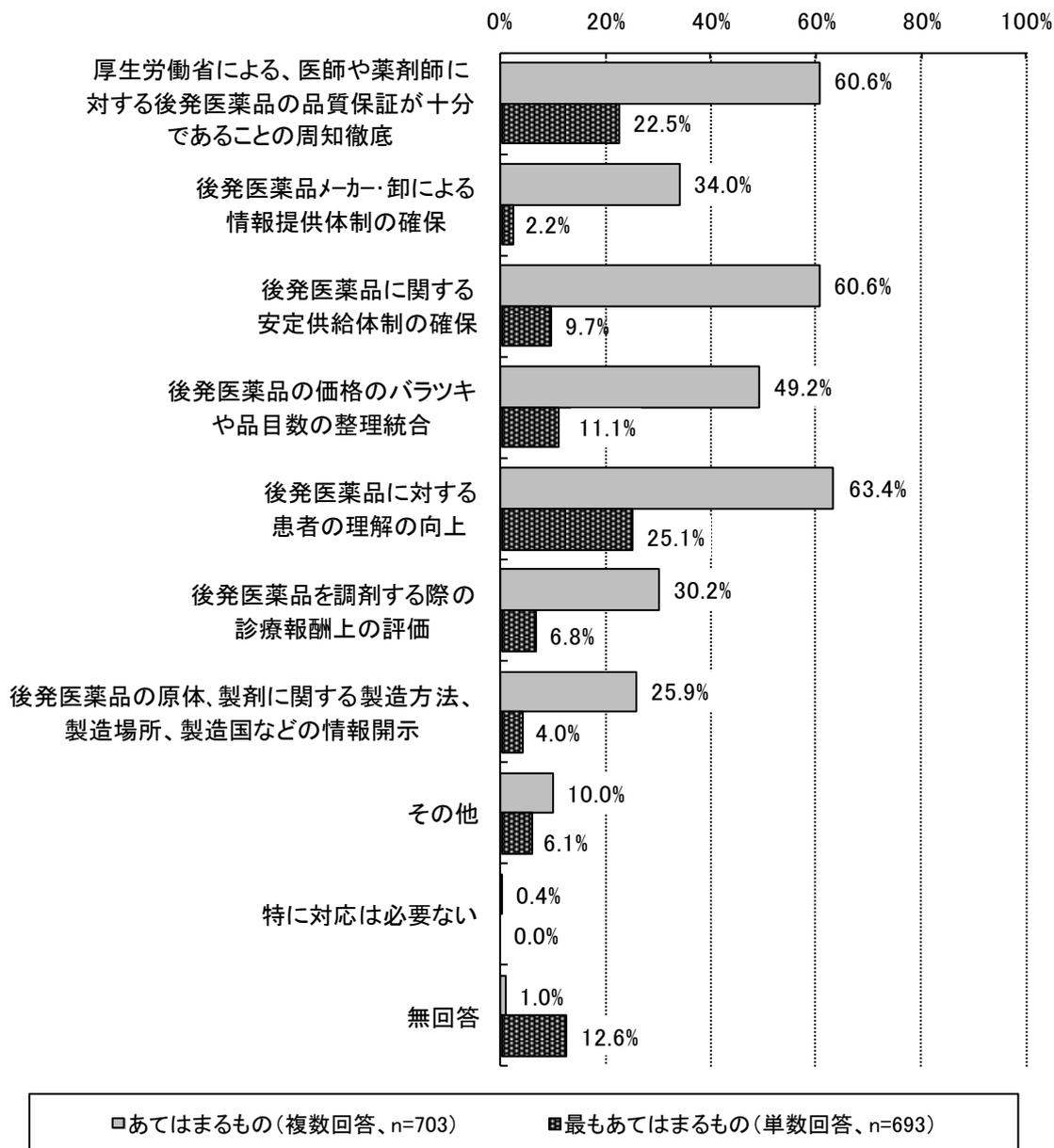
(「主に合意した方法で行っている」「医療機関によって様々である」と回答した薬局、複数回答、n=562)



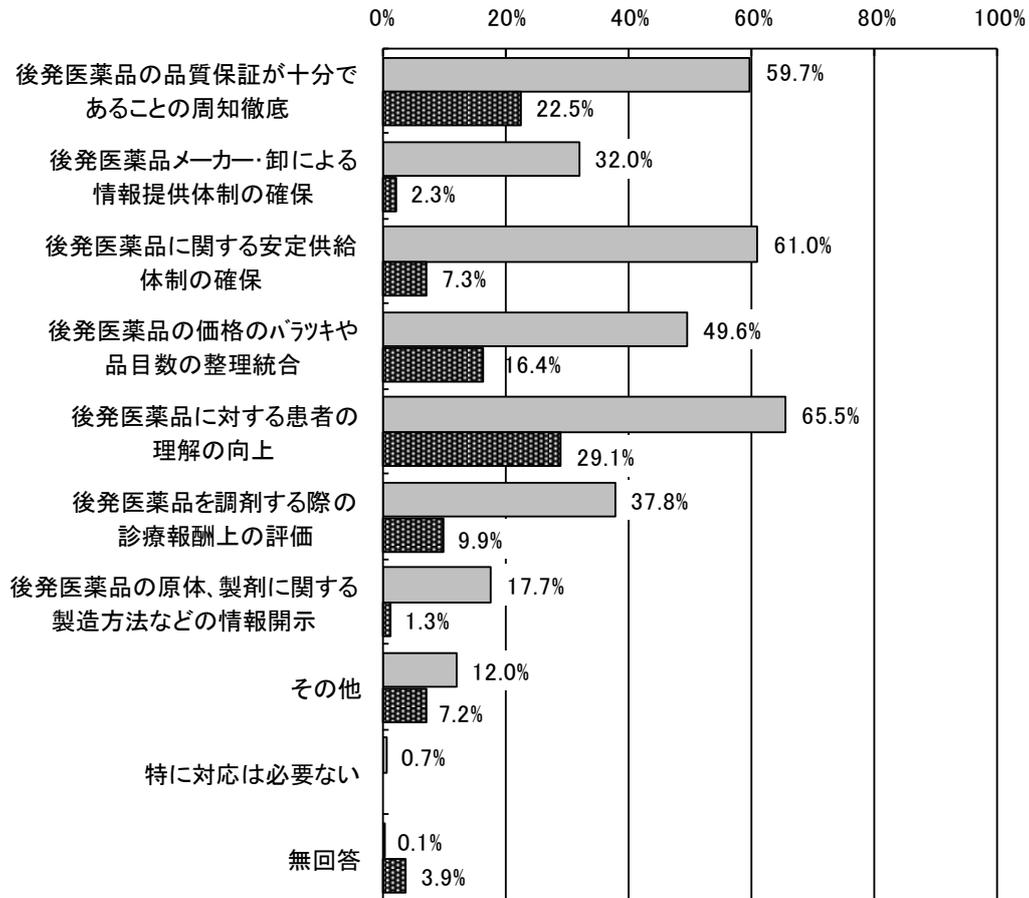
(6) 後発医薬品使用にあたっての問題点・課題・要望等

①薬局の開設者・管理者の立場として後発医薬品の調剤を積極的に進める上で必要な対応

図表 50 薬局の開設者・管理者の立場として後発医薬品の調剤を積極的に進める上で必要な対応



(参考) 平成 26 年度調査

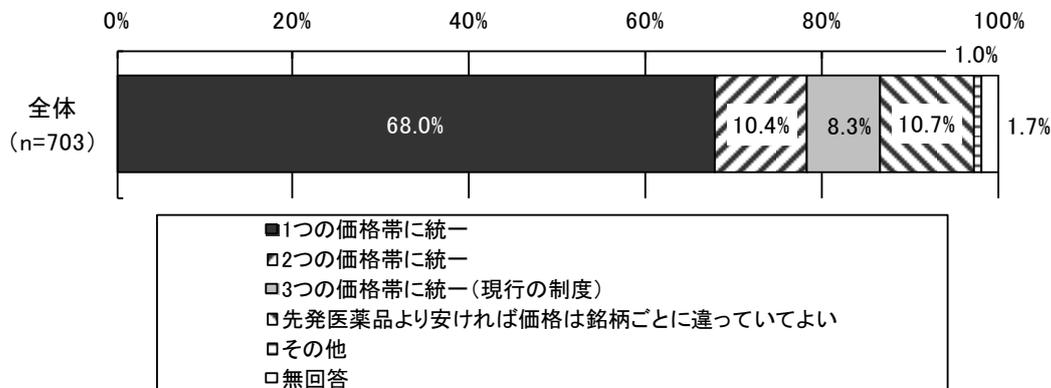


□あてはまるもの(複数回答、n=690)

■最もあてはまるもの(単数回答、n=684)

②後発医薬品の望ましい価格体系

図表 51 後発医薬品の望ましい価格体系



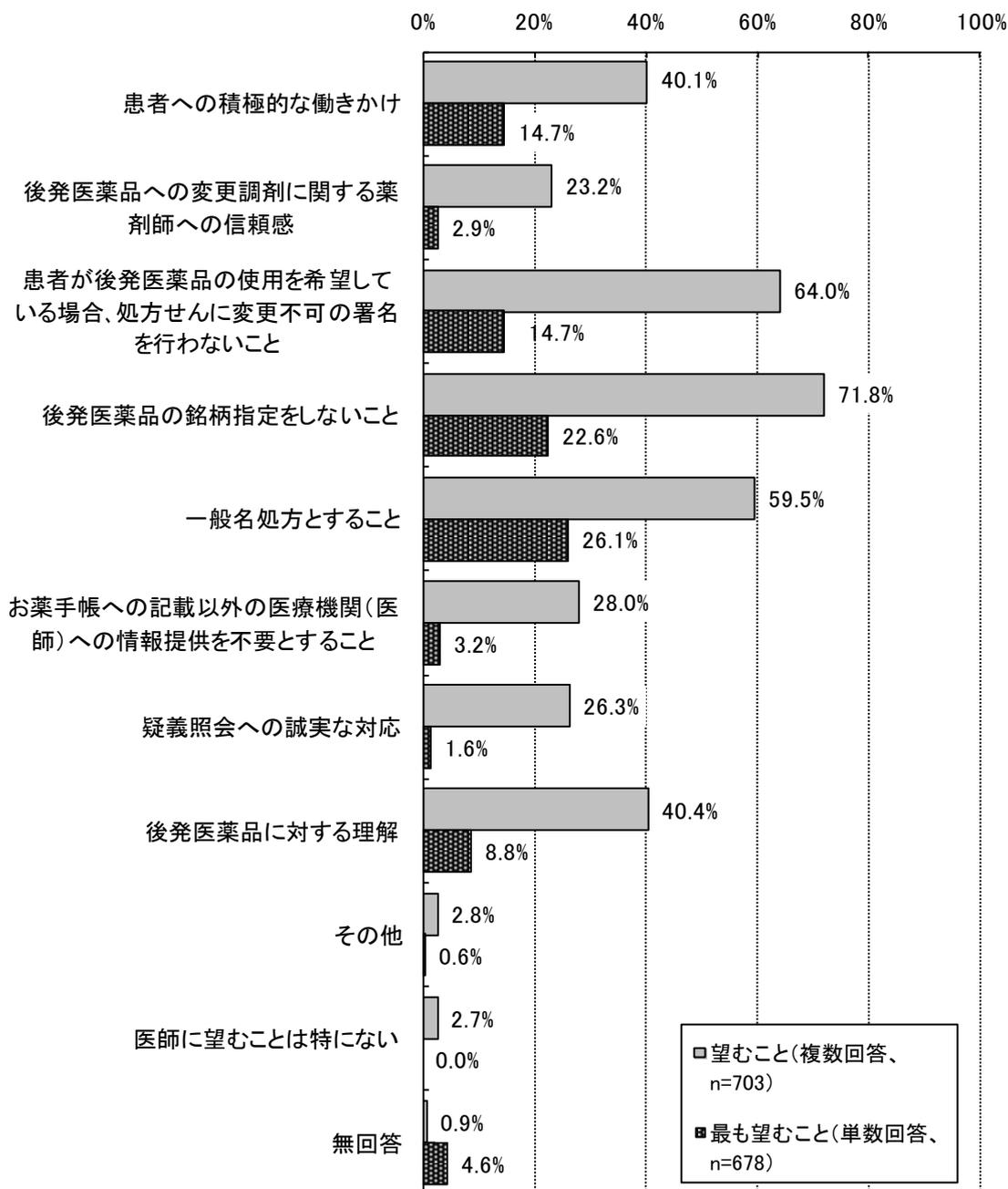
③後発医薬品の望ましい薬価水準

図表 52 後発医薬品の望ましい薬価水準 (先発医薬品と比較した場合の水準、n=633)

|                                | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|--------------------------------|------|------|------|
| 先発医薬品と比較した時の後発医薬品の薬価の適切な水準 (%) | 52.8 | 11.1 | 50.0 |

④後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと

図表 53 後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと



(7) 後発医薬品に変更して調剤した処方せん等に係る薬剤料の状況

図表 54 7/24~7/30 のうちの平均的な開局時間である 1 日に先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤または一般名処方の医薬品を後発医薬品で調剤した処方せん (10,309 枚) の状況

|   | (今回調査) |         |       | (前回調査) |          |       |
|---|--------|---------|-------|--------|----------|-------|
|   | 平均値    | 標準偏差    | 中央値   | 平均値    | 標準偏差     | 中央値   |
| 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)                     | 811.9  | 1,441.6 | 390.0 | 762.4  | 1,767.54 | 348.0 |
| 実際に調剤した薬剤料(B)(点)                            | 633.2  | 1,270.3 | 280.0 | 634.5  | 1,675.63 | 270.0 |
| 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)(%) | 78.0%  |         | 71.8% | 83.2%  |          | 77.6% |

(注)「前回調査」の処方せん枚数は 11,175 枚 (平成 26 年 11 月 6 日から 11 月 12 日までの 1 週間分の処方せん)。

図表 55 7/24~7/30 のうちの平均的な開局時間である 1 日に先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤または一般名処方の医薬品を後発医薬品で調剤した処方せん (10,309 枚) の状況 (患者一部負担金割合別)

|   | 患者一部負担金割合 |       |         |       |       |       |
|---|-----------|-------|---------|-------|-------|-------|
|   | 全体        | 0 割   | 1 割     | 2 割   | 3 割   | 10 割  |
| 処方せん枚数(枚)                                   | 10,309    | 1,545 | 3,155   | 384   | 5,211 | 14    |
| 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)                     | 811.9     | 627.8 | 1,071.4 | 723.7 | 717.1 | 389.3 |
| 実際に調剤した薬剤料(B)(点)                            | 633.2     | 517.1 | 844.2   | 560.9 | 546.0 | 304.3 |
| 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)(%) | 78.0%     | 82.4% | 78.8%   | 77.5% | 76.1% | 78.2% |

図表 56 7/24~7/30 のうちの平均的な開局時間である 1 日に先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤した処方せん (4,965 枚) の状況 (患者一部負担金割合別)

|   | 患者一部負担金割合 |       |         |       |       |       |
|---|-----------|-------|---------|-------|-------|-------|
|   | 全体        | 0 割   | 1 割     | 2 割   | 3 割   | 10 割  |
| 処方せん枚数(枚)                                   | 4,965     | 638   | 1,590   | 159   | 2,573 | 5     |
| 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)                     | 1,018.4   | 801.3 | 1,332.1 | 979.3 | 882.6 | 101.2 |
| 実際に調剤した薬剤料(B)(点)                            | 784.1     | 644.6 | 1,042.2 | 720.4 | 664.6 | 75.8  |
| 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)(%) | 77.0%     | 80.5% | 78.2%   | 73.6% | 75.3% | 74.9% |

### 3. 診療所・病院・医師調査の結果

#### 【調査対象等】

##### ○診療所調査

調査対象：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した一般診療所

回答数：813 施設

回答者：開設者・管理者

##### ○病院調査

調査対象：全国の病院の中から無作為に抽出した病院

回答数：489 施設

回答者：開設者・管理者

##### ○医師調査

調査対象：上記「病院調査」の対象施設で外来診療を担当する医師

1施設につき、診療科の異なる医師2名

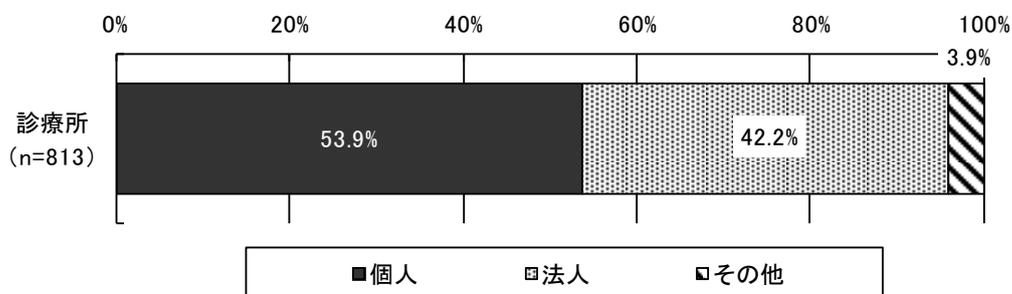
回答数：778人

#### (1) 施設の概要等

##### ①診療所の施設属性

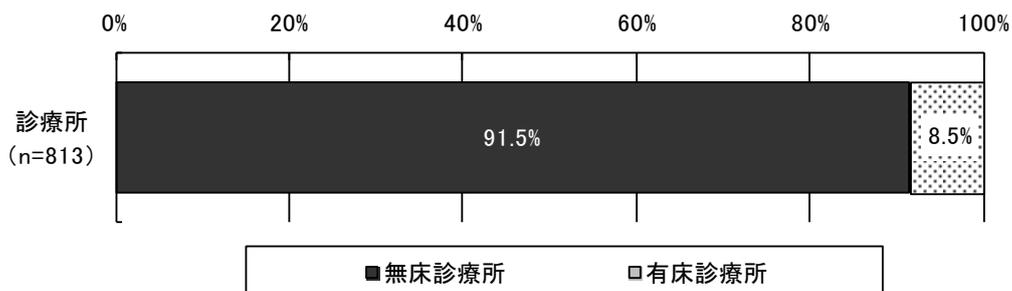
###### 1) 診療所の開設者

図表 57 診療所の開設者

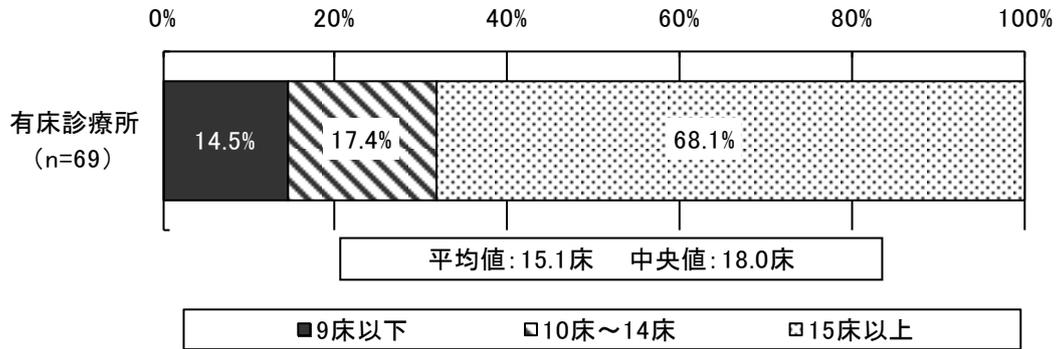


###### 2) 診療所の種別

図表 58 診療所の種別

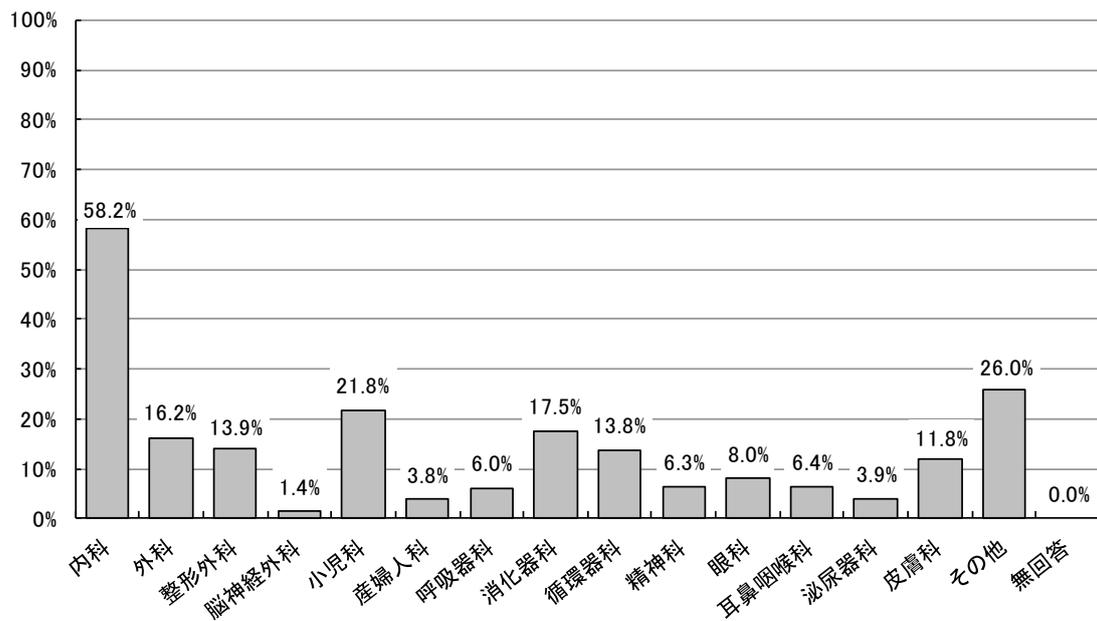


図表 59 有床診療所の病床規模



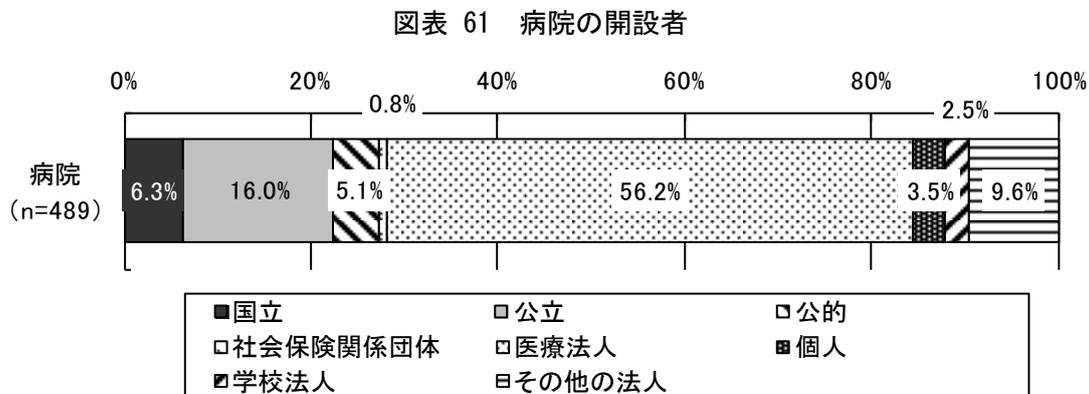
3) 診療所の標榜診療科

図表 60 診療所の標榜診療科 (複数回答、n=813)



## ②病院の施設属性

### 1) 病院の開設者



(注) 開設者は以下の通り。

国立：国、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人地域医療機能推進機構、国立大学法人

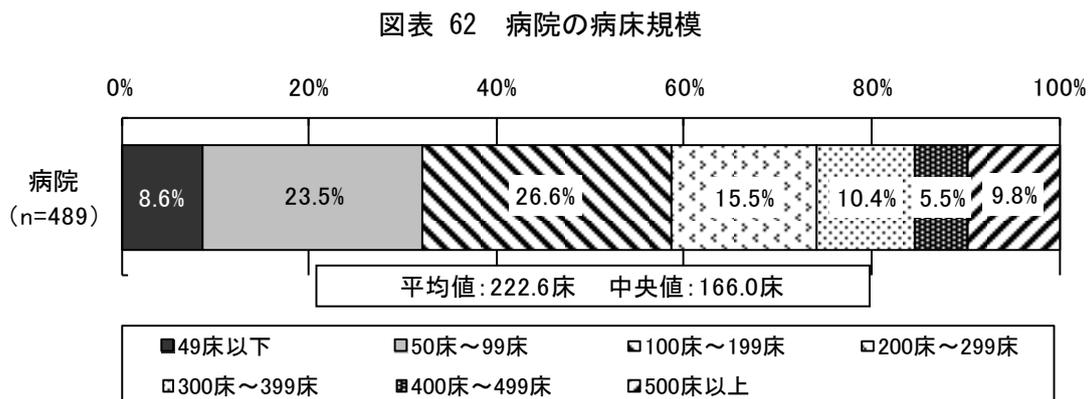
公立：都道府県、市町村、地方独立行政法人

公的：日本赤十字社、済生会、北海道社会事業協会、全国厚生農業協同組合連合会、国民健康保険団体連合会

社会保険関係団体：健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合

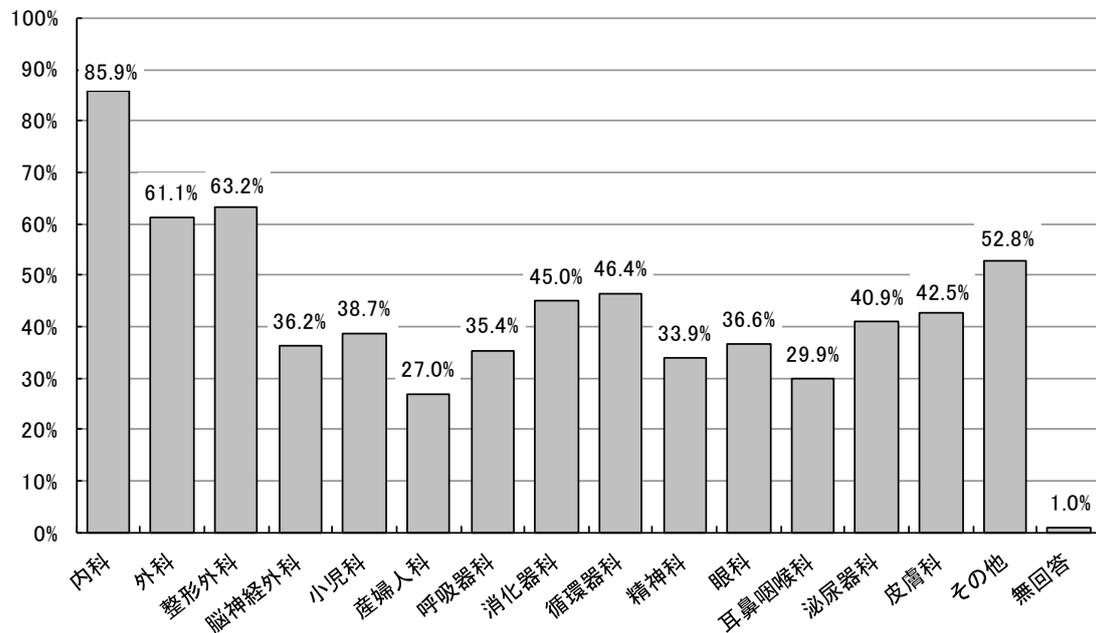
その他の法人：公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人

### 2) 病院の病床規模



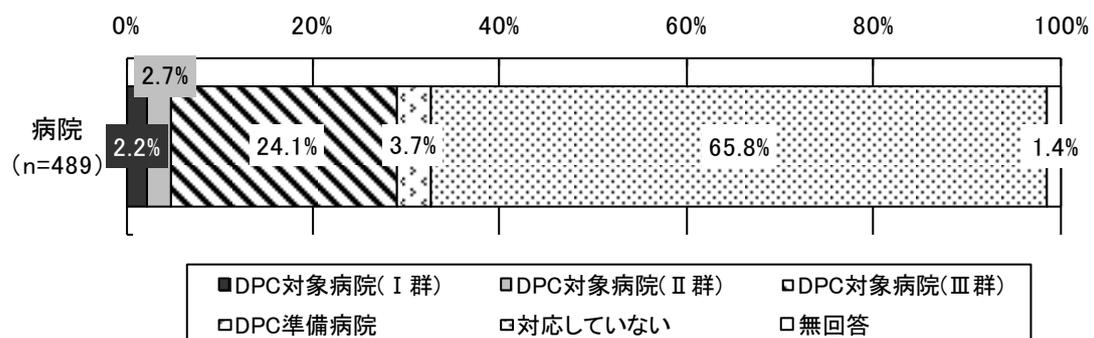
### 3) 病院の標榜診療科

図表 63 病院の標榜診療科（複数回答、n=489）



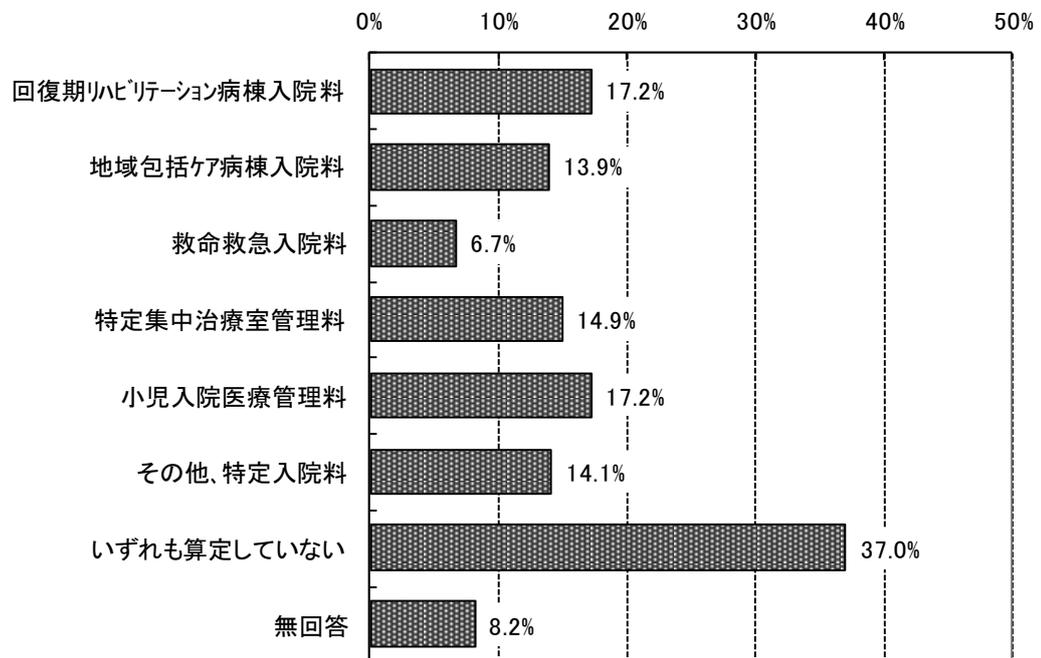
### 4) DPCの対応状況

図表 64 DPCの対応状況



5) 特定入院料の状況

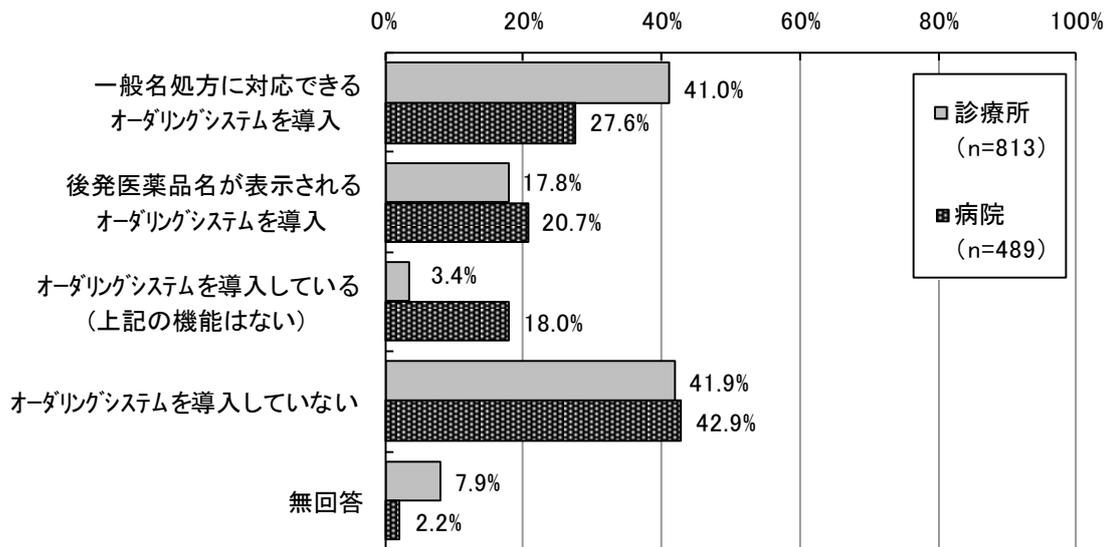
図表 65 特定入院料の状況（複数回答、n=489）



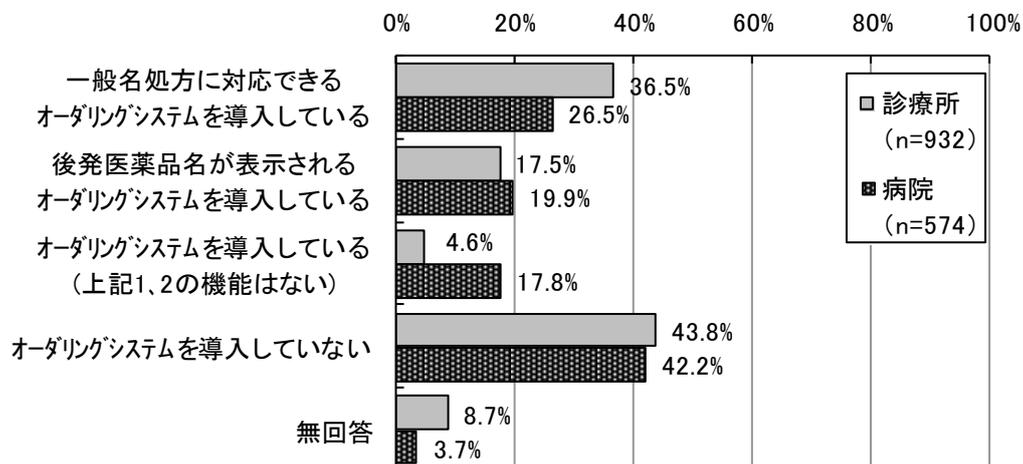
③オーダーリングシステムの導入状況等

1) オーダーリングシステムの導入状況

図表 66 オーダーリングシステムの導入状況（複数回答）

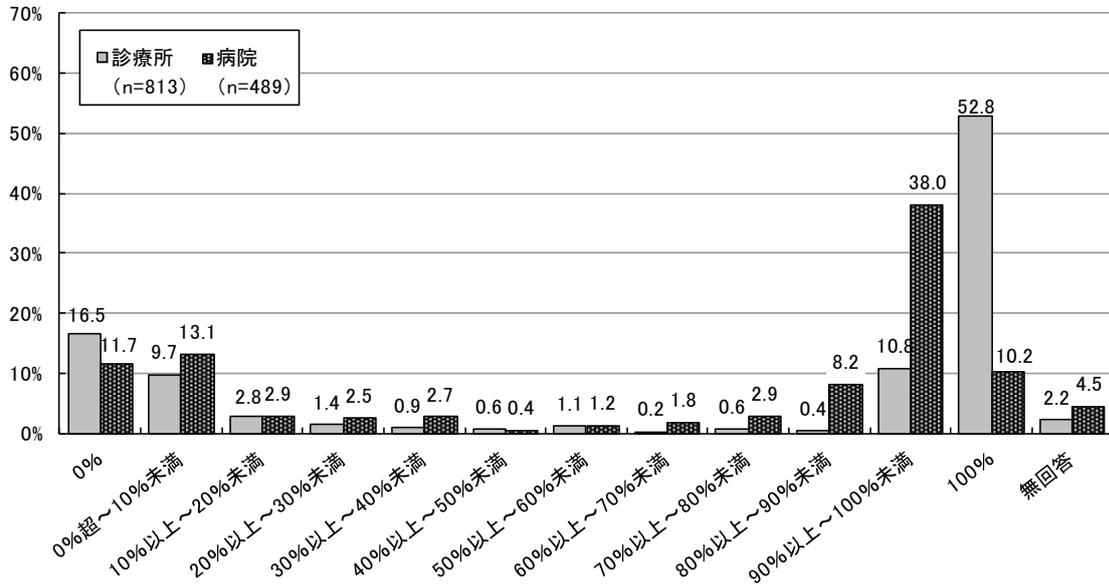


(参考) 平成 26 年度調査



2) 院外処方割合

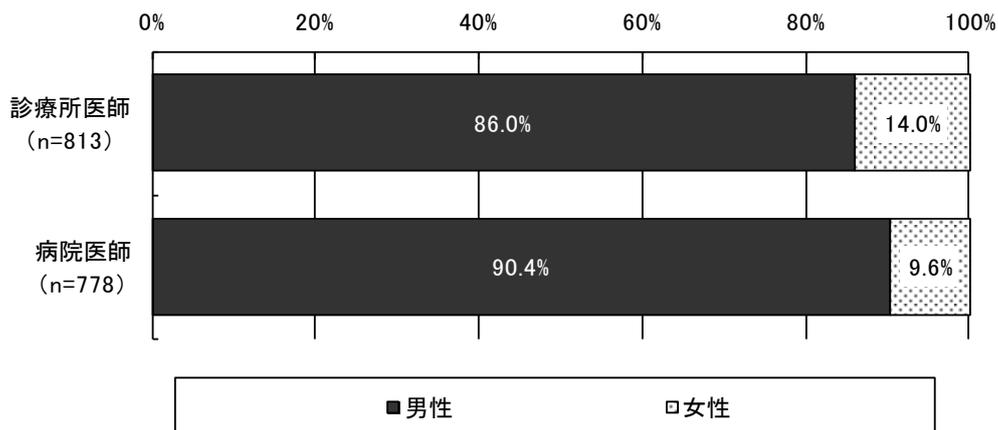
図表 67 院外処方割合別 施設分布



(2) 医師の属性等

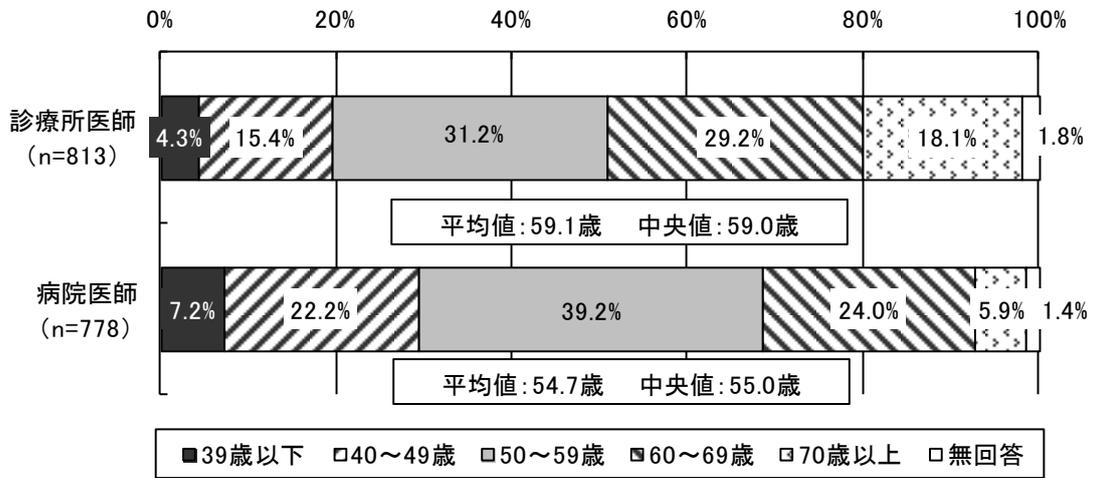
① 医師の性別

図表 68 医師の性別



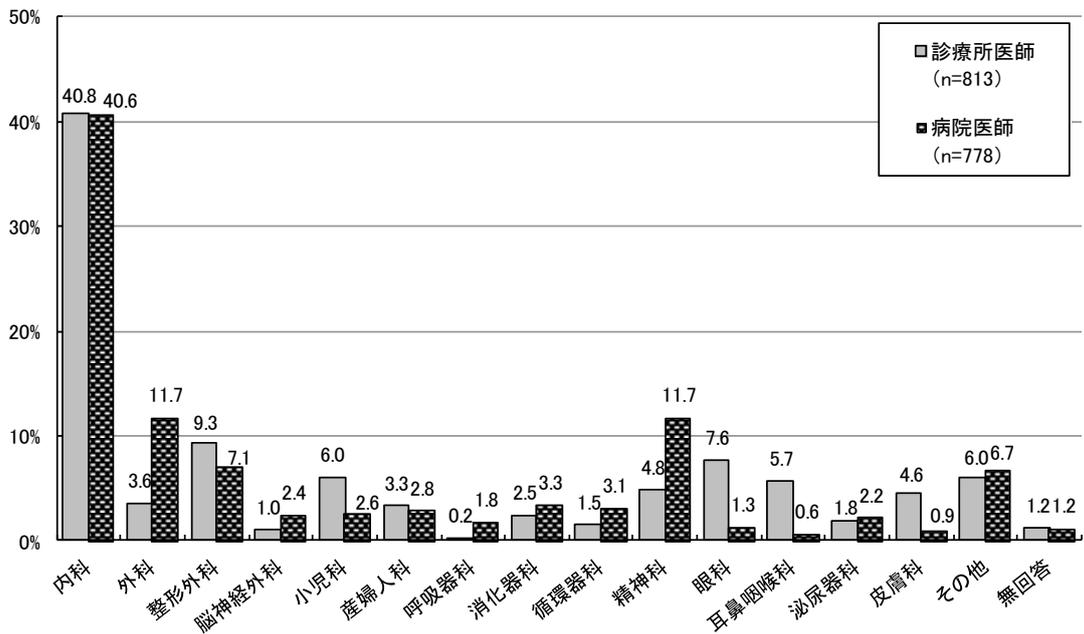
②医師の年齢

図表 69 医師の年齢



③医師の主たる担当診療科

図表 70 医師の主たる担当診療科 (単数回答)



### (3) 診療所・病院の診療体制

#### ①診療所の診療体制

図表 71 診療所における1施設あたりの常勤の医師数・薬剤師数

|         | 施設数(件) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|---------|--------|-----|------|-----|
| 医師数(人)  | 813    | 1.2 | 1.1  | 1.0 |
| 薬剤師数(人) | 812    | 0.1 | 0.3  | 0.0 |

#### ②病院の診療体制

図表 72 病院における1施設あたりの医師数・薬剤師数(常勤換算)

|         | 施設数(件) | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|---------|--------|------|------|------|
| 医師数(人)  | 465    | 40.8 | 84.6 | 10.3 |
| 薬剤師数(人) | 465    | 8.7  | 12.0 | 3.5  |

(4) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況等

① 医薬品の備蓄状況等

1) 診療所における医薬品の備蓄状況

図表 73 診療所における医薬品の備蓄状況等 (平成 27 年 6 月末)

|                 | 診療所全体<br>(n=223) |           |           | 【無床診療所】院外処方率 50%未満<br>(n=150) |           |           |
|-----------------|------------------|-----------|-----------|-------------------------------|-----------|-----------|
|                 | 平均値              | 標準偏差      | 中央値       | 平均値                           | 標準偏差      | 中央値       |
| 1. 医薬品備蓄品目数(品目) |                  |           |           |                               |           |           |
| ①全医薬品           | 163.7            | 136.5     | 123.0     | 180.3                         | 124.8     | 148.5     |
| ②①のうち、後発医薬品     | 40.9             | 53.9      | 20.0      | 46.1                          | 52.5      | 25.0      |
| ③後発医薬品割合(②/①)   | 25.0%            |           | 16.3%     | 25.5%                         |           | 16.8%     |
| 2. 調剤用医薬品購入額(円) |                  |           |           |                               |           |           |
| ①全医薬品           | 2,092,795        | 4,134,817 | 1,030,000 | 2,482,169                     | 4,620,992 | 1,347,680 |
| ②①のうち、後発医薬品     | 298,960          | 448,283   | 140,000   | 360,111                       | 487,119   | 200,000   |
| ③後発医薬品割合(②/①)   | 14.3%            |           | 13.6%     | 14.5%                         |           | 14.8%     |
| 3. 調剤用医薬品廃棄額(円) |                  |           |           |                               |           |           |
| ①全医薬品           | 6,091            | 22,935    | 0         | 7,099                         | 25,420    | 0         |
| ②①のうち、後発医薬品     | 1,303            | 5,031     | 0         | 1,507                         | 5,368     | 0         |
| ③後発医薬品割合(②/①)   | 21.4%            |           | —         | 21.2%                         |           | —         |

|                 | 【無床診療所】院外処方率 50%以上<br>(n=34) |         |         | 【有床診療所】<br>(n=37) |           |         |
|-----------------|------------------------------|---------|---------|-------------------|-----------|---------|
|                 | 平均値                          | 標準偏差    | 中央値     | 平均値               | 標準偏差      | 中央値     |
| 1. 医薬品備蓄品目数(品目) |                              |         |         |                   |           |         |
| ①全医薬品           | 67.9                         | 77.5    | 32.5    | 187.7             | 184.7     | 107.0   |
| ②①のうち、後発医薬品     | 16.1                         | 20.8    | 9.0     | 44.2              | 73.1      | 19.0    |
| ③後発医薬品割合(②/①)   | 23.7%                        |         | 27.7%   | 23.6%             |           | 17.8%   |
| 2. 調剤用医薬品購入額(円) |                              |         |         |                   |           |         |
| ①全医薬品           | 409,394                      | 924,673 | 110,000 | 1,985,094         | 3,580,777 | 800,000 |
| ②①のうち、後発医薬品     | 67,205                       | 134,974 | 10,243  | 261,257           | 413,859   | 51,630  |
| ③後発医薬品割合(②/①)   | 16.4%                        |         | 9.3%    | 13.2%             |           | 6.5%    |
| 3. 調剤用医薬品廃棄額(円) |                              |         |         |                   |           |         |
| ①全医薬品           | 3,668                        | 17,189  | 0       | 4,559             | 16,859    | 0       |
| ②①のうち、後発医薬品     | 709                          | 3,442   | 0       | 1,092             | 5,028     | 0       |
| ③後発医薬品割合(②/①)   | 19.3%                        |         | —       | 23.9%             |           | —       |

(注)・医薬品備蓄品目数、調剤用医薬品購入額、調剤用医薬品廃棄額について回答のあった施設を集計対象とした。

・診療所全体には、院外処方率が不明の 2 施設が含まれる。

2) 病院における医薬品の備蓄品目数

図表 74 病院における医薬品の備蓄品目数（平成 27 年 6 月末、n=449）

|     |      | ①全医薬品 | ②うち後発医薬品 | ②/①   |
|-----|------|-------|----------|-------|
| 内服薬 | 平均値  | 435.1 | 94.2     | 21.6% |
|     | 標準偏差 | 240.0 | 64.7     |       |
|     | 中央値  | 383.0 | 88.0     | 23.0% |
| 外用薬 | 平均値  | 153.3 | 30.1     | 19.6% |
|     | 標準偏差 | 94.5  | 21.8     |       |
|     | 中央値  | 123.0 | 27.0     | 22.0% |
| 注射薬 | 平均値  | 254.2 | 46.8     | 18.4% |
|     | 標準偏差 | 199.0 | 43.3     |       |
|     | 中央値  | 175.0 | 32.0     | 18.3% |
| 合計  | 平均値  | 842.6 | 171.1    | 20.3% |
|     | 標準偏差 | 503.8 | 115.9    |       |
|     | 中央値  | 654.0 | 162.0    | 24.8% |

（注）内服薬、外用薬、注射薬、合計品目について回答のあった 449 施設を集計対象とした。

（参考）平成 26 年度調査

|     |      | ①全医薬品 | ②うち後発医薬品 | ②/①   |
|-----|------|-------|----------|-------|
| 内服薬 | 平均値  | 415.2 | 76.4     | 18.4% |
|     | 標準偏差 | 228.4 | 54.6     |       |
|     | 中央値  | 377.5 | 69.0     | 18.3% |
| 外用薬 | 平均値  | 150.0 | 26.3     | 17.5% |
|     | 標準偏差 | 94.1  | 16.9     |       |
|     | 中央値  | 124.0 | 24.0     | 19.4% |
| 注射薬 | 平均値  | 247.8 | 41.7     | 16.8% |
|     | 標準偏差 | 187.1 | 35.8     |       |
|     | 中央値  | 191.0 | 31.0     | 16.2% |
| 合計  | 平均値  | 813.0 | 144.4    | 17.8% |
|     | 標準偏差 | 480.2 | 90.0     |       |
|     | 中央値  | 684.0 | 131.0    | 19.2% |

（注）内服薬、外用薬、注射薬、合計品目について回答のあった 536 施設を集計対象とした。

図表 75 病院における医薬品の備蓄品目数（病院種別、平成 27 年 6 月末）

|     |      | 病院全体<br>(n=375) |              |       | DPC 対象病院 (I 群)<br>(n=9) |              |       |
|-----|------|-----------------|--------------|-------|-------------------------|--------------|-------|
|     |      | ①全医薬品           | ②うち後発<br>医薬品 | ②/①   | ①全医薬品                   | ②うち後発<br>医薬品 | ②/①   |
| 内服薬 | 平均値  | 441.2           | 93.1         | 21.1% | 835.3                   | 97.0         | 11.6% |
|     | 標準偏差 | 246.5           | 65.2         |       | 226.9                   | 38.2         |       |
|     | 中央値  | 390.0           | 87.0         | 22.3% | 780.0                   | 114.0        | 14.6% |
| 外用薬 | 平均値  | 156.4           | 30.3         | 19.4% | 291.1                   | 44.2         | 15.2% |
|     | 標準偏差 | 96.9            | 22.7         |       | 50.4                    | 20.1         |       |
|     | 中央値  | 126.0           | 27.0         | 21.4% | 276.0                   | 32.0         | 11.6% |
| 注射薬 | 平均値  | 259.6           | 47.2         | 18.2% | 726.6                   | 88.8         | 12.2% |
|     | 標準偏差 | 202.6           | 44.6         |       | 170.3                   | 29.2         |       |
|     | 中央値  | 175.0           | 31.0         | 17.7% | 679.0                   | 95.0         | 14.0% |
| 合計  | 平均値  | 857.2           | 170.6        | 19.9% | 1853.0                  | 230.0        | 12.4% |
|     | 標準偏差 | 515.3           | 119.1        |       | 432.1                   | 53.1         |       |
|     | 中央値  | 678.0           | 161.0        | 23.7% | 1700.0                  | 232.0        | 13.6% |

|     |      | DPC 対象病院 (II 群)<br>(n=10) |              |       | DPC 対象病院 (III 群)<br>(n=99) |              |       |
|-----|------|---------------------------|--------------|-------|----------------------------|--------------|-------|
|     |      | ①全医薬品                     | ②うち後発<br>医薬品 | ②/①   | ①全医薬品                      | ②うち後発<br>医薬品 | ②/①   |
| 内服薬 | 平均値  | 692.0                     | 102.4        | 14.8% | 637.1                      | 117.9        | 18.5% |
|     | 標準偏差 | 146.1                     | 32.6         |       | 232.0                      | 82.6         |       |
|     | 中央値  | 621.5                     | 104.5        | 16.8% | 652.0                      | 97.0         | 14.9% |
| 外用薬 | 平均値  | 251.9                     | 38.2         | 15.2% | 248.8                      | 43.7         | 17.6% |
|     | 標準偏差 | 62.3                      | 10.8         |       | 92.8                       | 30.4         |       |
|     | 中央値  | 238.5                     | 37.5         | 15.7% | 246.0                      | 38.0         | 15.4% |
| 注射薬 | 平均値  | 575.7                     | 92.7         | 16.1% | 448.2                      | 88.8         | 19.8% |
|     | 標準偏差 | 97.8                      | 25.4         |       | 168.0                      | 51.9         |       |
|     | 中央値  | 535.5                     | 92.0         | 17.2% | 467.0                      | 89.0         | 19.1% |
| 合計  | 平均値  | 1519.6                    | 233.3        | 15.4% | 1334.0                     | 250.4        | 18.8% |
|     | 標準偏差 | 297.5                     | 60.8         |       | 447.6                      | 151.9        |       |
|     | 中央値  | 1365.0                    | 243.5        | 17.8% | 1373.0                     | 228.0        | 16.6% |

|     |      | DPC 準備病院<br>(n=15) |              |       | DPC 対応していない病院<br>(n=236) |              |       |
|-----|------|--------------------|--------------|-------|--------------------------|--------------|-------|
|     |      | ①全医薬品              | ②うち後発<br>医薬品 | ②/①   | ①全医薬品                    | ②うち後発<br>医薬品 | ②/①   |
| 内服薬 | 平均値  | 475.3              | 65.1         | 13.7% | 331.7                    | 84.6         | 25.5% |
|     | 標準偏差 | 190.6              | 47.8         |       | 173.6                    | 56.4         |       |
|     | 中央値  | 505.0              | 60.0         | 11.9% | 308.0                    | 79.5         | 25.8% |
| 外用薬 | 平均値  | 183.4              | 26.9         | 14.7% | 106.3                    | 24.1         | 22.7% |
|     | 標準偏差 | 78.4               | 18.1         |       | 56.4                     | 16.2         |       |
|     | 中央値  | 180.0              | 27.0         | 15.0% | 97.5                     | 21.5         | 22.1% |
| 注射薬 | 平均値  | 300.8              | 36.1         | 12.0% | 144.9                    | 26.8         | 18.5% |
|     | 標準偏差 | 147.6              | 33.2         |       | 95.2                     | 24.2         |       |
|     | 中央値  | 255.0              | 27.0         | 10.6% | 123.0                    | 21.0         | 17.1% |
| 合計  | 平均値  | 959.5              | 128.2        | 13.4% | 582.8                    | 135.5        | 23.2% |
|     | 標準偏差 | 360.4              | 96.3         |       | 290.5                    | 86.9         |       |
|     | 中央値  | 946.0              | 122.0        | 12.9% | 544.0                    | 127.5        | 23.4% |

(注)・備蓄品目数の他、購入額と廃棄額のすべての項目に回答のあった 375 施設を集計対象とした。

次表と同じ対象施設である。

- ・「病院全体」には、DPC 対応の状況が不明の 6 施設が含まれる。

3) 病院における医薬品の購入金額・廃棄額

図表 76 病院における医薬品購入額・廃棄額（病院種別、平成 27 年 6 月 1 か月間）

|               | 病院全体<br>(n=375) |            |            | DPC 対象病院 (I 群)<br>(n=9) |             |             |
|---------------|-----------------|------------|------------|-------------------------|-------------|-------------|
|               | 平均値             | 標準偏差       | 中央値        | 平均値                     | 標準偏差        | 中央値         |
| 調剤用医薬品購入金額(円) |                 |            |            |                         |             |             |
| ①全医薬品         | 41,184,125      | 76,266,187 | 10,000,000 | 343,717,307             | 138,692,191 | 341,993,460 |
| ②後発医薬品        | 3,879,745       | 6,746,429  | 1,247,078  | 16,758,074              | 8,662,349   | 15,000,000  |
| ③後発医薬品割合(②/①) | 9.4%            |            | 12.5%      | 4.9%                    |             | 4.4%        |
| 調剤用医薬品廃棄額(円)  |                 |            |            |                         |             |             |
| ①全医薬品         | 68,666          | 163,557    | 12,000     | 522,910                 | 562,031     | 332,000     |
| ②後発医薬品        | 5,357           | 16,663     | 0          | 26,155                  | 45,928      | 4,500       |
| ③後発医薬品割合(②/①) | 7.8%            |            | 0.0%       | 5.0%                    |             | 1.4%        |

|               | DPC 対象病院 (II 群)<br>(n=10) |             |             | DPC 対象病院 (III 群)<br>(n=99) |            |            |
|---------------|---------------------------|-------------|-------------|----------------------------|------------|------------|
|               | 平均値                       | 標準偏差        | 中央値         | 平均値                        | 標準偏差       | 中央値        |
| 調剤用医薬品購入金額(円) |                           |             |             |                            |            |            |
| ①全医薬品         | 147,152,763               | 102,664,718 | 107,760,000 | 79,439,815                 | 69,985,466 | 63,000,000 |
| ②後発医薬品        | 12,665,603                | 9,111,692   | 13,650,193  | 8,391,608                  | 9,264,634  | 6,220,000  |
| ③後発医薬品割合(②/①) | 8.6%                      |             | 12.7%       | 10.6%                      |            | 9.9%       |
| 調剤用医薬品廃棄額(円)  |                           |             |             |                            |            |            |
| ①全医薬品         | 164,403                   | 209,544     | 106,471     | 117,395                    | 173,868    | 55,077     |
| ②後発医薬品        | 12,459                    | 18,866      | 3,786       | 8,777                      | 22,442     | 393        |
| ③後発医薬品割合(②/①) | 7.6%                      |             | 3.6%        | 7.5%                       |            | 0.7%       |

|               | DPC 準備病院<br>(n=15) |            |            | DPC 対応していない病院<br>(n=236) |            |           |
|---------------|--------------------|------------|------------|--------------------------|------------|-----------|
|               | 平均値                | 標準偏差       | 中央値        | 平均値                      | 標準偏差       | 中央値       |
| 調剤用医薬品購入金額(円) |                    |            |            |                          |            |           |
| ①全医薬品         | 33,733,381         | 34,999,350 | 19,310,936 | 9,740,090                | 21,132,891 | 5,776,543 |
| ②後発医薬品        | 2,714,955          | 3,418,304  | 1,138,818  | 1,211,014                | 2,115,573  | 740,913   |
| ③後発医薬品割合(②/①) | 8.0%               |            | 5.9%       | 12.4%                    |            | 12.8%     |
| 調剤用医薬品廃棄額(円)  |                    |            |            |                          |            |           |
| ①全医薬品         | 57,348             | 56,744     | 38,430     | 28,374                   | 79,218     | 3,155     |
| ②後発医薬品        | 1,404              | 2,278      | 0          | 3,119                    | 10,752     | 0         |
| ③後発医薬品割合(②/①) | 2.4%               |            | 0.0%       | 11.0%                    |            | 0.0%      |

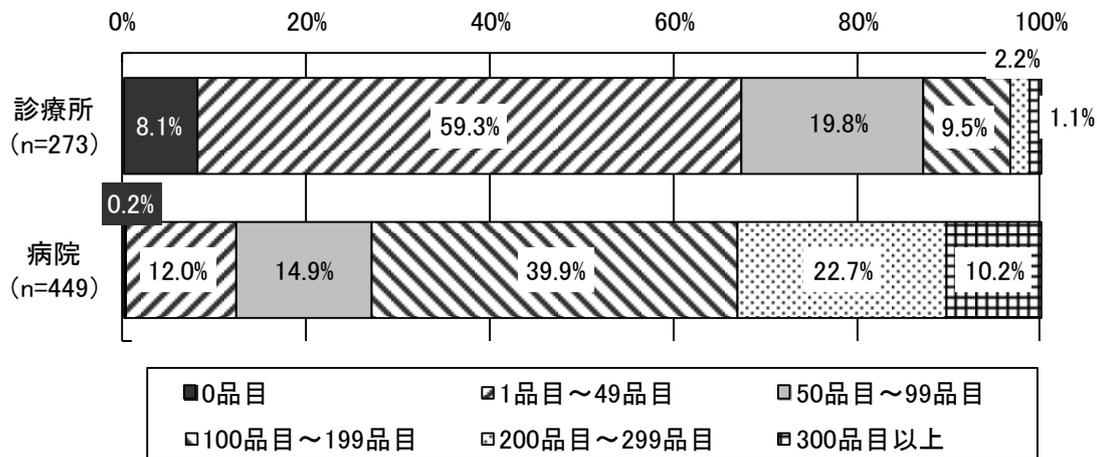
(注)・購入額と廃棄額その他、備蓄医薬品目数のすべての項目に回答のあった 375 施設を集計対象とした。

前表と同じ対象施設である。

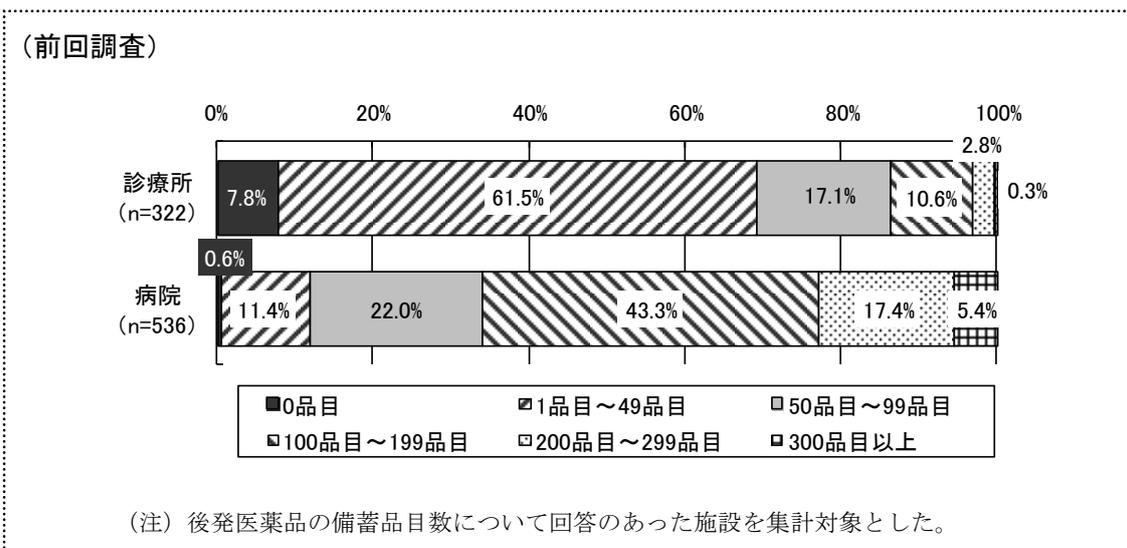
・病院全体には、DPC 対応の状況が不明の 6 施設が含まれる

4) 診療所・病院における後発医薬品の備蓄品目数

図表 77 後発医薬品の備蓄品目数

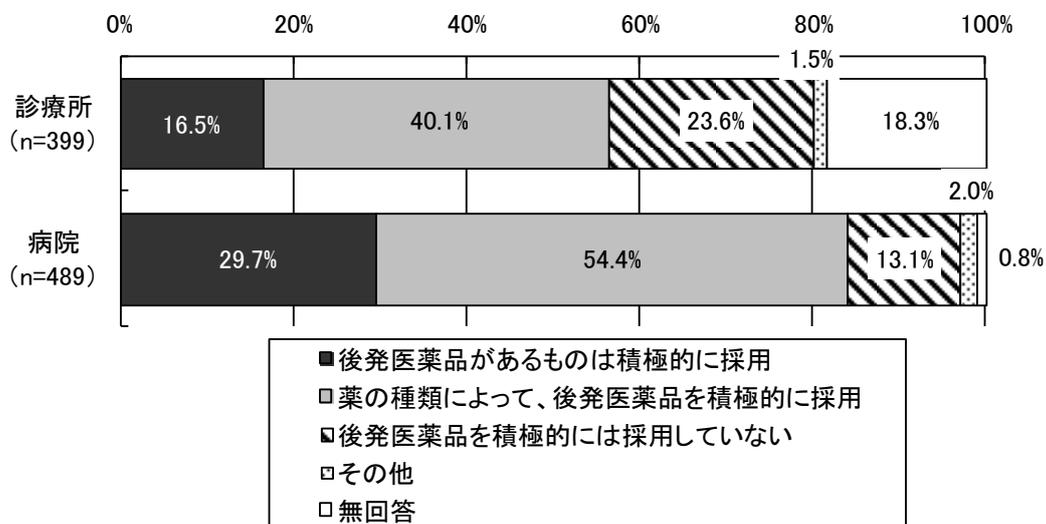


(注) 後発医薬品の備蓄品目数について回答のあった施設を集計対象とした。



②後発医薬品の採用状況

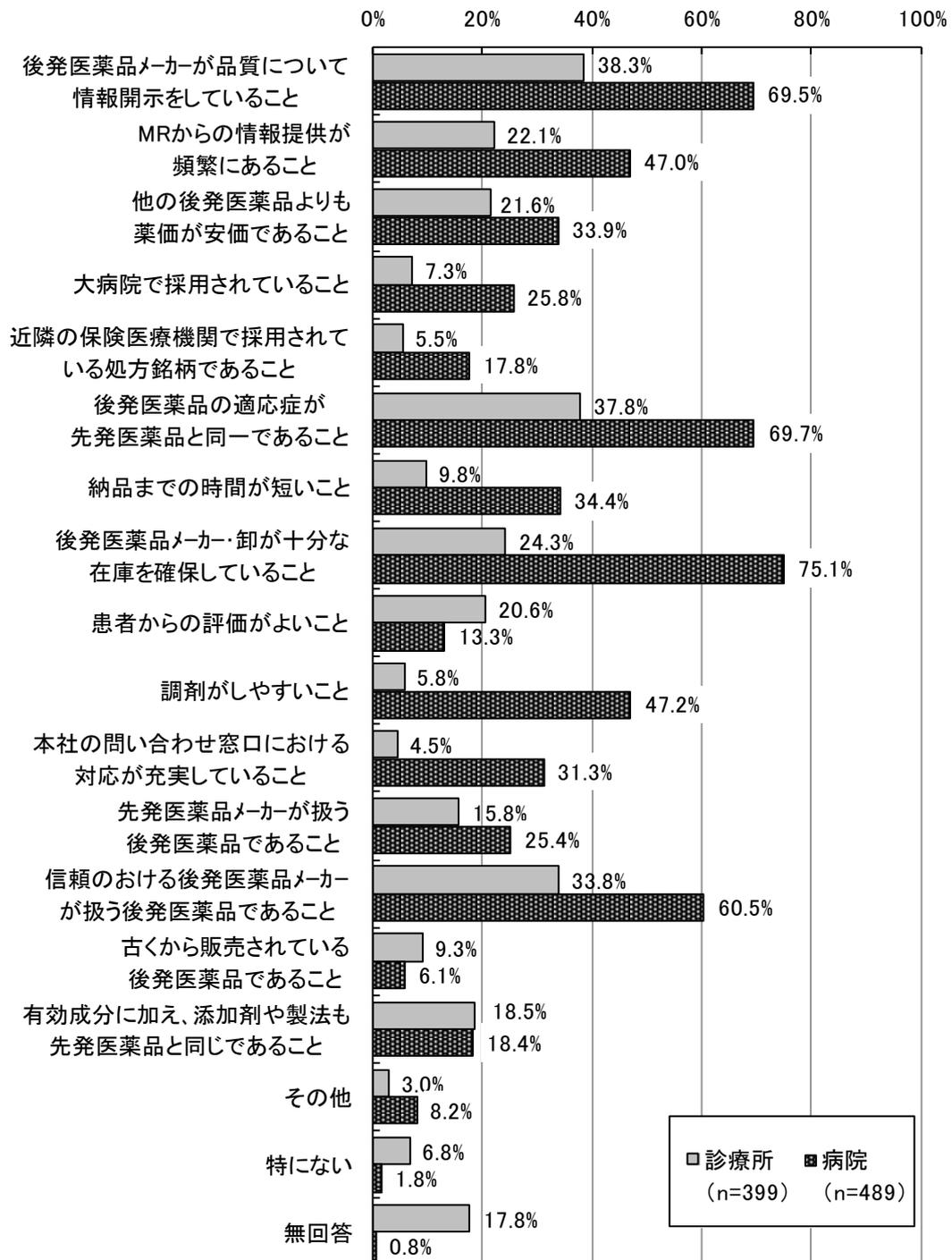
図表 78 後発医薬品の採用状況



(注) 診療所は、有床診療所及び院内処方のある施設。

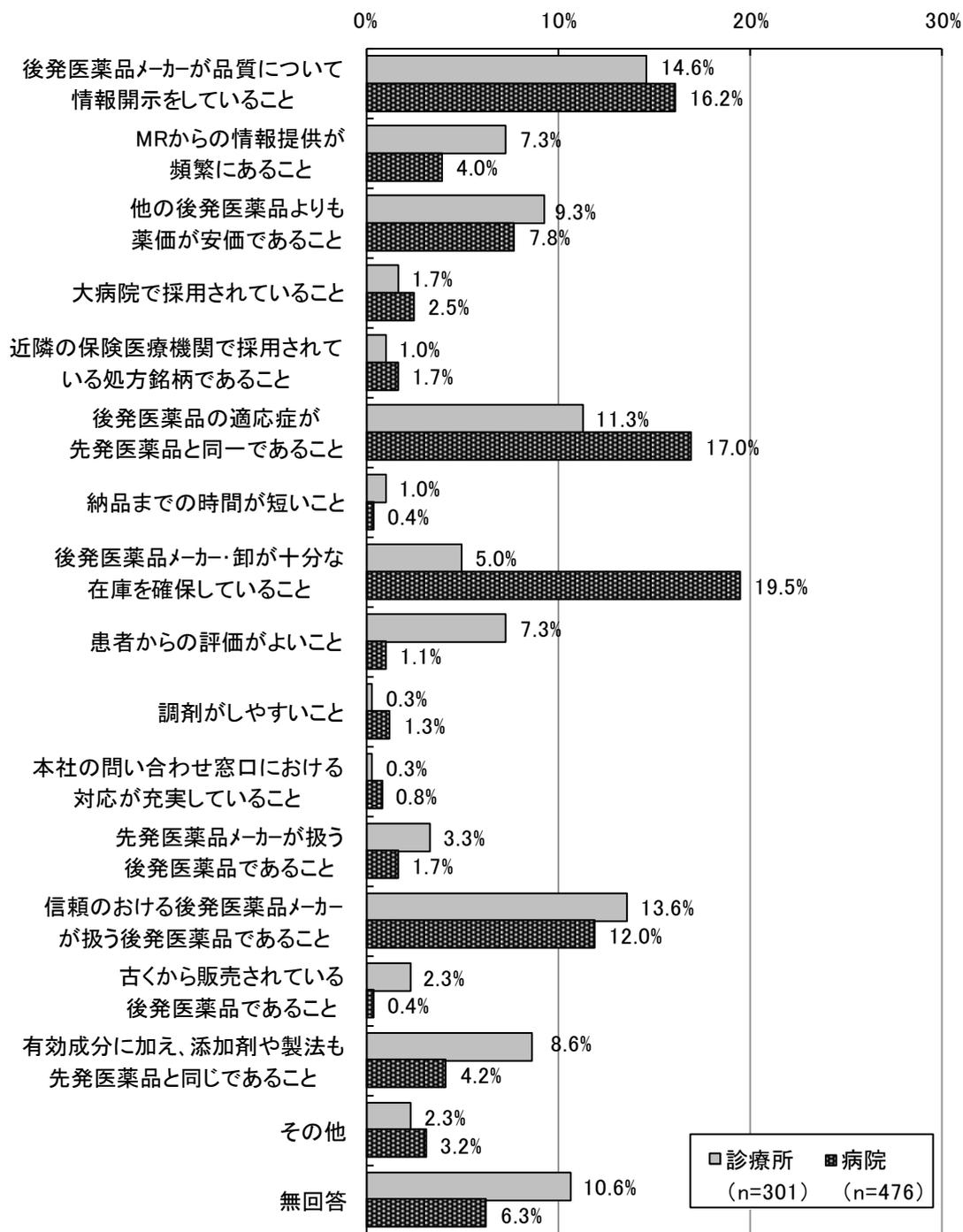
③後発医薬品を採用する際に重視すること

図表 79 後発医薬品を採用する際に重視すること（複数回答）



(注) 診療所は、有床診療所及び院内処方のある施設。

図表 80 診療所・病院において、後発医薬品を採用する際に最も重視すること（単数回答）



(注) 診療所は、有床診療所及び院内処方のある施設。

④病院における後発医薬品使用割合

図表 81 病院における後発医薬品使用割合（数量ベース）

（単位：％）

|                          |      | 平成 26 年 |      |      | 平成 27 年 |      |      |
|--------------------------|------|---------|------|------|---------|------|------|
|                          |      | 4 月     | 5 月  | 6 月  | 4 月     | 5 月  | 6 月  |
| 病院全体<br>(n=284)          | 平均値  | 40.6    | 42.1 | 43.4 | 51.2    | 51.8 | 52.3 |
|                          | 標準偏差 | 23.3    | 23.5 | 23.8 | 25.3    | 25.2 | 25.7 |
|                          | 中央値  | 36.6    | 40.9 | 43.3 | 58.3    | 58.8 | 60.6 |
| DPC 対象病院<br>(Ⅰ群)(n=9)    | 平均値  | 29.9    | 30.5 | 32.4 | 44.8    | 44.1 | 46.6 |
|                          | 標準偏差 | 16.2    | 14.3 | 15.0 | 18.0    | 17.5 | 18.4 |
|                          | 中央値  | 27.4    | 32.8 | 32.0 | 38.2    | 36.7 | 43.9 |
| DPC 対象病院<br>(Ⅱ群)(n=12)   | 平均値  | 42.2    | 46.4 | 48.6 | 66.4    | 67.1 | 68.2 |
|                          | 標準偏差 | 16.7    | 18.2 | 17.5 | 11.1    | 9.6  | 9.0  |
|                          | 中央値  | 41.7    | 48.2 | 56.0 | 71.1    | 67.3 | 69.2 |
| DPC 対象病院<br>(Ⅲ群)(n=100)  | 平均値  | 45.1    | 48.3 | 50.6 | 64.5    | 65.3 | 66.4 |
|                          | 標準偏差 | 18.6    | 18.8 | 18.1 | 15.1    | 14.7 | 14.8 |
|                          | 中央値  | 45.4    | 52.0 | 55.0 | 66.7    | 67.7 | 69.0 |
| DPC 準備病院<br>(n=10)       | 平均値  | 38.6    | 37.3 | 36.7 | 39.6    | 40.6 | 42.5 |
|                          | 標準偏差 | 26.1    | 23.3 | 22.9 | 25.4    | 25.6 | 28.2 |
|                          | 中央値  | 32.5    | 35.1 | 33.7 | 36.9    | 37.3 | 37.8 |
| DPC 対応していな<br>い病院(n=148) | 平均値  | 38.6    | 39.0 | 39.4 | 41.9    | 42.5 | 42.4 |
|                          | 標準偏差 | 26.4    | 26.4 | 27.0 | 27.4    | 27.4 | 27.6 |
|                          | 中央値  | 34.0    | 34.1 | 34.9 | 37.1    | 37.8 | 36.2 |

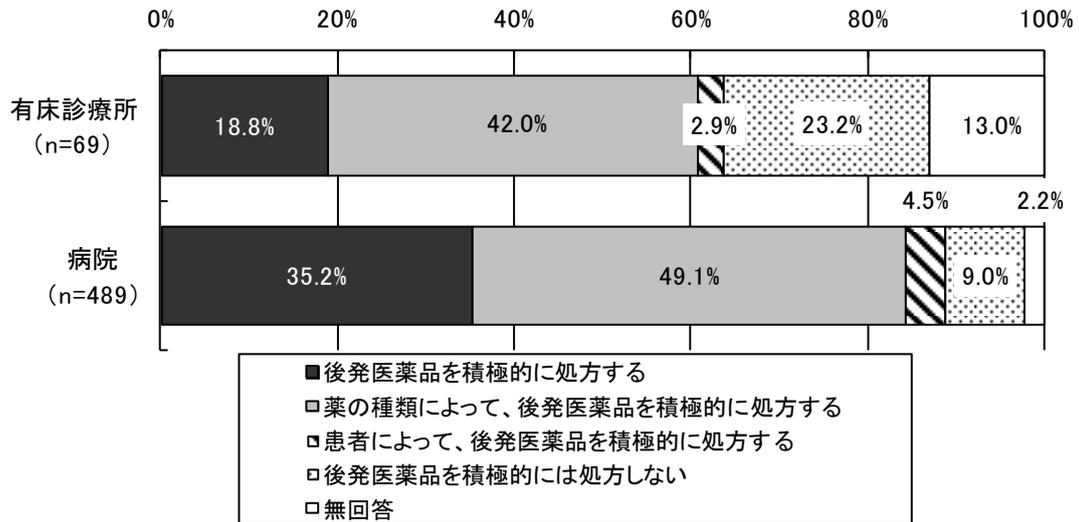
(注) ・1 か月間に調剤した後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量÷1 か月間に調剤した後発医薬品ありの先発医薬品と後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量の割合。

・各月の後発医薬品使用割合すべてについて記入のあった施設を集計対象とした。

(5) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等

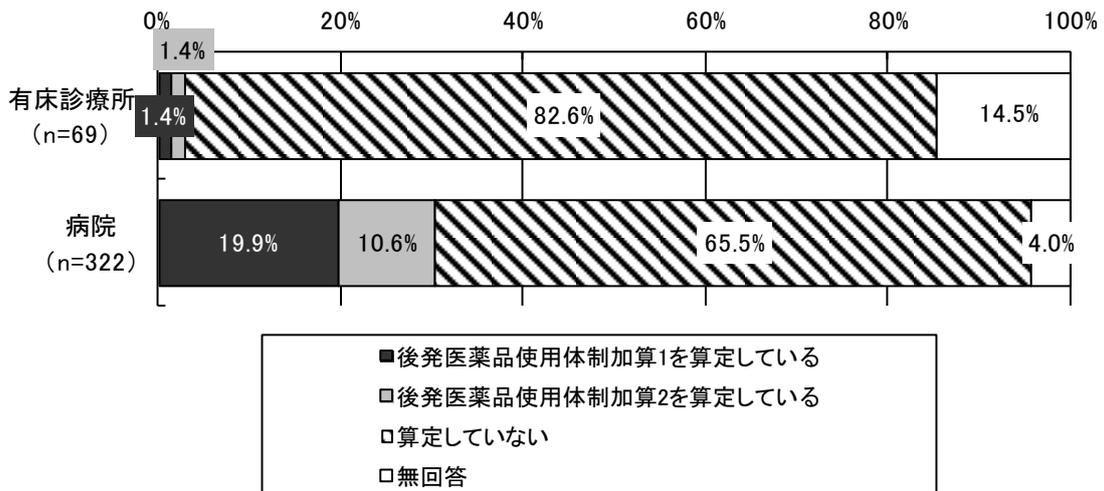
①入院患者に対する後発医薬品の使用状況

図表 82 入院患者に対する後発医薬品の使用状況



②後発医薬品使用体制加算の状況

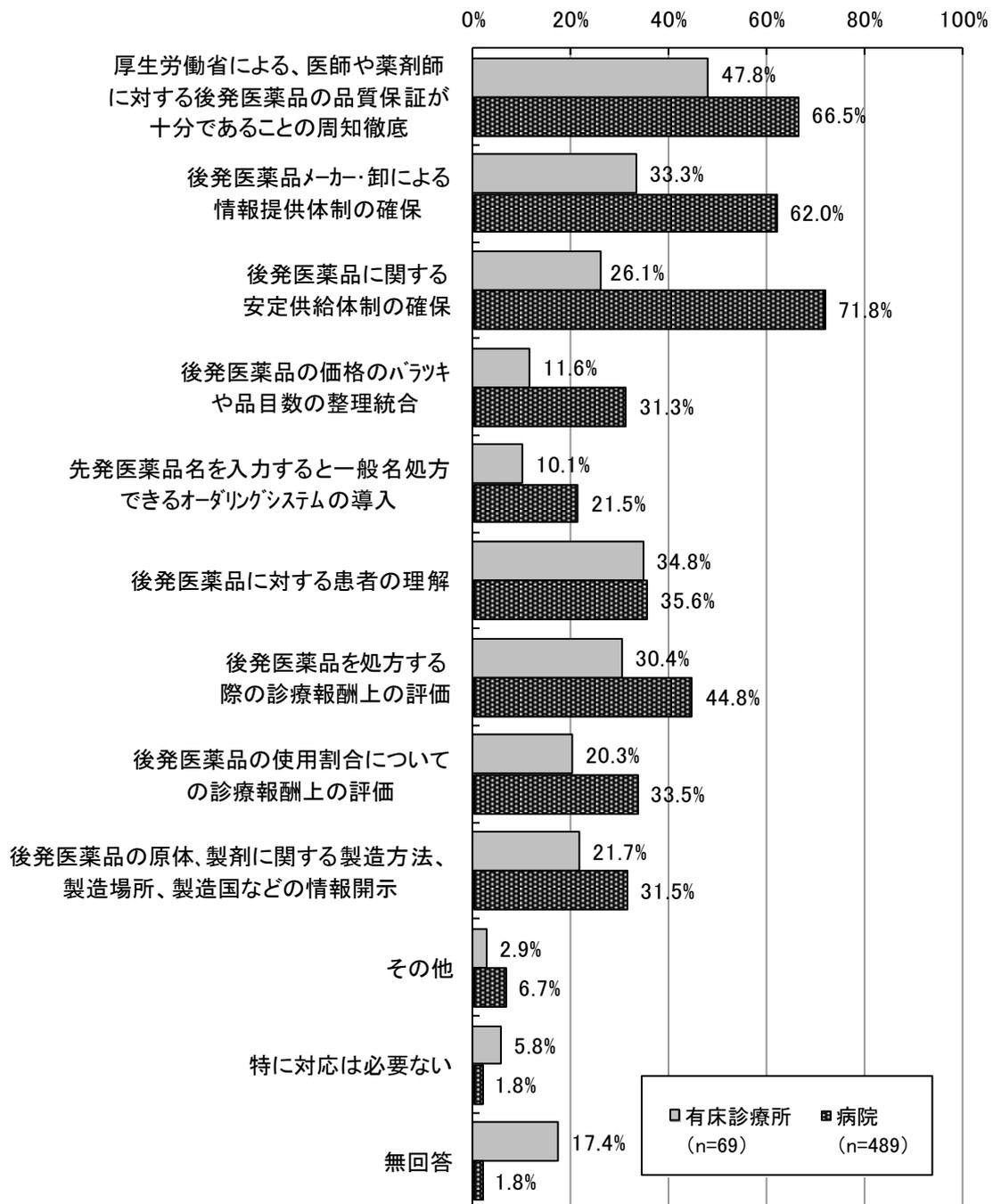
図表 83 後発医薬品使用体制加算の状況



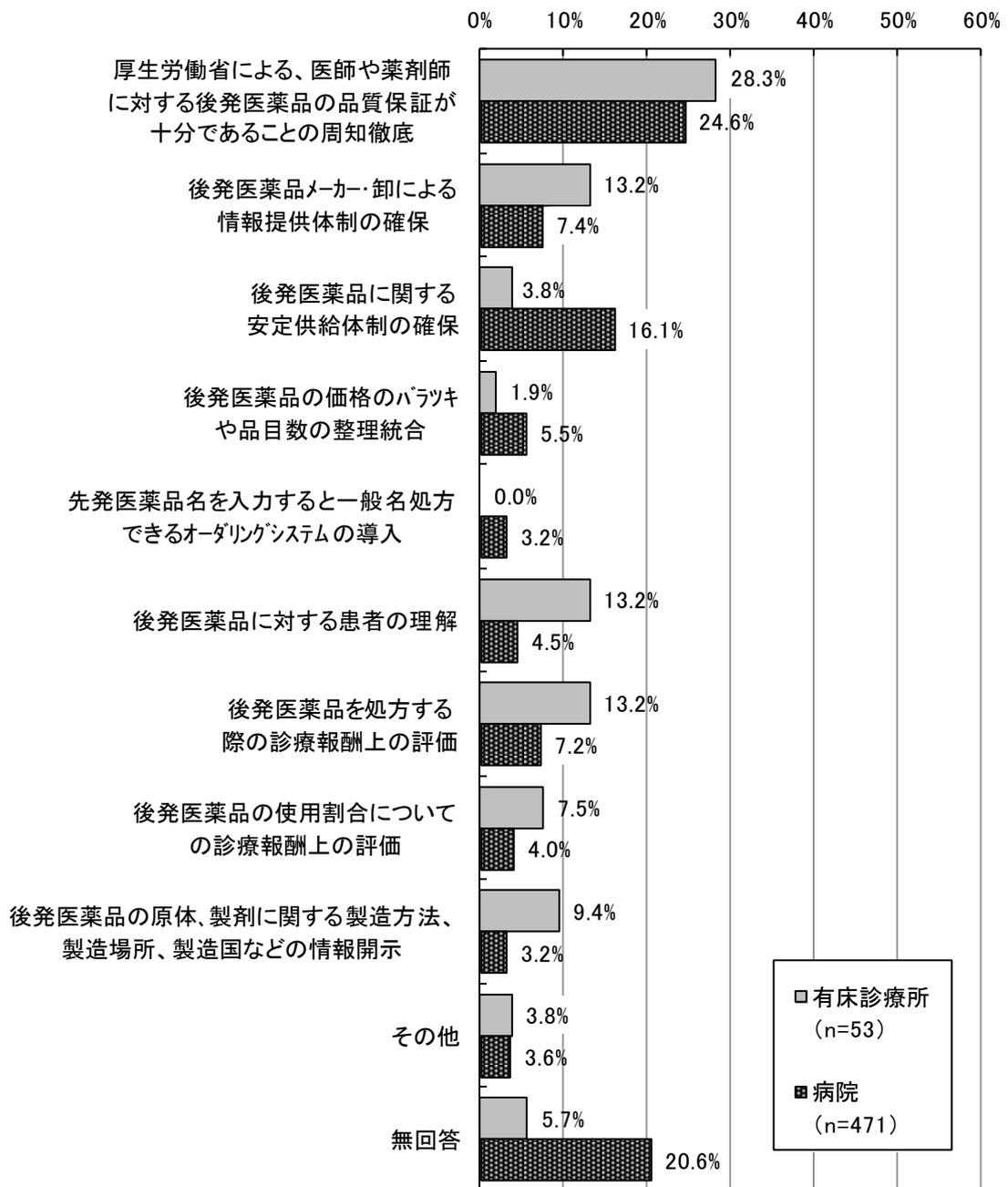
(注) 病院は DPC 対象病院・準備病院以外の病院を対象とした。

③今後どのような対応が進めば施設として入院患者に後発医薬品の使用を進めてもよいか

図表 84 今後どのような対応が進めば施設として入院患者等に後発医薬品の使用を進めてもよいか（複数回答）



図表 85 今後どのような対応が進めば施設として入院患者等に後発医薬品の使用を進め  
てもよいと思うか（最も重要なもの、単数回答）



(6) 外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（施設ベース）

①処方せん料・一般名処方加算の算定回数（平成27年6月1か月間）

図表 86 処方せん料・一般名処方加算の算定回数（平成27年6月1か月間）

（単位：回）

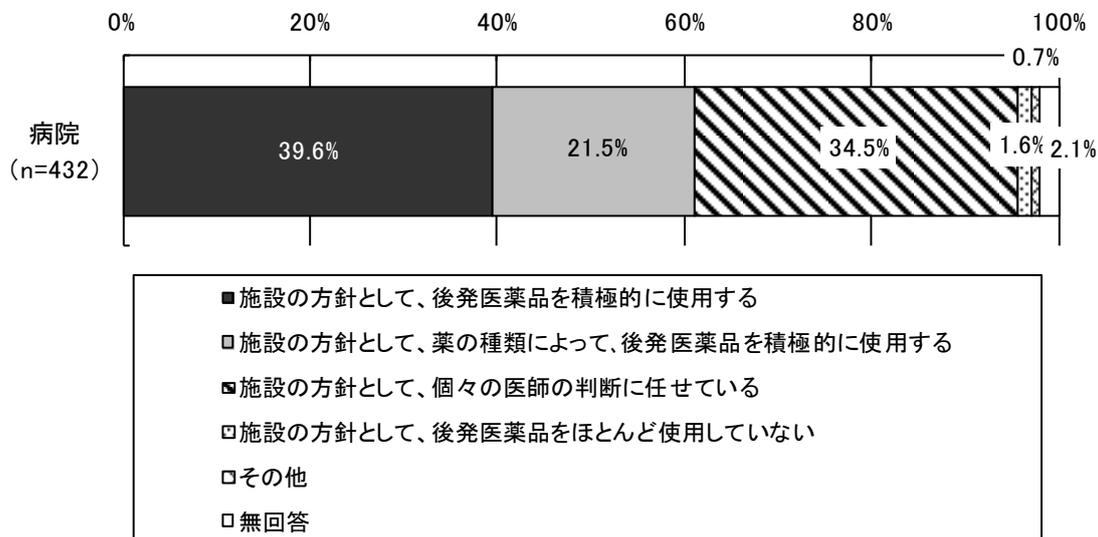
|     |         | 施設数(件) | 平均値     | 標準偏差    | 中央値     |
|-----|---------|--------|---------|---------|---------|
| 診療所 | 処方せん料   | 583    | 741.4   | 911.5   | 589.0   |
|     | 一般名処方加算 | 574    | 354.1   | 619.1   | 173.5   |
| 病院  | 処方せん料   | 416    | 2,916.6 | 3,978.2 | 1,482.5 |
|     | 一般名処方加算 | 420    | 511.7   | 1,431.2 | 4.0     |

②病院における、外来患者に対する後発医薬品使用に係る施設としての方針等

1) 院外処方せんを発行している場合

図表 87 外来患者に対する後発医薬品使用に係る施設としての方針

（院外処方せんを発行している病院）



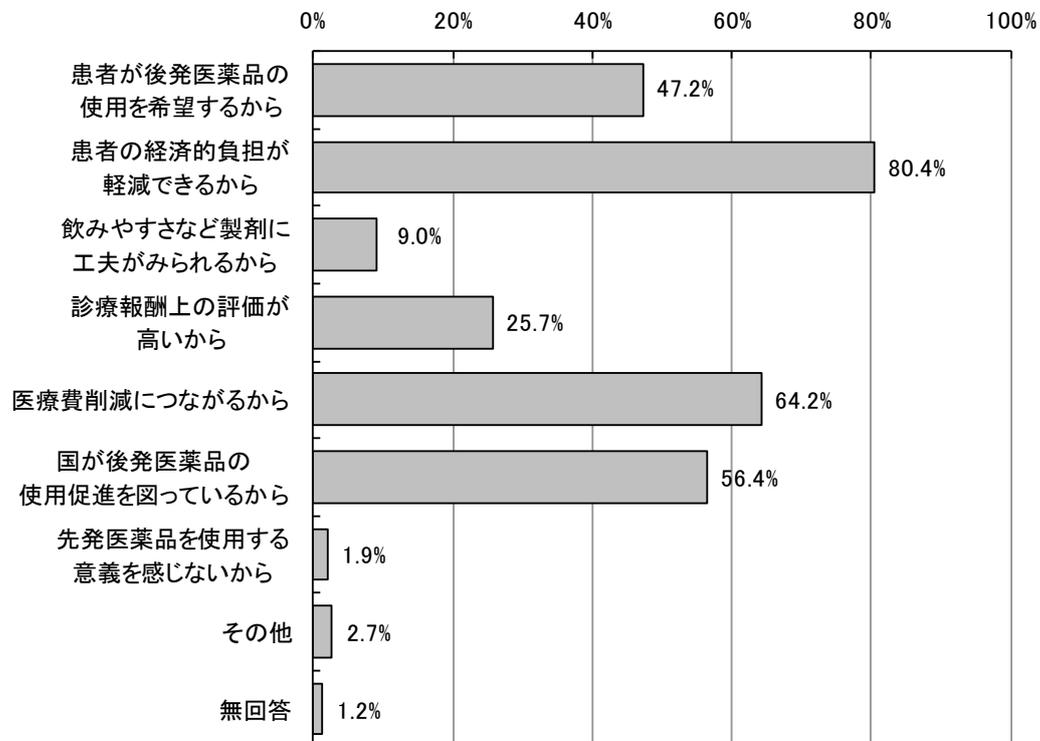
(注)・院外処方せんを発行している施設を対象とした。

・「後発医薬品を積極的に使用する」には、後発医薬品の銘柄処方のほか、一般名処方や院外処方せんの後発医薬品への「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含む。

図表 88 外来患者に院外処方する場合に、施設として、後発医薬品を積極的には使用しない理由（「施設の方針として、後発医薬品をほとんど使用していない」と回答した病院、複数回答、n=7）

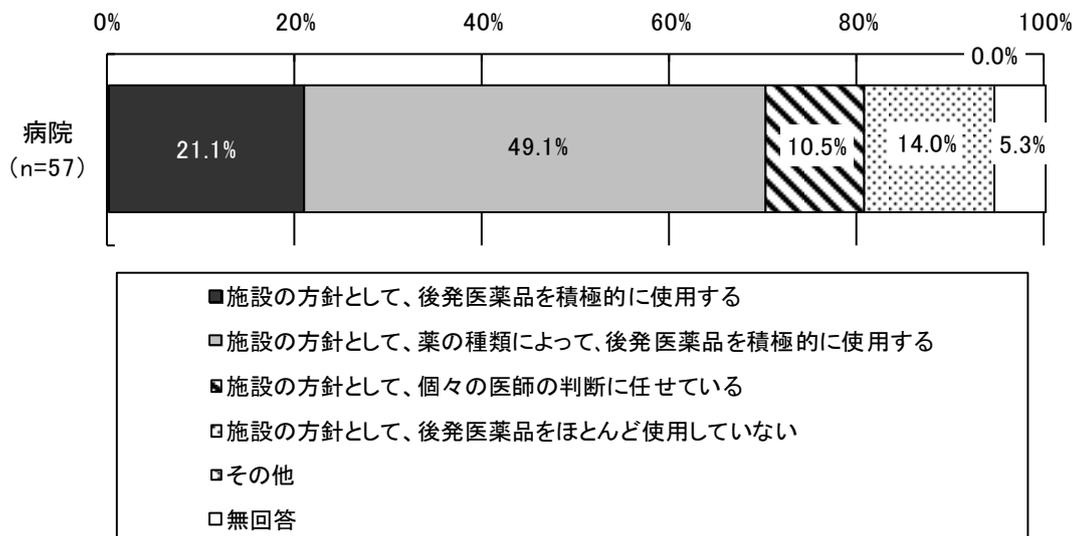
|                                | 施設数(件) | 構成割合(%) |
|--------------------------------|--------|---------|
| 後発医薬品の品質に疑問があるから               | 4      | 57.1    |
| 適応症が異なるから                      | 1      | 14.3    |
| 後発医薬品の安定供給に不安があるから             | 2      | 28.6    |
| 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから         | 1      | 14.3    |
| 患者への普及啓発が不足しているから              | 1      | 14.3    |
| 後発医薬品の説明に時間がかかるから              | 1      | 14.3    |
| 一般名処方に対応したオーダーリングシステムとなっていないから | 1      | 14.3    |
| 後発医薬品を処方するメリットがないから            | 1      | 14.3    |
| 患者が先発医薬品を希望するから                | 1      | 14.3    |
| 患者の容態等から先発医薬品が良いと判断したため        | 1      | 14.3    |
| その他                            | 0      | 0.0     |
| 無回答                            | 1      | 14.3    |
| 全体                             | 7      | 100.0   |

図表 89 外来患者に院外処方する場合に、施設として、後発医薬品を積極的に使用している理由（「施設の方針として、後発医薬品をほとんど使用していない」以外を選択した病院、複数回答、n=413）



2) 院外処方せんを発行していない場合

図表 90 外来患者に対する後発医薬品使用に係る施設としての方針  
(院外処方せんを発行していない病院)

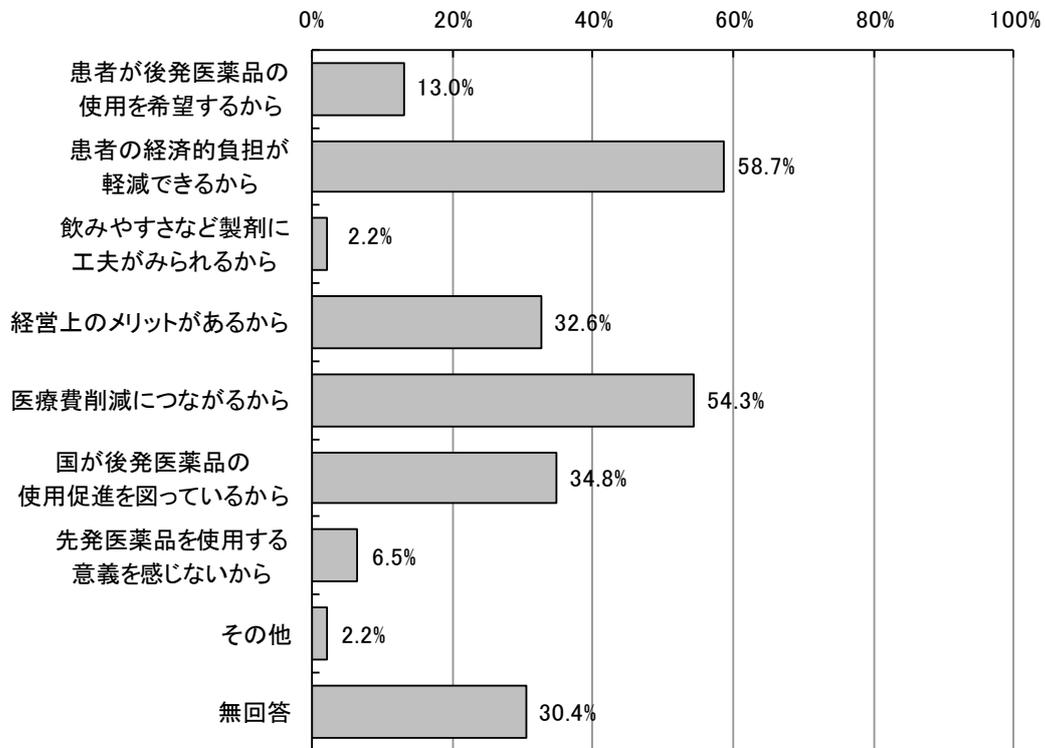


(注)・ここでは、外来診療時における院内投薬の状況を尋ねた。  
・院外処方せんを発行していない施設を対象とした。

図表 91 外来患者に院内投薬の場合に、施設として、後発医薬品を積極的には使用しない理由 (「施設の方針として、後発医薬品をほとんど使用していない」と回答した病院、複数回答、n=8)

|                         | 施設数(件) | 構成割合 (%) |
|-------------------------|--------|----------|
| 後発医薬品の品質に疑問があるから        | 6      | 75.0     |
| 適応症が異なるから               | 4      | 50.0     |
| 後発医薬品の安定供給に不安があるから      | 3      | 37.5     |
| 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから  | 3      | 37.5     |
| 患者への普及啓発が不足しているから       | 0      | 0.0      |
| 後発医薬品の説明に時間がかかるから       | 1      | 12.5     |
| 経営上の観点から                | 3      | 37.5     |
| 患者が先発医薬品を希望するから         | 2      | 25.0     |
| 患者の容態等から先発医薬品が良いと判断したから | 1      | 12.5     |
| その他                     | 0      | 0.0      |
| 無回答                     | 0      | 0.0      |
| 全体                      | 8      | 100.0    |

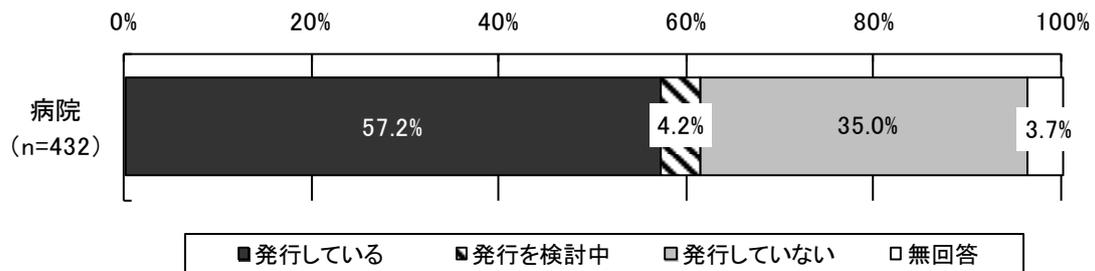
図表 92 外来患者に院内投薬する場合に、施設として、後発医薬品を積極的に使用している理由（「施設の方針として、後発医薬品をほとんど使用していない」以外を選択した病院、複数回答、n=46）



③病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況等

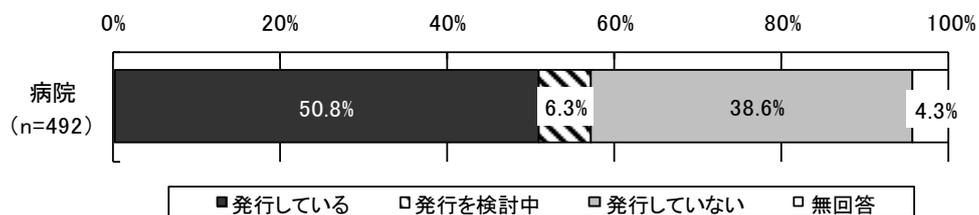
1) 病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況

図表 93 病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況  
(院外処方せんを発行している病院、平成 27 年 4 月以降)



(注) 院外処方せんを発行している施設を対象としている。

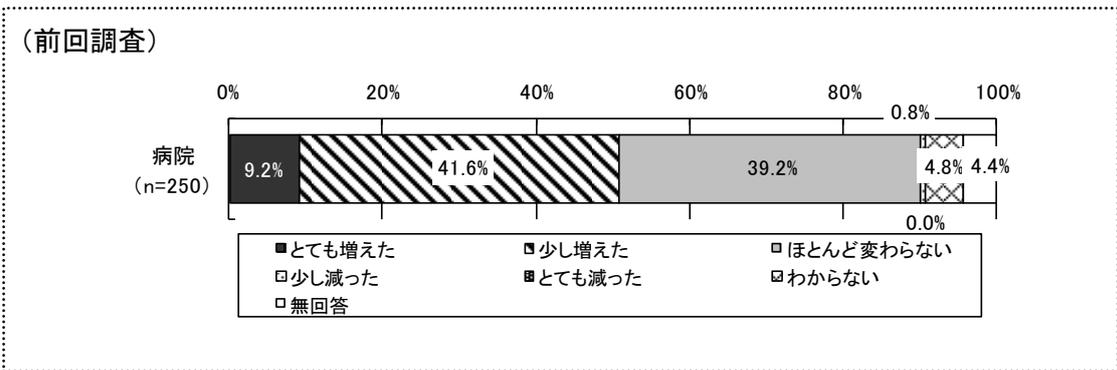
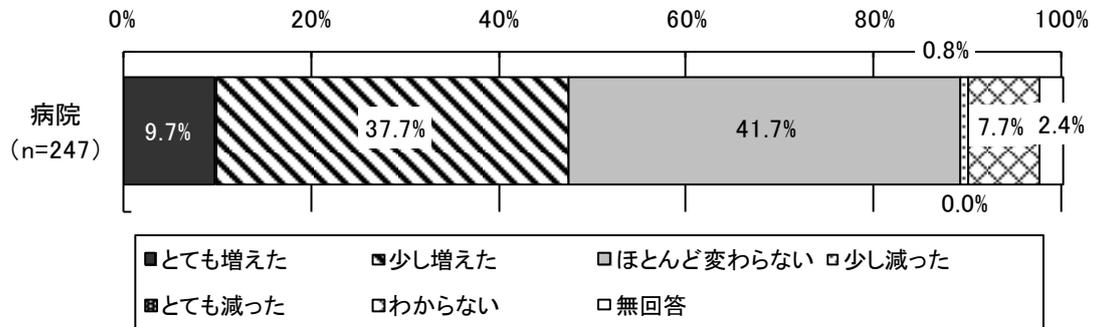
(前回調査)



(注) ・平成 26 年 4 月以降の状況  
・院外処方を実施している施設を対象として集計した。

2) 病院における一般名処方による処方せん発行による事務的な負担の変化

図表 94 一般名処方による処方せんの発行による事務的な負担の変化  
(一般名処方による処方せん発行に対応している病院)

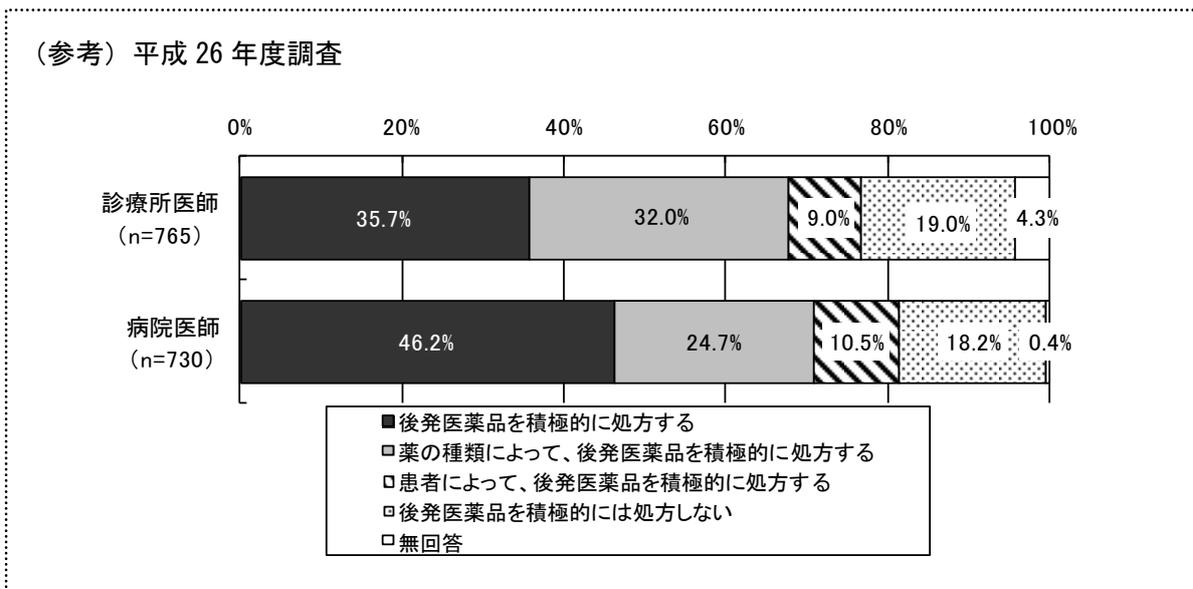
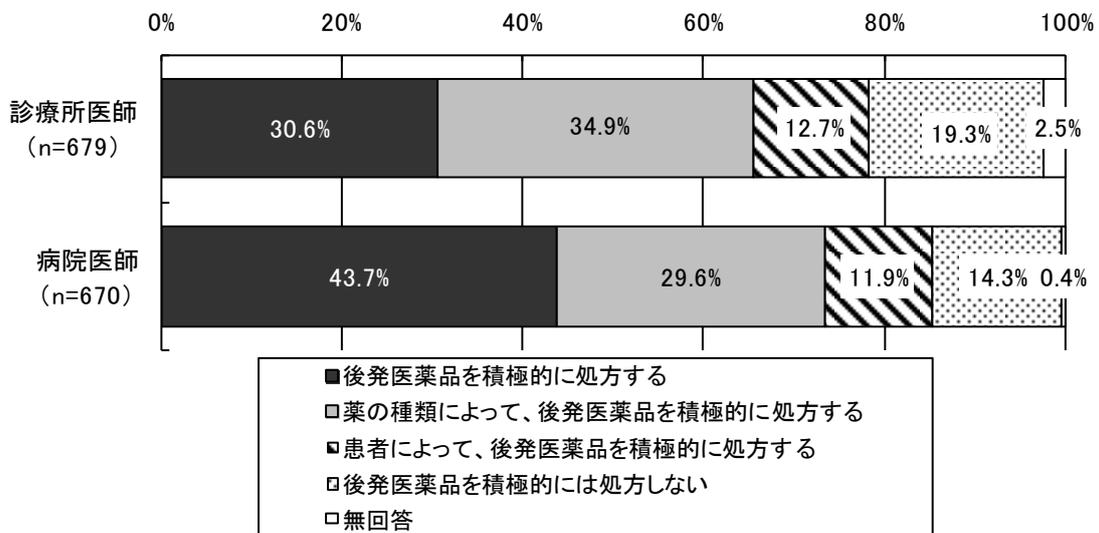


(7) 外来診療における院外処方せん発行時や後発医薬品の処方に関する医師の考え等（医師ベース）

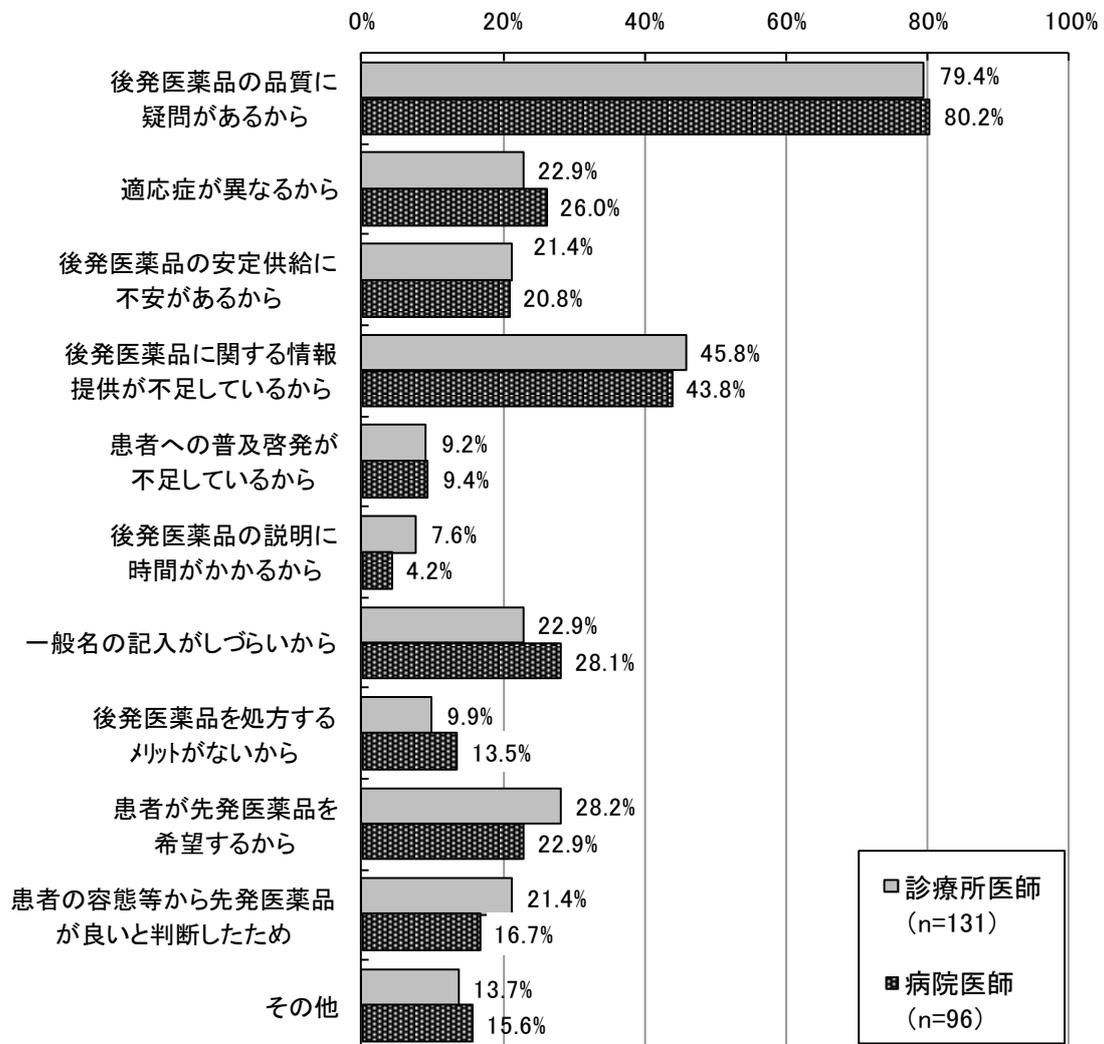
①外来診療における後発医薬品の処方に関する考え

1) 院外処方せんを発行している場合

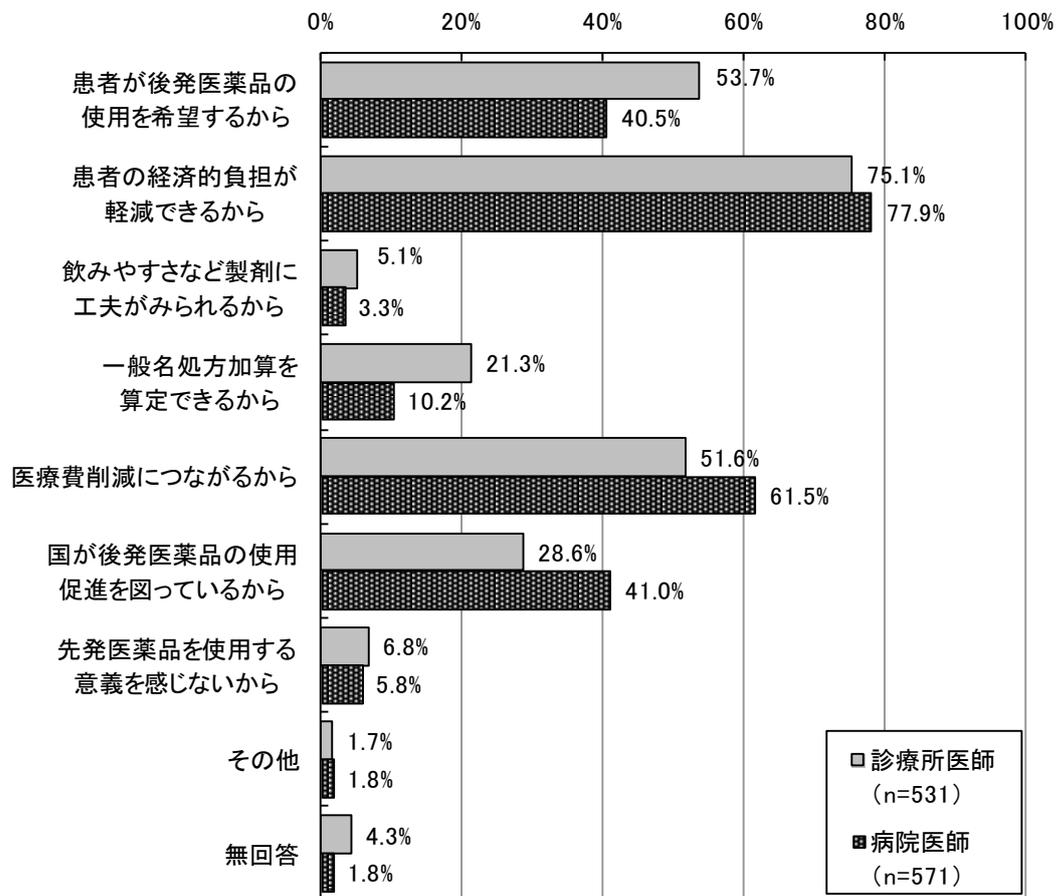
図表 95 外来診療における後発医薬品の処方に関する考え  
（院外処方せんを発行している施設の医師、医師ベース）



図表 96 外来診療において後発医薬品を積極的には処方しない理由  
 (院外処方せんを発行している施設、「後発医薬品を積極的には処方しない」と回答した  
 医師、複数回答、医師ベース)

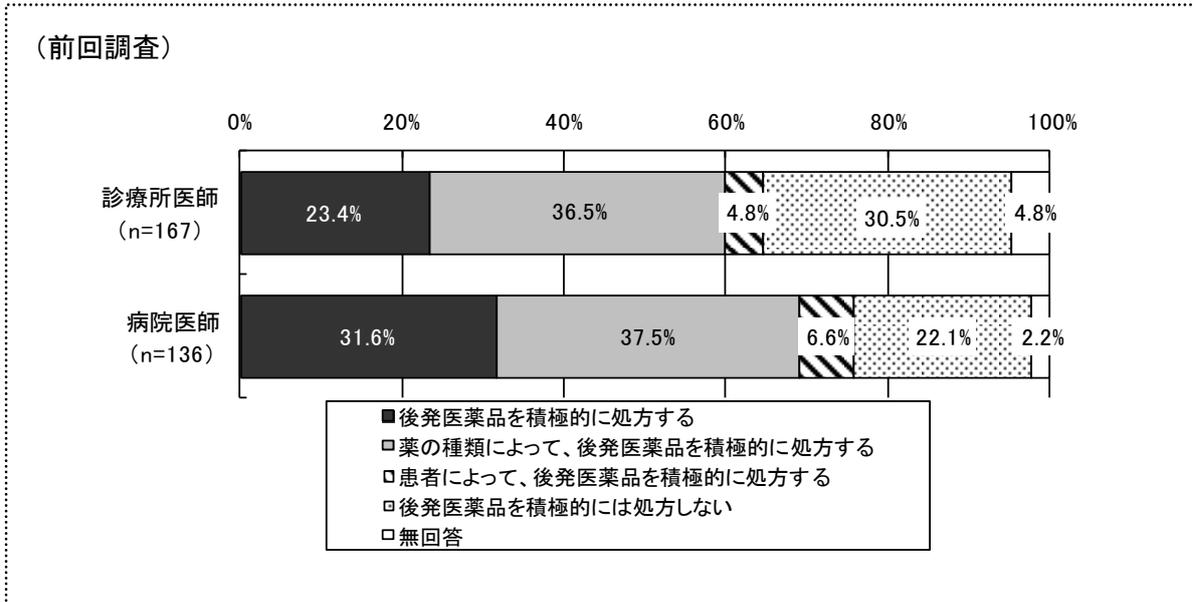
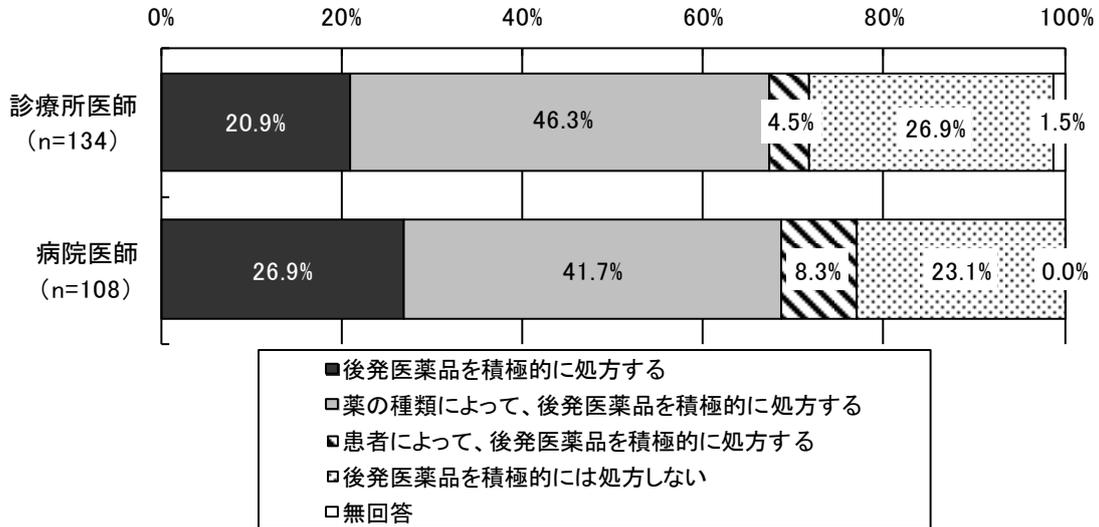


図表 97 外来患者に院外処方する場合に、後発医薬品を積極的に処方している理由（「後発医薬品を積極的に処方しない」以外を選択した医師、複数回答、医師ベース）

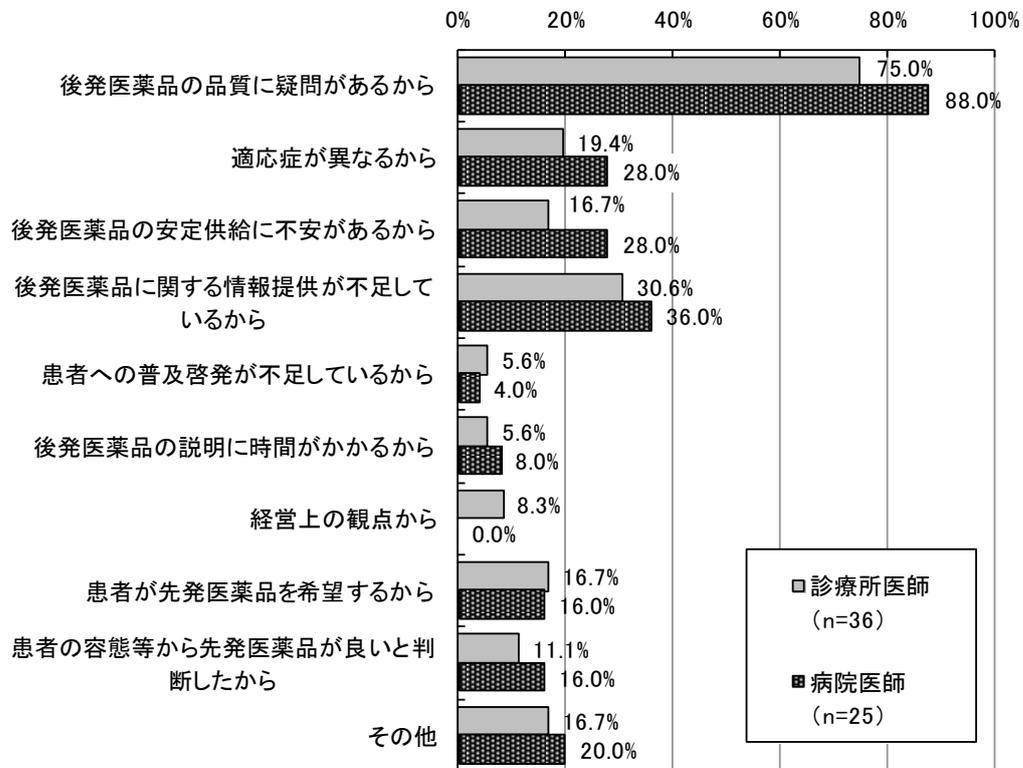


2) 院外処方せんを発行していない場合

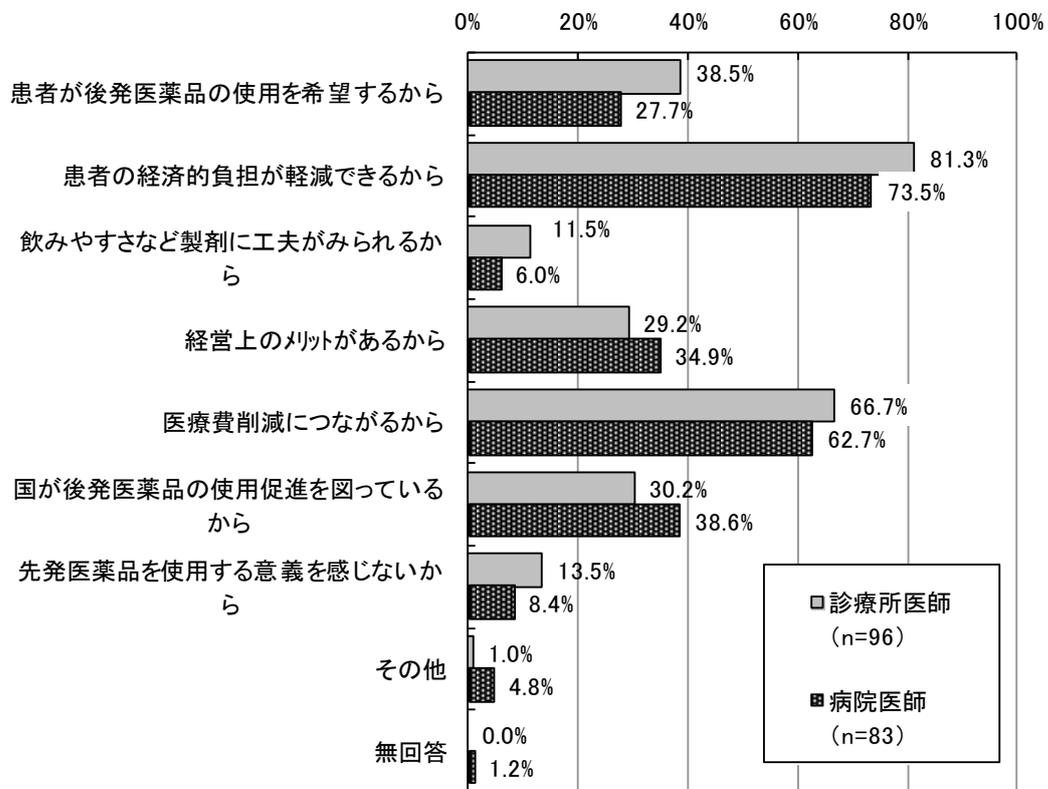
図表 98 外来診療における後発医薬品の処方に関する考え  
(院外処方せんを発行していない施設の医師、医師ベース)



図表 99 外来診療において後発医薬品を基本的には処方しない理由  
 (院外処方せんを発行していない施設、「後発医薬品を積極的に処方しない」と回答した  
 医師、複数回答、医師ベース)

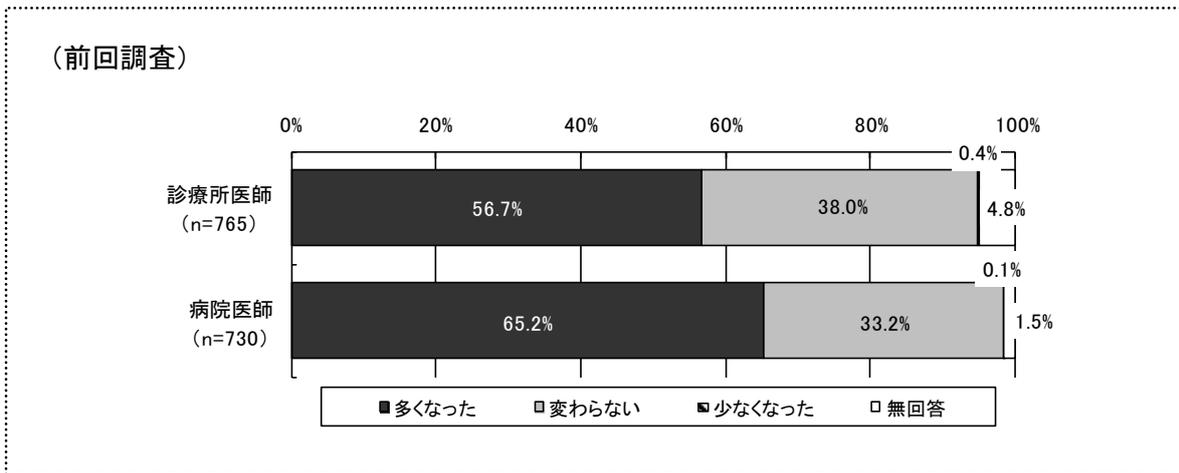
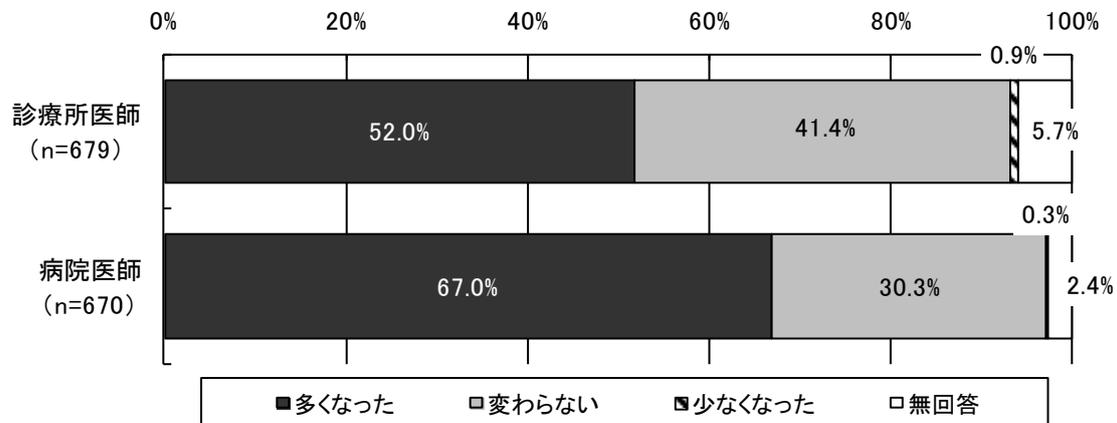


図表 100 外来患者に院内投薬する場合に、後発医薬品を積極的に処方している理由（「後発医薬品を積極的に処方しない」以外を選択した医師、複数回答、医師ベース）



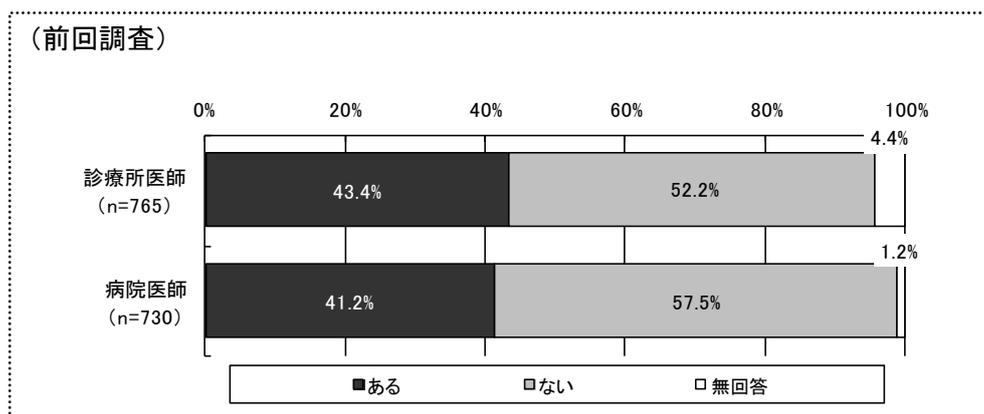
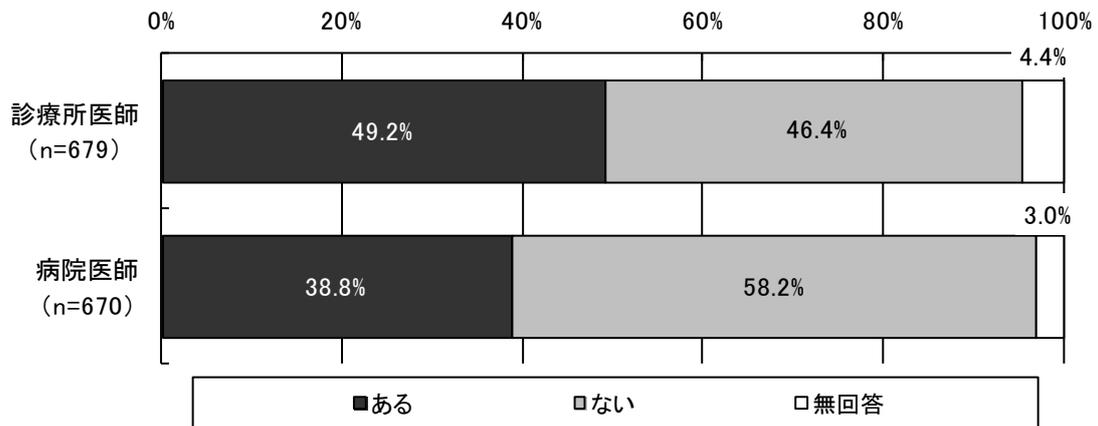
②外来診療における後発医薬品の処方数の変化（1年前と比較して）

図表 101 外来診療における後発医薬品の処方数の変化（1年前と比較して）（医師ベース）

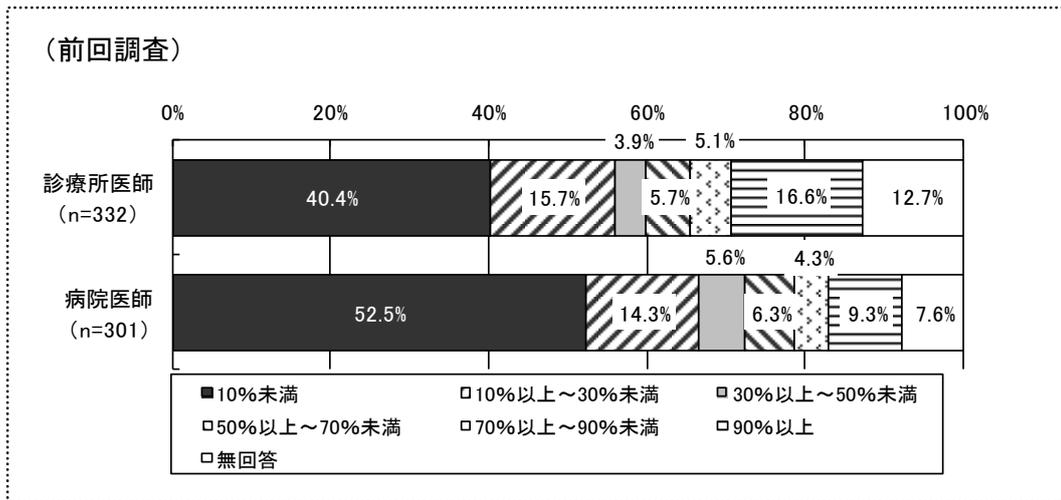
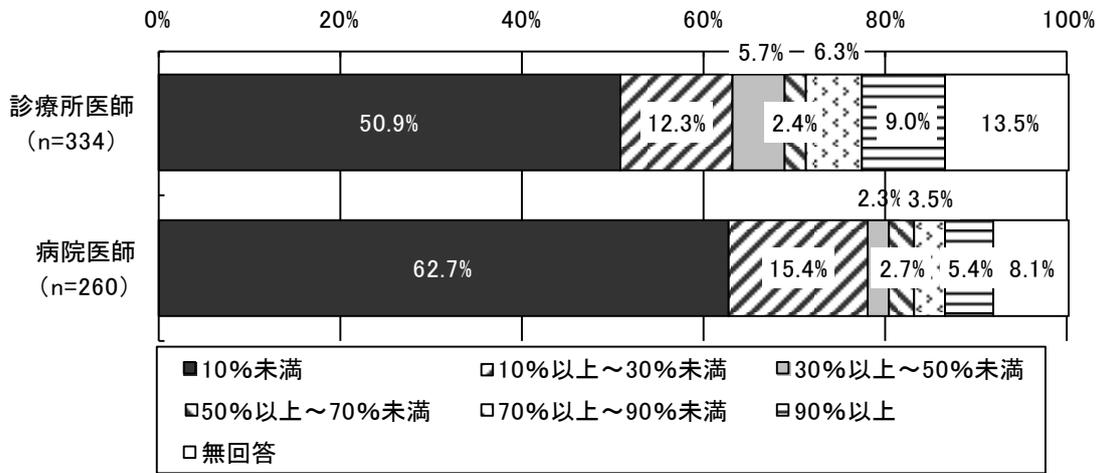


③後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験等（平成 27 年 4 月以降）

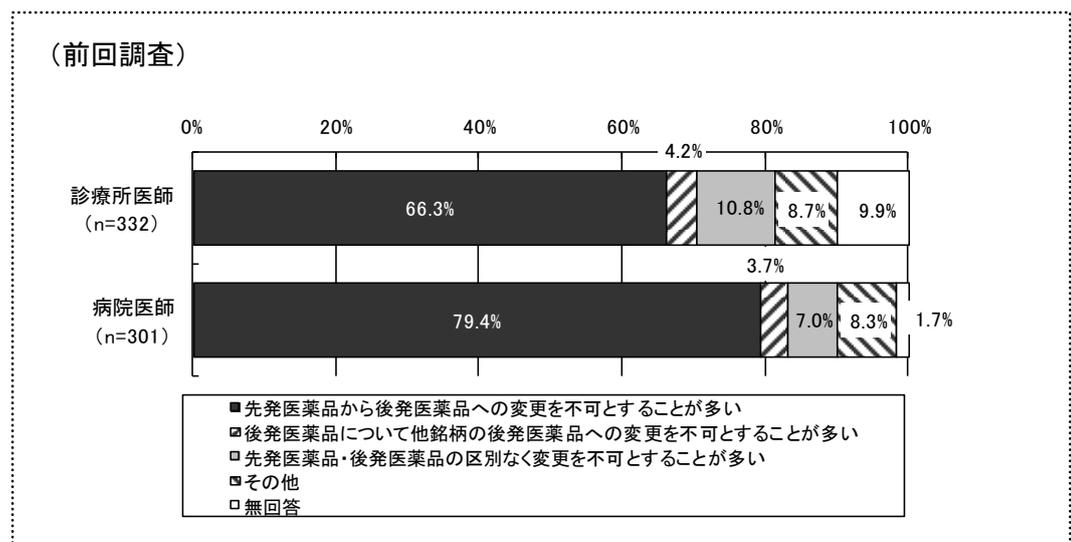
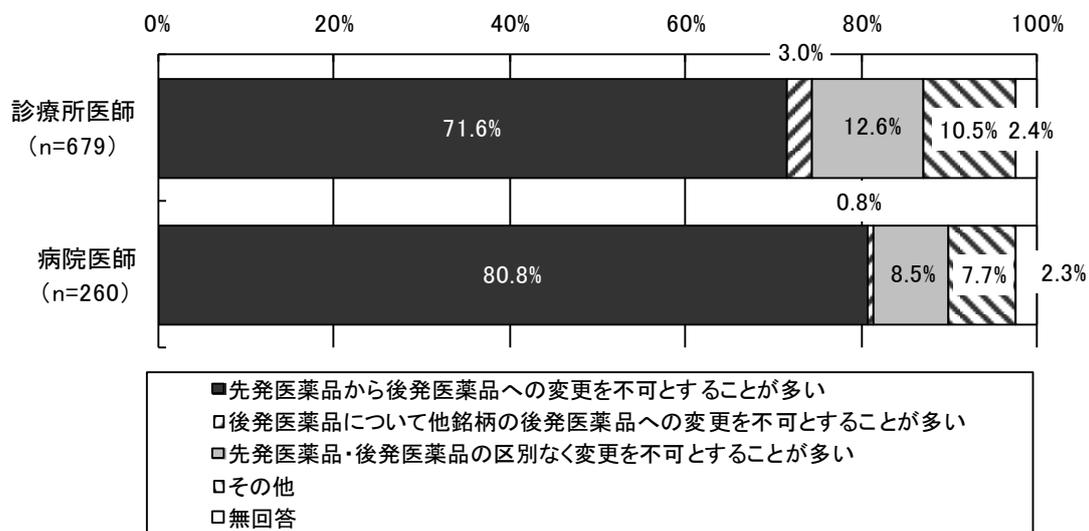
図表 102 後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験の有無  
（平成 27 年 4 月以降、医師ベース）



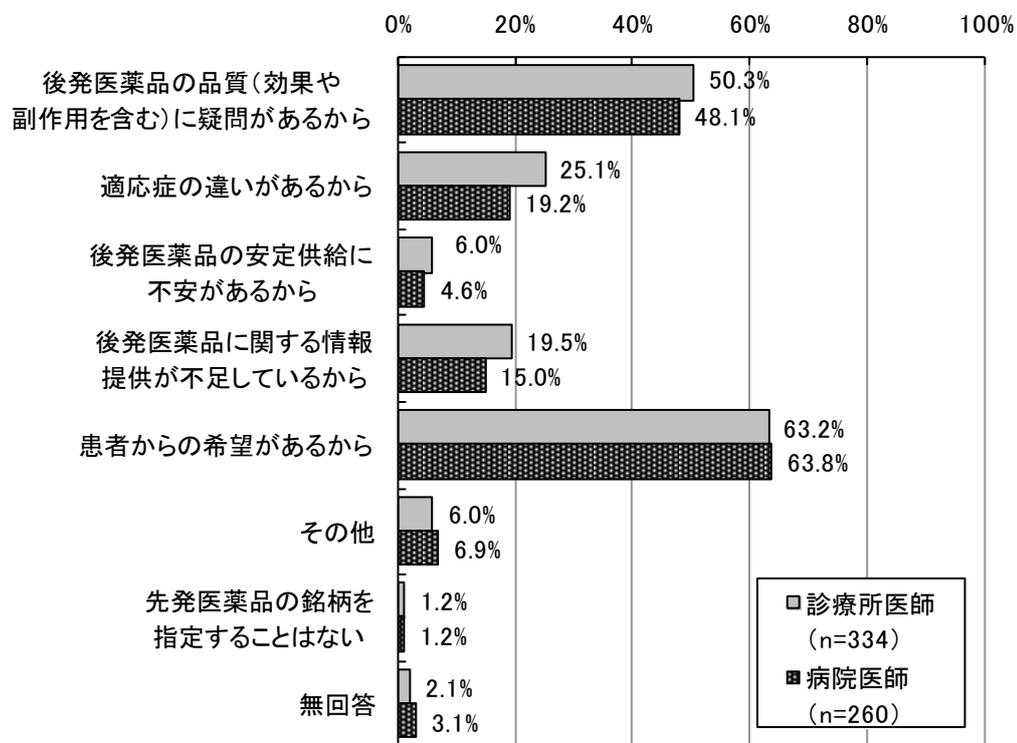
図表 103 院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄にチェックした処方せんの割合  
 (平成 27 年 4 月以降「変更不可」欄にチェックした経験のある医師、医師ベース)



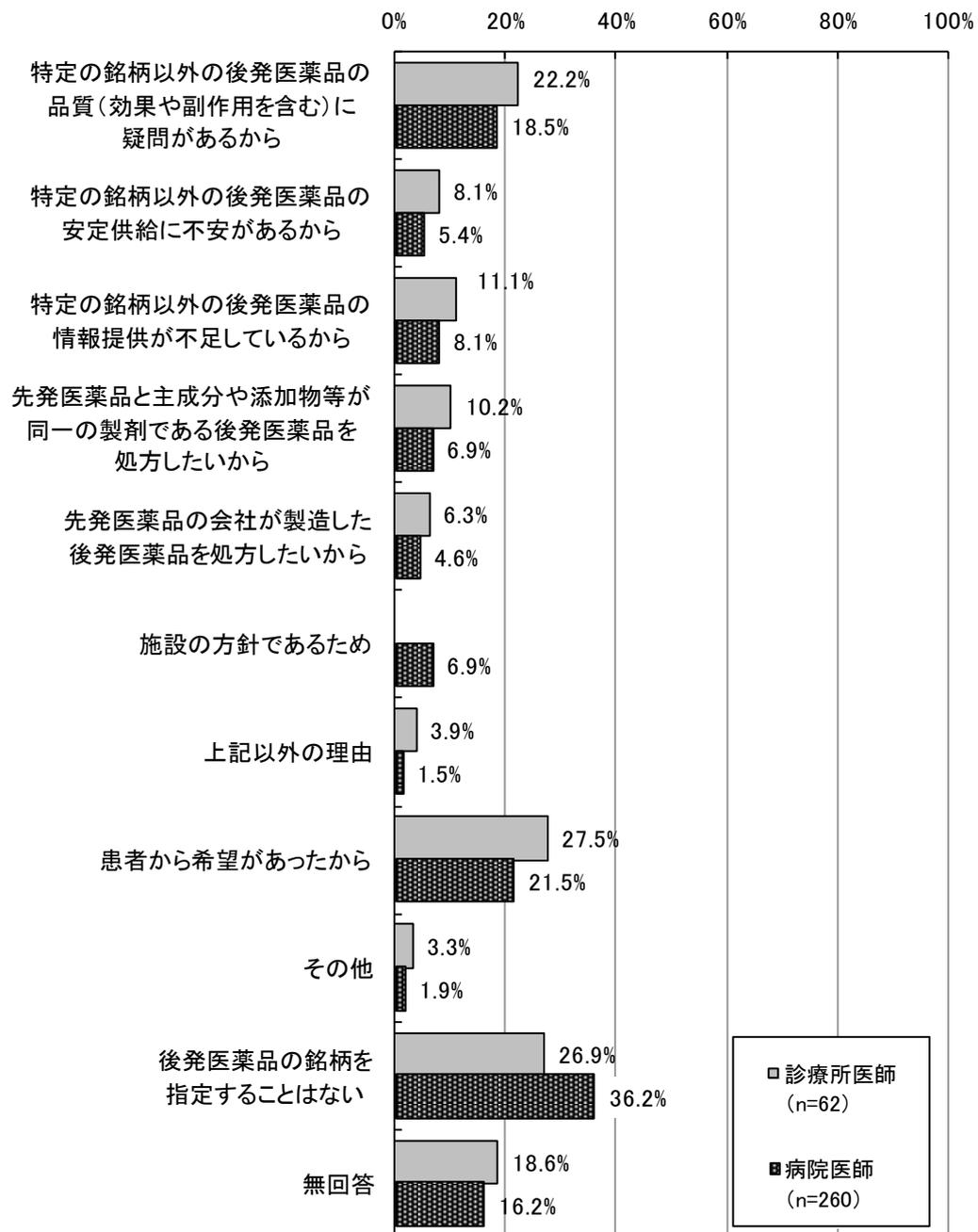
図表 104 一部の医薬品について「変更不可」とするケースとして最も多いもの  
 (平成 27 年 4 月以降「変更不可」欄にチェックした経験のある医師、医師ベース)



図表 105 先発医薬品の銘柄を指定する場合の理由  
 (平成 27 年 4 月以降「変更不可」欄にチェックした経験のある医師、医師ベース、複数回答)



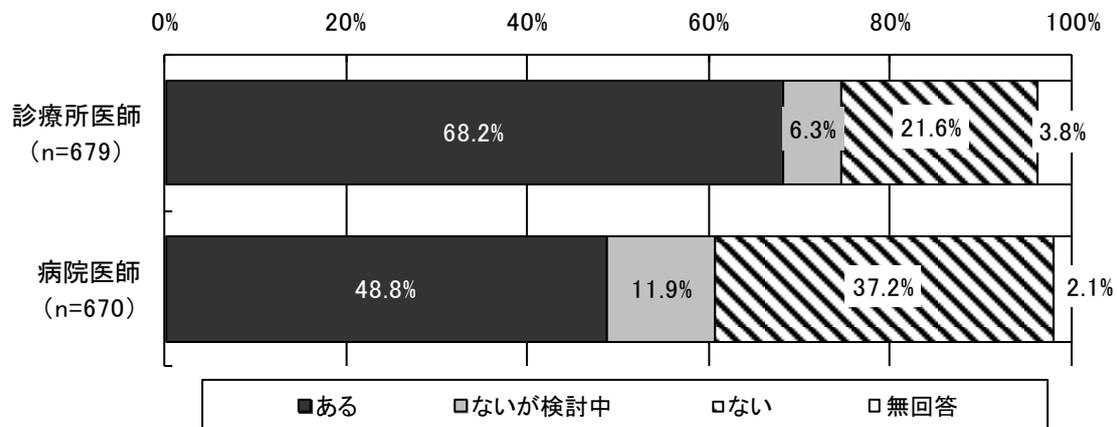
図表 106 後発医薬品の銘柄を指定する場合の理由  
 (平成 27 年 4 月以降「変更不可」欄にチェックした経験のある医師、医師ベース、複数回答)



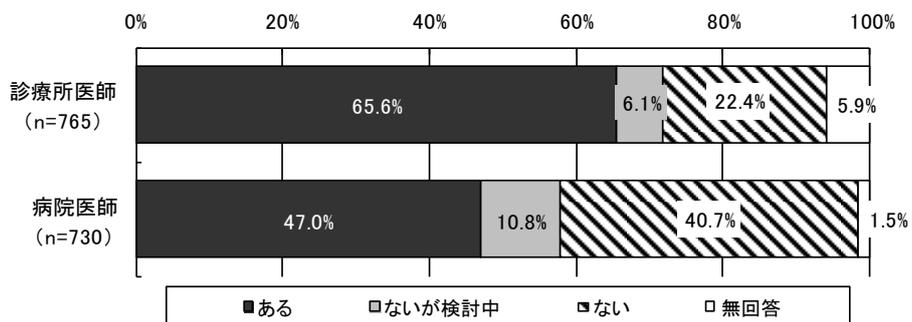
(注)「施設の方針であるため」は病院医師のみに対する選択肢である。

④医師における一般名処方による処方せん発行の状況等

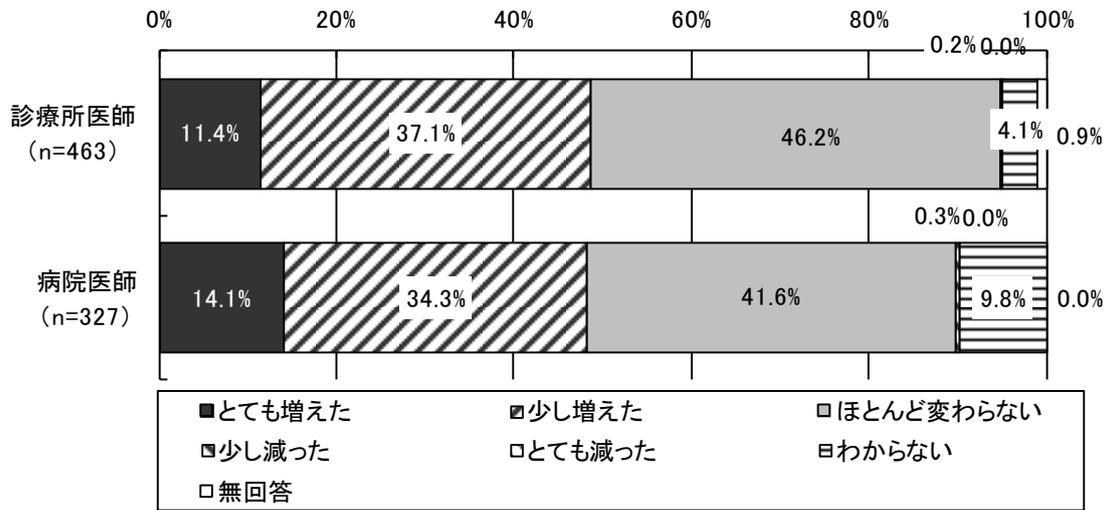
図表 107 一般名処方による処方せん発行の有無（平成 27 年 4 月以降、医師ベース）



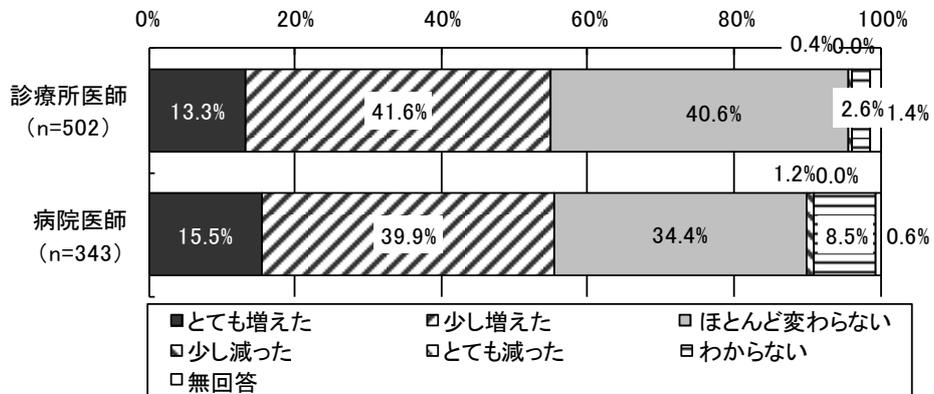
(前回調査)



図表 108 一般名処方による処方せんの発行による事務的な負担の変化  
 (一般名処方による処方せんを発行している医師、医師ベース)



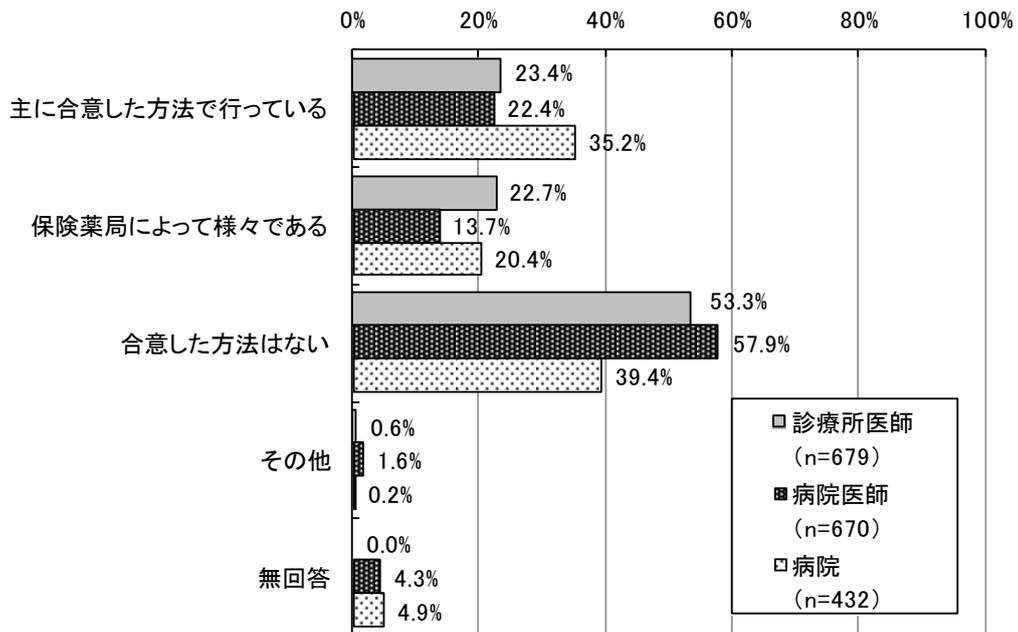
(前回調査)



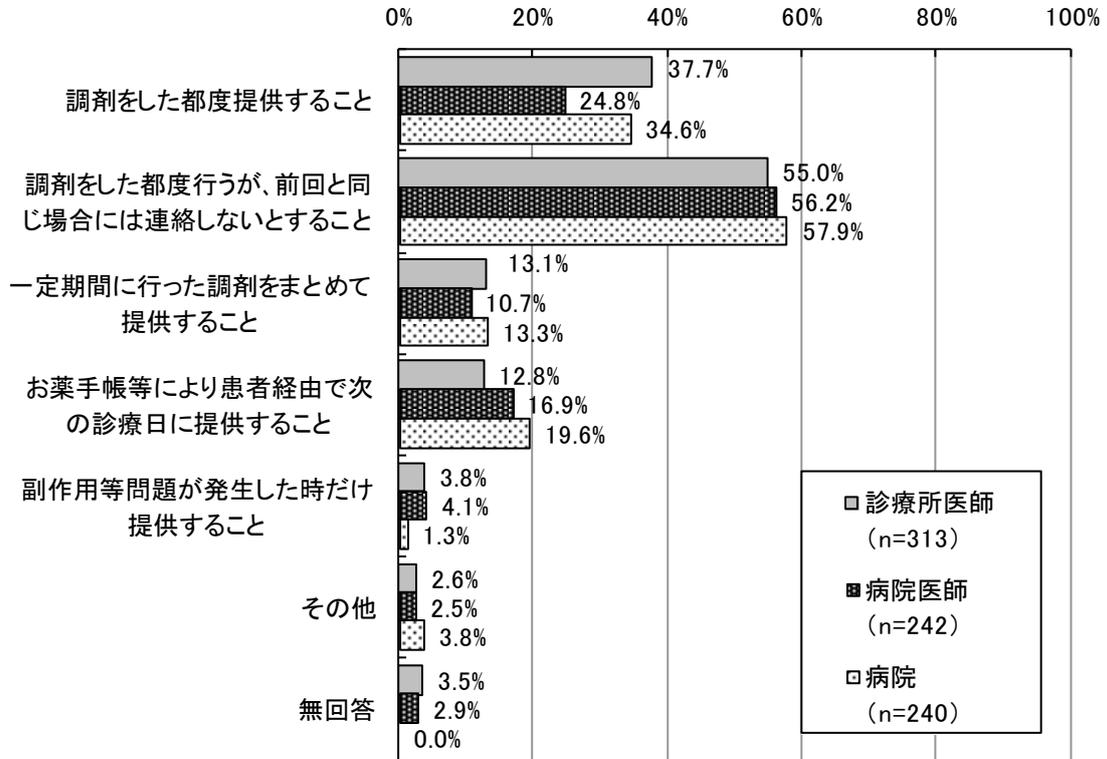
(8) 保険薬局・患者との関係

①調剤時の保険薬局からの情報提供に関する意向等

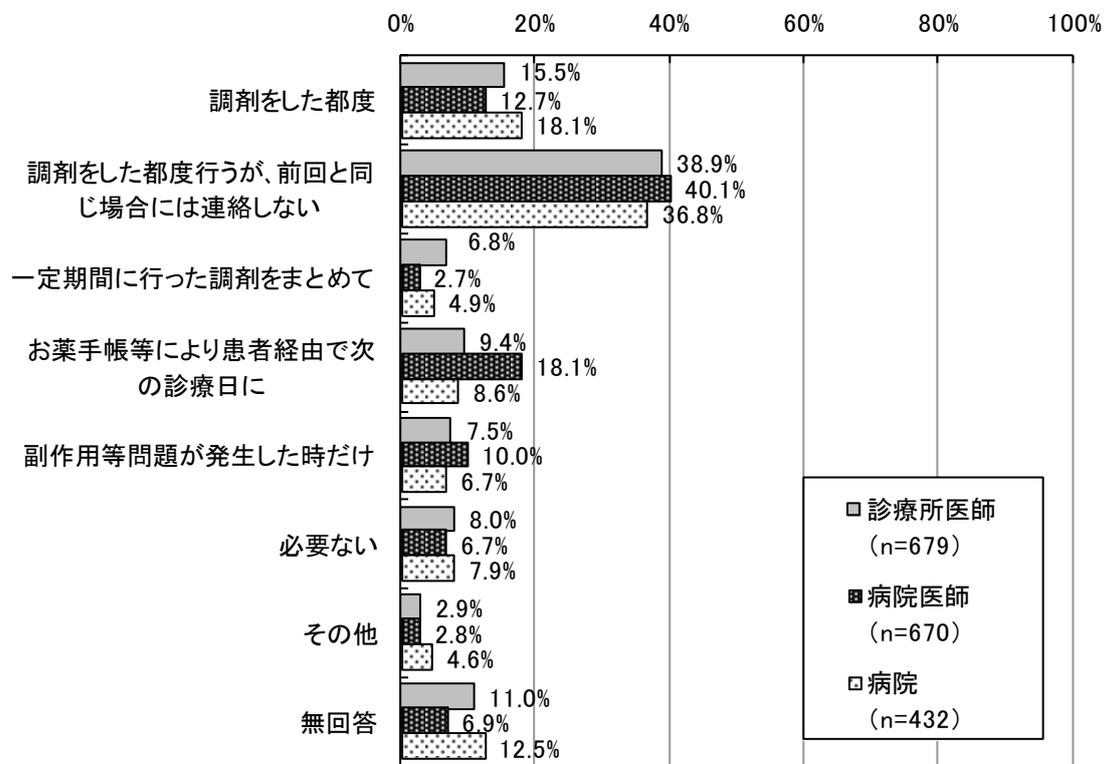
図表 109 一般名処方調剤または後発医薬品への変更調剤の情報提供の頻度等について、  
保険薬局と予め合意した方法で行っているか  
(院外処方を行っている施設・医師、単数回答)



図表 110 保険薬局と合意した方法  
 (「主に合意した方法で行っている」「保険薬局によって様々である」と  
 回答した施設・医師、複数回答)



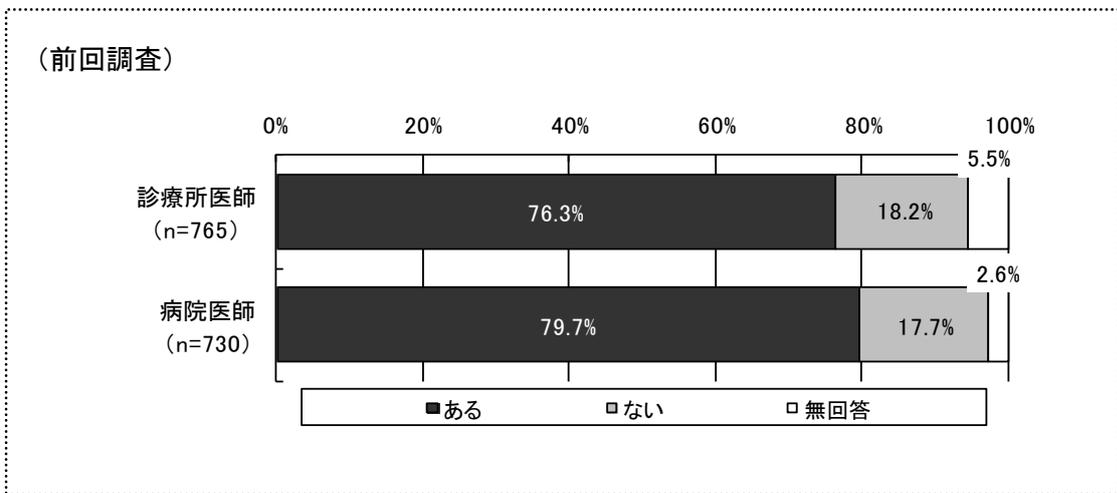
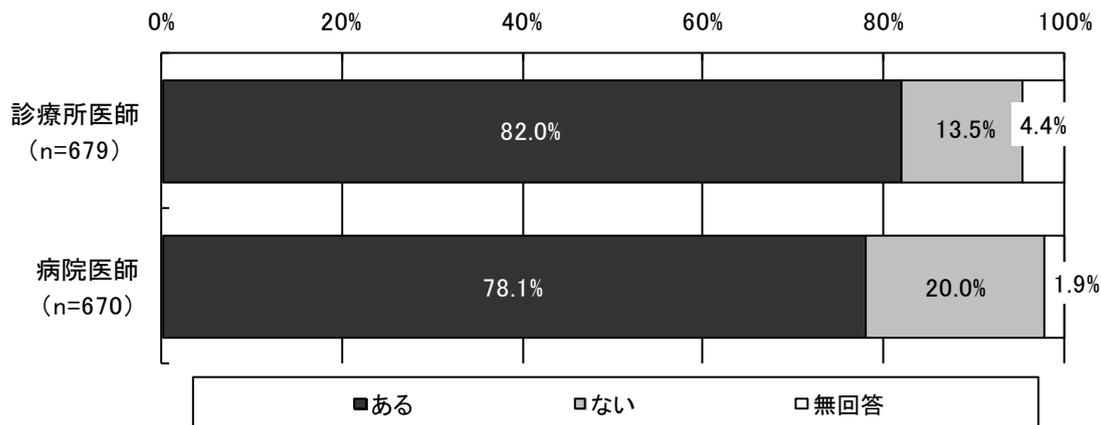
図表 111 保険薬局で実際に調剤した後発医薬品の銘柄等に関する情報提供の望ましい方法・タイミング（単数回答）



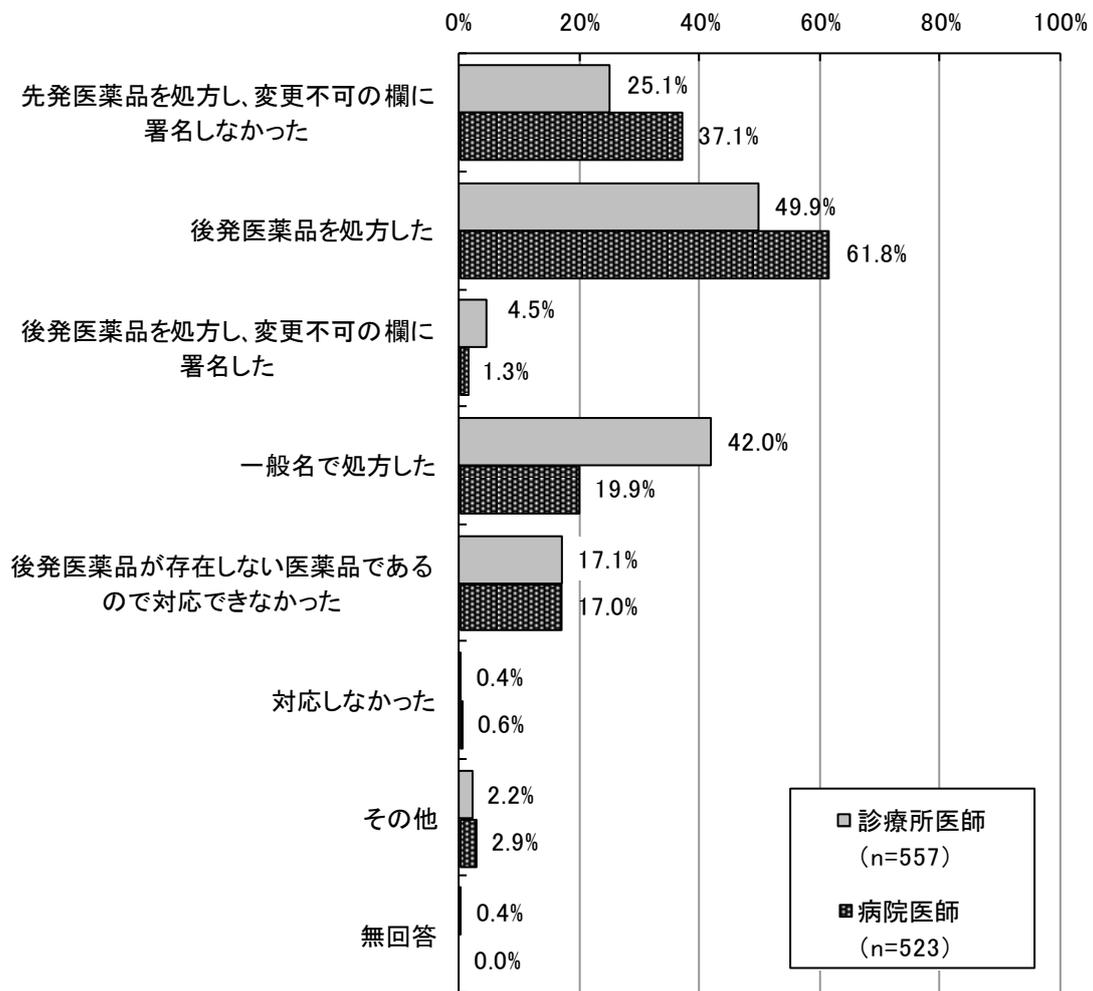
②患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無と対応

1) 院外処方せんを発行している場合

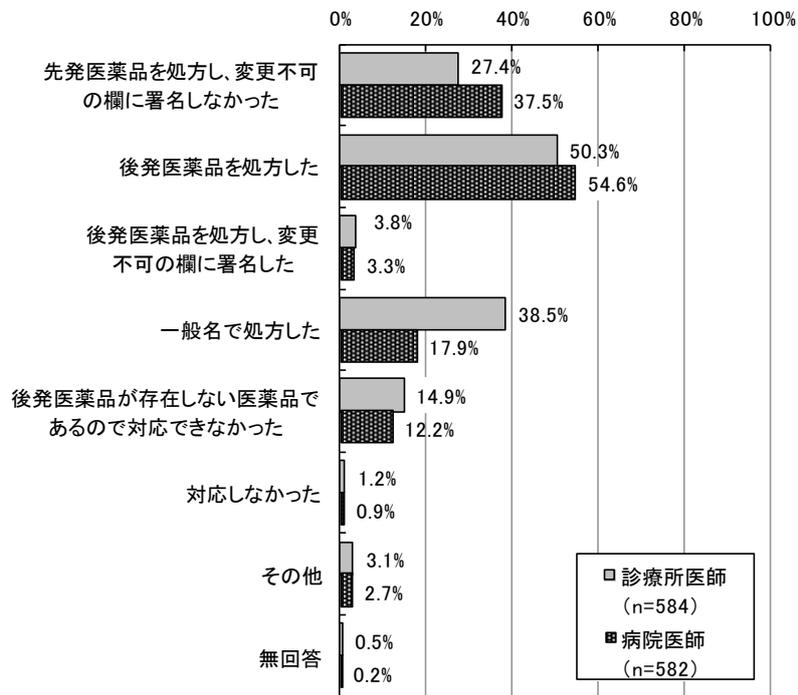
図表 112 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無  
(院外処方せんを発行している施設の医師、医師ベース)



図表 113 患者から後発医薬品の処方求められた時の対応（患者から後発医薬品の処方を求められたことがあると回答した医師、複数回答、医師ベース）

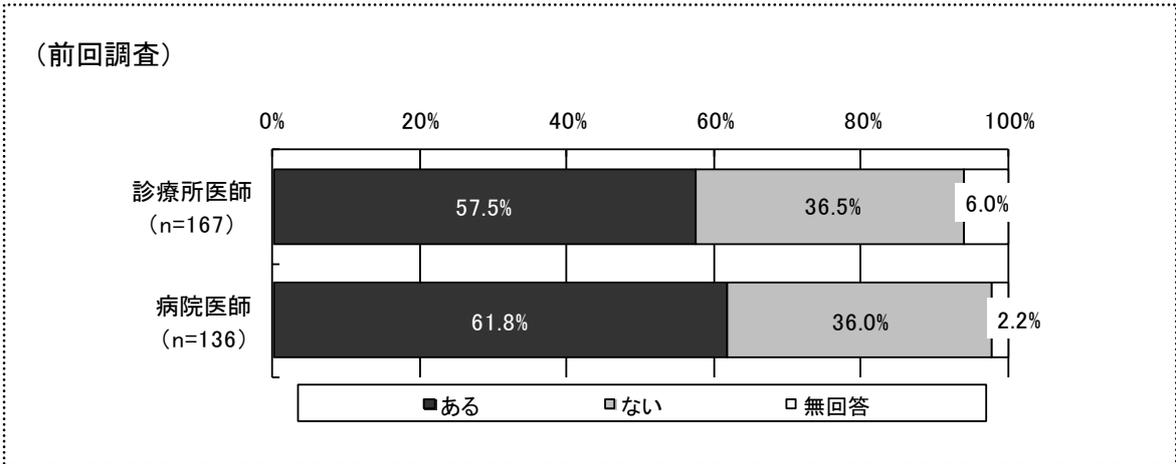
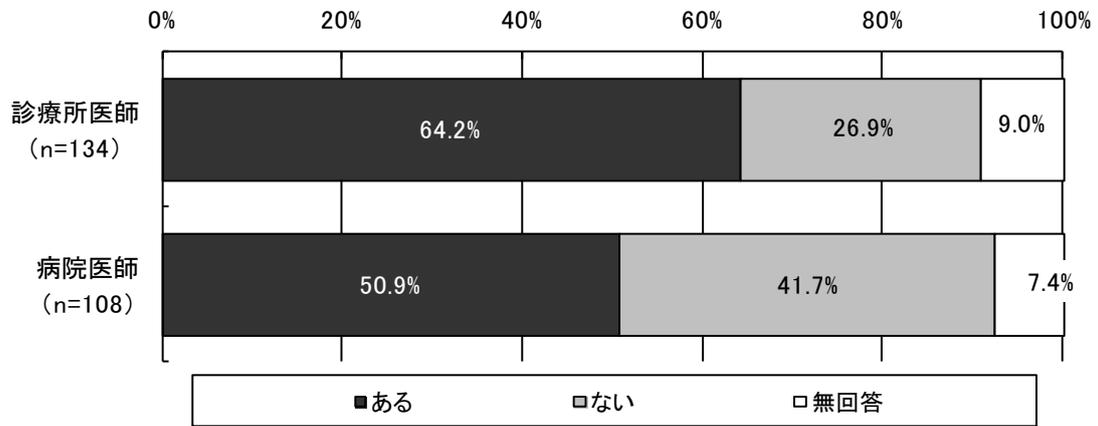


(前回調査)

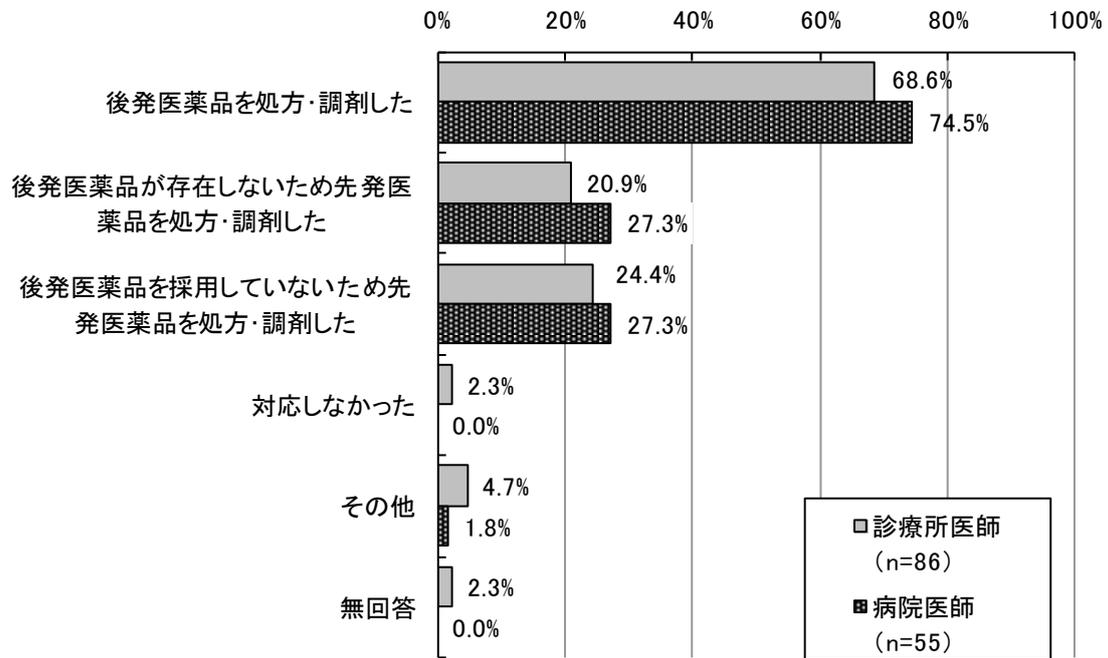


2) 院外処方せんを発行していない場合

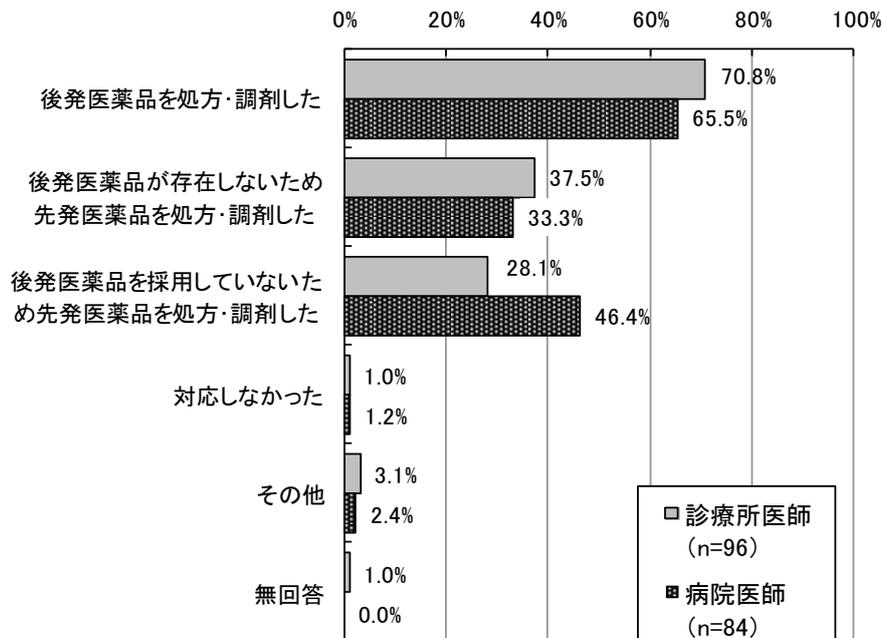
図表 114 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無  
 (院外処方せんを発行していない施設の医師、医師ベース)



図表 115 患者から後発医薬品の処方を求められた時の対応  
 (院外処方せんを発行していない施設、患者から後発医薬品の処方を求められたことがあると回答した医師、複数回答)



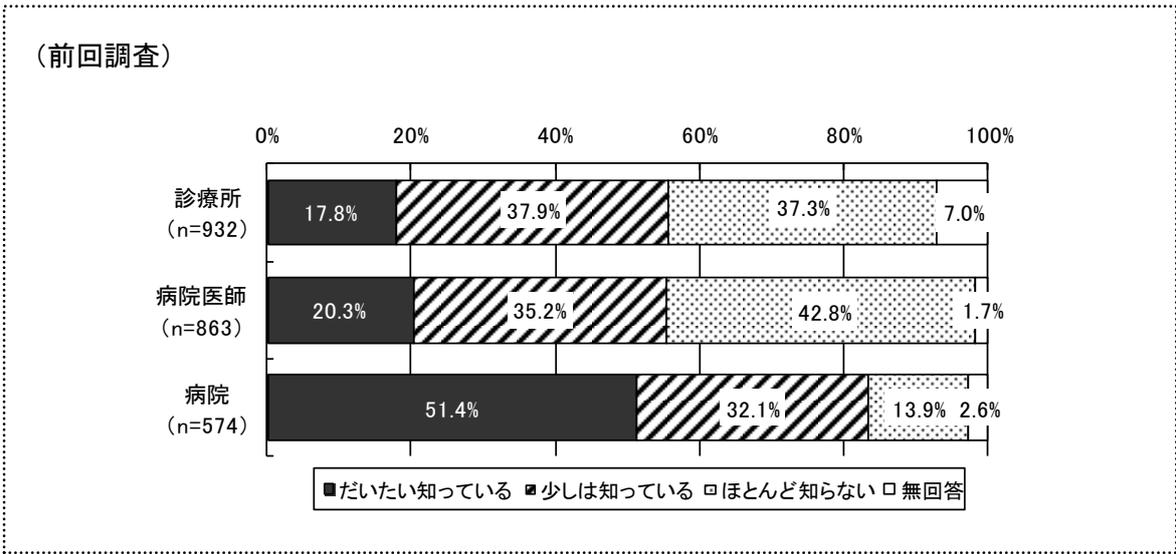
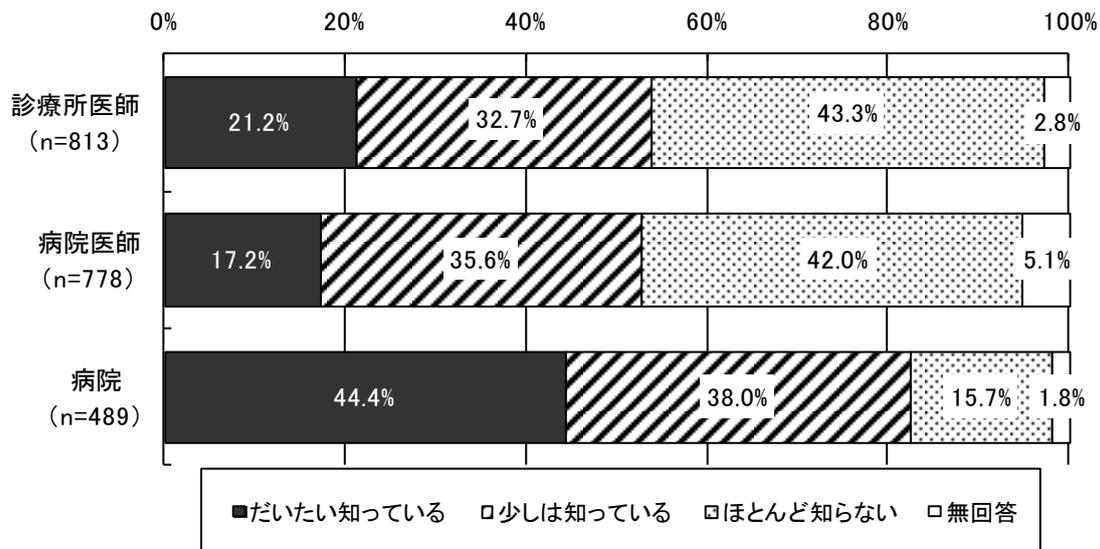
(前回調査)



(9) 医療機関・医師における後発医薬品に関する意識等

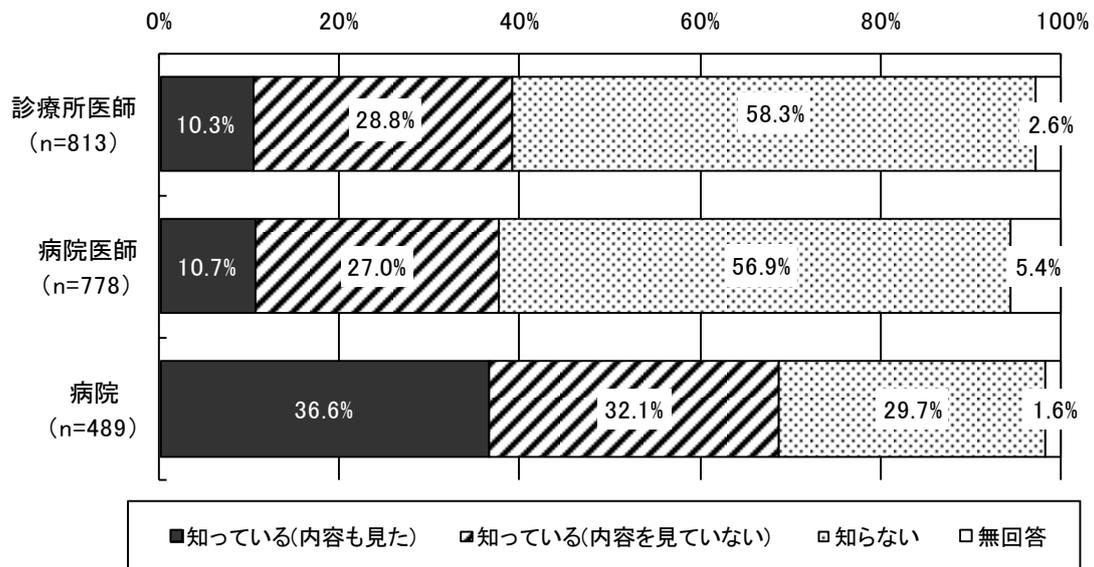
①医療機関・医師における、後発医薬品が旧薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況

図表 116 医療機関・医師における、後発医薬品が旧薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況

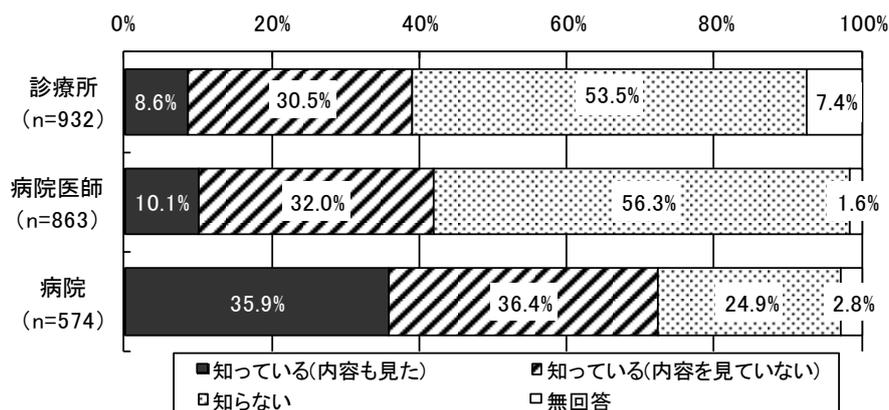


②医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q & A～』に関する認知状況

図表 117 医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q & A～（平成27年2月第3版発行）』に関する認知状況

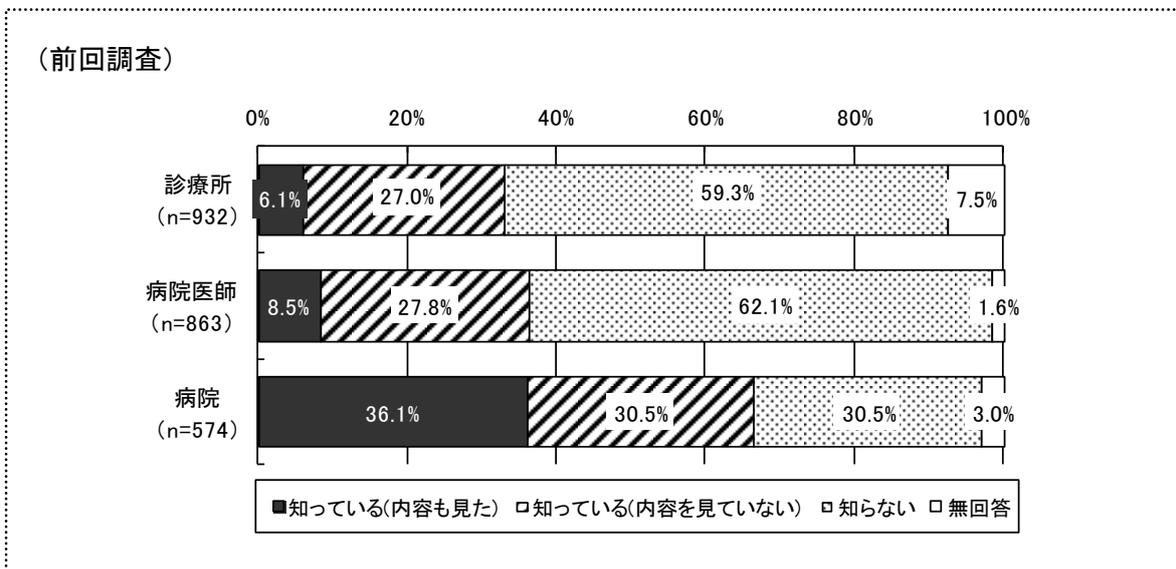
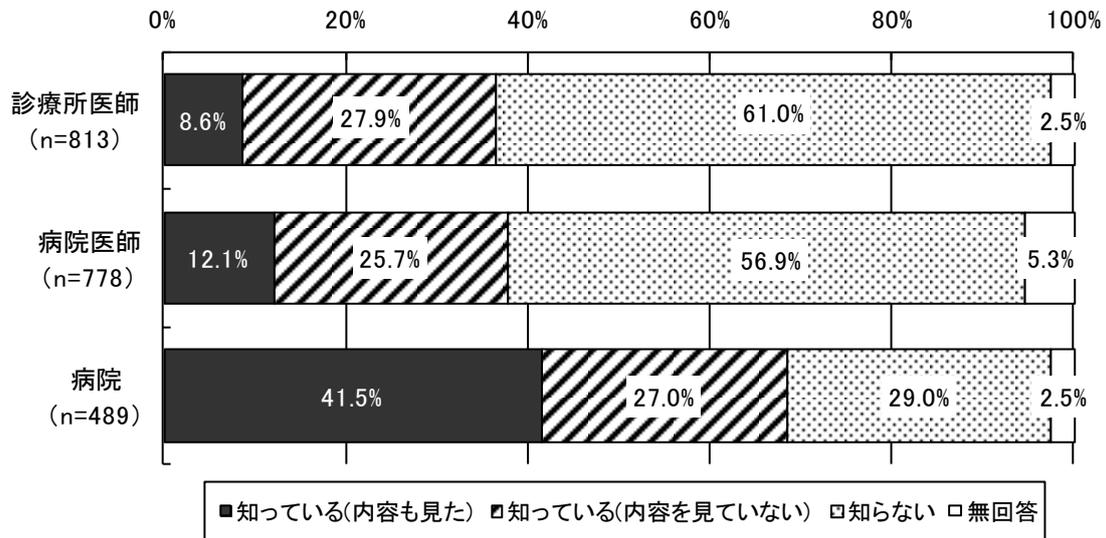


(前回調査)



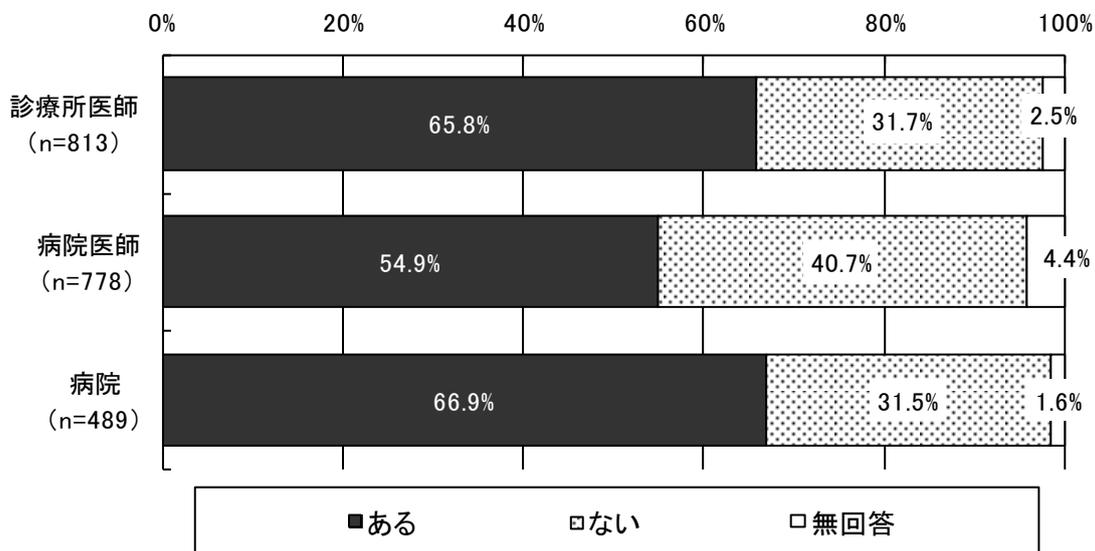
③医療機関・医師における、『後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ』に関する認知状況

図表 118 医療機関・医師における、『後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ』に関する認知状況

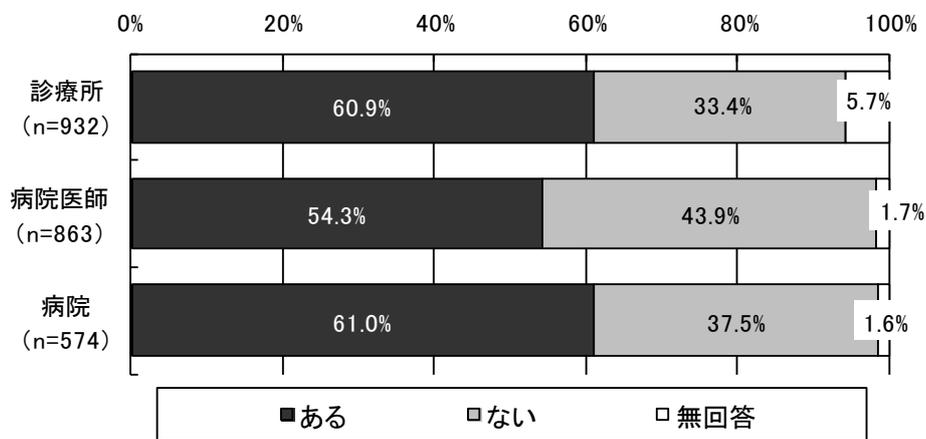


④今現在の後発医薬品に対する不信感

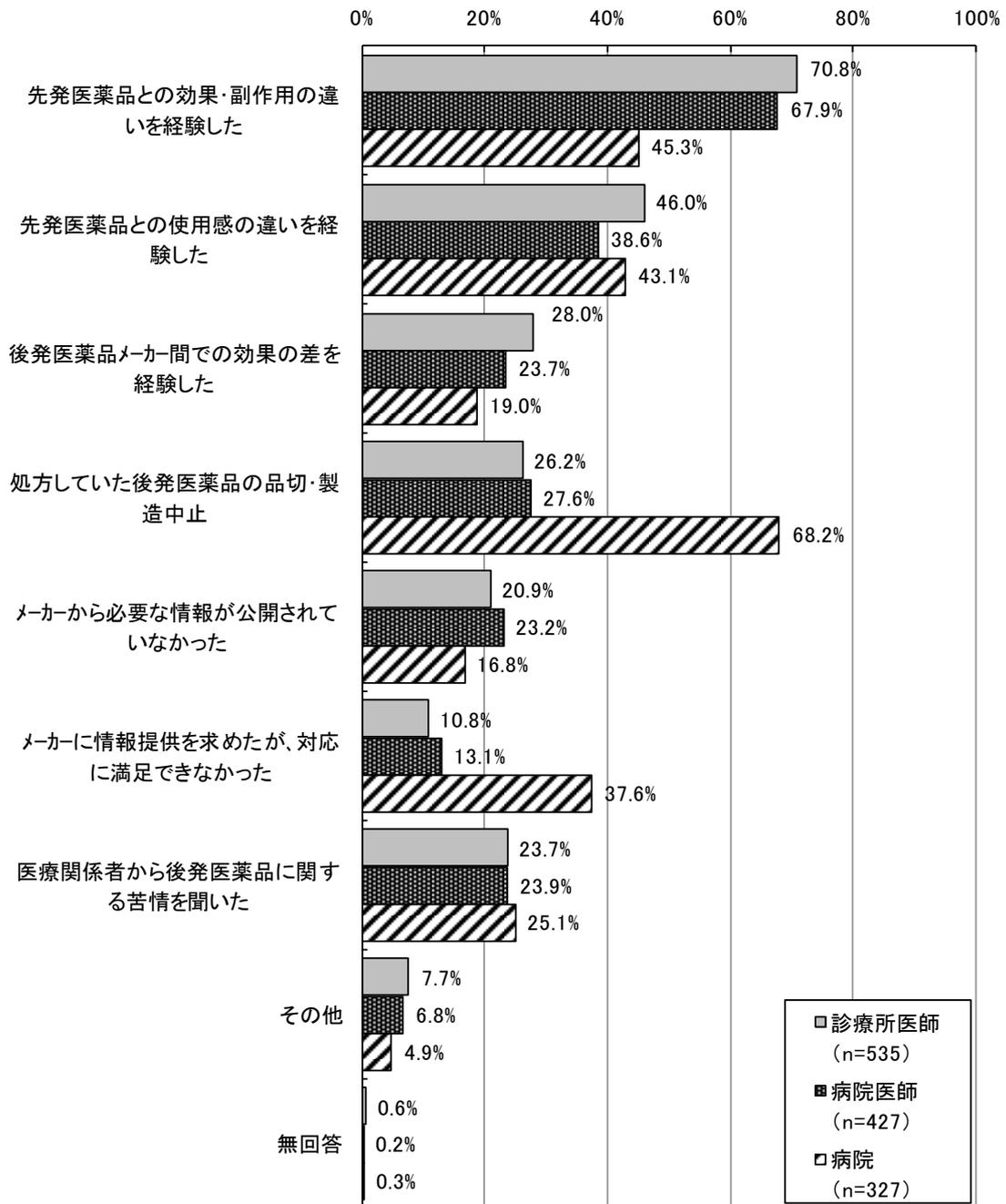
図表 119 今現在の後発医薬品に対する不信感の有無



(前回調査)

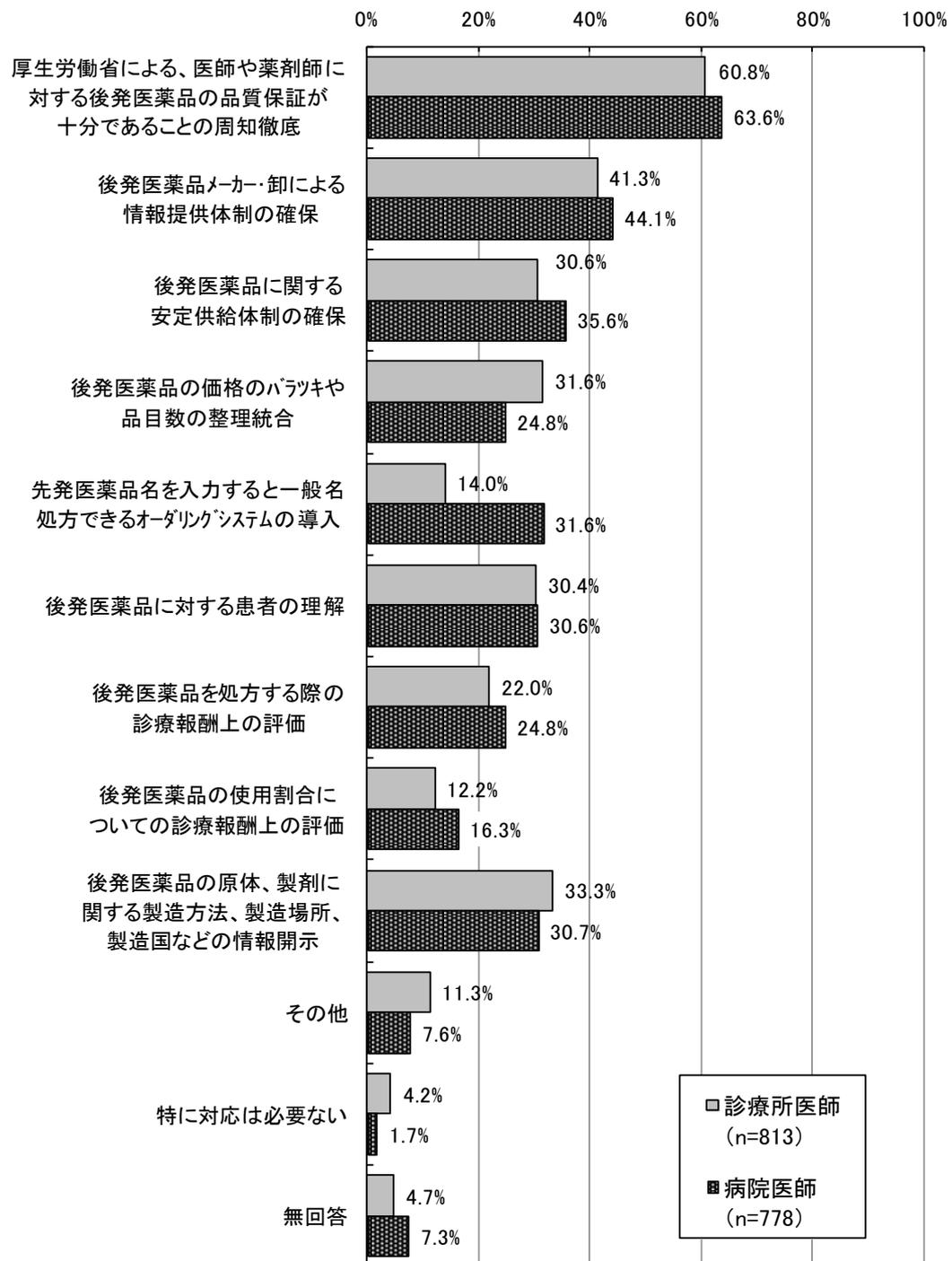


図表 120 後発医薬品に対する不信感を抱いたきっかけ  
 (不信感があると回答した施設・医師、複数回答)

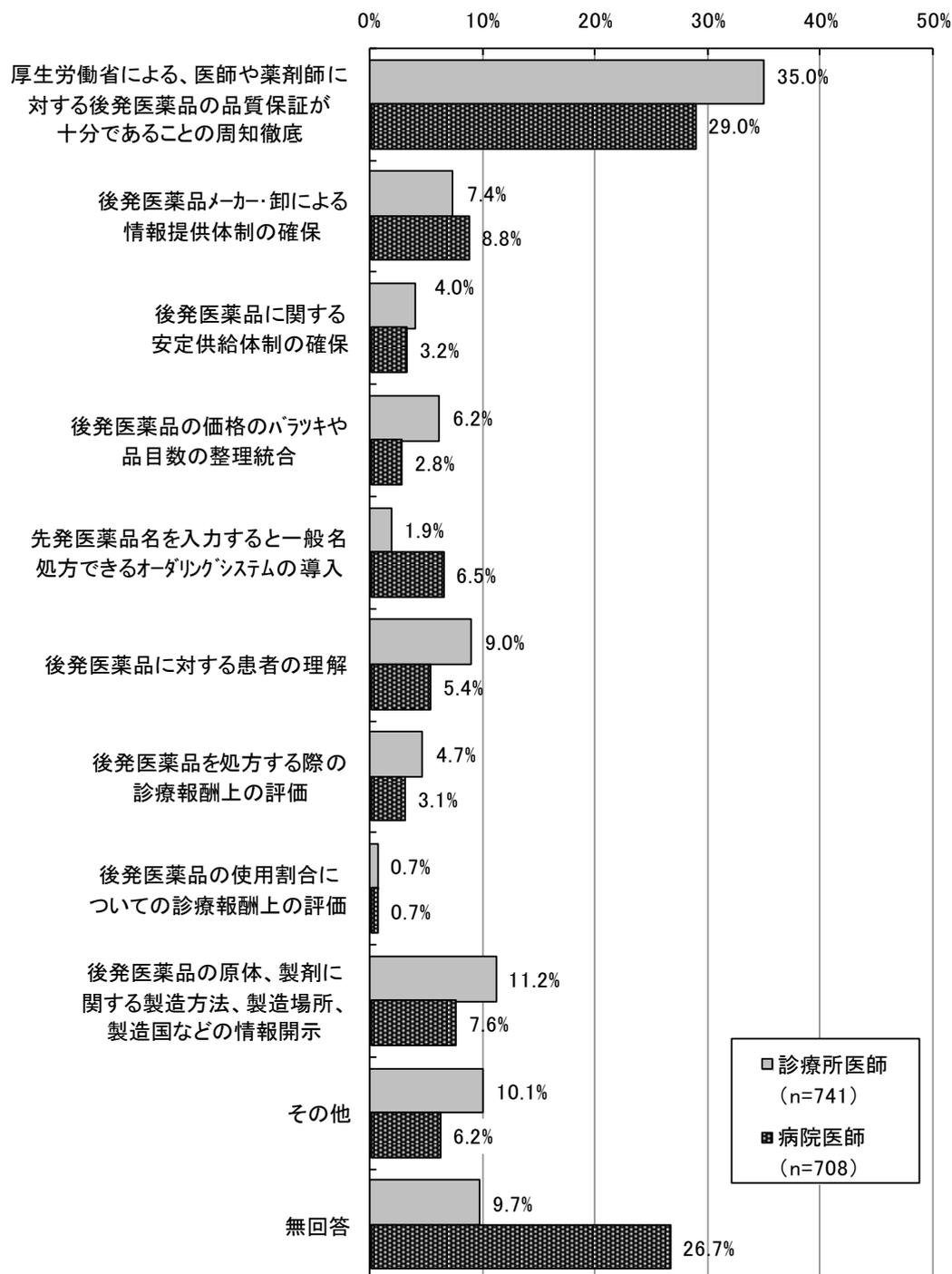


⑤後発医薬品の処方を進めるための環境

図表 121 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか（医師ベース、複数回答）



図表 122 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか（最も重要なもの、医師ベース、単数回答）



## 4. 患者調査の結果

### 【調査対象等】

調査対象：「保険薬局調査」の対象施設に調査日に処方せんを持って来局した患者。  
ただし、1施設につき最大2名の患者を対象とした。

回答数：950人

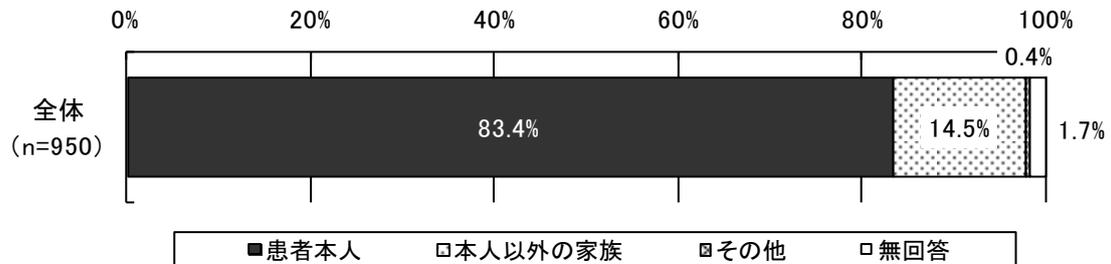
回答者：患者本人または家族

調査方法：調査対象薬局を通じて配布。回収は各患者から調査事務局宛の返信用封筒にて直接回収。

### (0) 記入者の属性等

#### ① 記入者と患者の関係

図表 123 記入者と患者の関係

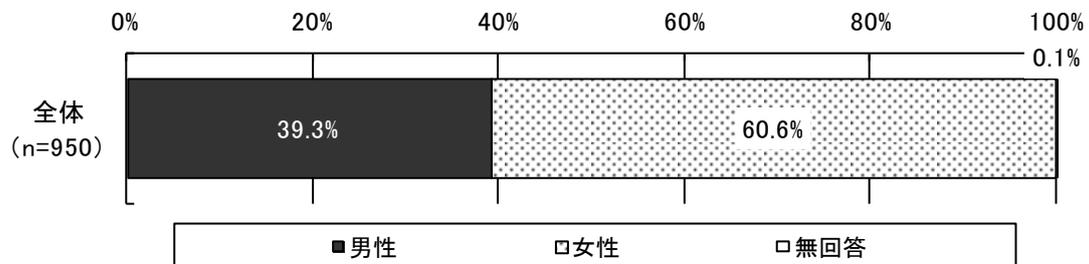


### (1) 患者の属性等

#### ① 患者の基本属性

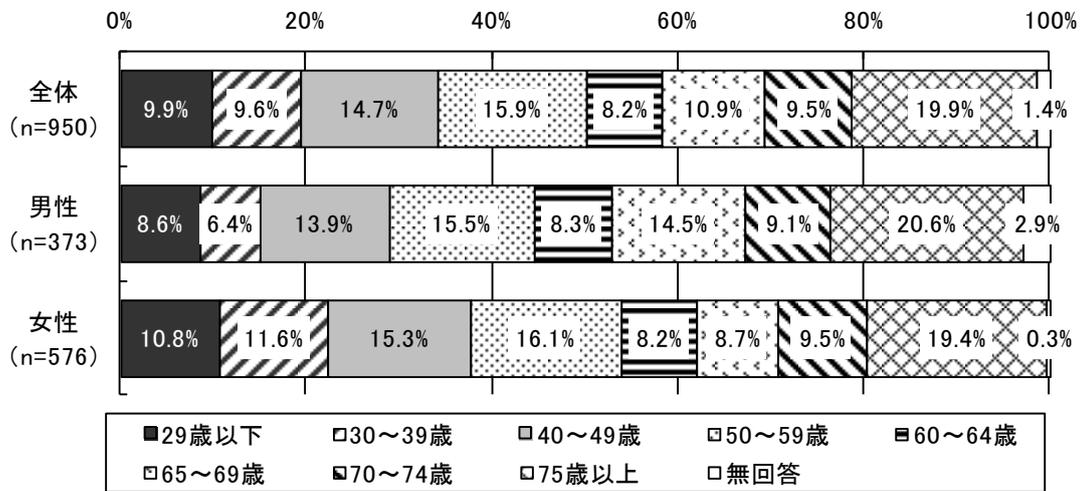
##### 1) 性別

図表 124 性別



2) 年齢

図表 125 年齢分布（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 126 平均年齢（男女別）

(単位：歳)

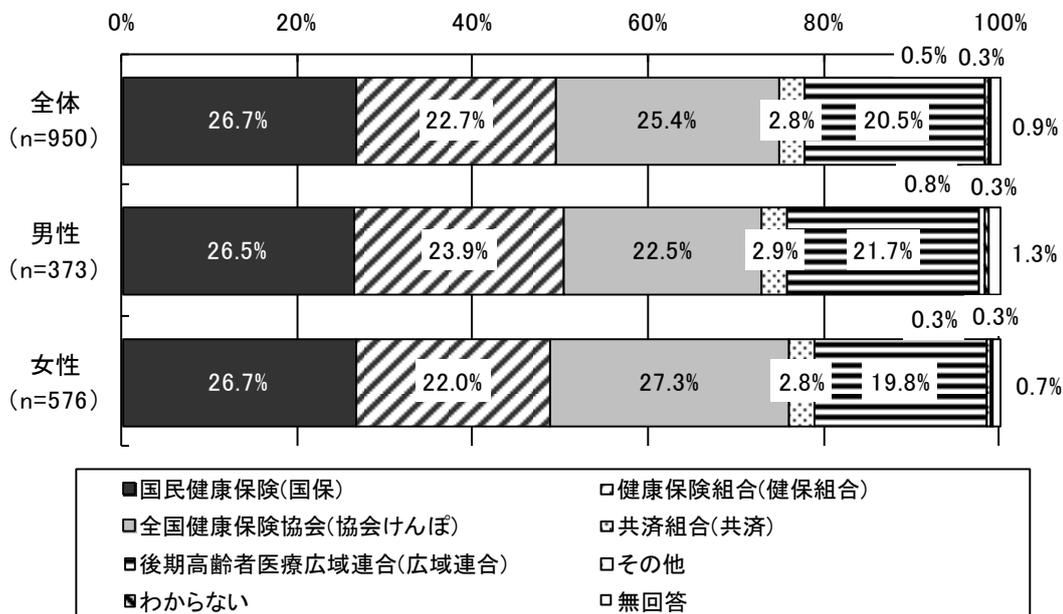
|    | 人数(人) | 平均値  | 標準偏差 | 中央値  |
|----|-------|------|------|------|
| 全体 | 937   | 56.6 | 19.6 | 59.0 |
| 男性 | 362   | 58.1 | 19.0 | 62.0 |
| 女性 | 574   | 55.6 | 19.9 | 56.0 |

(注)・「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

・年齢について記入のあったものを集計対象とした。

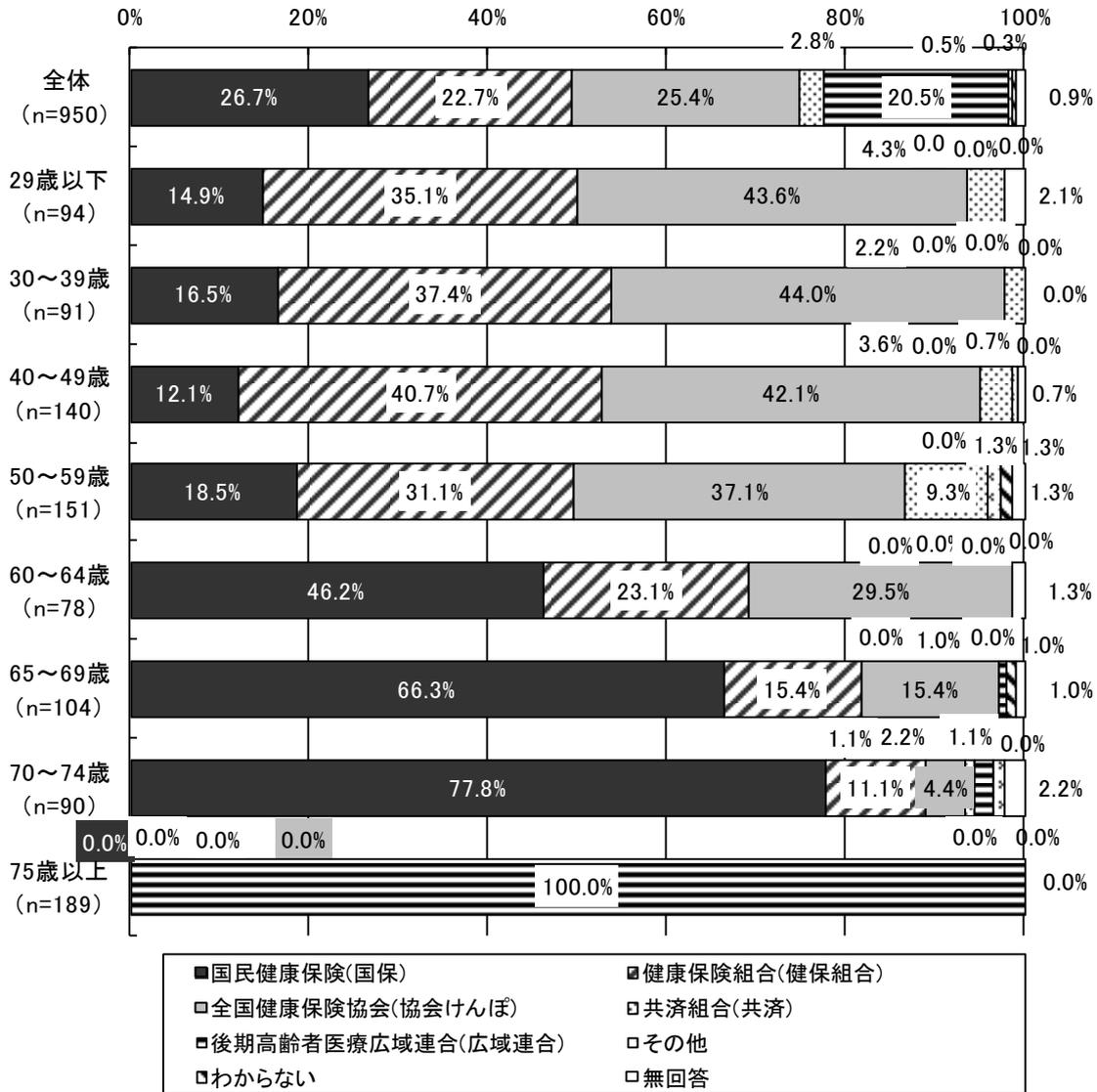
②公的医療保険の種類

図表 127 公的医療保険の種類（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

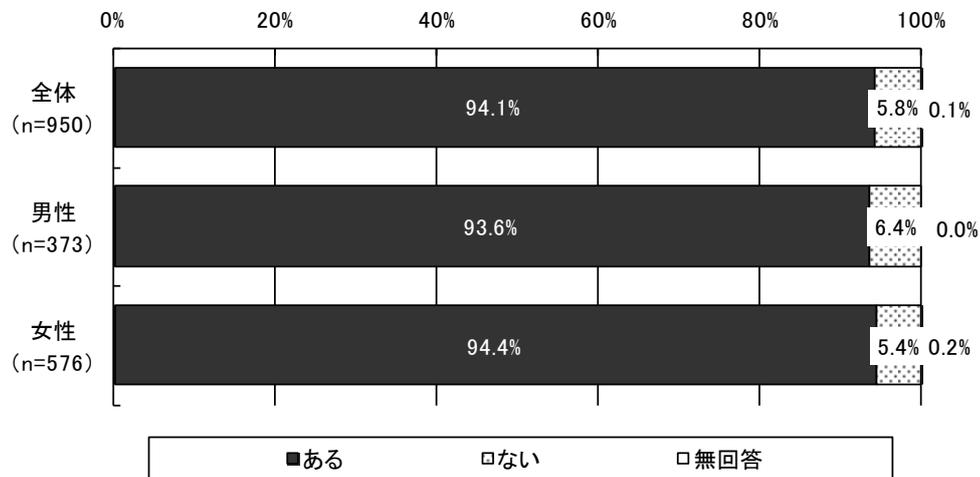
図表 128 公的医療保険の種類（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

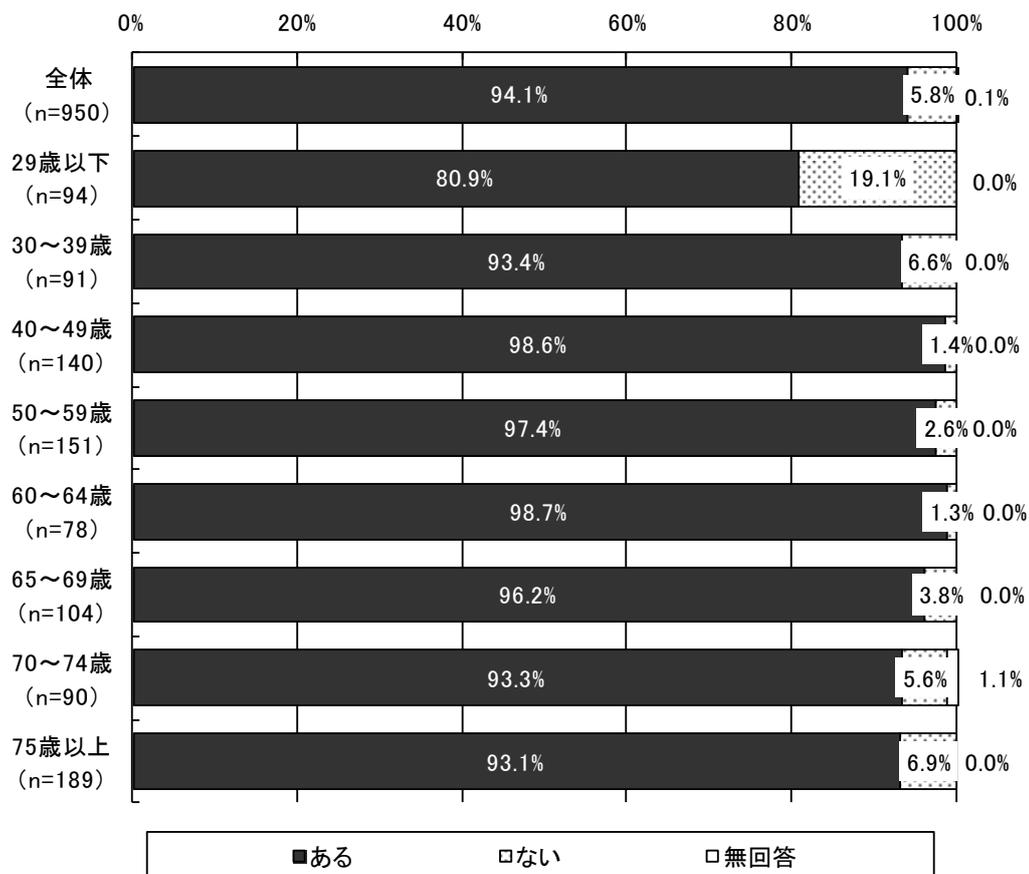
### ③自己負担額の有無

図表 129 自己負担額の有無（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 130 自己負担額の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

④過去3か月間の薬局訪問回数（処方せん持参に限る）

図表 131 過去3か月間の薬局訪問回数（男女別）

（単位：回）

|    | 人数(人) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|----|-------|-----|------|-----|
| 全体 | 939   | 3.7 | 2.6  | 3.0 |
| 男性 | 366   | 3.8 | 2.6  | 3.0 |
| 女性 | 572   | 3.7 | 2.6  | 3.0 |

（注）「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 132 過去3か月間の薬局訪問回数（年齢階級別）

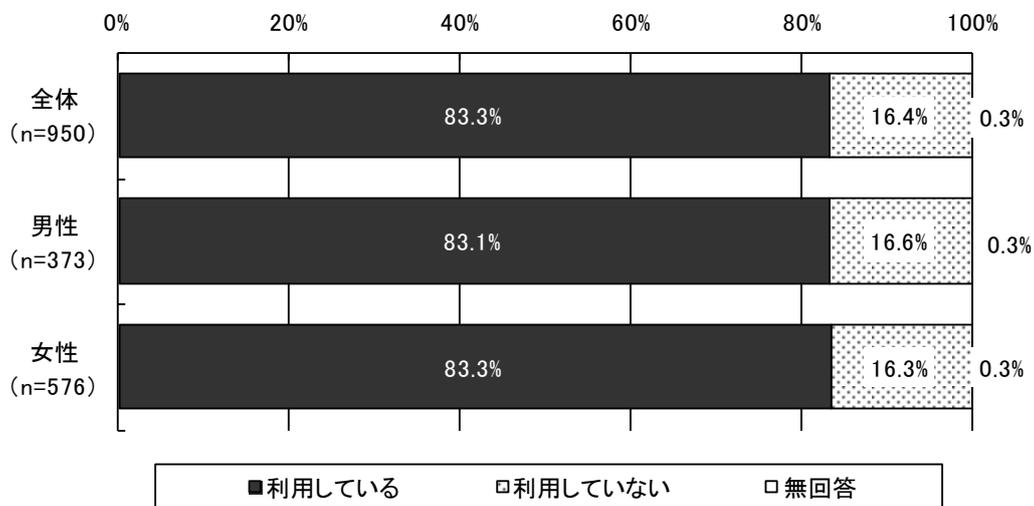
（単位：回）

|        | 人数(人) | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|--------|-------|-----|------|-----|
| 全体     | 939   | 3.7 | 2.6  | 3.0 |
| 29歳以下  | 94    | 3.2 | 2.6  | 2.0 |
| 30～39歳 | 91    | 2.8 | 2.3  | 2.0 |
| 40～49歳 | 139   | 2.9 | 2.0  | 3.0 |
| 50～59歳 | 149   | 3.5 | 2.4  | 3.0 |
| 60～64歳 | 78    | 3.4 | 2.0  | 3.0 |
| 65～69歳 | 103   | 4.3 | 2.8  | 3.0 |
| 70～74歳 | 89    | 4.3 | 2.4  | 3.0 |
| 75歳以上  | 185   | 4.8 | 2.9  | 3.0 |

（注）「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

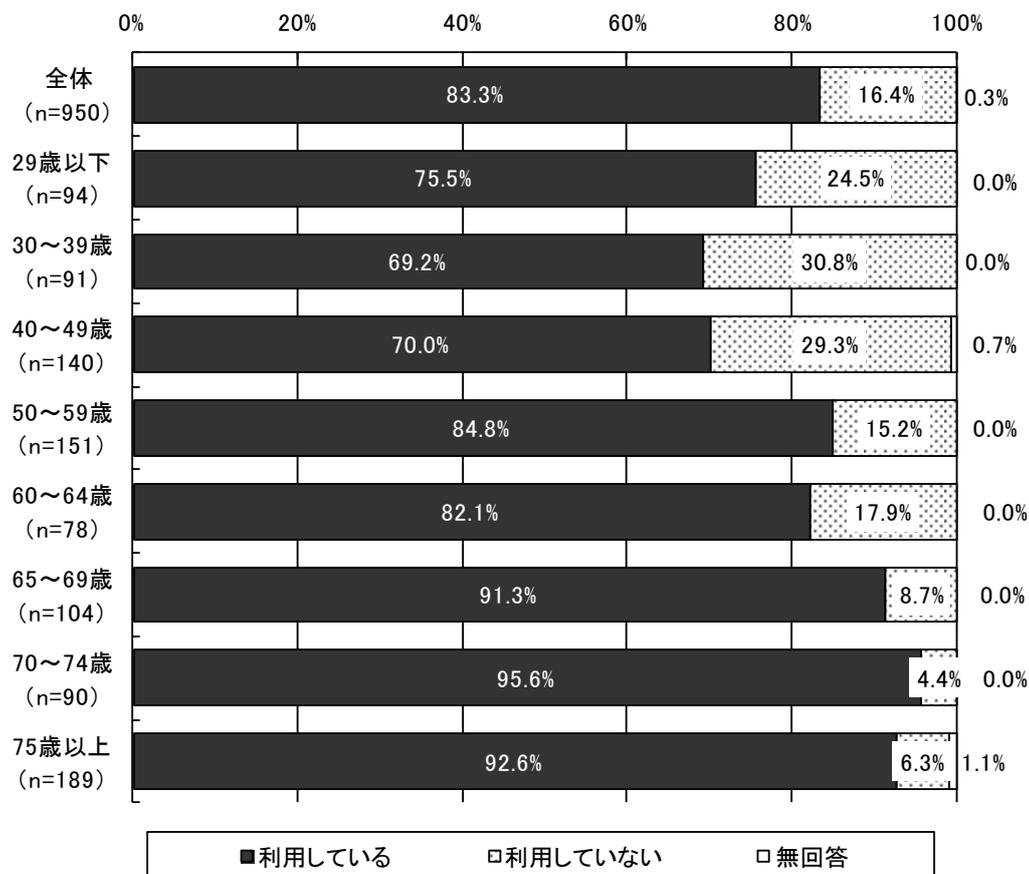
⑤お薬手帳の利用

図表 133 お薬手帳の利用（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 134 お薬手帳の利用（年齢階級別）

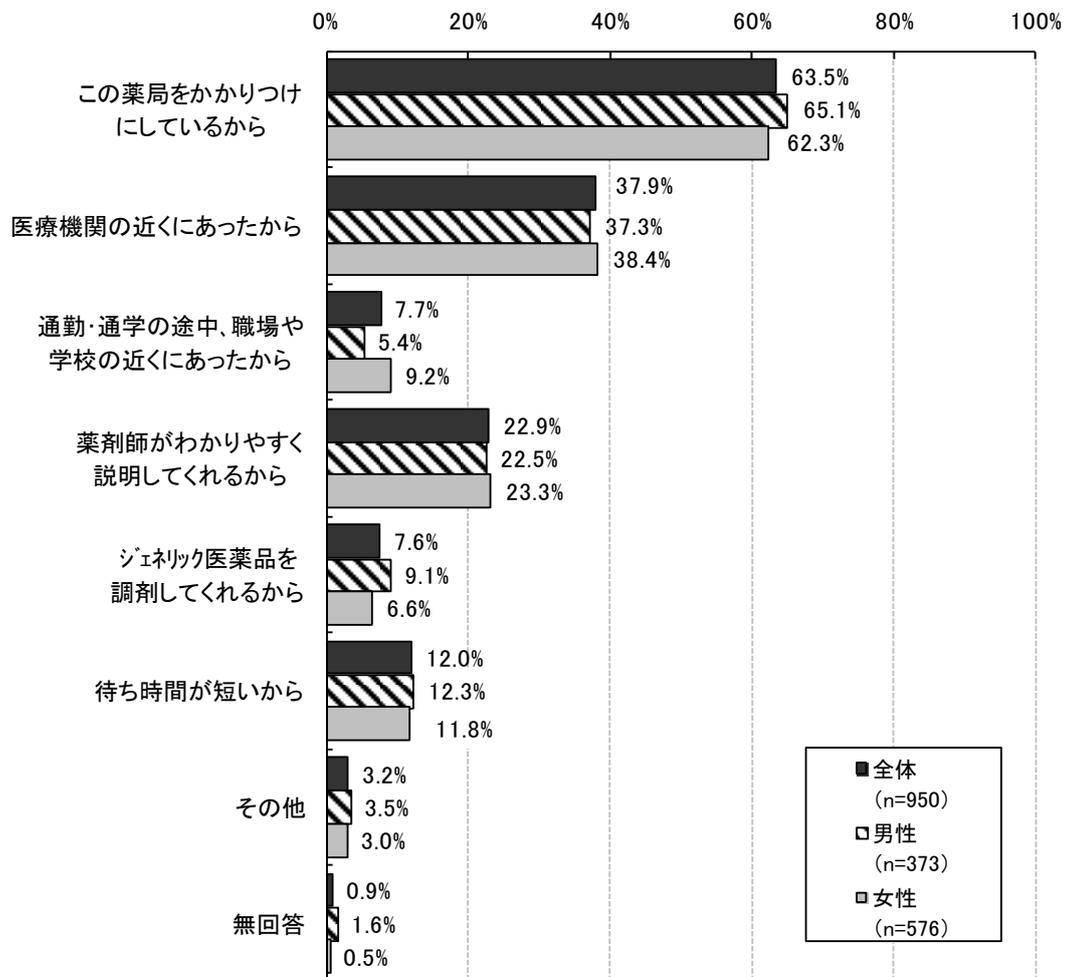


(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

(2) 調査日における受診・調剤状況等

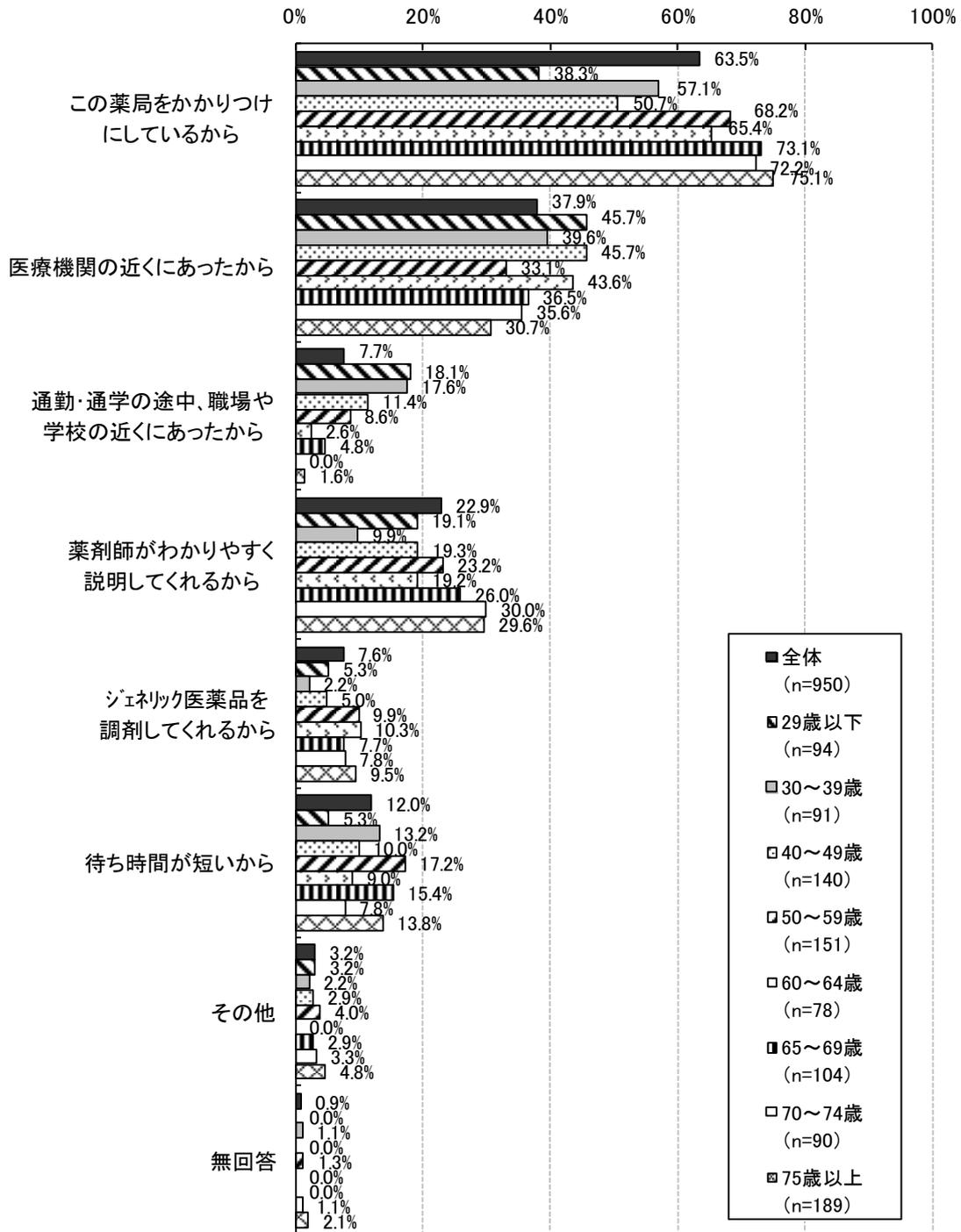
①薬局を選んだ理由

図表 135 薬局を選んだ理由（男女別、複数回答）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 136 薬局を選んだ理由（年齢階級別、複数回答）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

## ②処方状況等

### 1) 薬局窓口での自己負担額

図表 137 薬局窓口での自己負担額（男女別）

(単位：円)

|    | 人数(人) | 平均値     | 標準偏差    | 中央値     |
|----|-------|---------|---------|---------|
| 全体 | 864   | 2,184.7 | 2,540.0 | 1,365.0 |
| 男性 | 347   | 2,412.9 | 2,695.0 | 1,500.0 |
| 女性 | 516   | 2,031.4 | 2,423.5 | 1,300.0 |

(注)・「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。  
 ・自己負担額について記入のあったものを集計対象とした。

図表 138 薬局窓口での自己負担額（年齢階級別）

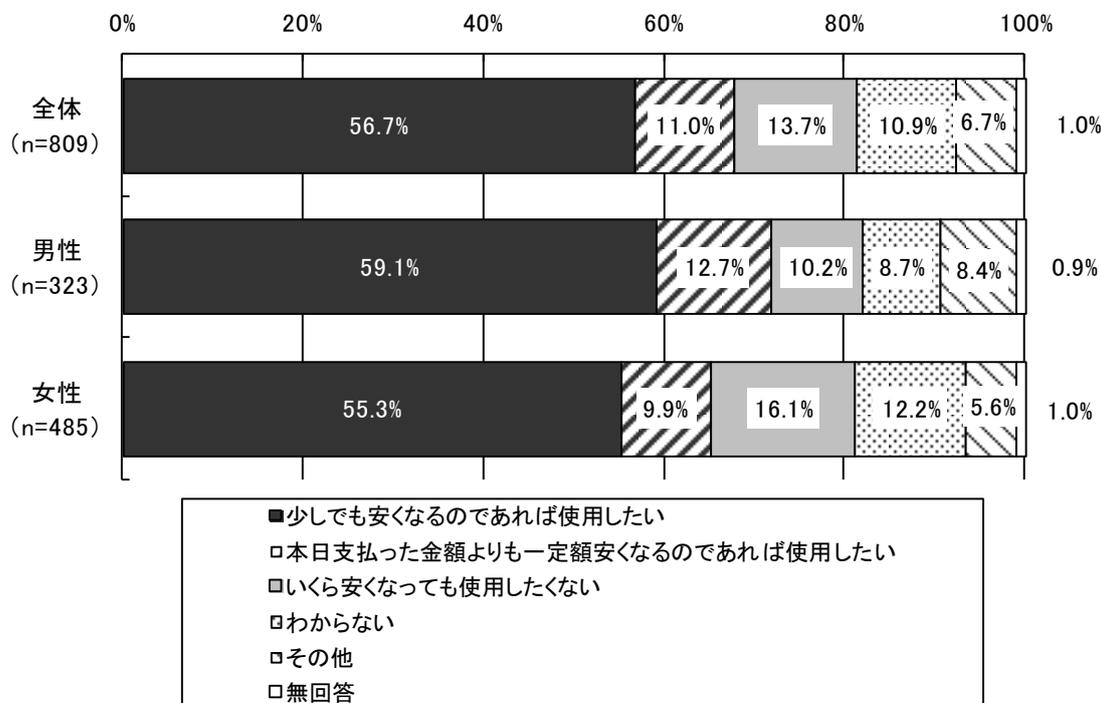
(単位：円)

|        | 人数(人) | 平均値     | 標準偏差    | 中央値     |
|--------|-------|---------|---------|---------|
| 全体     | 864   | 2,184.7 | 2,540.0 | 1,365.0 |
| 29歳以下  | 84    | 1,477.1 | 3,189.6 | 780.0   |
| 30～39歳 | 78    | 1,735.1 | 1,630.4 | 1,225.0 |
| 40～49歳 | 127   | 2,184.3 | 2,107.4 | 1,360.0 |
| 50～59歳 | 141   | 2,439.3 | 2,440.1 | 1,660.0 |
| 60～64歳 | 74    | 2,854.3 | 2,807.1 | 2,100.0 |
| 65～69歳 | 98    | 3,265.3 | 2,966.1 | 2,560.0 |
| 70～74歳 | 83    | 1,854.9 | 2,450.5 | 1,010.0 |
| 75歳以上  | 168   | 1,763.0 | 2,297.6 | 1,145.0 |

(注)・「全体」には、「年齢」について無回答の11人が含まれる。  
 ・自己負担額について記入のあったものを集計対象とした。

2) ジェネリック医薬品に関する使用意向（自己負担との関係）

図表 139 ジェネリック医薬品に関する使用意向（自己負担との関係）  
（医療費の自己負担があった人、男女別）



(注) 「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

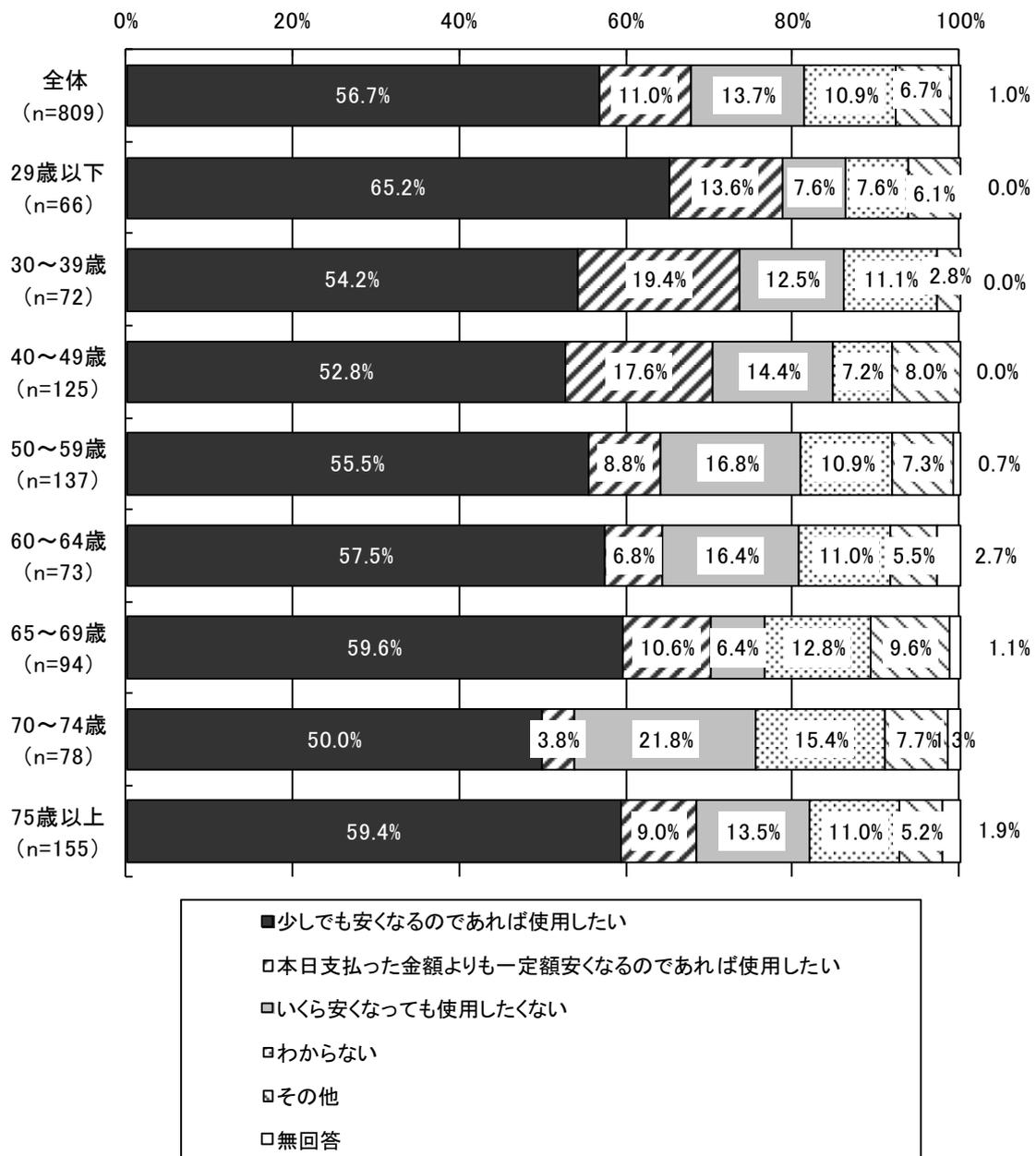
図表 140 ジェネリック医薬品を使用してもよいと思う自己負担額上の差額  
（「本日支払った金額よりも一定額安くなるのであれば使用したい」と回答した人、男女別）

(単位：円)

|    | 人数(人) | 平均値     | 標準偏差    | 中央値   |
|----|-------|---------|---------|-------|
| 全体 | 72    | 794.2   | 921.6   | 500.0 |
| 男性 | 32    | 1,011.8 | 1,047.7 | 550.0 |
| 女性 | 40    | 620.0   | 777.1   | 500.0 |

(注) 具体的に安くなってほしい金額について記載のあった人を集計対象とした。

図表 141 ジェネリック医薬品に関する使用意向（自己負担額との関係）  
（医療費の自己負担があった人、年齢階級別）



（注）「全体」には、年齢について無回答の9人が含まれる。

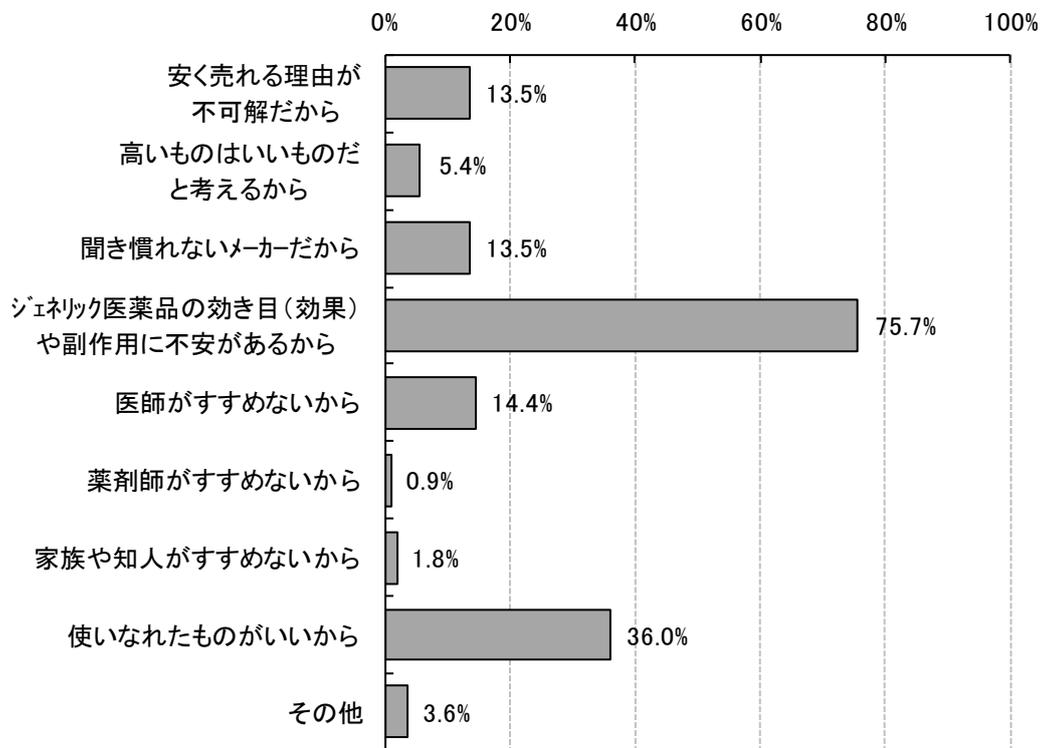
図表 142 ジェネリック医薬品を使用してもよいと思う自己負担額上の差額  
 (「本日支払った金額よりも一定額安くなるのであれば使用したい」と回答した人、年齢階級別)

(単位：円)

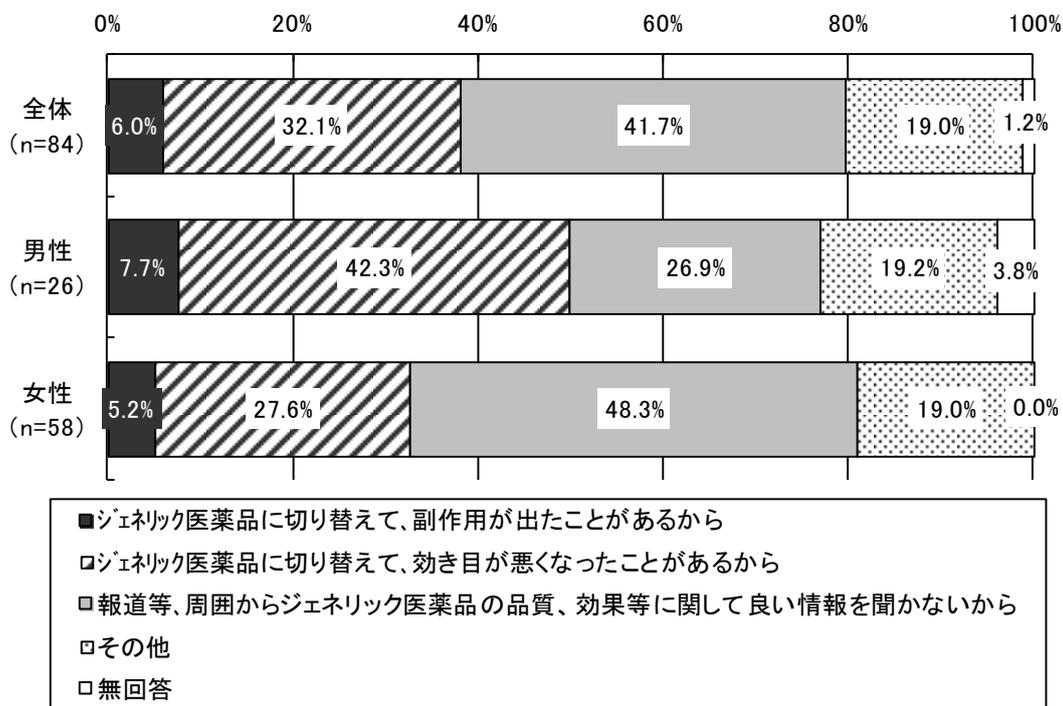
|        | 人数(人) | 平均値     | 標準偏差    | 中央値   |
|--------|-------|---------|---------|-------|
| 全体     | 72    | 794.2   | 921.6   | 500.0 |
| 29歳以下  | 10    | 1,050.0 | 1,493.9 | 400.0 |
| 30～39歳 | 13    | 507.7   | 254.0   | 500.0 |
| 40～49歳 | 19    | 765.8   | 741.3   | 500.0 |
| 50～59歳 | 11    | 821.5   | 760.0   | 500.0 |
| 60～64歳 | 3     | 666.7   | 288.7   | 500.0 |
| 65～69歳 | 6     | 1,550.0 | 1,798.6 | 750.0 |
| 70～74歳 | 3     | 566.7   | 305.5   | 500.0 |
| 75歳以上  | 7     | 498.9   | 459.1   | 300.0 |

(注) 具体的に安くなってほしい金額について記載のあった人を集計対象とした。

図表 143 ジェネリック医薬品がいくら安くなっても使用したくない理由  
 (「いくら安くなっても使用したくない」と回答した人、複数回答、n=111)

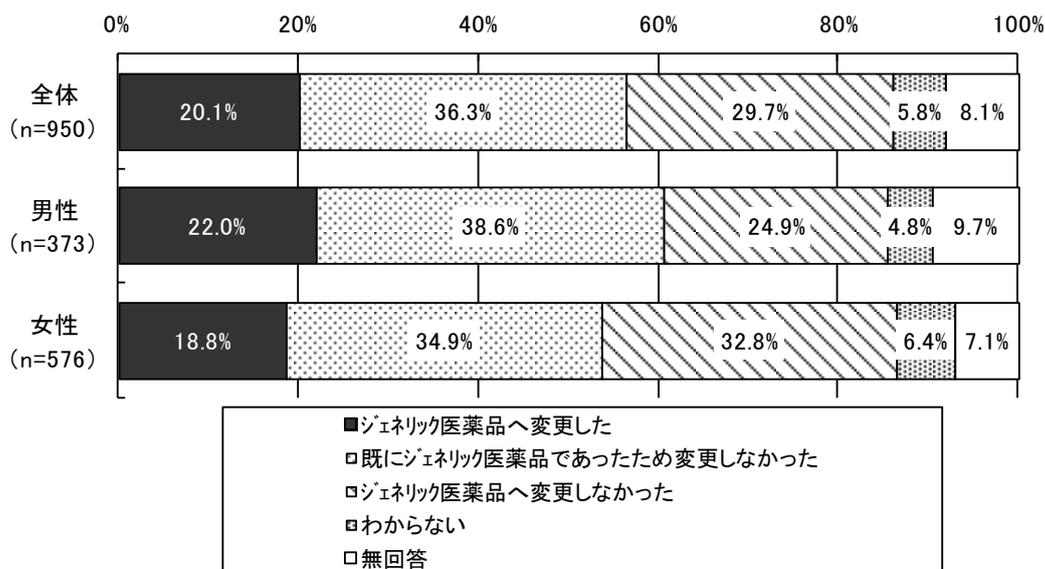


図表 144 ジェネリック医薬品の効き目や副作用に不安を感じたきっかけ  
 (「ジェネリック医薬品の効き目(効果)や副作用に不安があるから」と回答した人)



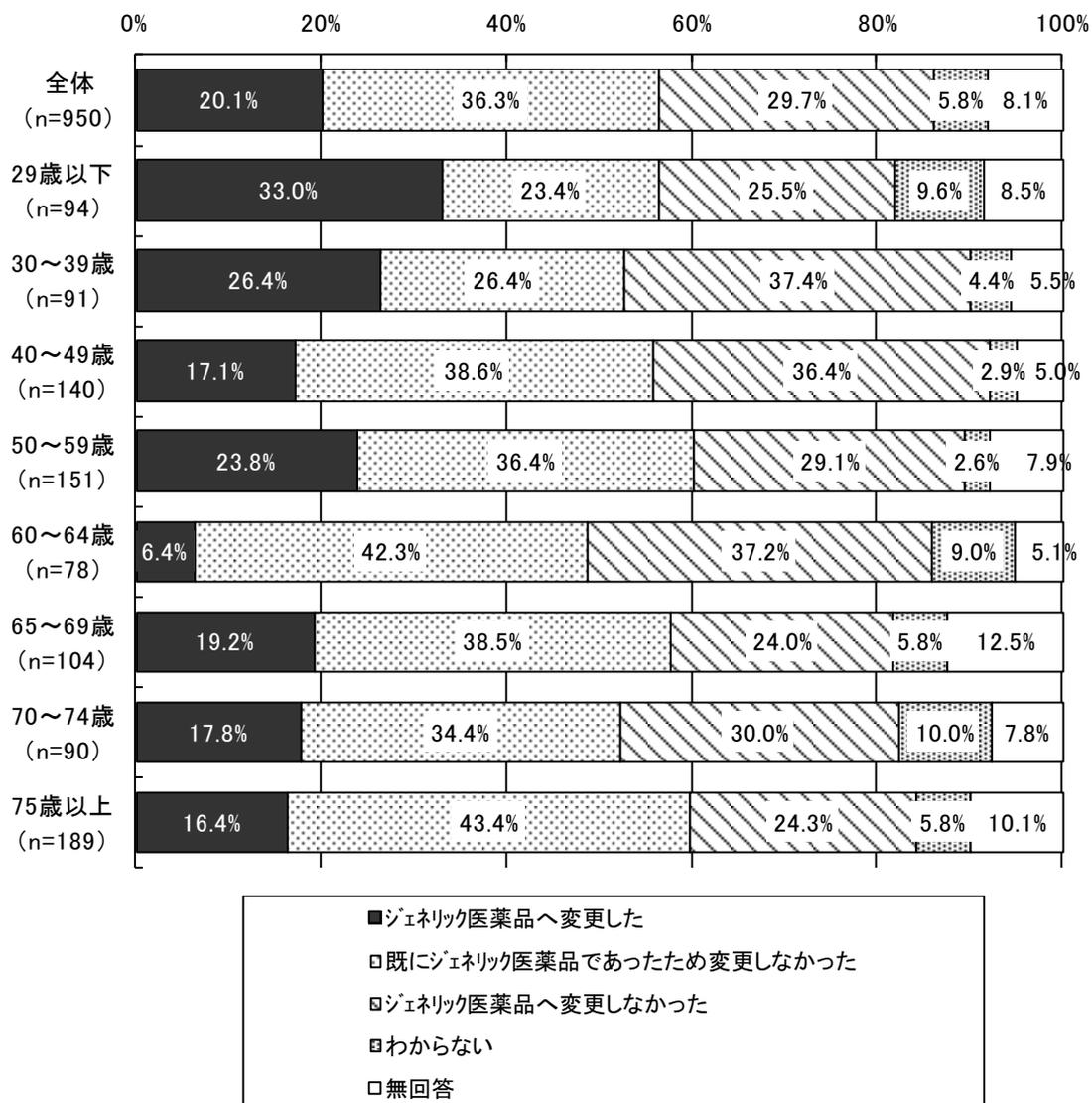
3) 薬局における、先発医薬品からジェネリック医薬品への変更の有無

図表 145 薬局における、先発医薬品からジェネリック医薬品への変更の有無 (男女別)



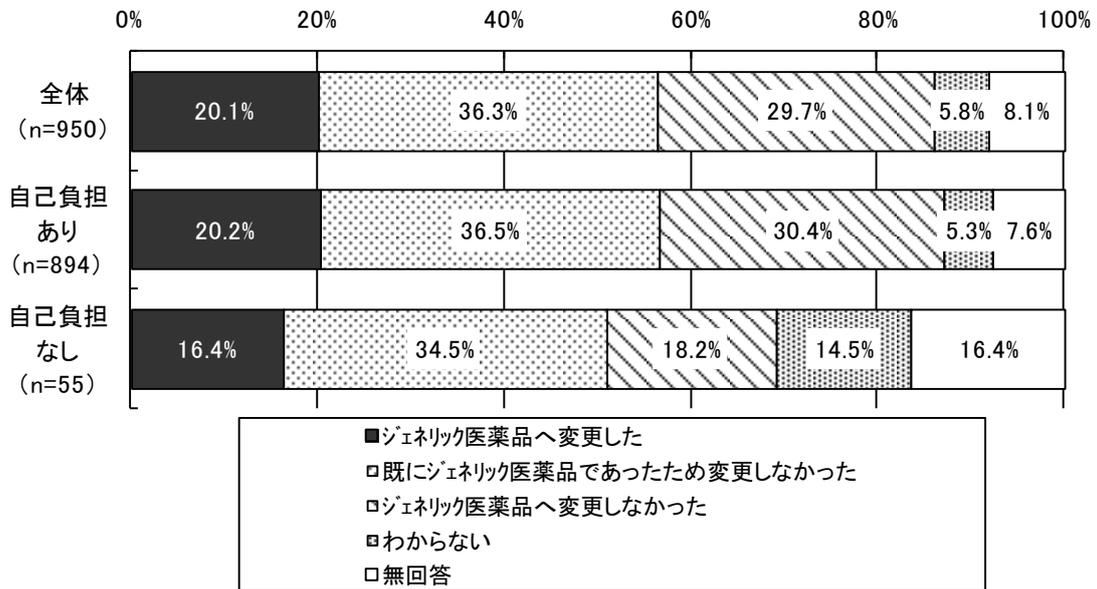
(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 146 薬局における、先発医薬品からジェネリック医薬品への変更の有無  
(年齢階級別)



(注) 「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

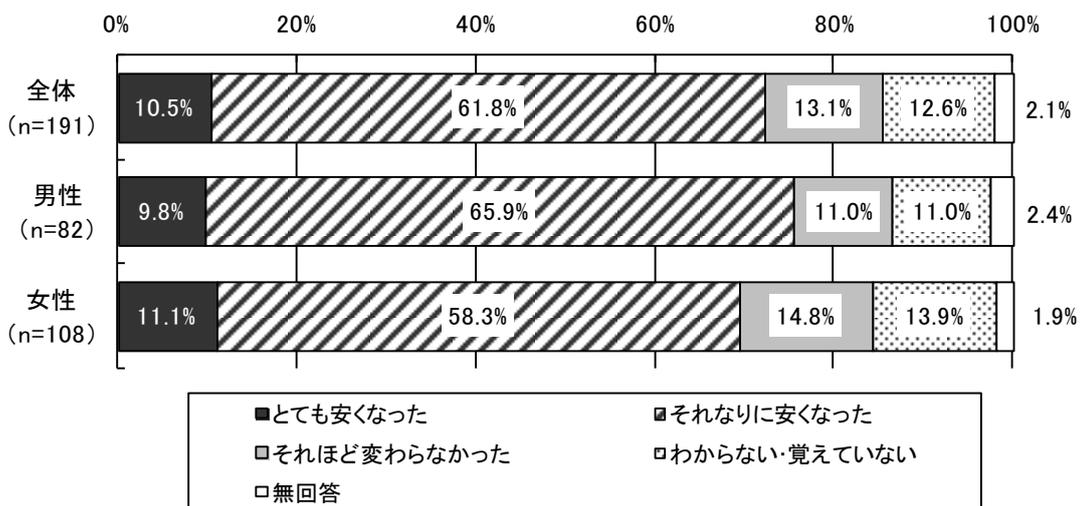
図表 147 薬局における、先発医薬品からジェネリック医薬品への変更の有無  
(自己負担の有無別)



(注) 「全体」には、自己負担の有無について無回答の1人が含まれる。

4) ジェネリック医薬品への変更による薬局窓口での薬代の負担感

図表 148 ジェネリック医薬品への変更による薬局窓口での薬代の負担感  
(変更した人、男女別)



(注) 「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 149 ジェネリック医薬品への変更による薬局窓口での薬代の負担感  
(変更した人、年齢階級別)

(単位：上段「人」、下段「%」)

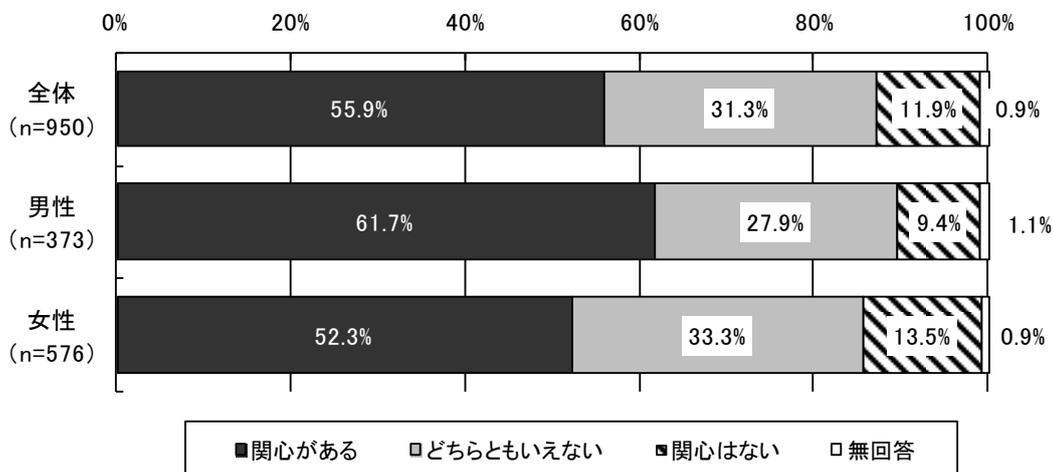
|        | 総数           | とても安くなった   | それなりに安くなった  | それほど変わらなかった | わからない・覚えていない | 無回答      |
|--------|--------------|------------|-------------|-------------|--------------|----------|
| 全体     | 191<br>100.0 | 20<br>10.5 | 118<br>61.8 | 25<br>13.1  | 24<br>12.6   | 4<br>2.1 |
| 29歳以下  | 31<br>100.0  | 0<br>0.0   | 18<br>58.1  | 4<br>12.9   | 8<br>25.8    | 1<br>3.2 |
| 30～39歳 | 24<br>100.0  | 1<br>4.2   | 16<br>66.7  | 2<br>8.3    | 4<br>16.7    | 1<br>4.2 |
| 40～49歳 | 24<br>100.0  | 3<br>12.5  | 13<br>54.2  | 8<br>33.3   | 0<br>0.0     | 0<br>0.0 |
| 50～59歳 | 36<br>100.0  | 4<br>11.1  | 22<br>61.1  | 4<br>11.1   | 6<br>16.7    | 0<br>0.0 |
| 60～64歳 | 5<br>100.0   | 3<br>60.0  | 2<br>40.0   | 0<br>0.0    | 0<br>0.0     | 0<br>0.0 |
| 65～69歳 | 20<br>100.0  | 4<br>20.0  | 15<br>75.0  | 0<br>0.0    | 1<br>5.0     | 0<br>0.0 |
| 70～74歳 | 16<br>100.0  | 1<br>6.3   | 12<br>75.0  | 1<br>6.3    | 2<br>12.5    | 0<br>0.0 |
| 75歳以上  | 31<br>100.0  | 4<br>12.9  | 18<br>58.1  | 6<br>19.4   | 2<br>6.5     | 1<br>3.2 |

(注)「全体」には、年齢について無回答の4人が含まれる。

(3) ジェネリック使用に関する経験等

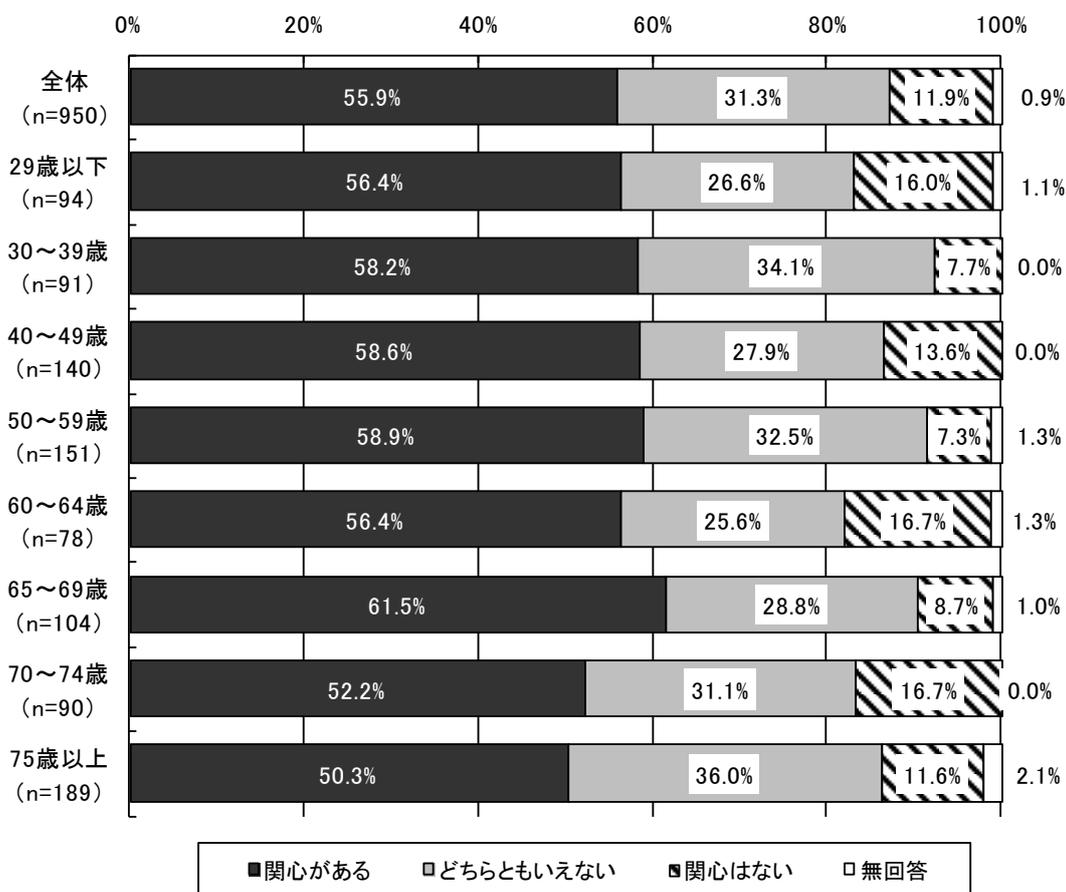
①ジェネリック医薬品に対する関心の有無

図表 150 ジェネリック医薬品に対する関心の有無（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

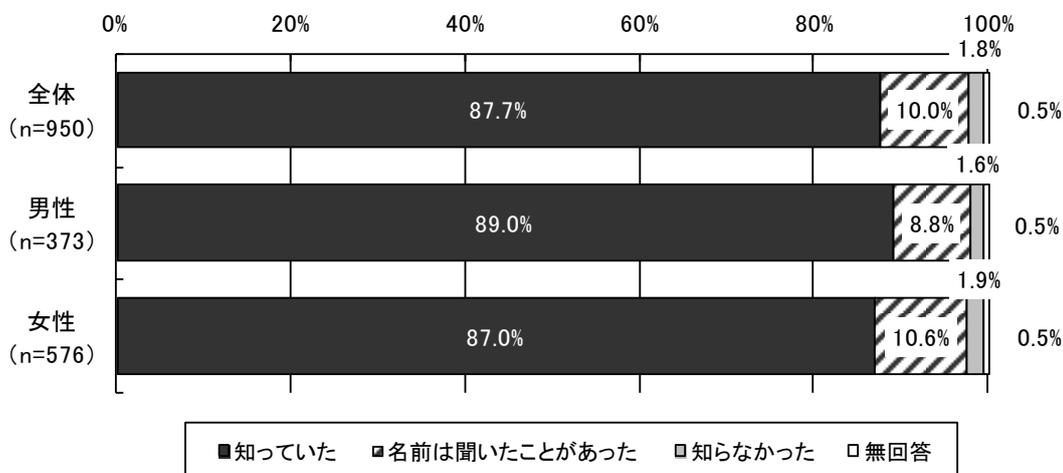
図表 151 ジェネリック医薬品に対する関心の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

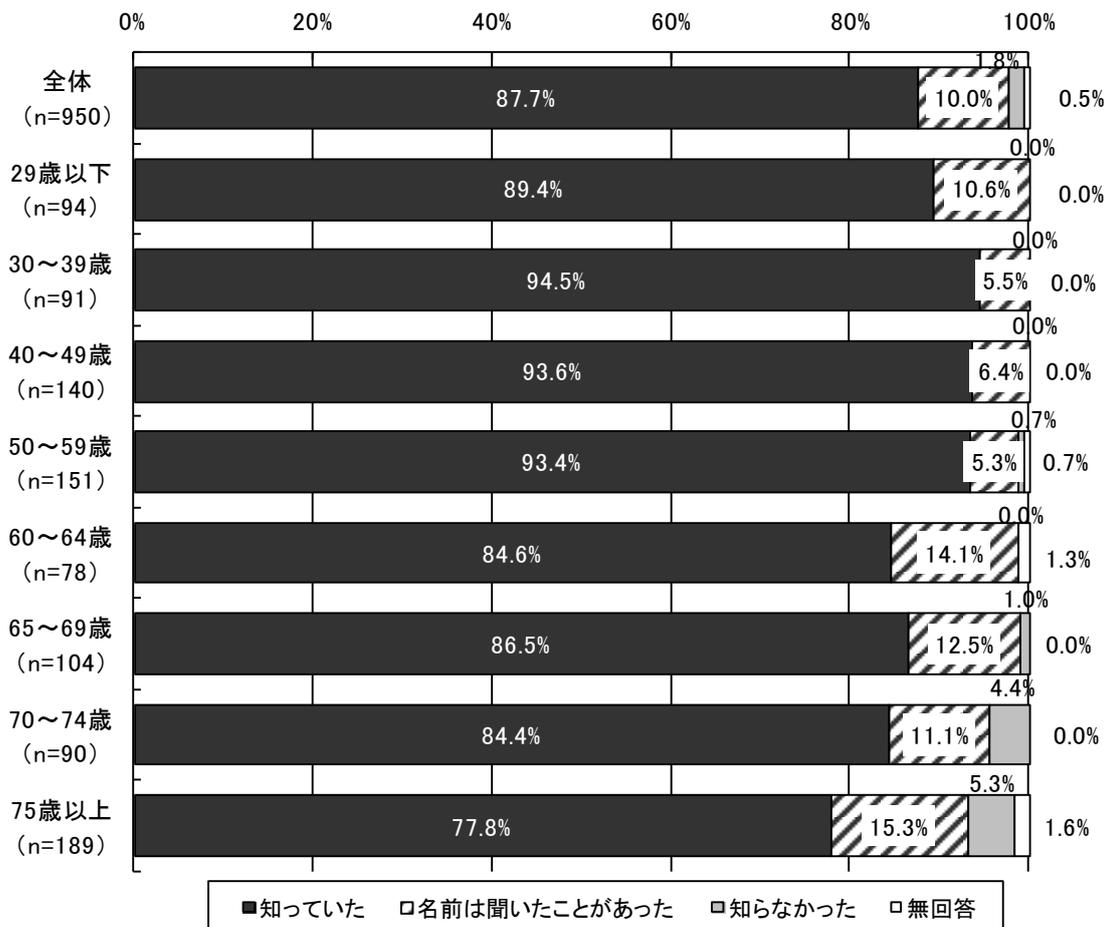
②ジェネリック医薬品に対する認知度

図表 152 ジェネリック医薬品に対する認知度（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

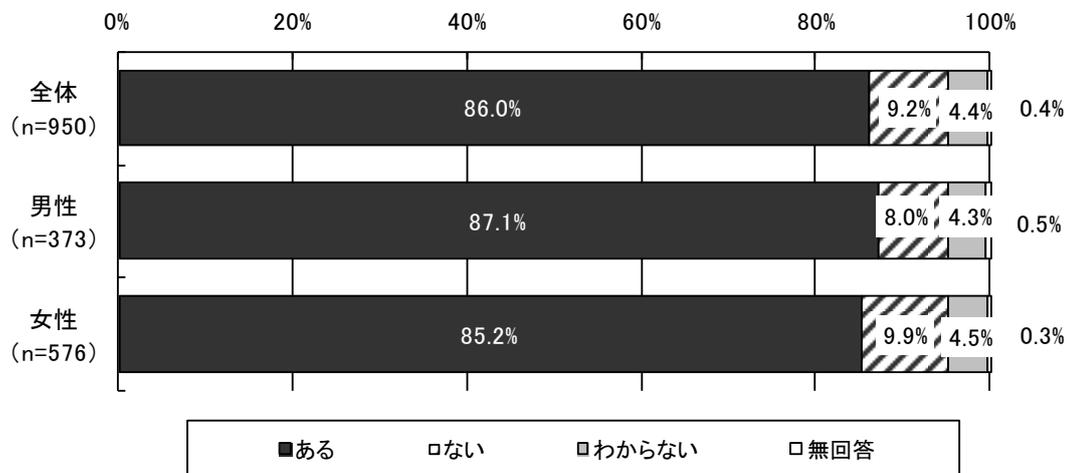
図表 153 ジェネリック医薬品に対する認知度（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

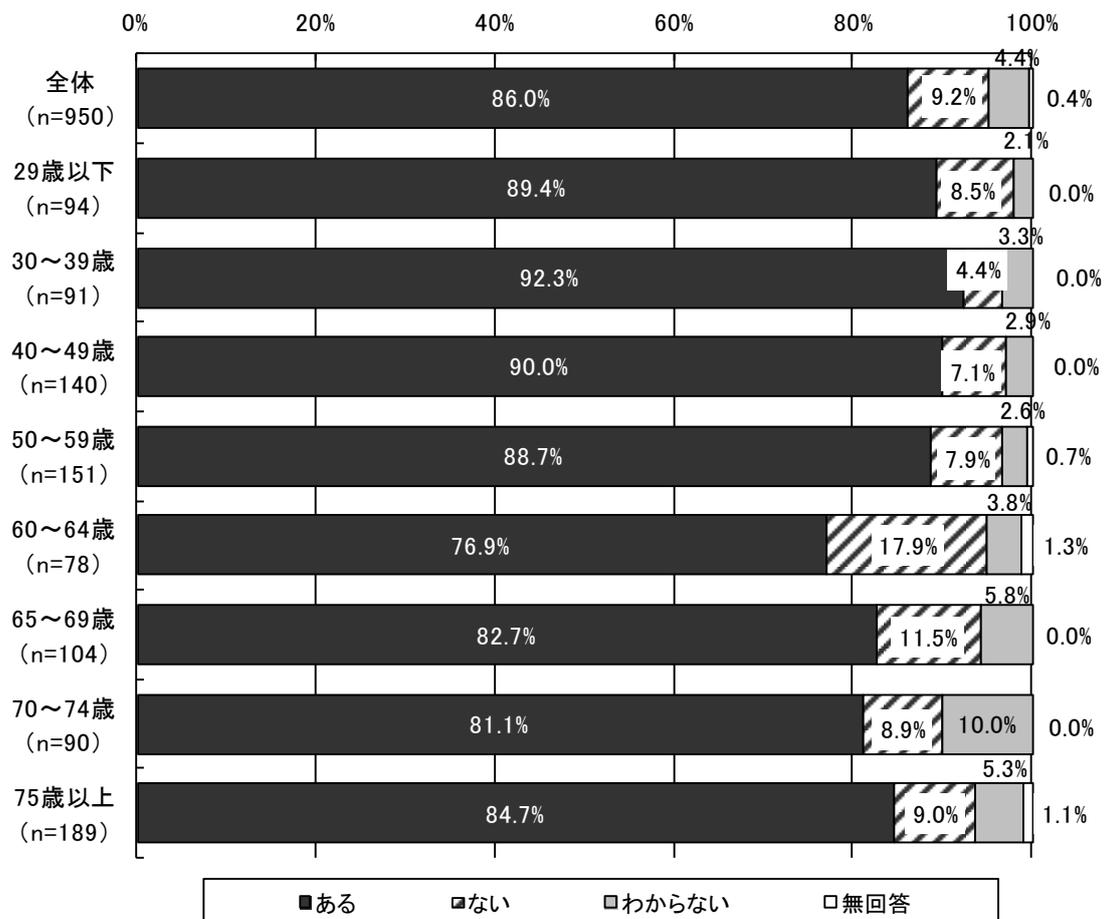
### ③ジェネリック医薬品の使用経験の有無

図表 154 ジェネリック医薬品の使用経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

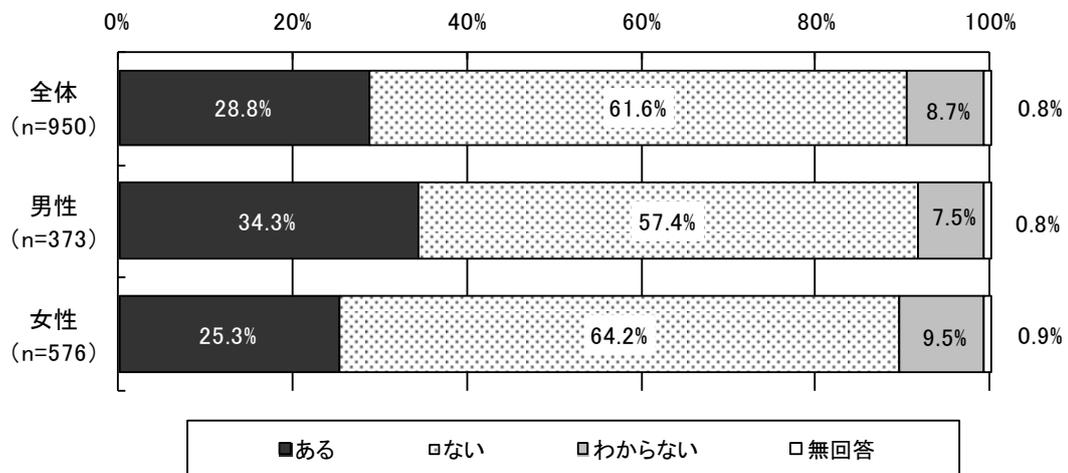
図表 155 ジェネリック医薬品の使用経験の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

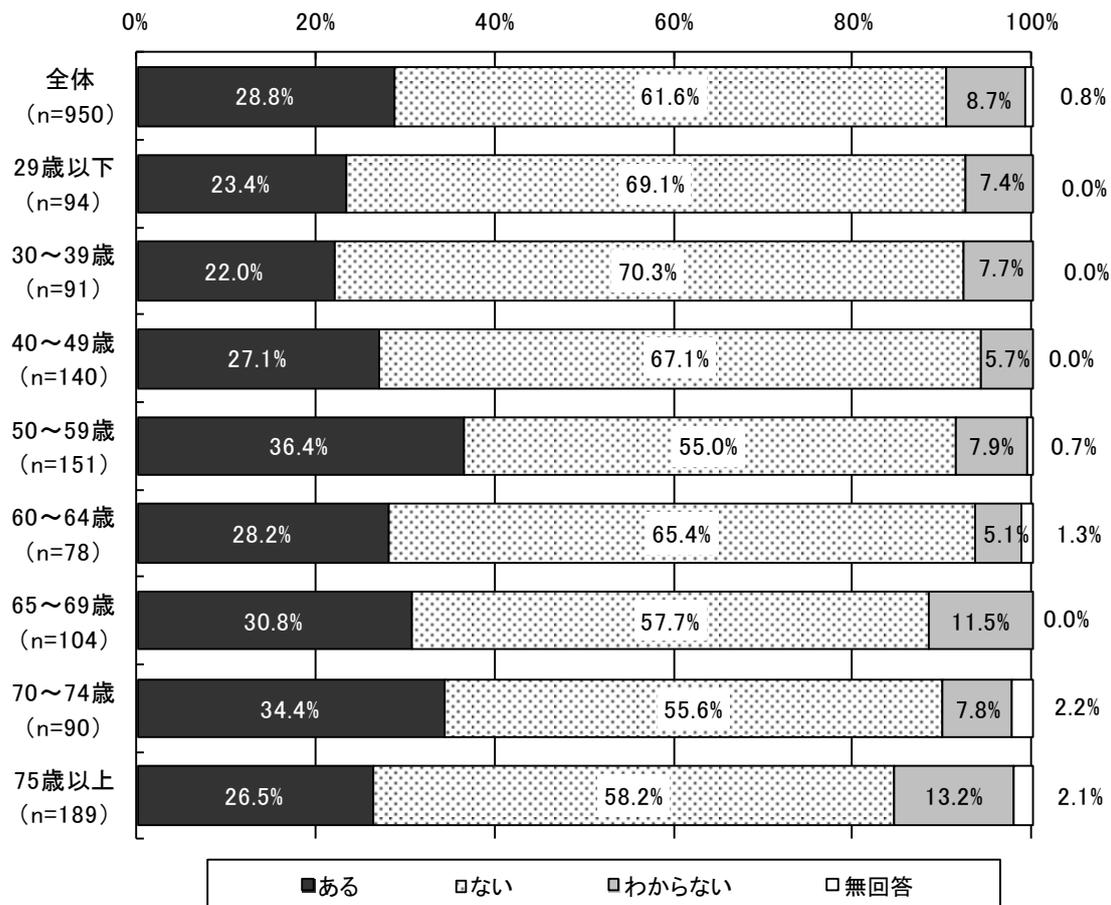
④ジェネリック医薬品について医師から説明を受けた経験の有無

図表 156 ジェネリック医薬品について医師から説明を受けた経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

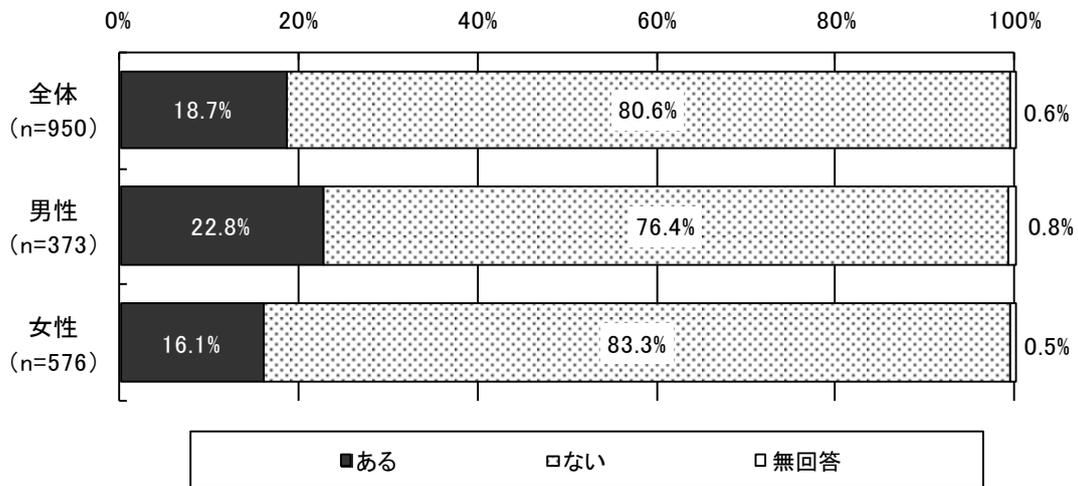
図表 157 ジェネリック医薬品について医師から説明を受けた経験の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

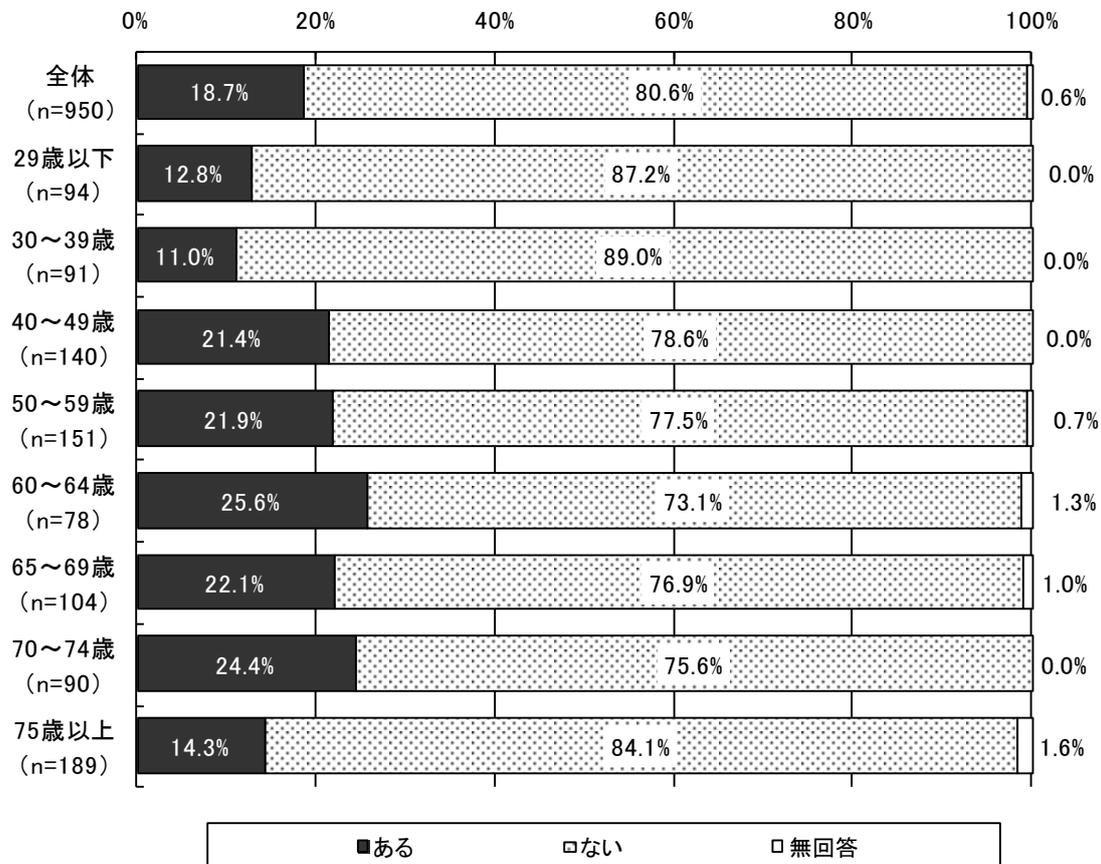
⑤ジェネリック医薬品の処方を医師に頼んだ経験の有無

図表 158 ジェネリック医薬品の処方を医師に頼んだ経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

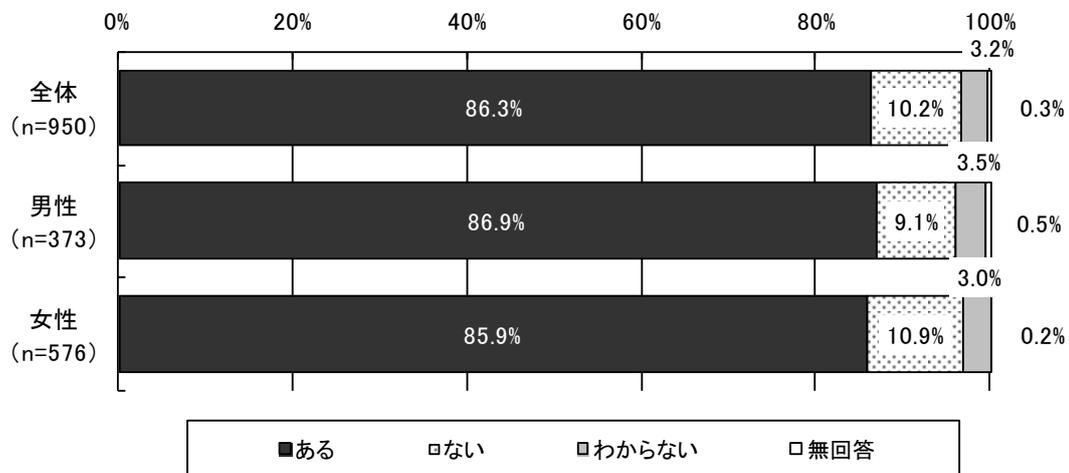
図表 159 ジェネリック医薬品の処方を医師に頼んだ経験の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

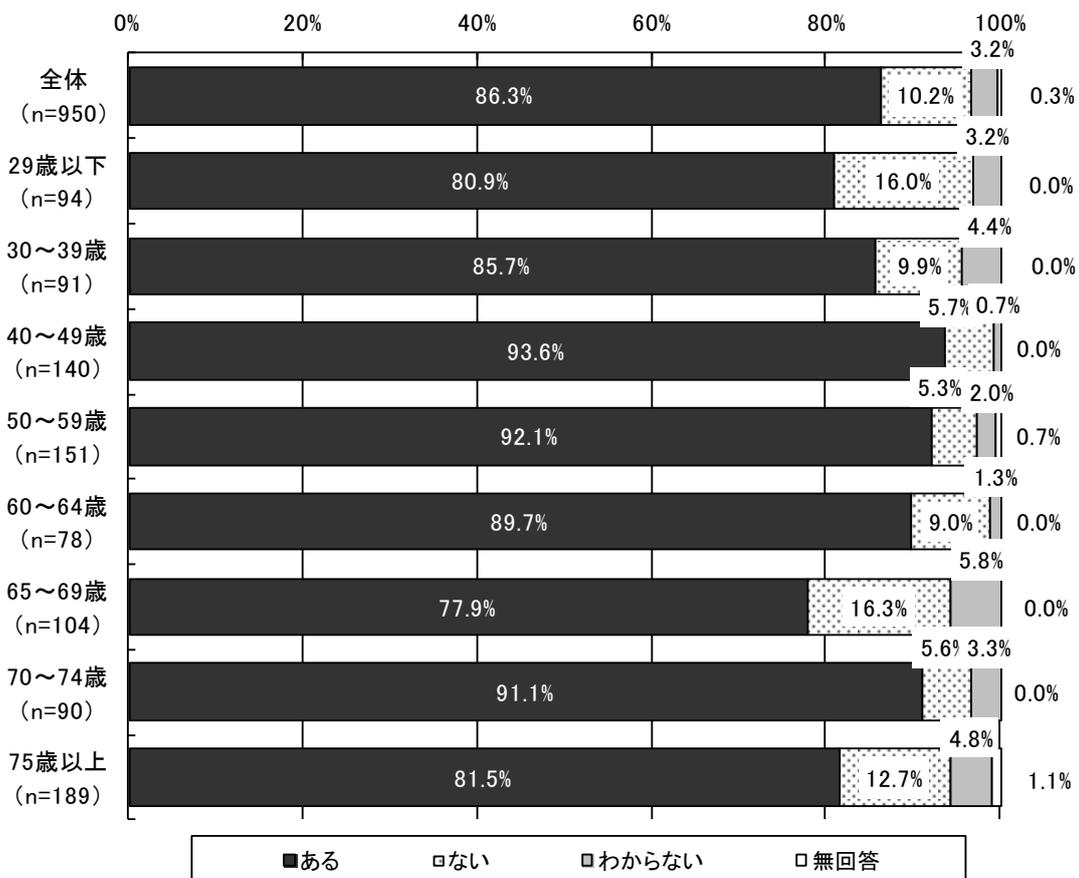
⑥ジェネリック医薬品について薬剤師から説明を受けた経験の有無

図表 160 ジェネリック医薬品について薬剤師から説明を受けた経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 161 ジェネリック医薬品について薬剤師から説明を受けた経験の有無（年齢階級別）

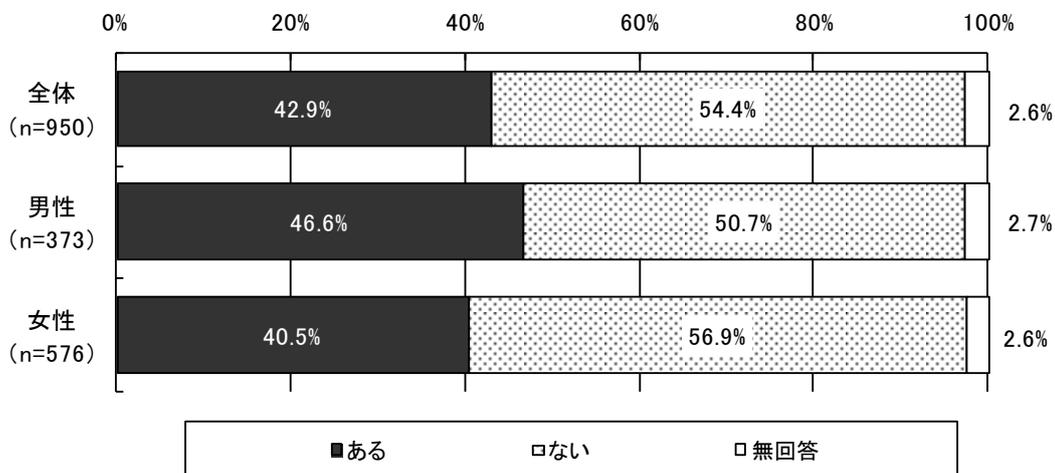


(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

⑦ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験等

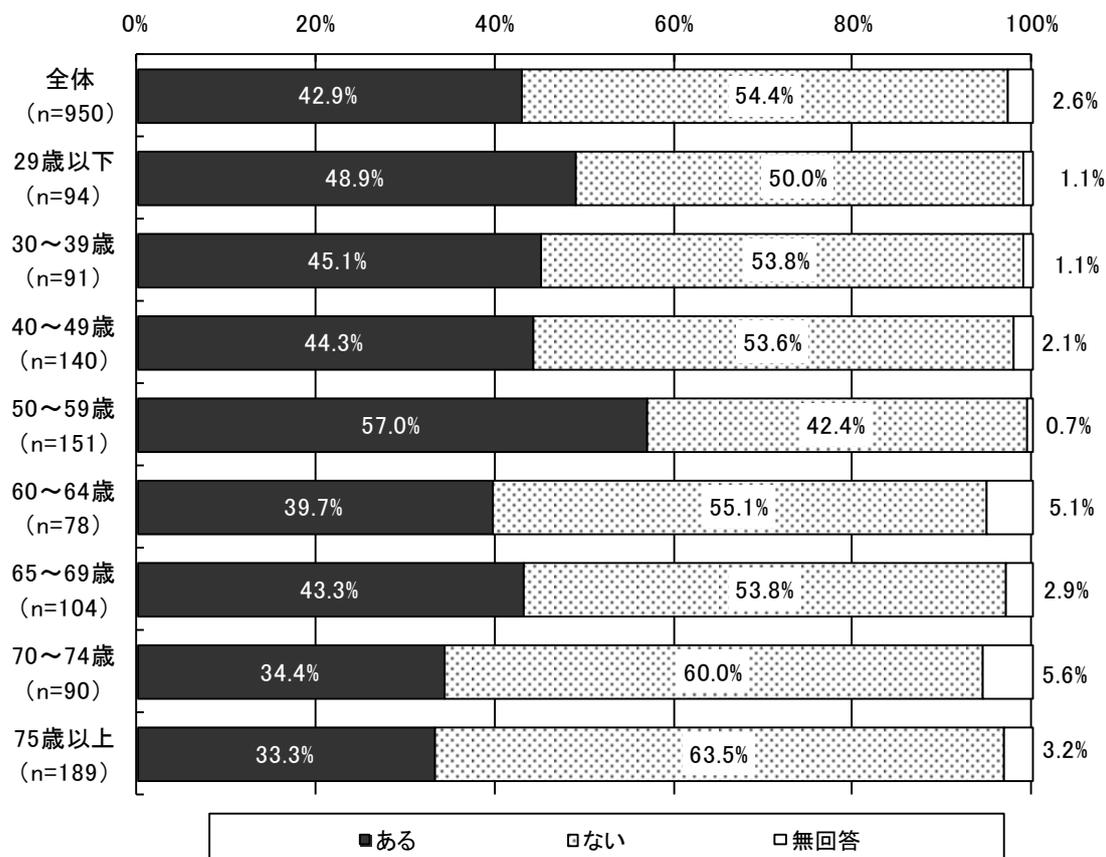
1) ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験の有無

図表 162 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

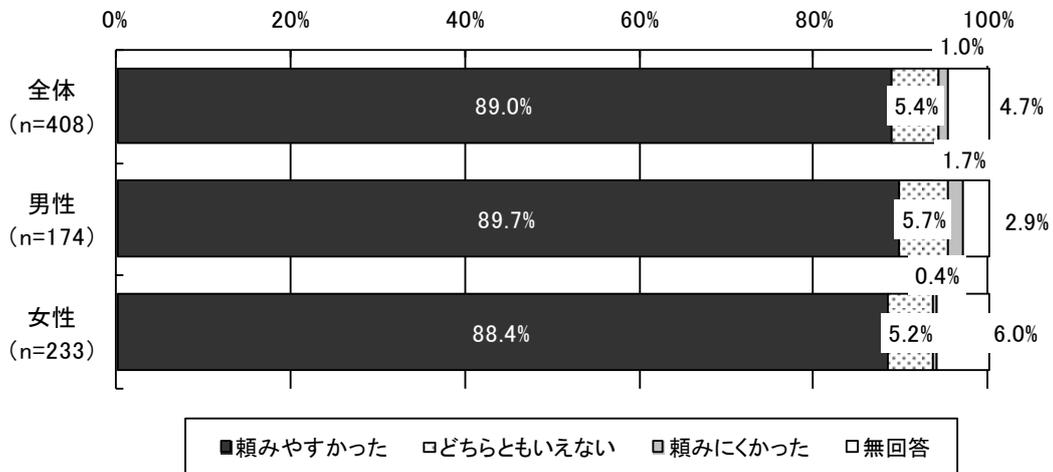
図表 163 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

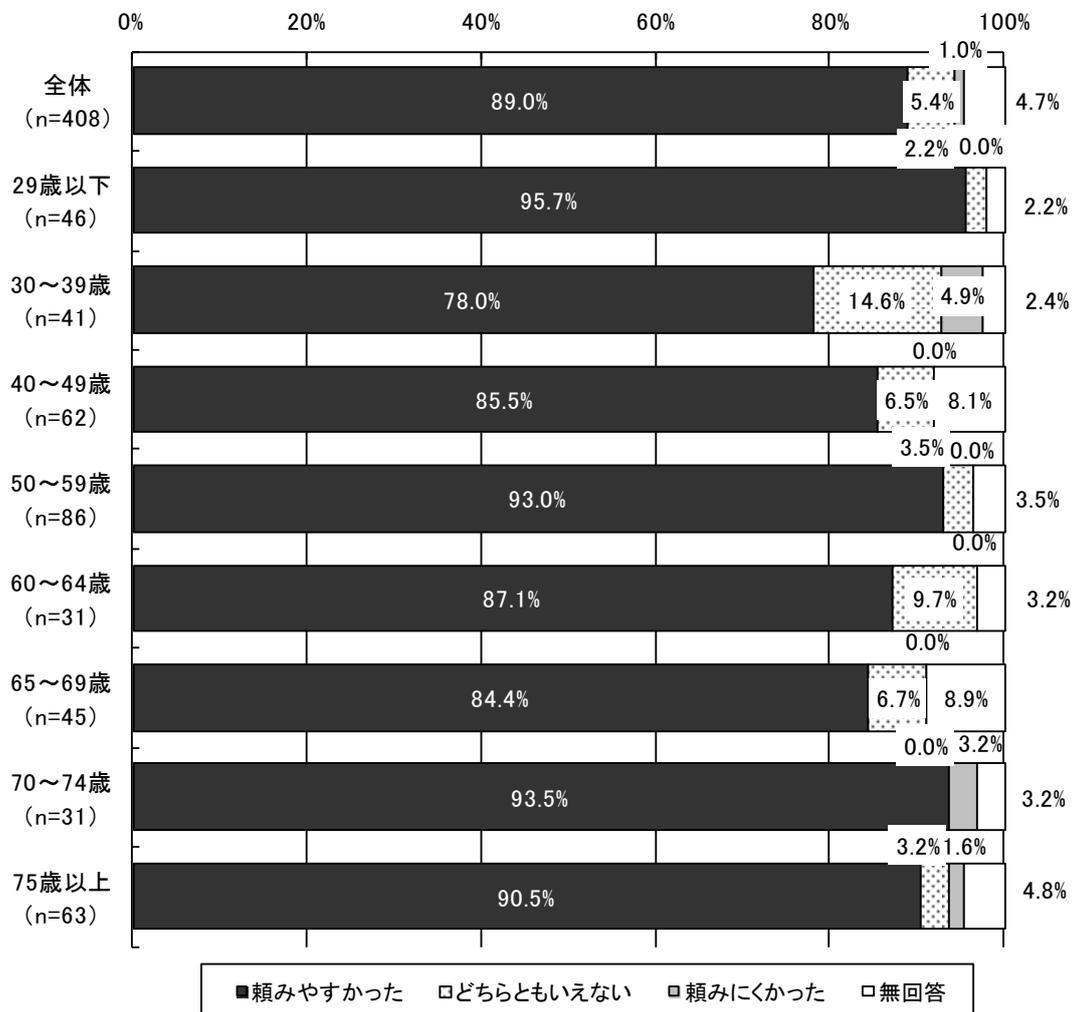
2) ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ時の頼みやすさ

図表 164 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ時の頼みやすさ  
(頼んだ経験のある人、男女別)



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

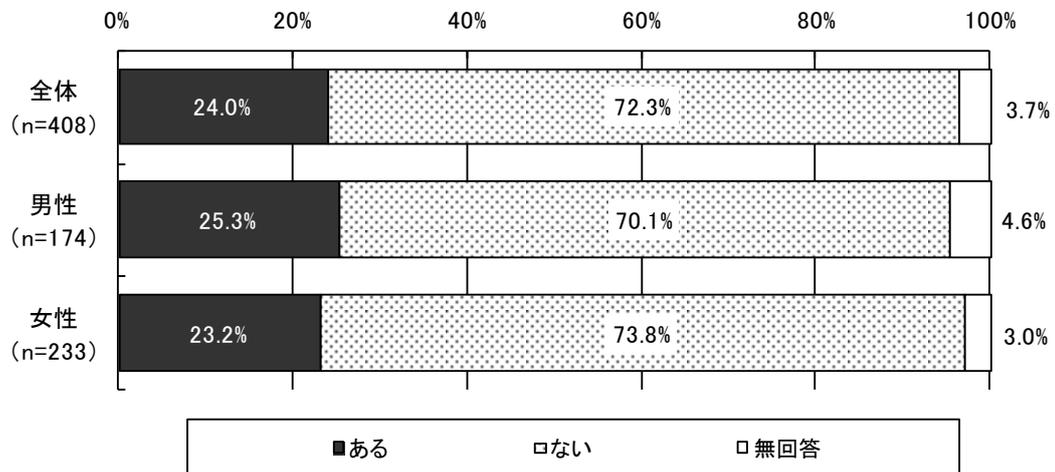
図表 165 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ時の頼みやすさ  
(頼んだ経験のある人、年齢階級別)



(注) 「全体」には、年齢について無回答の3人が含まれる。

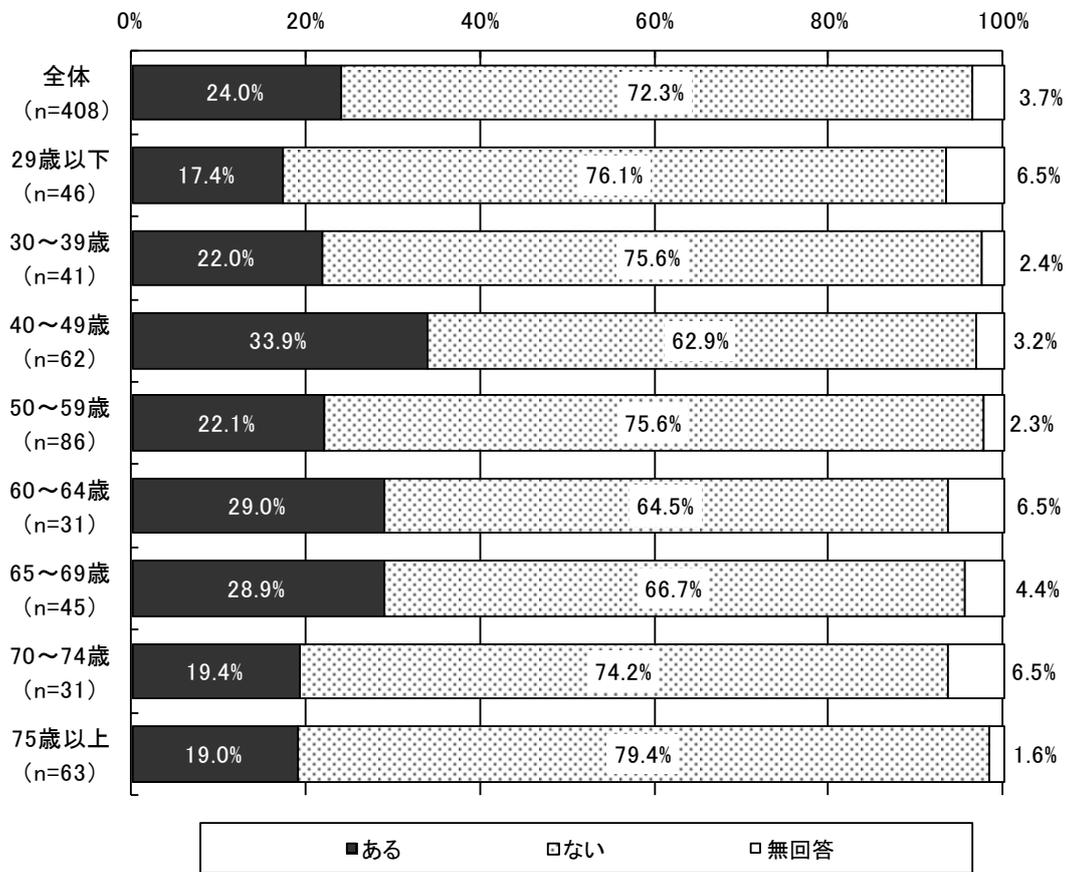
3) ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだが調剤してもらえなかった経験の有無  
 (平成 27 年 4 月以降)

図表 166 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだが調剤してもらえなかった経験の有無  
 (平成 27 年 4 月以降) (頼んだ経験のある人、男女別)



(注) 「全体」には、性別について無回答の 1 人が含まれる。

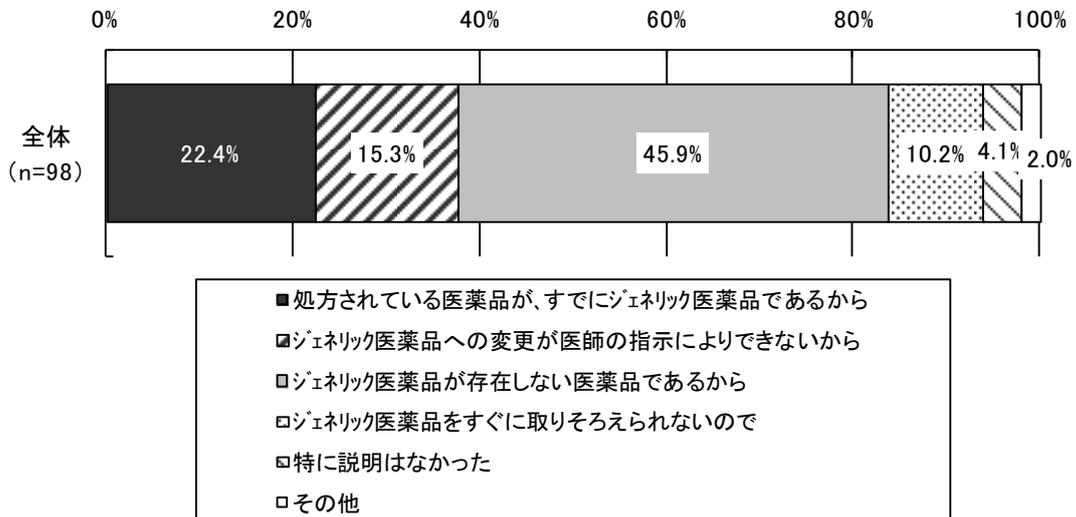
図表 167 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだが調剤してもらえなかった経験の有無（平成 27 年 4 月以降）（頼んだ経験のある人、年齢階級別）



(注) 「全体」には、年齢について無回答の3人が含まれる。

4) ジェネリック医薬品の調剤をしてもらえなかった時に薬局から説明を受けた内容

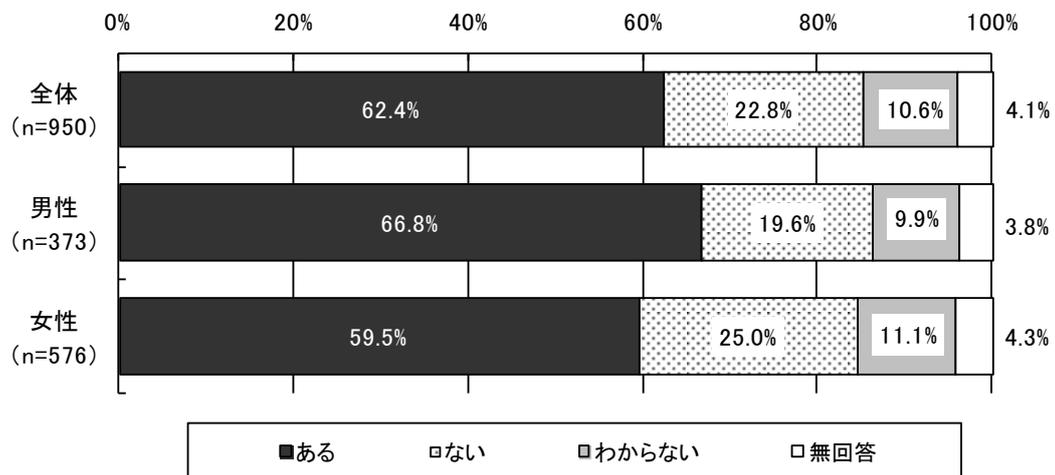
図表 168 ジェネリック医薬品の調剤をしてもらえなかった時に薬局から説明を受けた内容（頼んだが調剤してもらえなかった経験のある人）



⑧今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無等

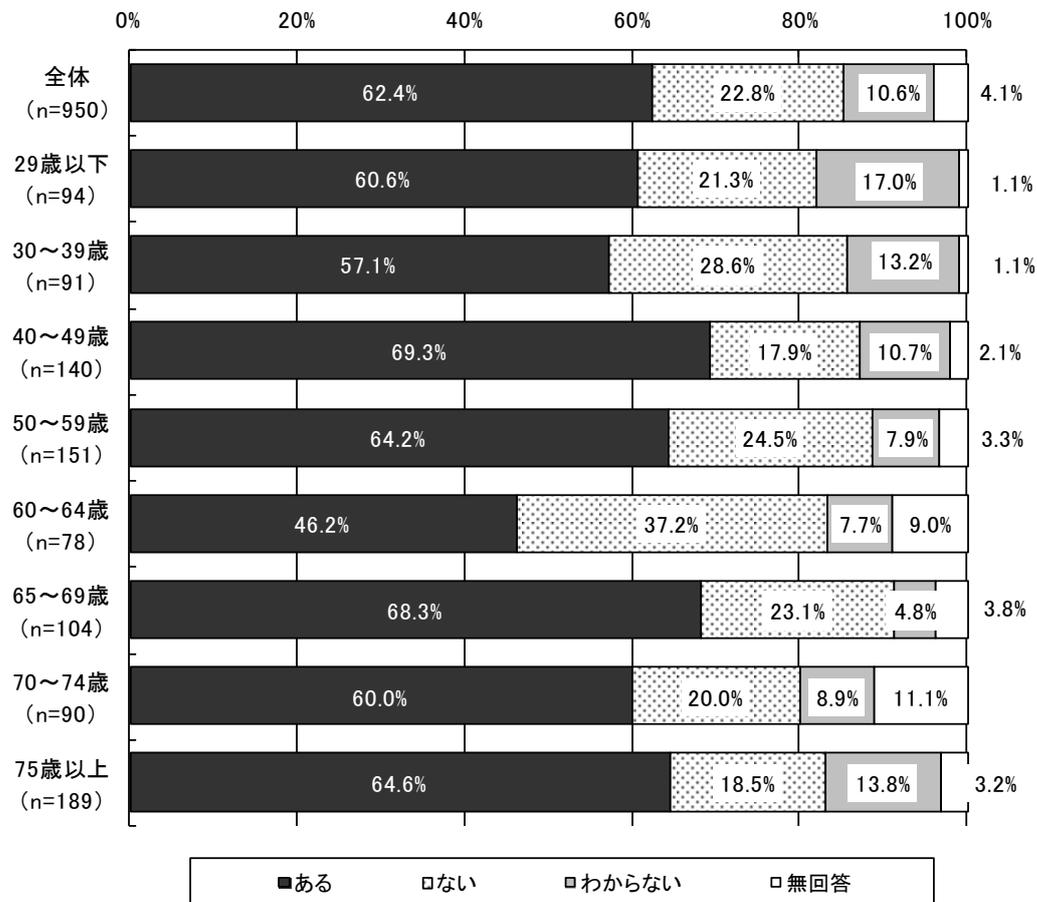
1) 今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無

図表 169 今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

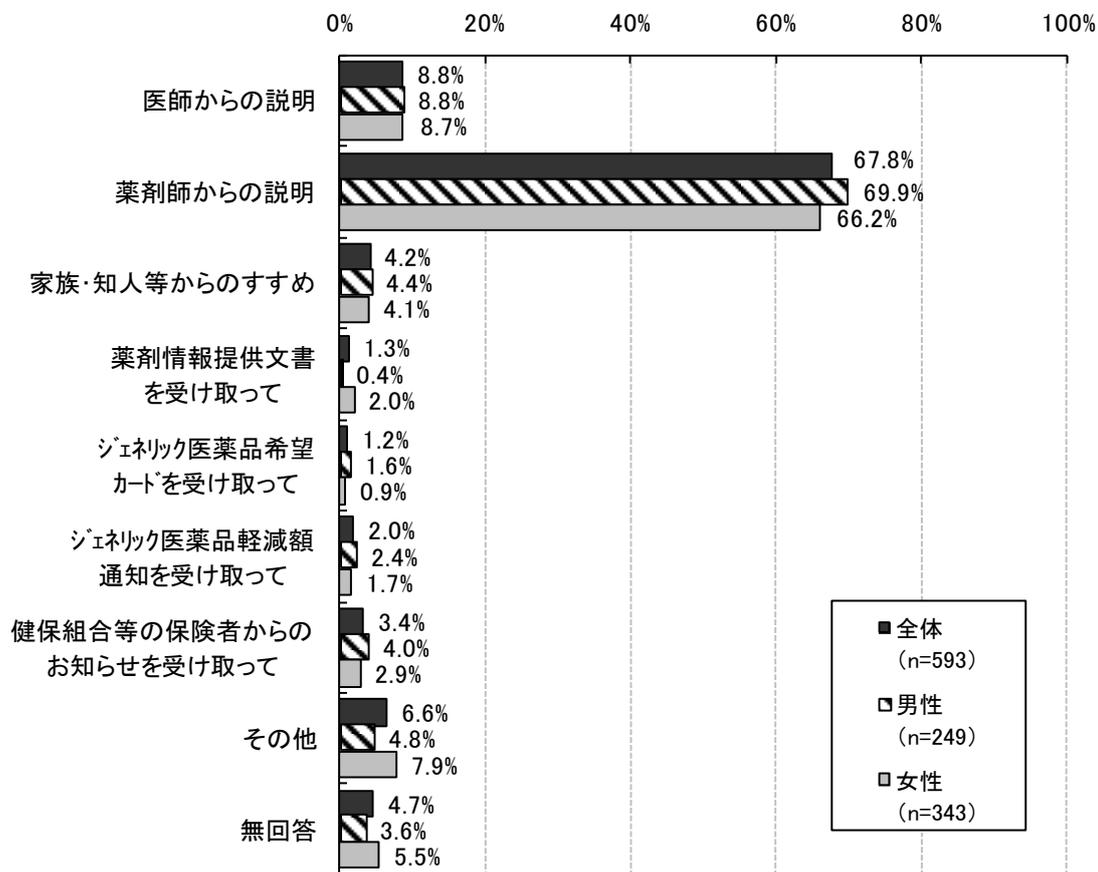
図表 170 今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

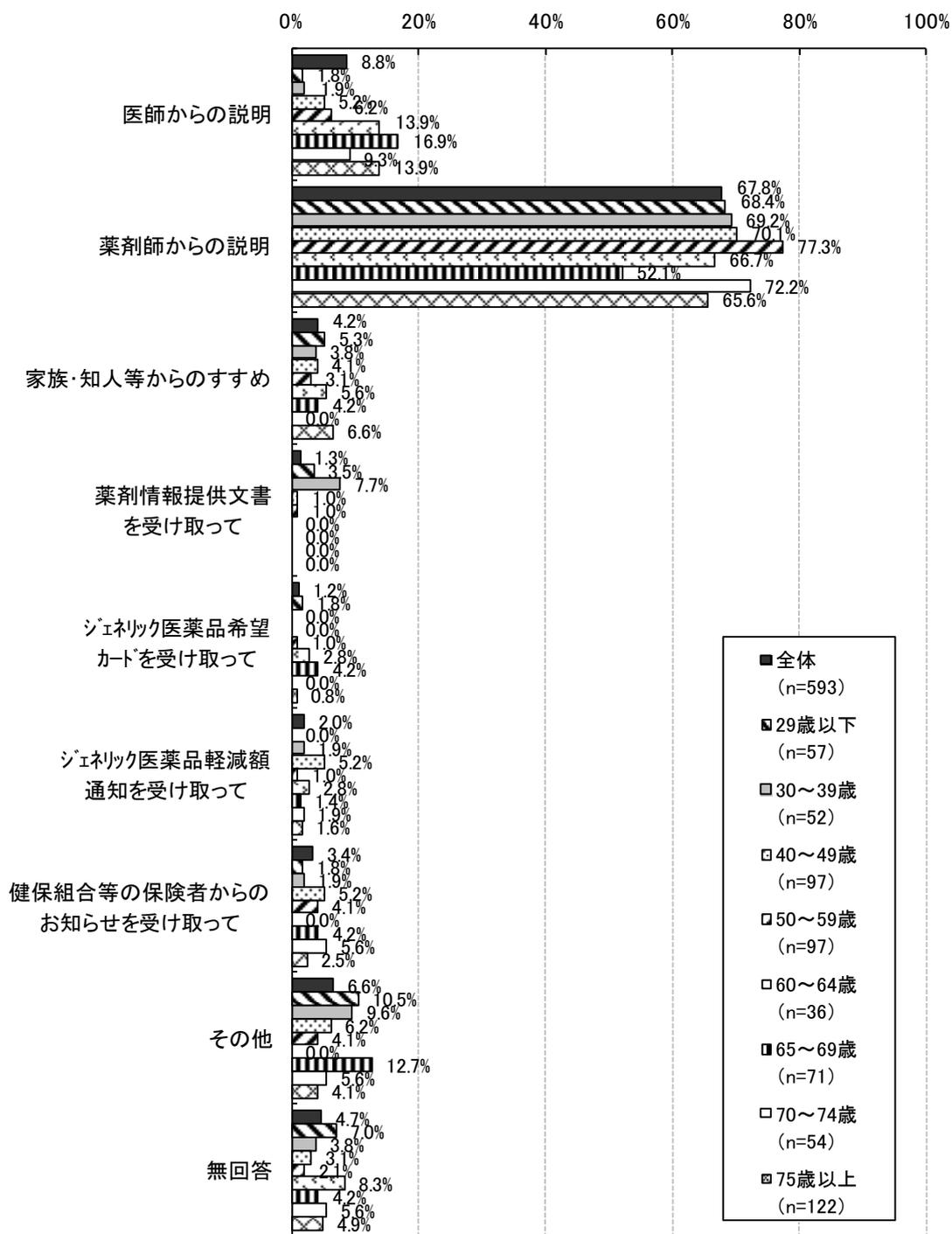
2) 先発医薬品からジェネリック医薬品に変更したきっかけ

図表 171 先発医薬品からジェネリック医薬品に変更したきっかけ  
 (今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬がある人、男女別、単数回答)



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

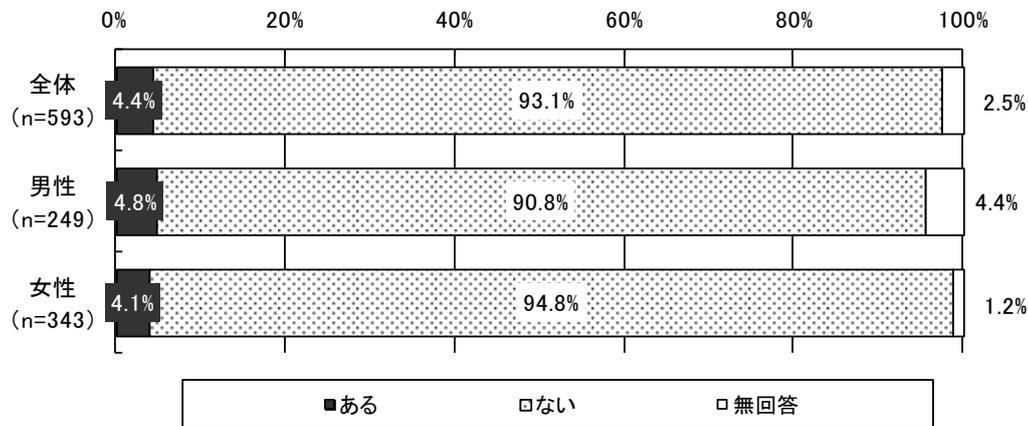
図表 172 先発医薬品からジェネリック医薬品に変更したきっかけ（今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬がある人、年齢階級別、単数回答）



(注) 「全体」には、年齢について無回答の7人が含まれる。

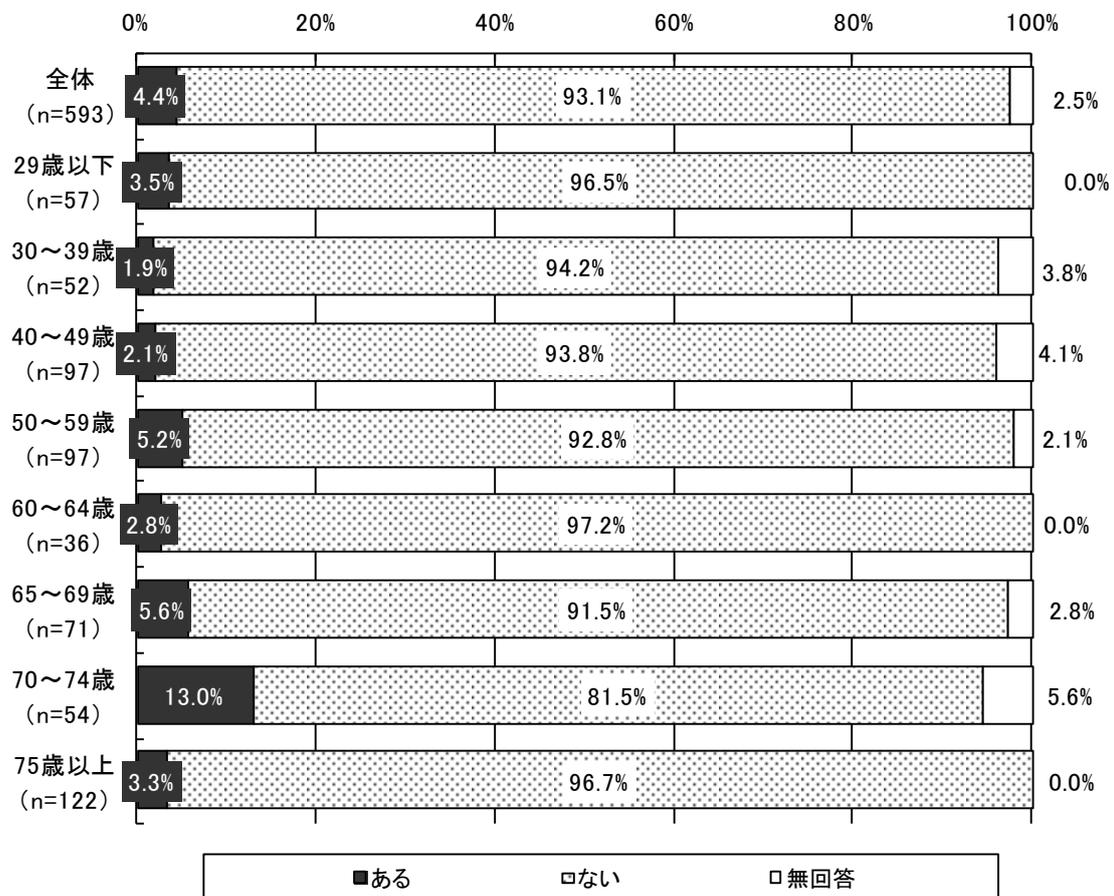
3) 先発医薬品からジェネリック医薬品変更時における体調不良の経験の有無

図表 173 先発医薬品からジェネリック医薬品変更時における体調不良の経験の有無  
(今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬がある人、男女別)



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 174 先発医薬品からジェネリック医薬品変更時における体調不良の経験の有無  
(今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬がある人、年齢階級別)



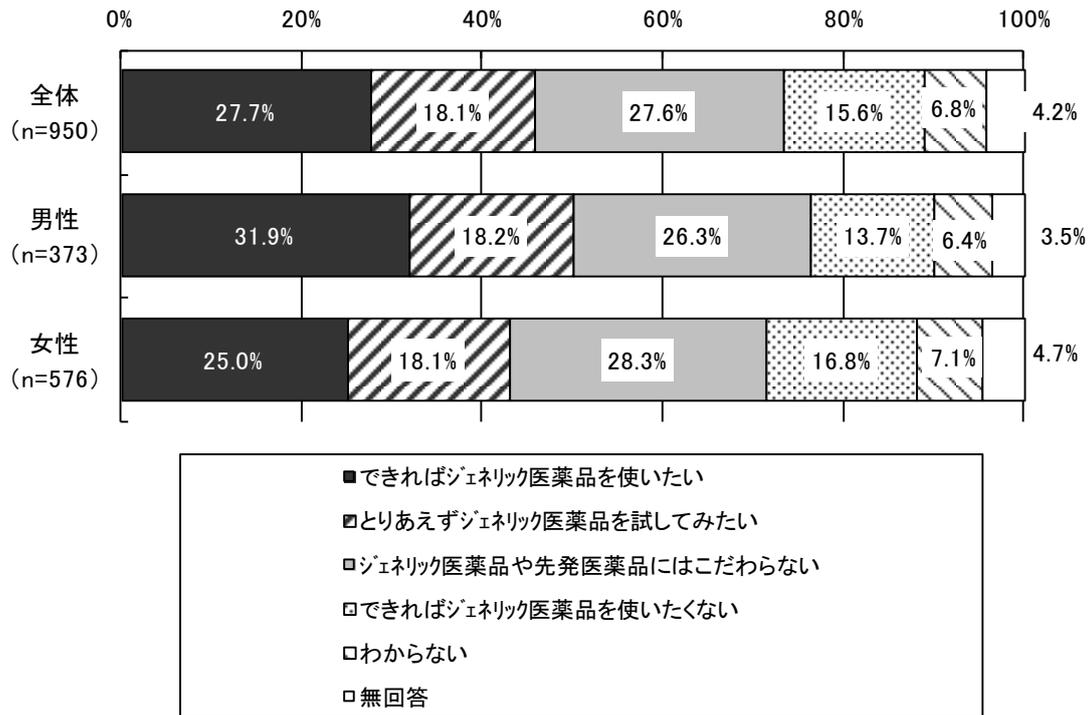
(注)「全体」には、年齢について無回答の7人が含まれる。

(4) ジェネリック使用に関する経験・意向等

①ジェネリック医薬品に関する使用意向等

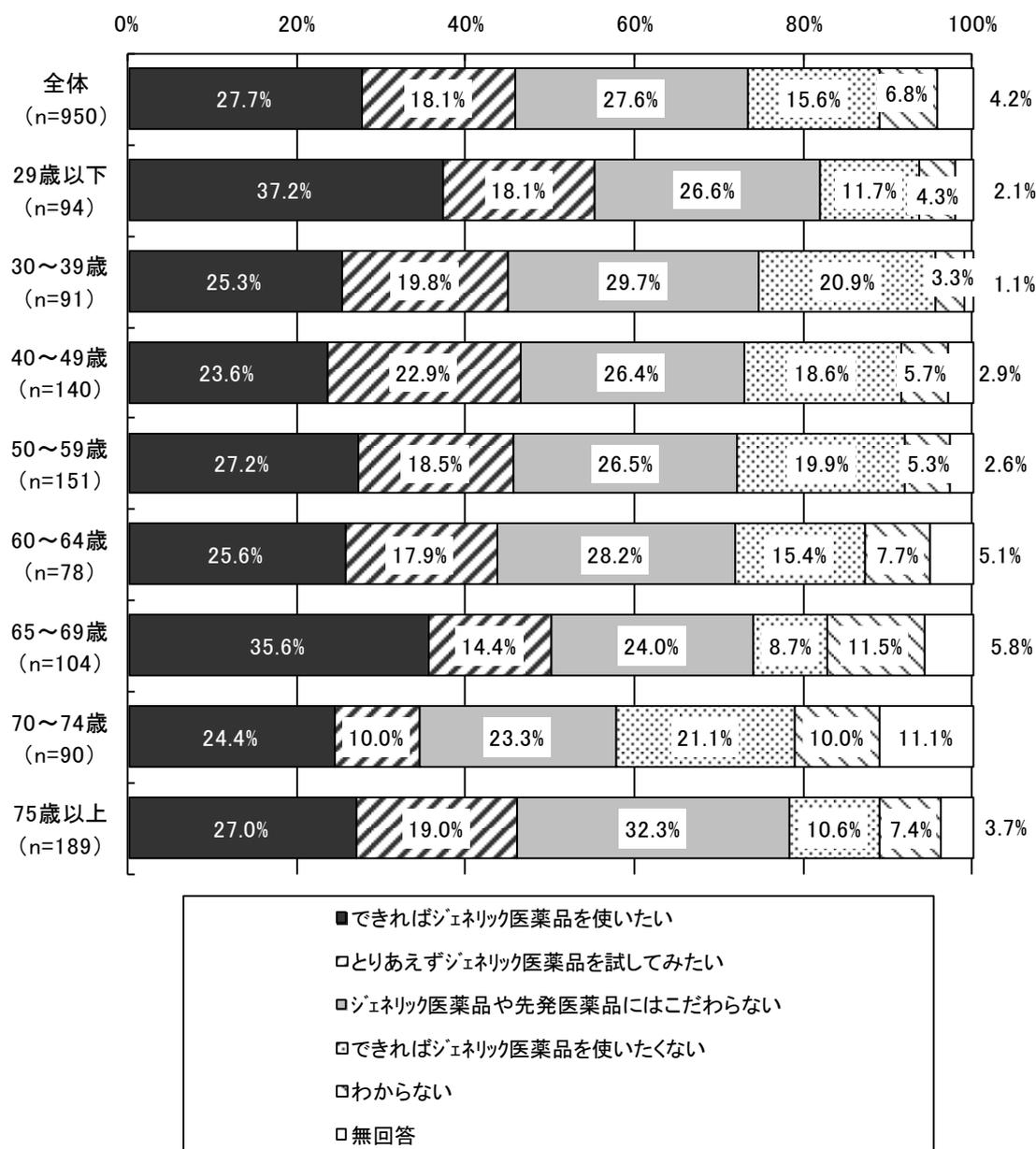
1) ジェネリック医薬品の使用に関する考え

図表 175 ジェネリック医薬品の使用に関する考え（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

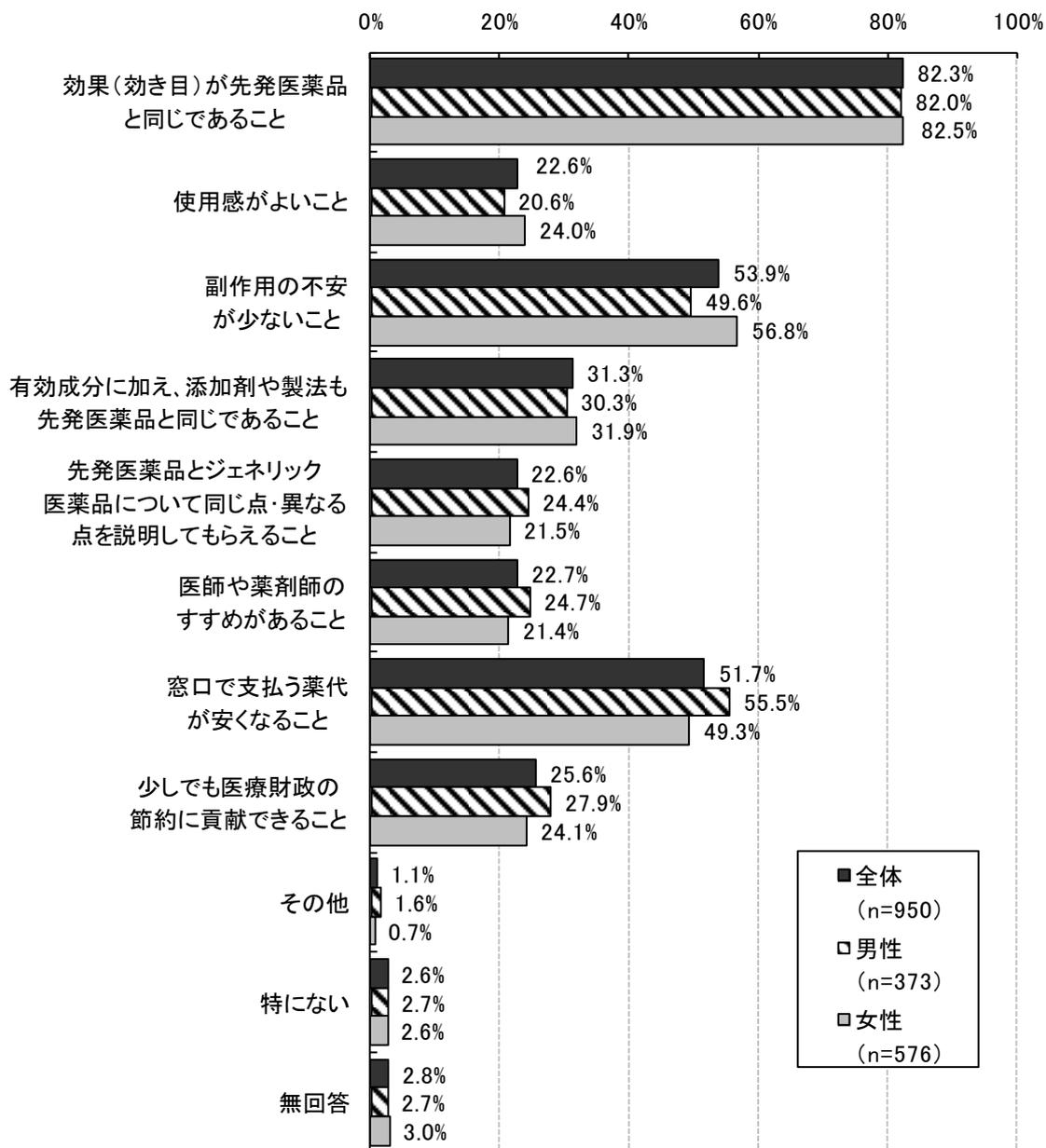
図表 176 ジェネリック医薬品の使用に関する考え（年齢階級別）



(注) 「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

2) ジェネリック医薬品を使用する上で重要なこと

図表 177 ジェネリック医薬品を使用する上で重要なこと（男女別、複数回答）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 178 ジェネリック医薬品を使用する上で重要なこと（年齢階級別、複数回答）

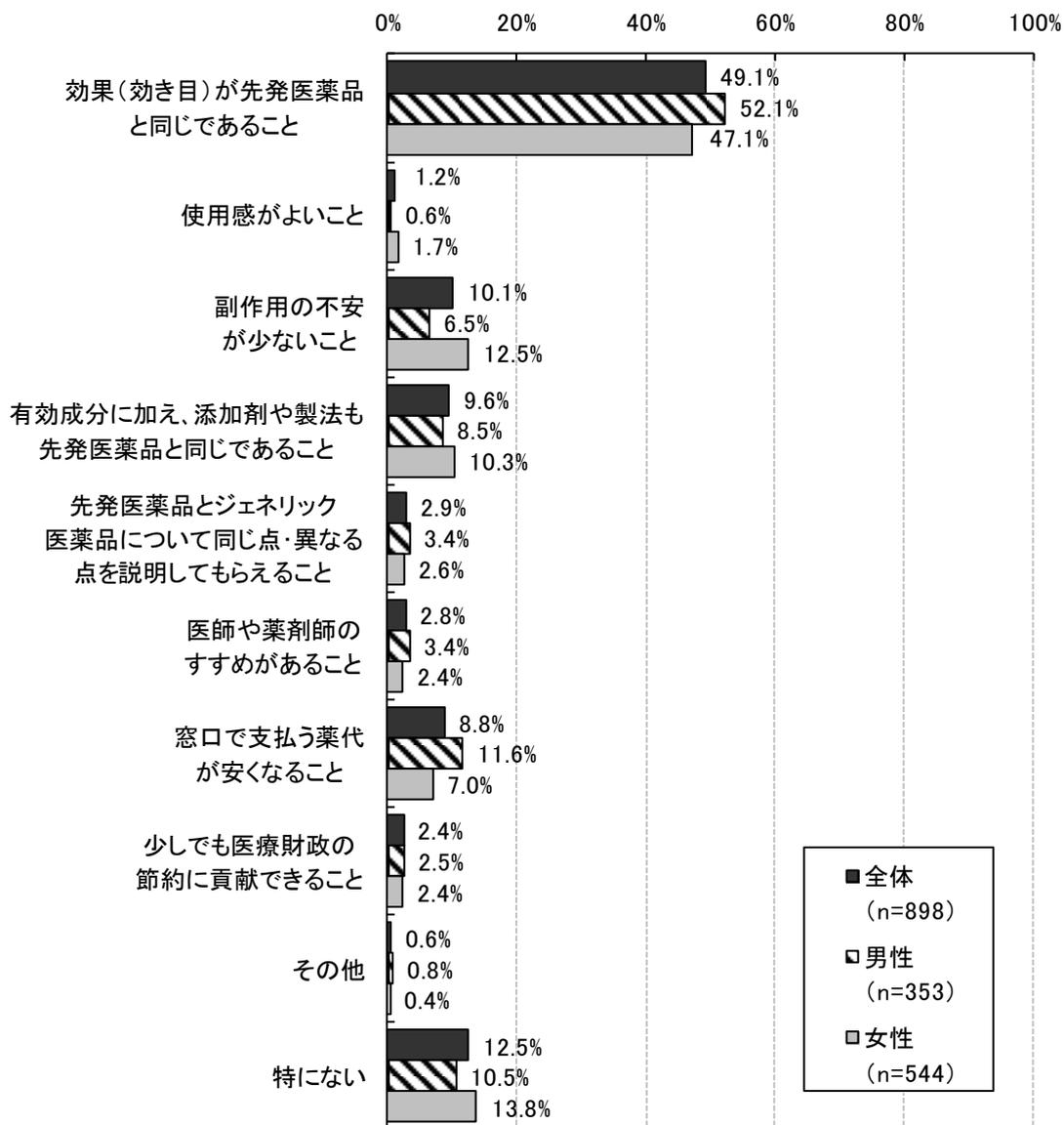
（単位：上段「人」、下段「%」）

|        | 総数           | 効果（効き目）が先発医薬品と同じであること | 使用感がよいこと    | 副作用の不安が少ないこと | 有効成分に加え、添加剤や製法も先発医薬品と同じであること | 先発医薬品とジェネリック医薬品について同じ点・異なる点を説明してもらえないこと | 医師や薬剤師のすすめがあること | 窓口で支払う薬代が安くなること | 少しでも医療財政の節約に貢献できること | その他       | 特になし      | 無回答       |
|--------|--------------|-----------------------|-------------|--------------|------------------------------|---|-----------------|-----------------|---------------------|-----------|-----------|-----------|
| 全体     | 950<br>100.0 | 782<br>82.3           | 215<br>22.6 | 512<br>53.9  | 297<br>31.3                  | 215<br>22.6                             | 216<br>22.7     | 491<br>51.7     | 243<br>25.6         | 10<br>1.1 | 25<br>2.6 | 27<br>2.8 |
| 29歳以下  | 94<br>100.0  | 79<br>84.0            | 31<br>33.0  | 50<br>53.2   | 22<br>23.4                   | 18<br>19.1                              | 14<br>14.9      | 61<br>64.9      | 16<br>17.0          | 0<br>0.0  | 3<br>3.2  | 1<br>1.1  |
| 30～39歳 | 91<br>100.0  | 84<br>92.3            | 31<br>34.1  | 51<br>56.0   | 27<br>29.7                   | 19<br>20.9                              | 10<br>11.0      | 52<br>57.1      | 15<br>16.5          | 1<br>1.1  | 0<br>0.0  | 1<br>1.1  |
| 40～49歳 | 140<br>100.0 | 121<br>86.4           | 36<br>25.7  | 70<br>50.0   | 48<br>34.3                   | 25<br>17.9                              | 24<br>17.1      | 74<br>52.9      | 34<br>24.3          | 1<br>0.7  | 2<br>1.4  | 3<br>2.1  |
| 50～59歳 | 151<br>100.0 | 132<br>87.4           | 37<br>24.5  | 88<br>58.3   | 60<br>39.7                   | 34<br>22.5                              | 26<br>17.2      | 82<br>54.3      | 35<br>23.2          | 1<br>0.7  | 2<br>1.3  | 2<br>1.3  |
| 60～64歳 | 78<br>100.0  | 65<br>83.3            | 15<br>19.2  | 42<br>53.8   | 22<br>28.2                   | 23<br>29.5                              | 21<br>26.9      | 40<br>51.3      | 24<br>30.8          | 1<br>1.3  | 1<br>1.3  | 4<br>5.1  |
| 65～69歳 | 104<br>100.0 | 80<br>76.9            | 15<br>14.4  | 55<br>52.9   | 34<br>32.7                   | 25<br>24.0                              | 29<br>27.9      | 55<br>52.9      | 23<br>22.1          | 2<br>1.9  | 4<br>3.8  | 3<br>2.9  |
| 70～74歳 | 90<br>100.0  | 66<br>73.3            | 13<br>14.4  | 48<br>53.3   | 26<br>28.9                   | 22<br>24.4                              | 34<br>37.8      | 34<br>37.8      | 28<br>31.1          | 2<br>2.2  | 6<br>6.7  | 4<br>4.4  |
| 75歳以上  | 189<br>100.0 | 147<br>77.8           | 35<br>18.5  | 103<br>54.5  | 56<br>29.6                   | 47<br>24.9                              | 56<br>29.6      | 88<br>46.6      | 66<br>34.9          | 2<br>1.1  | 7<br>3.7  | 8<br>4.2  |

（注）「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

3) ジェネリック医薬品を使用する上で最も重要なこと

図表 179 ジェネリック医薬品を使用する上で最も重要なこと（男女別、単数回答）



(注)・「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

・「重要なこと」で「特にない」「無回答」であった回答を除く898人を集計対象とした。

図表 180 ジェネリック医薬品を使用する上で最も重要なこと（年齢階級別、単数回答）

（単位：上段「人」、下段「%」）

|        | 総数           | 効果（効き目）が先発医薬品と同じであること | 使用感がよいこと  | 副作用の不安が少ないこと | 有効成分に加え、添加剤や製法も先発医薬品と同じであること | 先発医薬品とジェネリック医薬品について同じ点・異なる点を説明してもらえないこと | 医師や薬剤師のすすめがあること | 窓口で支払う薬代が安くなること | 少しでも医療財政の節約に貢献できること | その他      | 無回答        |
|--------|--------------|-----------------------|-----------|--------------|------------------------------|---|-----------------|-----------------|---------------------|----------|------------|
| 全体     | 898<br>100.0 | 441<br>49.1           | 11<br>1.2 | 91<br>10.1   | 86<br>9.6                    | 26<br>2.9                               | 25<br>2.8       | 79<br>8.8       | 22<br>2.4           | 5<br>0.6 | 52<br>5.8  |
| 29歳以下  | 90<br>100.0  | 42<br>46.7            | 0<br>0.0  | 6<br>6.7     | 9<br>10.0                    | 4<br>4.4                                | 2<br>2.2        | 18<br>20.0      | 1<br>1.1            | 0<br>0.0 | 4<br>4.4   |
| 30～39歳 | 90<br>100.0  | 37<br>41.1            | 1<br>1.1  | 8<br>8.9     | 10<br>11.1                   | 2<br>2.2                                | 2<br>2.2        | 8<br>8.9        | 2<br>2.2            | 1<br>1.1 | 1<br>1.1   |
| 40～49歳 | 135<br>100.0 | 70<br>51.9            | 2<br>1.5  | 8<br>5.9     | 16<br>11.9                   | 3<br>2.2                                | 1<br>0.7        | 10<br>7.4       | 4<br>3.0            | 0<br>0.0 | 5<br>3.7   |
| 50～59歳 | 147<br>100.0 | 80<br>54.4            | 4<br>2.7  | 18<br>12.2   | 15<br>10.2                   | 2<br>1.4                                | 2<br>1.4        | 14<br>9.5       | 0<br>0.0            | 0<br>0.0 | 4<br>2.7   |
| 60～64歳 | 73<br>100.0  | 32<br>43.8            | 0<br>0.0  | 7<br>9.6     | 5<br>6.8                     | 4<br>5.5                                | 2<br>2.7        | 7<br>9.6        | 4<br>5.5            | 0<br>0.0 | 5<br>6.8   |
| 65～69歳 | 97<br>100.0  | 52<br>53.6            | 0<br>0.0  | 13<br>13.4   | 9<br>9.3                     | 2<br>2.1                                | 2<br>2.1        | 10<br>10.3      | 1<br>1.0            | 1<br>1.0 | 7<br>7.2   |
| 70～74歳 | 80<br>100.0  | 39<br>48.8            | 1<br>1.3  | 10<br>12.5   | 10<br>12.5                   | 1<br>1.3                                | 4<br>5.0        | 4<br>5.0        | 2<br>2.5            | 1<br>1.3 | 10<br>12.5 |
| 75歳以上  | 174<br>100.0 | 85<br>48.9            | 3<br>1.7  | 20<br>11.5   | 12<br>6.9                    | 7<br>4.0                                | 9<br>5.2        | 6<br>3.4        | 8<br>4.6            | 2<br>1.1 | 15<br>8.6  |

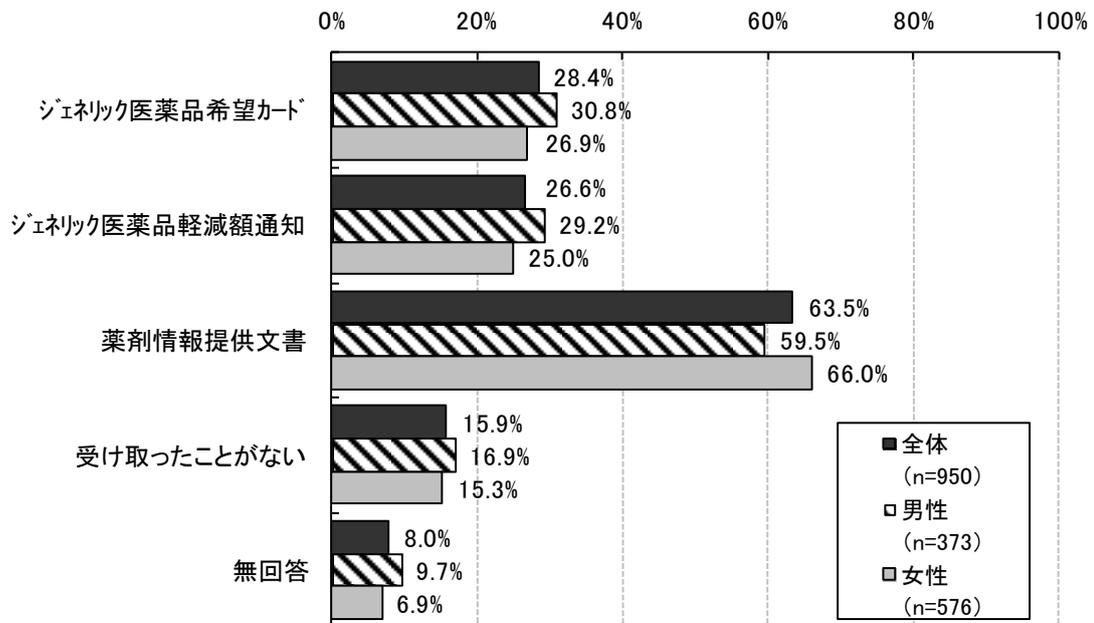
（注）・「全体」には、年齢について無回答の12人が含まれる。

・「重要なこと」で「特にない」「無回答」であった回答を除く898人を集計対象とした。

②ジェネリック医薬品に関する文書等に関する経験・意向等

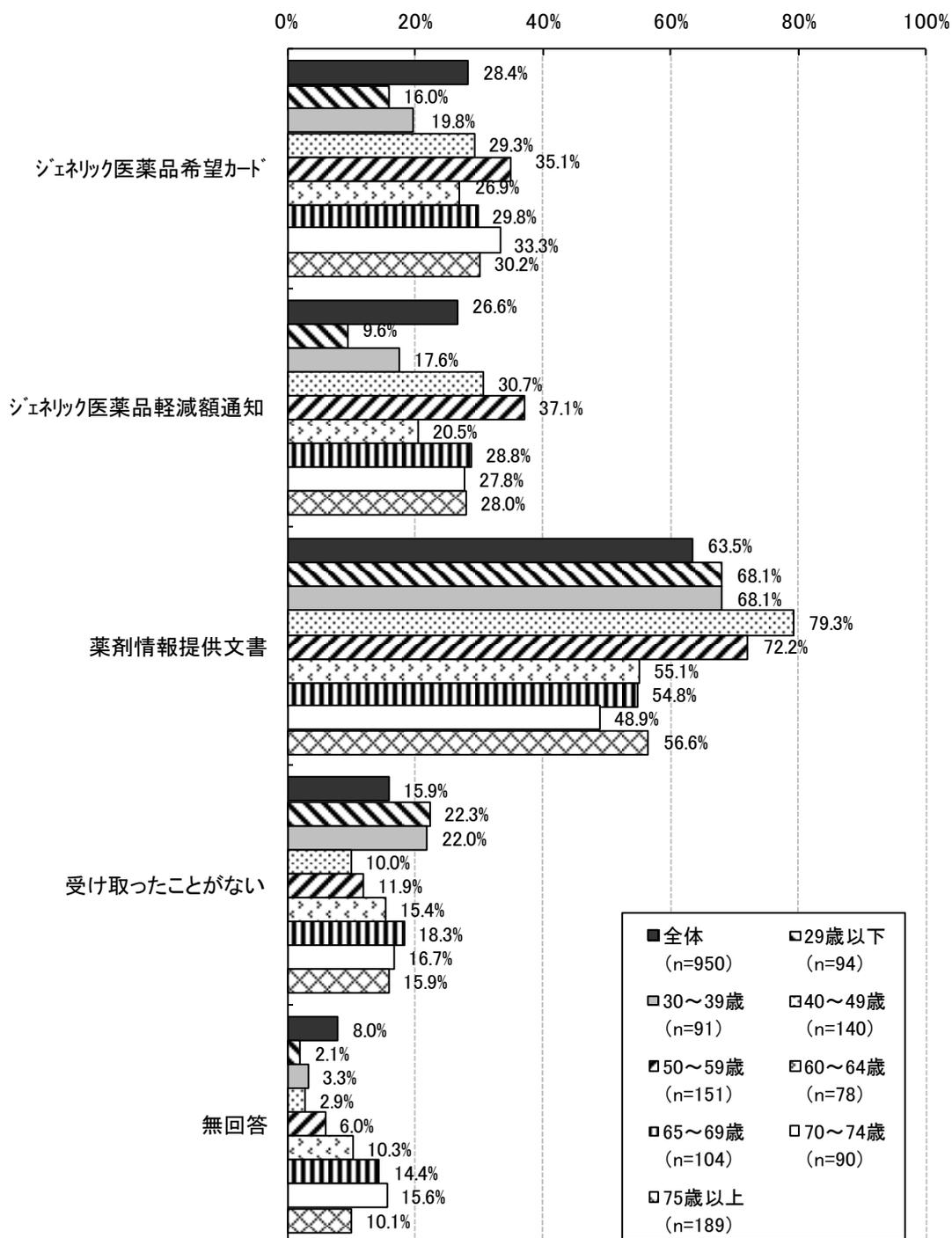
1) 今までに受け取ったことがあるジェネリック医薬品に関する文書等

図表 181 ジェネリック医薬品に関する文書等の受取り経験の有無（男女別、複数回答）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

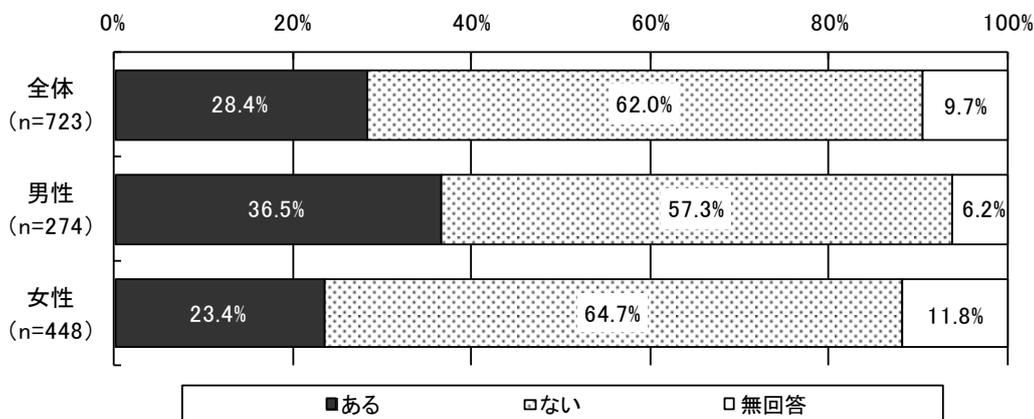
図表 182 ジェネリック医薬品に関する文書等の受取り経験の有無  
(年齢階級別、複数回答)



(注) 「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

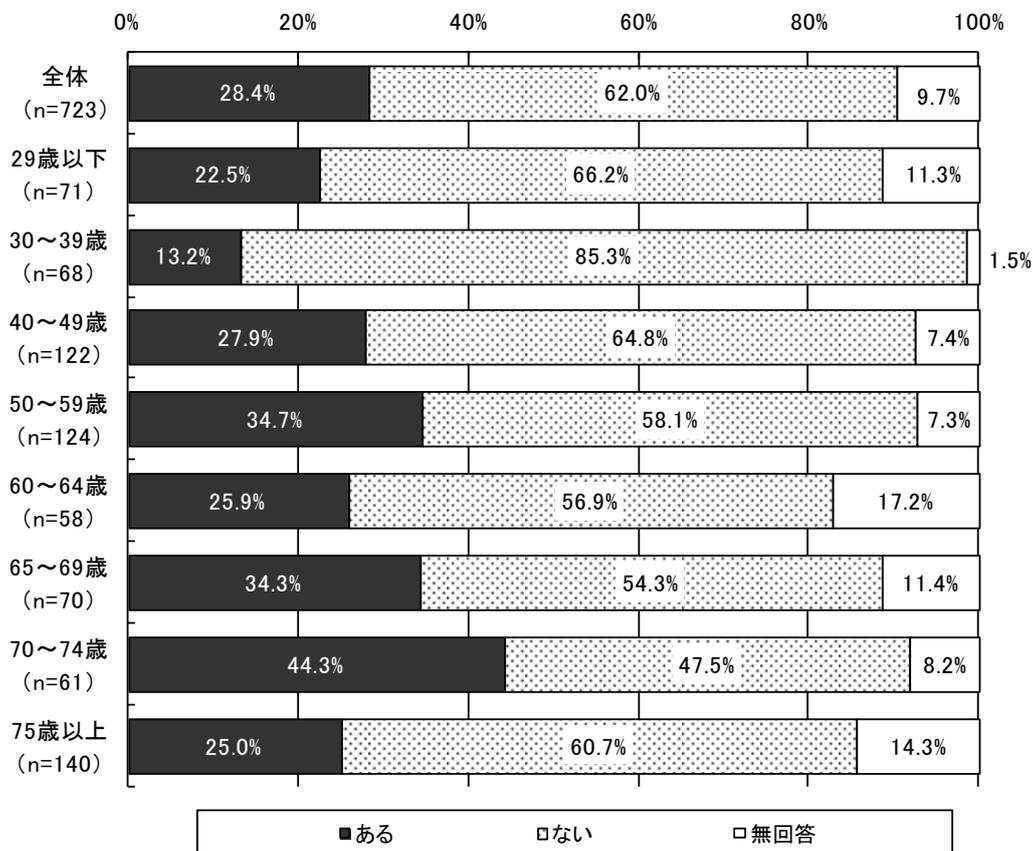
2) ジェネリック医薬品に関する文書等をきっかけとした相談・質問経験の有無

図表 183 ジェネリック医薬品に関する文書等をきっかけとした相談・質問経験の有無  
(ジェネリック医薬品に関する文書等の受取り経験のある人、男女別、単数回答)



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 184 ジェネリック医薬品に関する文書等をきっかけとした相談・質問経験の有無  
(ジェネリック医薬品に関する文書等の受取り経験のある人、年齢階級別、単数回答)

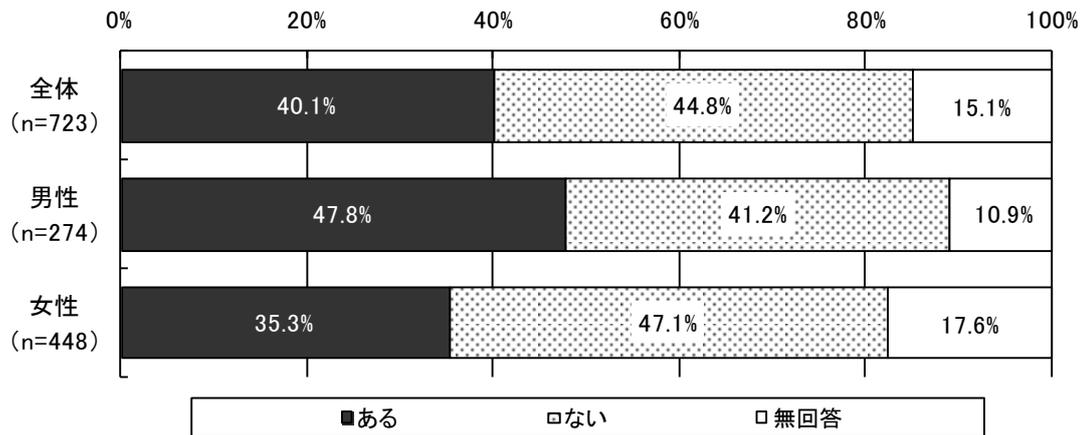


(注)「全体」には、年齢について無回答の9人が含まれる。

3) ジェネリック医薬品に関する文書等をきっかけとしたジェネリック医薬品使用経験の有無

図表 185 ジェネリック医薬品に関する文書等をきっかけとしたジェネリック医薬品使用経験の有無

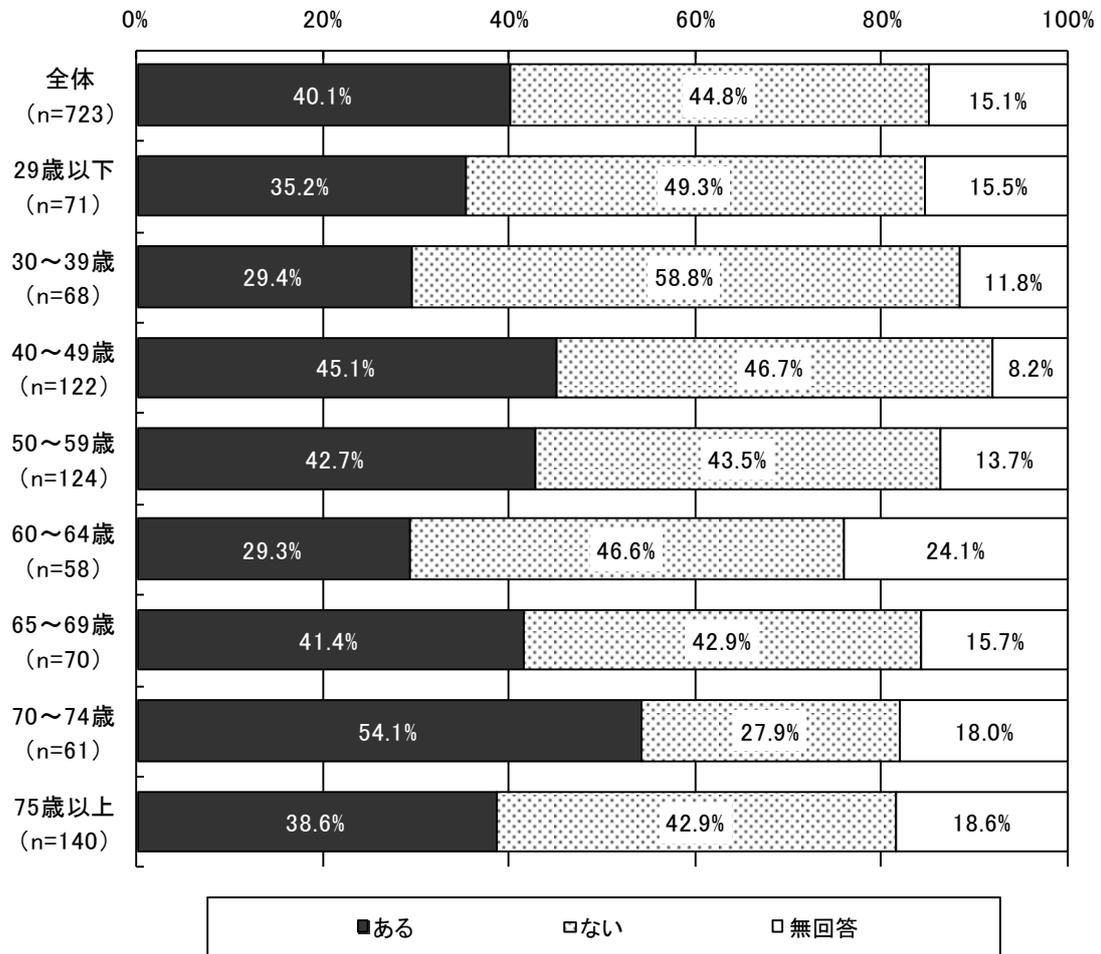
(ジェネリック医薬品に関する文書等の受取り経験のある人、男女別、単数回答)



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 186 ジェネリック医薬品に関する文書等をきっかけとしたジェネリック医薬品使用  
経験の有無

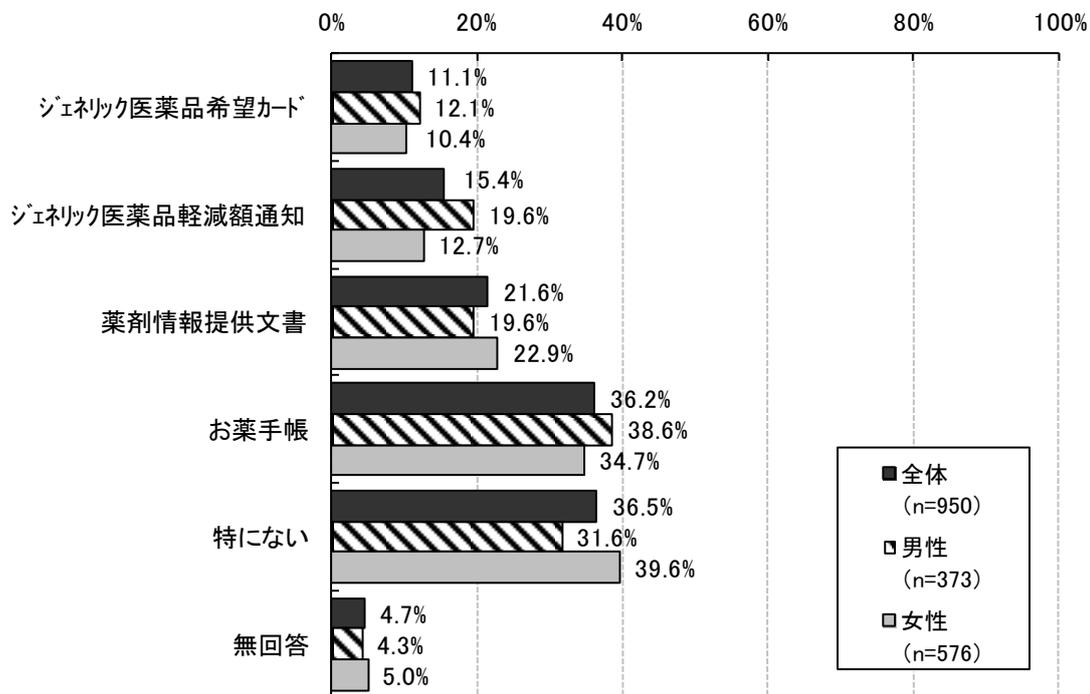
(ジェネリック医薬品に関する文書等の受取り経験のある人、年齢階級別、単数回答)



(注)「全体」には、年齢について無回答の9人が含まれる。

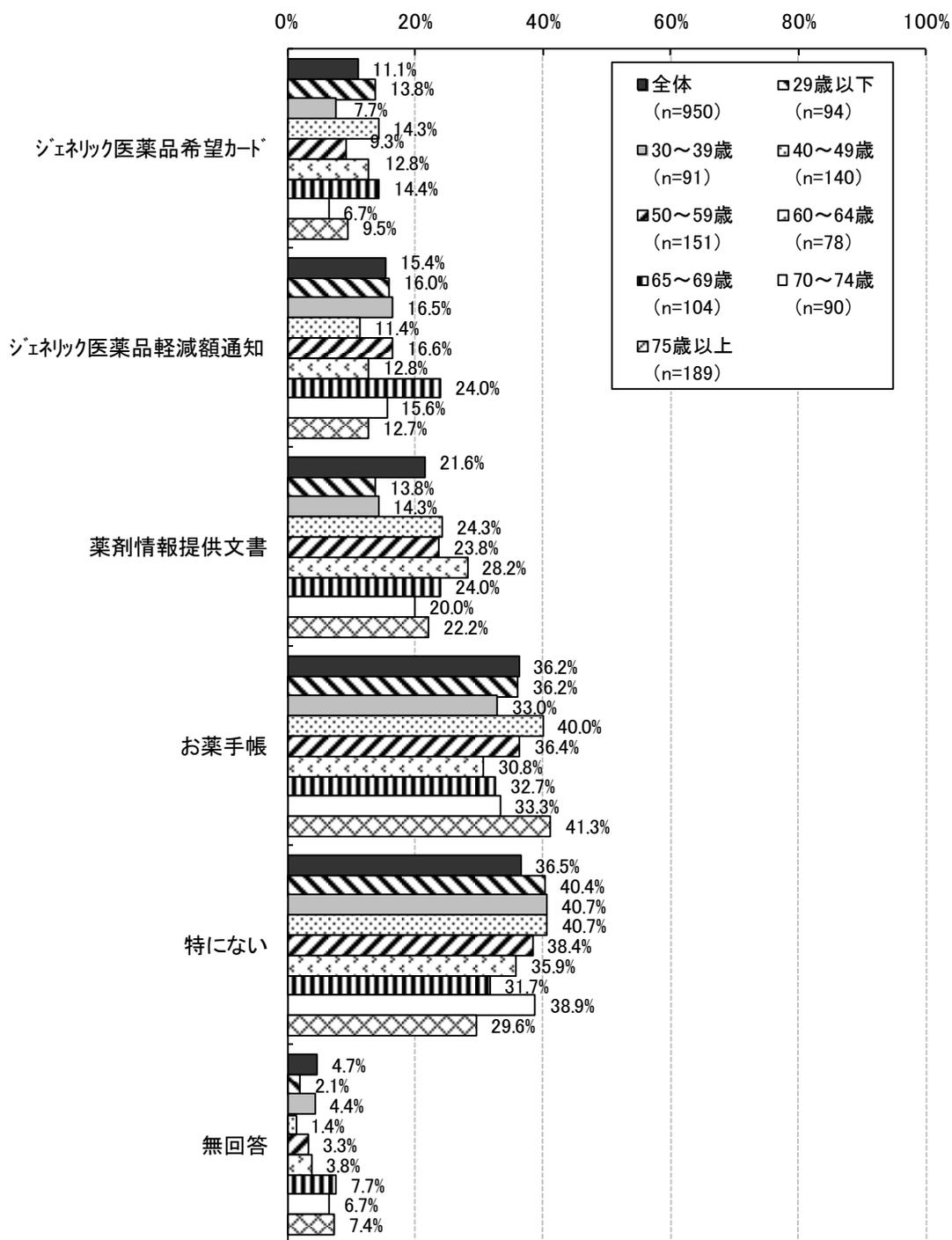
4) 今後活用してみたいジェネリック医薬品に関する文書等

図表 187 今後活用してみたいジェネリック医薬品に関する文書等（男女別、複数回答）



(注) 「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 188 今後活用してみたいジェネリック医薬品に関する文書等  
(年齢階級別、複数回答)

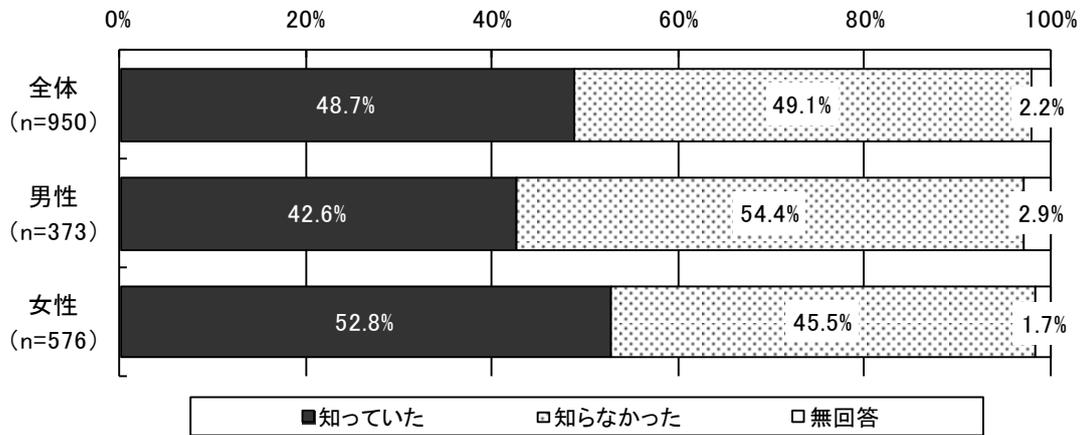


(注) 「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

③一般名処方に関する認知度・意向等

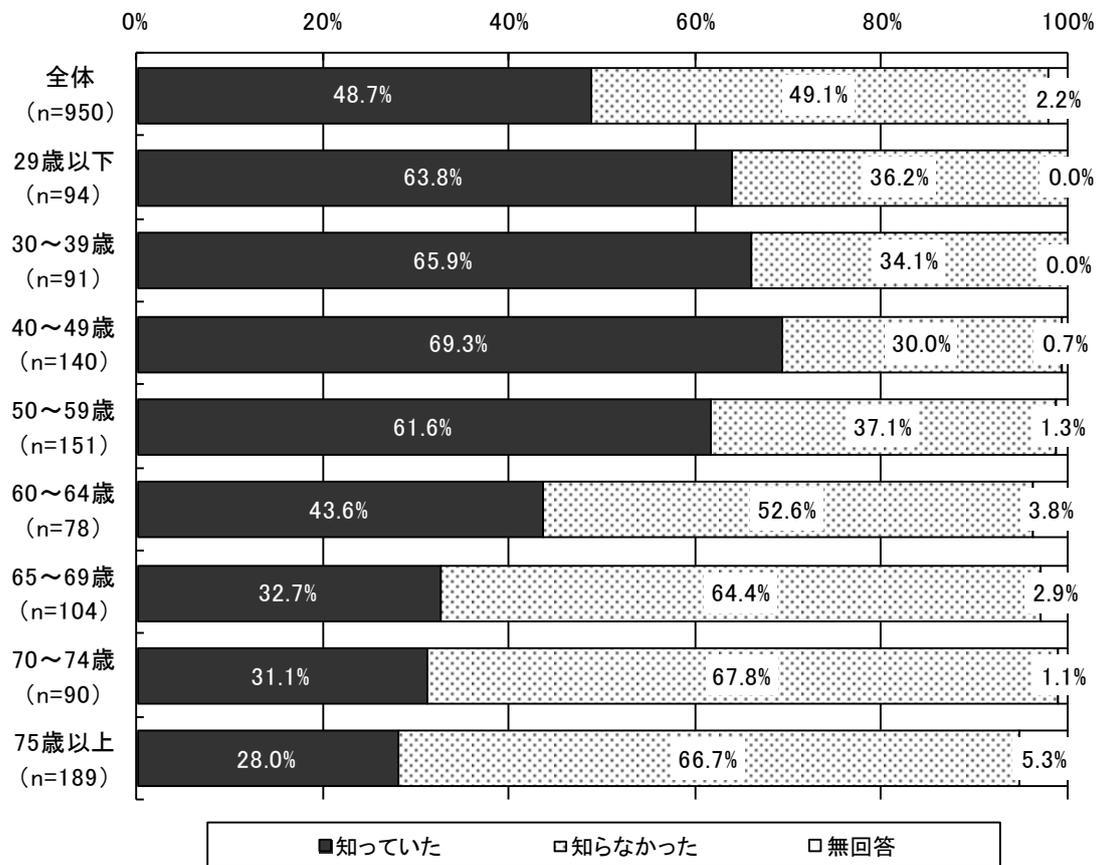
1) 一般名処方の認知度

図表 189 一般名処方の認知度（男女別）



(注)「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

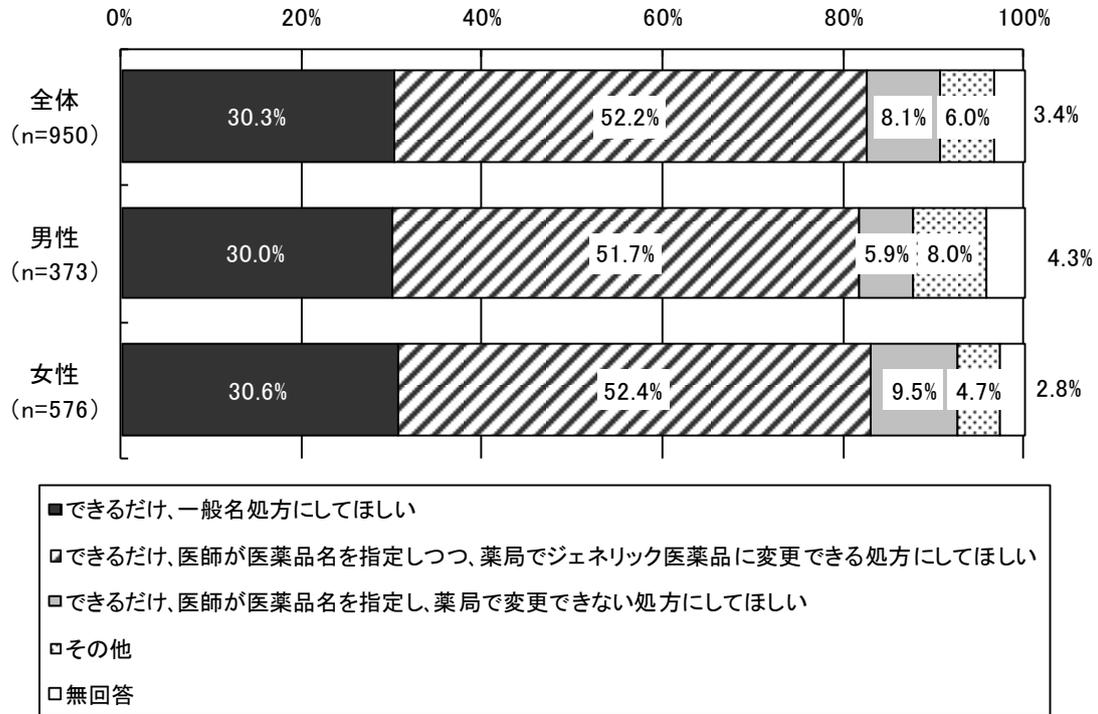
図表 190 一般名処方の認知度（年齢階級別）



(注)「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。

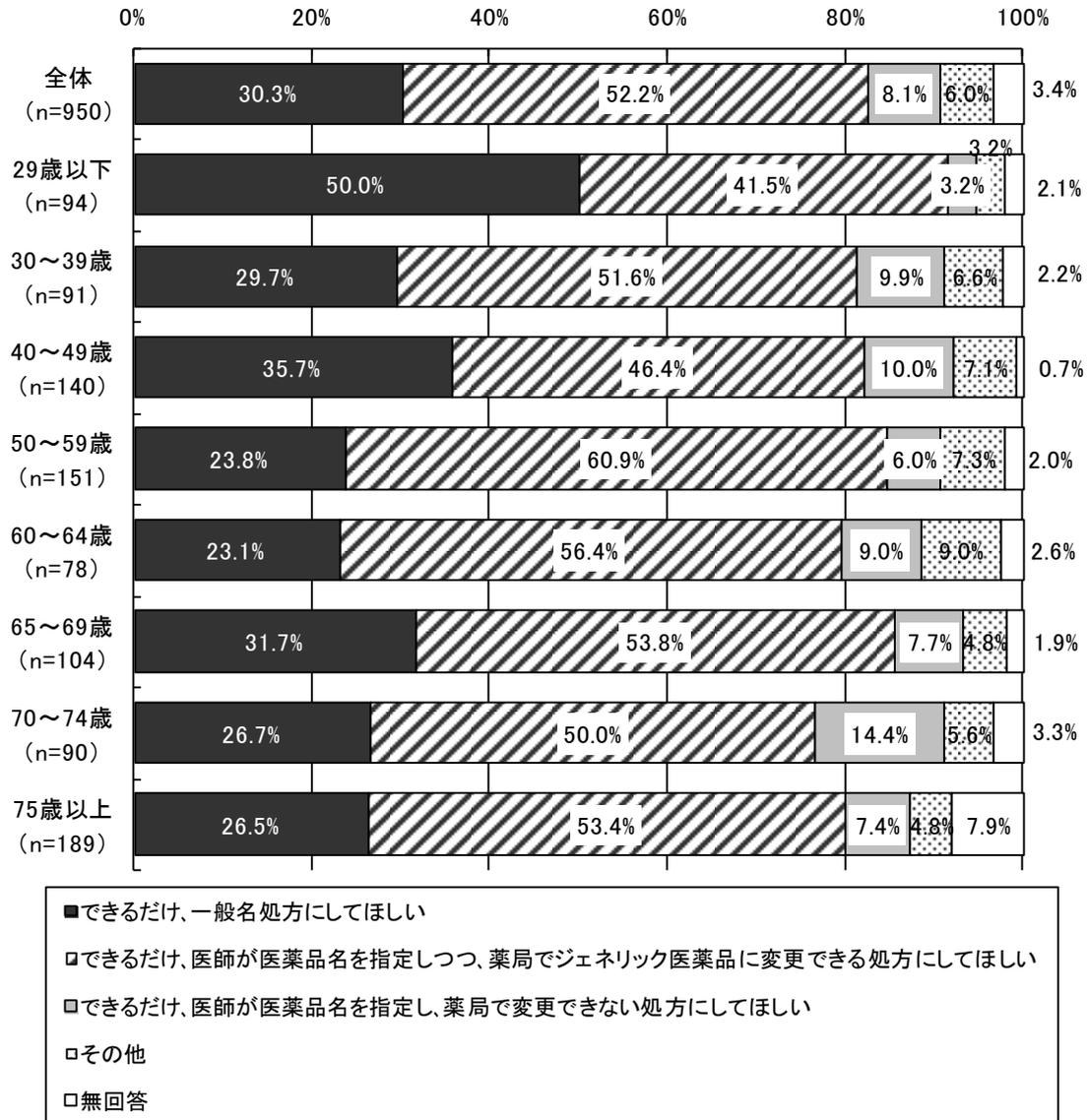
2) 望ましい処方せん的方式

図表 191 望ましい処方せん的方式（男女別）



(注) 「全体」には、性別について無回答の1人が含まれる。

図表 192 望ましい処方せん的方式（年齢階級別）



(注) 「全体」には、年齢について無回答の13人が含まれる。









|  |  |
|--|--|
| <p>【上記質問(3)で1. 以外を回答された薬局】</p>   |  |
| <p>➔(4) 後発医薬品を積極的に調剤しない場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○</p>   |  |
| <p>1. 後発医薬品の品質(効果や副作用を含む)に疑問がある</p> <p>3. 後発医薬品の情報提供体制に不安がある</p> <p>5. 後発医薬品の説明に時間がかかる</p> <p>7. 経営上の観点から</p> <p>9. 経営者(会社)の方針</p>   | <p>2. 後発医薬品メーカーの安定供給に不安がある</p> <p>4. 患者への普及啓発が不足している</p> <p>6. 近隣医療機関が後発医薬品の使用に消極的である</p> <p>8. 在庫管理の負担が大きい</p> <p>10. その他(具体的に )</p>  |
| <p>【上記質問(3)で1. 以外を回答された薬局】</p>   |  |
| <p>➔(4)-1 上記(4)の選択肢1~10のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>  |  |
| <p>【上記質問(3)で1. 以外を回答された薬局】</p>   |  |
| <p>➔(5)後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の種類は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○</p>   |  |
| <p>1. 血圧降下剤</p> <p>5. 催眠鎮静剤</p> <p>9. 糖尿病用剤等</p> <p>13. 免疫抑制剤</p> <p>15. 特にない</p>  | <p>2. 高脂血症用剤</p> <p>6. 抗不安剤</p> <p>10. 消化性潰瘍用剤</p> <p>14. その他 (具体的に )</p> <p>3. 不整脈用剤</p> <p>7. 抗てんかん剤</p> <p>11. 抗アレルギー剤</p> <p>4. 精神神経用剤</p> <p>8. 解熱鎮痛剤</p> <p>12. 抗悪性腫瘍剤</p> |
| <p>【上記質問(3)で1. 以外を回答された薬局】</p>   |  |
| <p>➔(5)-1 後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の剤形は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○</p>  |  |
| <p>1. 内用剤 (具体的な剤形 )</p> <p>2. 外用剤 (具体的な剤形 )</p> <p>3. 注射剤</p>  |  |
| <p>【上記質問(3)で1. 以外を回答された薬局】</p>   |  |
| <p>➔(6)上記(5)の医薬品について後発医薬品を調剤しにくい理由を具体的にお書きください。</p>  |  |
|  |  |
| <p>【上記質問(3)で1. 以外を回答された薬局】</p>   |  |
| <p>➔(7)後発医薬品を積極的に調剤していない患者の特徴として該当するものすべてに○をつけてください。 ※あてはまる番号すべてに○</p>   |  |
| <p>1. 初回の受付時に後発医薬品の調剤を希望しなかった患者</p> <p>2. 差額が小さい患者</p> <p>3. 先発医薬品との違い(味、色、剤形、粘着力等)を気にする患者</p> <p>4. 後発医薬品への変更に関する説明に長時間を要すると思われる患者</p> <p>5. 複数回にわたり後発医薬品への変更を説明したが、後発医薬品への変更を希望しなかった患者</p> <p>6. 後発医薬品を使用していたが先発医薬品へ変更を希望した患者</p> <p>7. その他 (具体的に )</p> <p>8. 特にない</p> |  |
| <p>【すべての薬局】</p>  |  |
| <p>➔(8)後発医薬品使用に関する患者の意向を把握する手段として最も多く利用しているものは何ですか。 ※○は1つだけ</p>  |  |
| <p>1. 「お薬手帳」を通じて</p> <p>2. ジェネリック医薬品希望カード・シール</p> <p>3. 薬剤服用歴</p> <p>4. 処方せん受付時における患者への口頭やアンケートによる意向確認 (初回のみ)</p> <p>5. 処方せん受付時における患者への口頭やアンケートによる意向確認 (毎回)</p> <p>6. その他 (具体的に )</p>  |  |

|  |   |
|--|---|
| <p>(9)後発医薬品への変更・選択において、患者の理解を最も得られやすい処方方法は何か。 ※○は1つだけ</p>  |   |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般名処方</li> <li>2. 先発医薬品名（準先発品を含む）だが変更不可とされていない処方</li> <li>3. 後発医薬品の処方（別銘柄へ変更可能なものも含む）</li> <li>4. 上記1.と2.と3.でいずれも大きな違いはない</li> <li>5. その他（具体的に</li> </ol>  | ) |
| <p>(10)「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」について、どのような方法・タイミングで処方医に情報提供することが望ましいと思いますか。 ※○は1つだけ</p>   |   |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調剤をした都度</li> <li>2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しない</li> <li>3. 一定期間に行った調剤をまとめて</li> <li>4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に</li> <li>5. 副作用等問題が発生した時だけ</li> <li>6. 必要ない</li> <li>7. その他（具体的に</li> </ol>           | ) |
| <p>(11)「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」の情報提供の頻度等について、医療機関と予め合意した方法で行っていますか。 ※○は1つだけ</p>  |   |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主に合意した方法で行っている</li> <li>2. 医療機関によって様々である</li> <li>3. 合意した方法はない→質問4.(1)へ</li> <li>4. その他（具体的に</li> </ol>  | ) |
| <p>【上記質問(11)で「1. 主に合意した方法で行っている」「2. 医療機関によって様々である」と回答された薬局】</p>  |   |
| <p>(12)その方法はどのようなものですか。 ※あてはまる番号すべてに○</p>  |   |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調剤をした都度提供すること</li> <li>2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しないとする</li> <li>3. 一定期間に行った調剤をまとめて提供すること</li> <li>4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に提供すること</li> <li>5. 副作用等問題が発生した時だけ提供すること</li> <li>6. その他（具体的に</li> </ol> | ) |

4. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題、要望等についてお伺いします。

|   |   |
|---|---|
| <p>(1) 今後、どのような対応がなされれば、開設者・管理者の立場として後発医薬品の調剤を積極的に進めることができると思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○</p>  |   |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底</li> <li>2. 後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保</li> <li>3. 後発医薬品に関する安定供給体制の確保</li> <li>4. 後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合</li> <li>5. 後発医薬品に対する患者の理解の向上</li> <li>6. 後発医薬品を調剤する際の診療報酬上の評価</li> <li>7. 後発医薬品の原体、製剤に関する製造方法、製造場所、製造国などの情報開示</li> <li>8. その他（具体的に</li> <li>9. 特に対応は必要ない→7ページの質問(2)へ</li> </ol> | ) |
| <p>(1)-1 上記(1)の選択肢1~8のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>   |   |

|   |  |
|---|--|
| (2) 現在、同一成分・同一剤形の後発医薬品の価格は銘柄ごとに様々ですが、どのような体系が望ましいと思いますか。<br>※○は1つだけ   |  |
| 1. 1つの価格帯に統一<br>2. 2つの価格帯に統一<br>3. 3つの価格帯に統一（現行の制度）<br>4. 先発医薬品より安ければ価格は銘柄ごとに違ってよい<br>5. その他（具体的に _____）  |  |
| (3) 後発医薬品の薬価について、先発医薬品と比較してどの程度が適切な水準とお考えになりますか。  |  |
| 先発医薬品の薬価の（ _____ ）%程度   |  |
| (4) 貴薬局で、後発医薬品の使用を進める上で医師に望むことはありますか。 ※あてはまる番号すべてに○   |  |
| 1. 患者への積極的な働きかけ<br>2. 後発医薬品への変更調剤に関する薬剤師への信頼感<br>3. 患者が後発医薬品の使用を希望している場合、処方せんに変更不可の署名を行わないこと<br>4. 後発医薬品の銘柄指定をしないこと<br>5. 一般名処方とすること<br>6. お薬手帳への記載以外の医療機関（医師）への情報提供を不要とすること<br>7. 疑義照会への誠実な対応<br>8. 後発医薬品に対する理解<br>9. その他（具体的に _____）<br>10. 医師に望むことは特にない→質問(5)へ |  |
| (4)-1 上記(4)の選択肢 1～9のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。   |  |
| (5) 上記(1)(4)以外に、後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題や、また、後発医薬品の使用・普及を進めていくために、具体的にどのような取組を行えば効果があるか、ご意見を自由にお書きください。   |  |
|   |  |

質問は以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。  
 ※引き続き、様式2のご記入もよろしくお願いいたします。

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成 27 年度調査)  
**後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査** **保険薬局票**

- 平成 27 年 7 月 24 日（金）から 7 月 30 日（木）のうちのいずれか平均的な開局時間の 1 日の状況をご記入ください。詳細は調査要綱をご覧ください。
- 処方せん 1 枚につき 1 行を使ってご記入ください。

調査日：平成 27 年（ ）月（ ）日（ ）曜日

| 通し番号 (No.) | 先発→後発 ※1品目でもある場合は○ | 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料 (A) ※記載方法は調査要綱ご参照 | 実際に調剤した薬剤料 (B) |     | 患者一部負担金の割合 (C) |     |
|------------|--------------------|-------------------------------------|----------------|-----|----------------|-----|
| (記入例)<br>1 | ○                  | 724                                 | 点              | 540 | 点              | 3 割 |
| 1          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 2          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 3          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 4          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 5          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 6          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 7          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 8          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 9          |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 10         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 11         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 12         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 13         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 14         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 15         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 16         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 17         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 18         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 19         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 20         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 21         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 22         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |
| 23         |                    |                                     | 点              |     | 点              | 割   |

※回答用紙が足りない場合には、大変恐縮ですが、裏面用紙をコピーしてお使いください。

※記入例(全3枚のうち1枚目の場合)

回答用紙 枚中 枚

回答用紙 3 枚中 1 枚





2. <有床診療所及び院内処方のある施設の方にお伺いします。すべて院外処方の無床診療所の方は3ページの質問4. ①へお進みください。>

貴施設における後発医薬品の使用状況等についてお伺いします。

|  |  |
|--|--|
| ①医薬品備蓄品目数                              | 約 ( ) 品目   |
| ②上記①のうち後発医薬品の備蓄品目数                     | 約 ( ) 品目   |
| ③調剤用医薬品費 (購入額)                         | 約 ( ) 円 ※平成27年6月1か月間又は直近1か月分   |
| ④上記③のうち後発医薬品費 (購入額)                    | 約 ( ) 円 ※平成27年6月1か月間又は直近1か月分   |
| ⑤調剤用医薬品廃棄額                             | 約 ( ) 円 ※平成27年6月1か月間又は直近1か月分   |
| ⑥上記⑤のうち後発医薬品廃棄額                        | 約 ( ) 円 ※平成27年6月1か月間又は直近1か月分   |
| ⑦後発医薬品の採用状況は、いかがでしょうか。<br>※〇は1つだけ      | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 後発医薬品があるものは積極的に採用</li> <li>2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用</li> <li>3. 後発医薬品を積極的には採用していない</li> <li>4. その他 (具体的に )</li> </ol>  |
| ⑧後発医薬品を採用する際に重視すること<br>※あてはまる番号すべてに〇   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 後発医薬品メーカーが品質について情報開示をしていること</li> <li>2. MRからの情報提供が頻繁にあること</li> <li>3. 他の後発医薬品よりも薬価が安価であること</li> <li>4. 大病院で採用されていること</li> <li>5. 近隣の保険医療機関(病院・診療所)で採用されている処方銘柄であること</li> <li>6. 後発医薬品の適応症が先発医薬品と同一であること</li> <li>7. 納品までの時間が短いこと</li> <li>8. 後発医薬品メーカー・卸が十分な在庫を確保していること</li> <li>9. 患者からの評価がよいこと</li> <li>10. 調剤がしやすい(例;容易に半割ができる、一包化調剤がしやすい)こと</li> <li>11. 本社の問い合わせ窓口における対応が充実していること</li> <li>12. 先発医薬品メーカーが扱う後発医薬品であること</li> <li>13. 信頼のおける後発医薬品メーカーが扱う後発医薬品であること</li> <li>14. 古くから販売されている後発医薬品であること</li> <li>15. 有効成分に加え、添加剤や製法も先発医薬品と同じであること</li> <li>16. その他(具体的に )</li> <li>17. 特にない→質問3. ①へ</li> </ol> |
| ⑨上記⑧の選択肢1～16のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。 |  |

3. <有床診療所の方にお伺いします。無床診療所の方は3ページの質問4. ①へお進みください>

入院患者に対する後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

※ここでは、造影剤などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬及び外用薬の全てを対象とします。

|  |  |
|--|--|
| ①後発医薬品使用体制加算の状況 ※〇は1つだけ                            | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 算定していない</li> <li>2. 後発医薬品使用体制加算1を算定している</li> <li>3. 後発医薬品使用体制加算2を算定している</li> </ol>   |
| ②入院患者に対する後発医薬品の使用状況は、いかがでしょうか。<br>※最も近いものの番号1つだけに〇 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 後発医薬品を積極的に処方する</li> <li>2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する</li> <li>3. 患者によって、後発医薬品を積極的に処方する</li> <li>4. 後発医薬品を積極的には処方しない</li> </ol> |

|   |   |
|---|---|
| <p>③今後、どのような対応が進めば、<b>診療所</b>として、入院患者への投薬・注射における後発医薬品の使用を進めてもよいと思えますか。</p> <p>※あてはまる番号すべてに○</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底</li> <li>2. 後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保</li> <li>3. 後発医薬品に関する安定供給体制の確保</li> <li>4. 後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合</li> <li>5. 先発医薬品名を入力すると一般名処方できるオーダーリングシステムの導入</li> <li>6. 後発医薬品に対する患者の理解</li> <li>7. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価</li> <li>8. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価</li> <li>9. 後発医薬品の原体、製剤に関する製造方法、製造場所、製造国などの情報開示</li> <li>10. その他（具体的に )</li> <li>11. 特に対応は必要ない→質問4. ①へ</li> </ol> |
| <p>④上記③の選択肢1～10のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>   |   |

4. <院外処方せんを発行している施設の方にお伺いします。院外処方せんを発行していない施設の方は6ページの質問5. ①へお進みください>

**外来診療における処方せん発行時の状況や後発医薬品の処方に関するお考えをお伺いします。**

|   |                         |
|---|-------------------------|
| ①処方せん料の算定回数（平成27年6月1か月間）  | （                    ）回 |
| ②一般名処方加算の算定回数（平成27年6月1か月間）  | （                    ）回 |
| ③後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ   |                         |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 後発医薬品を積極的に処方する→4ページの質問③-2へ<br/> <small>*一般名処方の場合や「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含みます。</small></li> <li>2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する→4ページの質問③-2へ</li> <li>3. 患者によって、後発医薬品を積極的に処方する→4ページの質問③-2へ</li> <li>4. 後発医薬品を積極的には処方しない</li> </ol>   |                         |
| 【質問③で「4. 後発医薬品を積極的には処方しない」を回答した場合】  |                         |
| →③-1 後発医薬品を積極的には処方しない場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○  |                         |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 後発医薬品の品質（効果や副作用を含む）に疑問があるから</li> <li>2. 適応症が異なるから</li> <li>3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから</li> <li>4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから</li> <li>5. 患者への普及啓発が不足しているから</li> <li>6. 後発医薬品の説明に時間がかかるから</li> <li>7. 一般名の記入がしづらいから</li> <li>8. 後発医薬品を処方するメリットがないから</li> <li>9. 患者が先発医薬品を希望するから</li> <li>10. 患者の容態等から先発医薬品が良いと判断したため</li> <li>11. その他（具体的に )</li> </ol> |                         |



|   |                      |                     |
|---|----------------------|---------------------|
| ⑥平成 27 年 4 月以降、あなたは、一般名処方による処方せんを発行したことがありますか。 ※○は1つだけ                  |                      |                     |
| 1. ある   | 2. ないが検討中→質問⑦へ       | 3. ない (予定もない) →質問⑦へ |
| → ⑥-1 一般名処方による処方せんの発行により、事務的な負担は増えましたか。 ※○は1つだけ                         |                      |                     |
| 1. とても増えた   | 2. 少し増えた             | 3. ほとんど変わらない        |
| 4. 少し減った  | 5. とても減った            | 6. わからない            |
| ⑦「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」の情報提供の頻度等について、保険薬局と予め合意した方法で行っていますか。 ※○は1つだけ |                      |                     |
| 1. 主に合意した方法で行っている   |                      |                     |
| 2. 保険薬局によって様々である  |                      |                     |
| 3. 合意した方法はない  |                      |                     |
| 4. その他 (具体的に  | )                    |                     |
| 【上記⑦で「1. 主に合意した方法で行っている」「2. 保険薬局によって様々である」と回答した場合】                      |                      |                     |
| → ⑦-1 その方法はどのようなものですか。 ※あてはまる番号すべてに○                                    |                      |                     |
| 1. 調剤をした都度提供すること  |                      |                     |
| 2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しないとする                                |                      |                     |
| 3. 一定期間に行った調剤をまとめて提供すること  |                      |                     |
| 4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に提供すること  |                      |                     |
| 5. 副作用等問題が発生した時だけ提供すること   |                      |                     |
| 6. その他 (具体的に  | )                    |                     |
| ⑧保険薬局で実際に調剤した後発医薬品の銘柄等に関する情報提供はどのような方法・タイミングで必要ですか。 ※○は1つだけ             |                      |                     |
| 1. 調剤をした都度  |                      |                     |
| 2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しない                                   |                      |                     |
| 3. 一定期間に行った調剤をまとめて  |                      |                     |
| 4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に  |                      |                     |
| 5. 副作用等問題が発生した時だけ   |                      |                     |
| 6. 必要ない   |                      |                     |
| 7. その他 (具体的に  | )                    |                     |
| ⑨ 患者から後発医薬品の処方を求められたことがありますか。 ※○は1つだけ                                   |                      |                     |
| 1. ある   | 2. ない→7 ページの質問 6. ①へ |                     |
| → ⑨-1 質問⑨の場合、どのような対応をとりましたか。 ※あてはまる番号すべてに○                              |                      |                     |
| 1. 先発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名しなかった   | 2. 後発医薬品を処方した        |                     |
| 3. 後発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名した  | 4. 一般名で処方した          |                     |
| 5. 後発医薬品が存在しない医薬品であるので対応できなかった  |                      |                     |
| 6. 対応しなかった (理由 :  | )                    |                     |
| 7. その他 (具体的に  | )                    |                     |

(→この後は、7 ページの質問 6. ①へ)

5. <院外処方せんを発行していない施設の方にお伺いします>

外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

|  |                            |
|--|----------------------------|
| ① 外来診療時の院内投薬における後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ         |                            |
| 1. 後発医薬品を積極的に処方する→質問①-2へ<br>*一般名処方の場合や「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含みます。 |                            |
| 2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する→質問①-2へ                                |                            |
| 3. 患者によって、後発医薬品を積極的に処方する→質問①-2へ                                  |                            |
| 4. 後発医薬品を積極的には処方しない  |                            |
| 【質問①で「4. 後発医薬品を積極的には処方しない」を回答した場合】                               |                            |
| → ①-1 後発医薬品を積極的には処方しないのはどのような理由によるものでしょうか。 ※あてはまる番号すべてに○         |                            |
| 1. 後発医薬品の品質（効果や副作用を含む）に疑問があるから                                   |                            |
| 2. 適応症が異なるから   | 3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから      |
| 4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから  |                            |
| 5. 患者への普及啓発が不足しているから   |                            |
| 6. 後発医薬品の説明に時間がかかるから   | 7. 経営上の観点から                |
| 8. 患者が先発医薬品を希望するから   | 9. 患者の容態等から先発医薬品が良いと判断したから |
| 10. その他（具体的に   | ）                          |
| 【質問①で選択肢1～3（後発医薬品を積極的に処方する）を回答した場合】                              |                            |
| → ①-2 後発医薬品を積極的に処方する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○                  |                            |
| 1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから  | 2. 患者の経済的負担が軽減できるから        |
| 3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから   | 4. 経営上のメリットがあるから           |
| 5. 医療費削減につながるから  | 6. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから    |
| 7. 先発医薬品を使用する意義を感じないから   |                            |
| 8. その他（具体的に  | ）                          |
| ② 患者から後発医薬品の処方を求められたことがありますか。 ※○は1つだけ                            |                            |
| 1. ある  | 2. ない→7ページの質問6. ①へ         |
| → ②-1 質問②の場合、どのような対応をとりましたか。 ※あてはまる番号すべてに○                       |                            |
| 1. 後発医薬品を処方・調剤した   |                            |
| 2. 後発医薬品が存在しないため先発医薬品を処方・調剤した                                    |                            |
| 3. 後発医薬品を採用していないため先発医薬品を処方・調剤した                                  |                            |
| 4. 対応しなかった（理由：   | ）                          |
| 5. その他（具体的に  | ）                          |

6. <すべての施設の方にお伺いします>

後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

|   |                    |             |
|---|--------------------|-------------|
| ① 後発医薬品について、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）」に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ（例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど）が必要か、ご存知ですか。 ※○は1つだけ   |                    |             |
| 1. だいたい知っている  | 2. 少しは知っている        | 3. ほとんど知らない |
| ② 厚生労働省では、医療関係者向けに『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q&A～<平成27年2月 第3版発行>』を作成し、ホームページでも公開していますが、このことをご存知ですか。 ※○は1つだけ   |                    |             |
| 1. 知っている（内容も見た）   | 2. 知っている（内容を見ていない） | 3. 知らない     |
| ③ 厚生労働省では、平成25年4月に『後発医薬品の更なる使用促進のためのロードマップ』を発表しましたが、このことをご存知ですか。 ※○は1つだけ  |                    |             |
| 1. 知っている（内容も見た）   | 2. 知っている（内容を見ていない） | 3. 知らない     |
| ④ 今現在、後発医薬品に関して不信感がありますか。 ※○は1つだけ   |                    |             |
| 1. ある   | 2. ない→質問⑤へ         |             |
| ④-1 不信感を抱いたきっかけは何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○   |                    |             |
| 1. 先発医薬品との効果・副作用の違いを経験した<br>2. 先発医薬品との使用感（味、色、剤形、粘着力等）の違いを経験した<br>3. 後発医薬品メーカー間での効果の差を経験した<br>4. 処方していた後発医薬品の品切・製造中止<br>5. メーカーから必要な情報が公開されていなかった<br>6. メーカーに情報提供を求めたが、対応に満足できなかった<br>7. 医療関係者から後発医薬品に関する苦情を聞いた<br>8. その他（具体的に )  |                    |             |
| ⑤ 今後、どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めてもよいと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○   |                    |             |
| 1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底<br>2. 後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保<br>3. 後発医薬品に関する安定供給体制の確保<br>4. 後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合<br>5. 先発医薬品名を入力すると一般名処方できるオーダーリングシステムの導入<br>6. 後発医薬品に対する患者の理解<br>7. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価<br>8. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価<br>9. 後発医薬品の原体、製剤に関する製造方法、製造場所、製造国などの情報開示<br>10. その他（具体的に )<br>11. 特に対応は必要ない→8ページの質問7. へ |                    |             |
| ⑥ 上記⑤の選択肢1～10のうち、最もあてはまるものの番号を1つだけお書きください。  |                    |             |

7. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題等、また、後発医薬品の使用・普及を進めていくために、具体的にどのような取組を行えば効果があるか、ご意見を自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。





|  |         |         |         |
|--|---------|---------|---------|
| ⑨後発医薬品使用割合 <数量ベース> (平成 26 年、平成 27 年の 4 月～6 月) ※小数点以下第 1 位まで<br>※1 か月間に調剤した後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量÷1 か月間に調剤した後発医薬品ありの<br>先発医薬品と後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量×100。 |         |         |         |
| 平成 26 年  | 4 月     | 5 月     | 6 月     |
|  | ( . ) % | ( . ) % | ( . ) % |
| 平成 27 年  | 4 月     | 5 月     | 6 月     |
|  | ( . ) % | ( . ) % | ( . ) % |

3. <院外処方せんを発行している施設の方にお伺いします。院外処方せんを発行していない施設の方は 4 ページの質問 4. ①へお進みください>

**外来診療における処方せん発行時の状況や後発医薬品の処方に関するお考えをお伺いします。**

①外来患者に院外処方する場合、後発医薬品の使用について、施設としてどのように対応していますか。※〇は1つだけ

- 1. 施設の方針として、後発医薬品を積極的に使用する→質問①-2 へ  
\*一般名処方の場合や「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含みます。
- 2. 施設の方針として、薬の種類によって、後発医薬品を積極的に使用する→質問①-2 へ
- 3. 施設の方針として、個々の医師の判断に任せている→質問①-2 へ
- 4. 施設の方針として、後発医薬品をほとんど使用していない
- 5. その他 (具体的に ) →質問②へ

【質問①で「4. 施設の方針として、後発医薬品をほとんど使用していない」を回答した場合】

①-1 施設の方針として、「後発医薬品を積極的に使用する」としていない場合、その理由は何ですか。  
※あてはまる番号すべてに〇

- 1. 後発医薬品の品質 (効果や副作用を含む) に疑問があるから
- 2. 適応症が異なるから
- 3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから
- 4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから
- 5. 患者への普及啓発が不足しているから
- 6. 後発医薬品の説明に時間がかかるから
- 7. 一般名処方に対応したオーダーリングシステムとなっていないから
- 8. 後発医薬品を処方するメリットがないから
- 9. 患者が先発医薬品を希望するから
- 10. 患者の容態等から先発医薬品が良いと判断したため
- 11. その他 (具体的に )

【質問①で選択肢 1～3 (後発医薬品を積極的に使用する) を回答した場合】

①-2 後発医薬品を積極的に使用する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに〇

- 1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから
- 2. 患者の経済的負担が軽減できるから
- 3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから
- 4. 診療報酬上の評価が高いから
- 5. 医療費削減につながるから
- 6. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから
- 7. 先発医薬品を使用する意義を感じないから
- 8. その他 (具体的に )

②平成 27 年 4 月以降、貴施設では、一般名処方による処方せんを発行したことがありますか。 ※〇は1つだけ

- 1. 発行している
- 2. 発行を検討中→4ページの質問③へ
- 3. 発行していない→4ページの質問③へ

②-1 一般名処方による処方せんの発行により、事務的な負担は増えましたか。 ※〇は1つだけ

- 1. とても増えた
- 2. 少し増えた
- 3. ほとんど変わらない
- 4. 少し減った
- 5. とても減った
- 6. わからない

|   |                |
|---|----------------|
| <p>③ 「一般名処方調剤」または「後発医薬品への変更調剤」の情報提供の頻度等について、保険薬局と予め合意した方法で行っていますか。 ※〇は1つだけ</p>  |                |
| <p>1. 主に合意した方法で行っている</p> <p>2. 保険薬局によって様々である</p> <p>3. 合意した方法はない→質問④へ</p> <p>4. その他（具体的に</p>  | <p>) →質問④へ</p> |
| <p>【上記③で「1. 主に合意した方法で行っている」「2. 保険薬局によって様々である」と回答した場合】</p>   |                |
| <p>→ ③-1 その方法はどのようなものですか。 ※あてはまる番号すべてに〇</p>   |                |
| <p>1. 調剤をした都度提供すること</p> <p>2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しないとする</p> <p>3. 一定期間に行った調剤をまとめて提供すること</p> <p>4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に提供すること</p> <p>5. 副作用等問題が発生した時だけ提供すること</p> <p>6. その他（具体的に</p> |                |
| <p>)</p>  |                |
| <p>④保険薬局で実際に調剤した後発医薬品の銘柄等に関する情報提供はどのような方法・タイミングで必要ですか。 ※〇は1つだけ</p>  |                |
| <p>1. 調剤をした都度</p> <p>2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しない</p> <p>3. 一定期間に行った調剤をまとめて</p> <p>4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に</p> <p>5. 副作用等問題が発生した時だけ</p> <p>6. 必要ない</p> <p>7. その他（具体的に</p>             |                |
| <p>)</p>  |                |

4. <院外処方せんを発行していない施設の方にお伺いします>

外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

|  |                        |
|--|------------------------|
| <p>① 外来診療時の院内投薬における後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※〇は1つだけ</p>  |                        |
| <p>1. 施設の方針として、後発医薬品を積極的に使用する→5ページの質問①-2へ<br/>*一般名処方の場合や「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含みます。</p> <p>2. 施設の方針として、薬の種類によって、後発医薬品を積極的に使用する→5ページの質問①-2へ</p> <p>3. 施設の方針として、個々の医師の判断に任せている→5ページの質問①-2へ</p> <p>4. 施設の方針として、後発医薬品をほとんど使用していない</p> <p>5. その他（具体的に</p>                              | <p>) →5ページの質問6. ①へ</p> |
| <p>【質問①で「4. 施設の方針として、後発医薬品をほとんど使用していない」を回答した場合】</p>  |                        |
| <p>→ ①-1 施設の方針として、「後発医薬品を積極的に使用する」としていない場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに〇</p>  |                        |
| <p>1. 後発医薬品の品質（効果や副作用を含む）に疑問がある</p> <p>2. 適応症が異なるから</p> <p>3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから</p> <p>4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから</p> <p>5. 患者への普及啓発が不足しているから</p> <p>6. 後発医薬品の説明に時間がかかるから</p> <p>7. 経営上の観点から</p> <p>8. 患者が先発医薬品を希望するから</p> <p>9. 患者の容態等から先発医薬品が良いと判断したから</p> <p>10. その他（具体的に</p> |                        |
| <p>)</p>   |                        |

【質問①で選択肢1~3（後発医薬品を積極的に使用する）を回答した場合】

①-2 後発医薬品を積極的に使用する場合、その理由は何ですか。※あてはまる番号すべてに○。

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから  | 2. 患者の経済的負担が軽減できるから     |
| 3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから | 4. 経営上のメリットがあるから        |
| 5. 医療費削減につながるから        | 6. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから |
| 7. 先発医薬品を使用する意義を感じないから |                         |
| 8. その他（具体的に            | )                       |

5. <すべての施設の方にお伺いします>

**入院患者**に対する後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

※ここでは、造影剤などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬及び外用薬の全てを対象とします。

|  |  |
|--|--|
| <p>①入院患者に対する後発医薬品の使用状況は、いかがでしょうか。<br/>※最も近いものの番号1つだけに○</p>                           | <p>1. 後発医薬品を積極的に処方する<br/>2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する<br/>3. 患者によって、後発医薬品を積極的に処方する<br/>4. 後発医薬品を積極的には処方しない</p>   |
| <p>②今後、どのような対応が進めば、病院として、入院患者への投薬・注射における後発医薬品の使用を進めてもよいと思えますか。<br/>※あてはまる番号すべてに○</p> | <p>1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底<br/>2. 後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保<br/>3. 後発医薬品に関する安定供給体制の確保<br/>4. 後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合<br/>5. 先発医薬品名を入力すると一般名処方できるオーダーリングシステムの導入<br/>6. 後発医薬品に対する患者の理解<br/>7. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価<br/>8. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価<br/>9. 後発医薬品の原体、製剤に関する製造方法、製造場所、製造国などの情報開示<br/>10. その他（具体的に )<br/>11. 特に対応は必要ない→質問6. ①へ</p> |
| <p>③上記②の選択肢1~10のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>  |  |

6. <すべての施設の方にお伺いします>

後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

|  |
|--|
| <p>① 後発医薬品について、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）」に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ（例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど）が必要か、ご存知ですか。 ※○は1つだけ</p> |
| <p>1. だいたい知っている                      2. 少しは知っている                      3. ほとんど知らない</p>  |
| <p>② 厚生労働省では、医療関係者向けに『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q&amp;A～&lt;平成27年2月 第3版発行&gt;』を作成し、ホームページでも公開していますが、このことをご存知ですか。 ※○は1つだけ</p>         |
| <p>1. 知っている（内容も見た）                      2. 知っている（内容を見ていない）                      3. 知らない</p>  |

|  |                    |         |
|--|--------------------|---------|
| ③ 厚生労働省では、平成 25 年 4 月に『後発医薬品の更なる使用促進のためのロードマップ』を発表しましたが、このことをご存知ですか。 ※○は1つだけ   |                    |         |
| 1. 知っている（内容も見た）  | 2. 知っている（内容を見ていない） | 3. 知らない |
| ④ 今現在、後発医薬品に関して不信感がありますか。 ※○は1つだけ  |                    |         |
| 1. ある  | 2. ない→質問7.へ        |         |
| ▶ ④-1 不信感を抱いたきっかけは何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○  |                    |         |
| 1. 先発医薬品との効果・副作用の違いを経験した<br>2. 先発医薬品との使用感（味、色、剤形、粘着力等）の違いを経験した<br>3. 後発医薬品メーカー間での効果の差を経験した<br>4. 処方していた後発医薬品の品切・製造中止<br>5. メーカーから必要な情報が公開されていなかった<br>6. メーカーに情報提供を求めたが、対応に満足できなかった<br>7. 医療関係者から後発医薬品に関する苦情を聞いた<br>8. その他（具体的に ) |                    |         |

7. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題等、また、後発医薬品の使用・普及を進めていくために、具体的にどのような取組を行えば効果があるか、ご意見を自由にお書きください。

「病院票」の質問はこれで終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございました。



▶ 【質問①で選択肢 1~3（後発医薬品を積極的に処方する）を回答した場合】

①-2 後発医薬品を積極的に処方する場合、その理由は何ですか。※あてはまる番号すべてに○

|                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから  | 2. 患者の経済的負担が軽減できるから     |
| 3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから | 4. 一般名処方加算を算定できるから      |
| 5. 医療費削減につながるから        | 6. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから |
| 7. 先発医薬品を使用する意義を感じないから |                         |
| 8. その他（具体的に            | ）                       |

② 1年前と比較して、後発医薬品の処方数（一般名処方や後発医薬品への「変更不可」としない処方せんも含みます）は、変化しましたか。※○は1つだけ

|          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| 1. 多くなった | 2. 変わらない | 3. 少なくなった |
|----------|----------|-----------|

③ 平成 27 年 4 月以降、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記した処方せんを発行したことはありますか。 ※○は1つだけ

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 1. ある | 2. ない→3ページの質問④へ |
|-------|-----------------|

▶ ③-1 あなたが発行した院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記した医薬品が 1 品目でもある処方せん枚数の割合は、どの程度ありますか。 ※平成 27 年 6 月

|    |    |
|----|----|
| 約（ | ）% |
|----|----|

▶ ③-2 一部の医薬品について「変更不可」とするのは、どのようなケースが最も多いですか。最も多いものの番号 1つだけに○をつけてください。 ※○は1つだけ

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 先発医薬品から後発医薬品への変更を不可とすることが多い       |
| 2. 後発医薬品について他銘柄の後発医薬品への変更を不可とすることが多い |
| 3. 先発医薬品・後発医薬品の区別なく変更を不可とすることが多い     |
| 4. その他（具体的に                          |
| ）                                    |

▶ ③-3 先発医薬品の銘柄を指定する場合、それはなぜですか。 ※あてはまる番号すべてに○

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 後発医薬品の品質（効果や副作用を含む）に疑問があるから |
| 2. 適応症の違いがあるから                 |
| 3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから          |
| 4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから      |
| 5. 患者からの希望があるから                |
| 6. その他（具体的に                    |
| ）                              |
| 7. 先発医薬品の銘柄を指定することはない          |

▶ ③-4 後発医薬品の銘柄を指定する場合、それはなぜですか。 ※あてはまる番号すべてに○

|   |
|---|
| 1. 特定の銘柄以外の後発医薬品の品質（効果や副作用を含む）に疑問があるから  |
| 2. 特定の銘柄以外の後発医薬品の安定供給に不安があるから           |
| 3. 特定の銘柄以外の後発医薬品に関する情報提供が不足しているから       |
| 4. 先発医薬品と主成分や添加物等が同一の製剤である後発医薬品を処方したいから |
| 5. 先発医薬品の会社が製造した後発医薬品を処方したいから           |
| 6. 施設の方針であるため                           |
| 7. 上記 1.~6.以外の理由で後発医薬品の銘柄を指定する必要があるから   |
| →（理由：                                   |
| ）                                       |
| 8. 患者から希望があったから                         |
| 9. その他（具体的に                             |
| ）                                       |
| 10. 後発医薬品の銘柄を指定することはない                  |

|  |                        |                     |
|--|------------------------|---------------------|
| ④ 平成 27 年 4 月以降、あなたは、一般名処方による処方せんを発行したことがありますか。 ※○は1つだけ                  |                        |                     |
| 1. ある  | 2. ないが検討中→質問⑤へ         | 3. ない (予定もない) →質問⑤へ |
| → ④-1 一般名処方による処方せんの発行により、事務的な負担は増えましたか。 ※○は1つだけ                          |                        |                     |
| 1. とても増えた  | 2. 少し増えた               | 3. ほとんど変わらない        |
| 4. 少し減った   | 5. とても減った              | 6. わからない            |
| ⑤ 「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」の情報提供の頻度等について、保険薬局と予め合意した方法で行っていますか。 ※○は1つだけ |                        |                     |
| 1. 主に合意した方法で行っている  |                        |                     |
| 2. 保険薬局によって様々である   |                        |                     |
| 3. 合意した方法はない   |                        |                     |
| 4. その他 (具体的に   | )                      |                     |
| 【上記⑤で「1. 主に合意した方法で行っている」「2. 保険薬局によって様々である」と回答した場合】                       |                        |                     |
| → ⑤-1 その方法はどのようなものですか。 ※あてはまる番号すべてに○                                     |                        |                     |
| 1. 調剤をした都度提供すること   |                        |                     |
| 2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しないとする                                 |                        |                     |
| 3. 一定期間に行った調剤をまとめて提供すること   |                        |                     |
| 4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に提供すること   |                        |                     |
| 5. 副作用等問題が発生した時だけ提供すること  |                        |                     |
| 6. その他 (具体的に   | )                      |                     |
| ⑥ 保険薬局で実際に調剤した後発医薬品の銘柄等に関する情報提供はどのような方法・タイミングで必要ですか。 ※○は1つだけ             |                        |                     |
| 1. 調剤をした都度   |                        |                     |
| 2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と同じ内容であった場合には連絡しない                                    |                        |                     |
| 3. 一定期間に行った調剤をまとめて   | 4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に |                     |
| 5. 副作用等問題が発生した時だけ  | 6. 必要ない                |                     |
| 7. その他 (具体的に   | )                      |                     |
| ⑦ 保険薬局で実際に調剤した後発医薬品の銘柄等に関する情報提供はどのように利用していますか。具体的にお書きください。               |                        |                     |
|  |                        |                     |
| ⑧ 患者から後発医薬品の処方を求められたことがありますか。 ※○は1つだけ                                    |                        |                     |
| 1. ある  | 2. ない→4ページの質問4. ①へ     |                     |
| → ⑧-1 質問⑧の場合、どのような対応をとりましたか。 ※あてはまる番号すべてに○                               |                        |                     |
| 1. 先発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名しなかった  |                        |                     |
| 2. 後発医薬品を処方した  |                        |                     |
| 3. 後発医薬品を処方し、変更不可の欄に署名した   |                        |                     |
| 4. 一般名で処方した  |                        |                     |
| 5. 後発医薬品が存在しない医薬品であるので対応できなかった   |                        |                     |
| 6. 対応しなかった→ (理由 :  | )                      |                     |
| 7. その他 (具体的に   | )                      |                     |

(→この後は、4ページの質問4. ①へ)

3. <院外処方せんを発行していない施設の方にお伺いします>

外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

① 外来診療時の院内投薬における後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。

※〇は1つだけ

- 1. 後発医薬品を積極的に処方する→質問①-2へ  
\*一般名処方の場合や「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含みます。
- 2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に処方する→質問①-2へ
- 3. 患者によって、後発医薬品を積極的に処方する→質問①-2へ
- 4. 後発医薬品を積極的には処方しない

【質問①で「4. 後発医薬品を積極的には処方しない」を回答した場合】

▶ ①-1 後発医薬品を積極的には処方しないのはどのような理由によるもののでしょうか。 ※あてはまる番号すべてに〇

- 1. 後発医薬品の品質（効果や副作用を含む）に疑問があるから
- 2. 適応症が異なるから
- 3. 後発医薬品の安定供給に不安があるから
- 4. 後発医薬品に関する情報提供が不足しているから
- 5. 患者への普及啓発が不足しているから
- 6. 後発医薬品の説明に時間がかかるから
- 7. 経営上の観点から
- 8. 患者が先発医薬品を希望するから
- 9. 患者の容態等から先発医薬品が良いと判断したから
- 10. その他（具体的に )

【質問①で選択肢1~3（後発医薬品を積極的に処方する）を回答した場合】

▶ ①-2 後発医薬品を積極的に処方する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに〇

- 1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから
- 2. 患者の経済的負担が軽減できるから
- 3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから
- 4. 経営上のメリットがあるから
- 5. 医療費削減につながるから
- 6. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから
- 7. 先発医薬品を使用する意義を感じないから
- 8. その他（具体的に )

② 患者から後発医薬品の処方を求められたことがありますか。 ※〇は1つだけ

- 1. ある
- 2. ない→質問4. ①へ

▶ ②-1 質問②の場合、どのような対応をとりましたか。 ※あてはまる番号すべてに〇

- 1. 後発医薬品を処方・調剤した
- 2. 後発医薬品が存在しないため先発医薬品を処方・調剤した
- 3. 後発医薬品を採用していないため先発医薬品を処方・調剤した
- 4. 対応しなかった→（理由： )
- 5. その他（具体的に )

4. 後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

① 後発医薬品について、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）」に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ（例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど）が必要か、ご存知ですか。 ※〇は1つだけ

- 1. だいたい知っている
- 2. 少しは知っている
- 3. ほとんど知らない

② 厚生労働省では、医療関係者向けに『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q & A～平成27年2月 第3版発行>』を作成しホームページでも公開していますが、このことをご存知ですか。 ※〇は1つだけ

- 1. 知っている（内容も見た）
- 2. 知っている（内容を見ていない）
- 3. 知らない



## 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用に関する意識調査 患者票

※この患者票は、患者さんに、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用状況やお考えについて  
 おうかがいするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な  
 数字や内容・理由などをご記入ください。

### 後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同様の効能・効果  
 を持つ医薬品のことです。ジェネリック医薬品は先発品より安価で、経済的です。

0. 最初に、この調査票のご記入者について、おうかがいします。

この調査票のご記入者は、患者さんご本人でしょうか。それともご家族の方等でしょうか。

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1. 患者ご本人（代筆の場合も含む） |   |
| 2. 本人以外のご家族（具体的に   | ） |
| 3. その他（具体的に        | ） |

1. 患者さんご自身のことについておうかがいします。

|  |                  |                             |            |
|--|------------------|-----------------------------|------------|
| ① 性別 ※○は1つだけ                                       | 1. 男性      2. 女性 | ② 年齢                        | （      ） 歳 |
| ③ お住まい   | （      ） 都・道・府・県 |                             |            |
| ④ お手持ちの健康保険証の種類 ※お手持ちの健康保険証の「保険者」名称をご確認ください。○は1つだけ |                  |                             |            |
| 1. 国民健康保険（国保）                                      |                  | 2. 健康保険組合（健保組合）             |            |
| 3. 全国健康保険協会（協会けんぽ）                                 |                  | 4. 共済組合（共済）                 |            |
| 5. 後期高齢者医療広域連合（広域連合）                               |                  |                             |            |
| 6. その他（具体的に      ）                                 |                  | 7. わからない                    |            |
| ⑤ 医療費の自己負担額（医療機関や薬局の窓口で支払う金額）がありますか。 ※○は1つだけ       |                  |                             |            |
| 1. ある  |                  | 2. ない                       |            |
| ⑥ この3か月間に処方せん（ご本人の処方せんです）を持って薬局に行った回数              |                  | 過去3か月間の薬局訪問回数<br>約（      ）回 |            |
| ⑦ 「お薬手帳」を利用していますか。 ※○は1つだけ                         |                  |                             |            |
| 1. 利用している  |                  | 2. 利用していない                  |            |

2. 本日の状況等についておうかがいします。

① 本日、この薬局を選んだ理由は何ですか。※〇はいくつでも

1. この薬局をかかりつけにしているから
2. 医療機関の近くにあったから
3. 通勤・通学の途中、職場や学校の近くにあったから
4. 薬剤師がわかりやすく説明してくれるから
5. ジェネリック医薬品を調剤してくれるから
6. 待ち時間が短いから
7. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

② 本日、薬局の窓口で支払った自己負担額（一部負担金）は、  
いくらでしたか。 ※ない場合は「0」とお書きください。

( \_\_\_\_\_ ) 円

③ 本日、薬局の窓口で支払った自己負担額がどのくらい安くなれば、今後ジェネリック医薬品を使用したいと思えますか。※〇は1つだけ ※自己負担額0円の方は回答不要です

1. 少しでも安くなるのであれば使用したい
2. 本日支払った金額よりも一定額安くなるのであれば使用したい  
→（安くなる金額の目安： \_\_\_\_\_ 円程度）
3. いくら安くなっても使用したくない
4. わからない
5. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

→ ③-1 いくら安くなっても使用したくない理由は何ですか。※あてはまる番号すべてに〇

1. 安く売れる理由が不可解だから
2. 高いものはいいものだと考えるから
3. 聞き慣れないメーカーだから
4. ジェネリック医薬品の効き目（効果）や副作用に不安があるから
5. 医師がすすめないから
6. 薬剤師がすすめないから
7. 家族や知人がすすめないから
8. 使いなれたものがいいから
9. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

→ ③-2 そのように思われる具体的なきっかけがあれば教えてください。※〇は1つだけ

1. ジェネリック医薬品に切り替えて、副作用が出たことがあるから
2. ジェネリック医薬品に切り替えて、効き目が悪くなったことがあるから
3. 報道等、周囲からジェネリック医薬品の品質、効果等に関して良い情報を聞かないから
4. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

④ 本日、薬局で、先発医薬品からジェネリック医薬品へ変更しましたか。 ※〇は1つだけ

1. ジェネリック医薬品へ変更した
2. 既にジェネリック医薬品であったため変更しなかった
3. ジェネリック医薬品へ変更しなかった
4. わからない

④-1 ジェネリック医薬品に変更した時の薬局の窓口での薬代の負担感はどうでしたか。 ※〇は1つだけ

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. とても安くなった   | 2. それなりに安くなった   |
| 3.それほど変わらなかった | 4. わからない・覚えていない |

3. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用に関するご経験などについておうかがいします。  
ここからは、本日のことだけではなく、今までのご経験についてお答えください。

① ジェネリック医薬品に関心がありますか。 ※〇は1つだけ

- |          |          |              |
|----------|----------|--------------|
| 1. 関心がある | 2. 関心はない | 3. どちらともいえない |
|----------|----------|--------------|

② ジェネリック医薬品を知っていましたか。 ※〇は1つだけ

- |          |                 |           |
|----------|-----------------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 名前は聞いたことがあった | 3. 知らなかった |
|----------|-----------------|-----------|

③ 今までにジェネリック医薬品を使用したことがありますか。 ※〇は1つだけ

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

④ 医師からジェネリック医薬品についての説明を受けたことがありますか。 ※〇は1つだけ

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

⑤ 医師にジェネリック医薬品の処方をお願いしたことはありますか。 ※〇は1つだけ

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※ここからの質問も、本日このアンケートを受け取った薬局に限らず、今までのご経験としてお答えください。

⑥ 薬剤師からジェネリック医薬品についての説明を受けたことがありますか。 ※〇は1つだけ

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|



**※1 薬剤情報提供文書とは**

保険薬局から調剤したお薬と一緒に渡される文書で、薬の名前や写真、効能・効果、用法、副作用、注意事項などが書かれています。平成24年4月以降、ジェネリック医薬品についての説明（ジェネリック医薬品の有無や価格など）もこの文書に記載し、患者に情報提供することとなりました。

**※2 ジェネリック医薬品軽減額通知（差額通知等）とは**

処方された薬をジェネリック医薬品に切り替えることにより、どのくらい薬代（薬剤料）の自己負担額が軽減されるかを健康保険組合や市町村国保などの保険者が具体的に試算して、例えば「ジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代の自己負担の軽減額に関するお知らせ」のような名前で通知してくれるサービスです。

**4. ジェネリック医薬品の使用に関するお考え・ご経験や、使用促進の取組についておうかがいします。**

① ジェネリック医薬品の使用に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ

1. できればジェネリック医薬品を使いたい
2. とりあえずジェネリック医薬品を試してみたい
3. できればジェネリック医薬品を使いたくない
4. ジェネリック医薬品や先発医薬品にはこだわらない
5. わからない

② あなたがジェネリック医薬品を使用するにあたって重要なことは何ですか。

※あてはまる番号すべてに○

1. 効果（効き目）が先発医薬品と同じであること
2. 使用感がよいこと
3. 副作用の不安が少ないこと
4. 有効成分に加え、添加剤や製法も先発医薬品と同じであること
5. 先発医薬品とジェネリック医薬品について同じ点・異なる点を説明してもらえること
6. 医師や薬剤師のすすめがあること
7. 窓口で支払う薬代が安くなること
8. 少しでも医療財政の節約に貢献できること
9. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
10. 特にない→質問④へ

③ 上記②の選択肢 1~9 のうち、最も重要なことは何ですか。  
あてはまる番号を1つだけお書きください。

④ 今までに受け取ったことがあるものをすべて○で囲んでください。 ※あてはまる番号すべてに○

1. ジェネリック医薬品希望カード
2. ジェネリック医薬品軽減額通知（差額通知等）
3. 薬剤情報提供文書
4. 受け取ったことがない→6ページの質問⑤へ

